

アイヌ民俗文化財
ユーカラシリーズ53

金成マツ筆録 アイヌ叙事詩

年若い私の姉三度土の倉につくられる

Pon akor sapo resui ante aetoibukar

萱野志朗 訳

北海道教育委員会

年若い私の姉三度土の倉につくられる

Pon akor sapo resui ante aetoibukar

凡例

1. 原ノート

萱野茂二風谷アイヌ資料館に収蔵されている「金成マツノート整理番号27」の2. *Pon akor sapo resui ante aetoibukar* (年若い私の姉三度土の倉につくられる) のローマ字筆記体の判読・片仮名化・逐語訳・意識(日本語訳)をしたものである。ノートは1～97頁(97頁)の分量である。

本書には、原ノートの頁の始まりを左上に示している。

2. 金成マツノートの整理方法

1 段目 ローマ字のアイヌ語の原文

2 段目 片仮名表記

3 段目 逐語訳

4 段目 意識

となっている。

①筆記体のローマ字を判読する際は、原ノート通りの表記とした。

②片仮名表記は、原ノートに濁音で書かれているものは表記通りとした。

③原文ローマ字段の数字は原ノートの行を累計で示している。p. 1～p. 97は原文ノートの頁を示し、その頁の最初の行のところに付記した。

④「あらすじ」は目次の次に載せてある。

<登場人物>

1. 主人公（私＝少女、キムントの女の姪っ子）
2. 育ての姉（年若い姉、主人公の実の姉）
3. 年若い私の兄
4. 年取った翁（五人の少年の父、主人公の義理の叔父）
5. 一人前の女性（五人の少年の母、キムントの村へ嫁入り、主人公の叔母）
6. 五人の少年（主人公の従兄弟）
7. 年若い女性（五人の少年の姉、主人公の従姉妹）
8. キムント村を守る若い神

私はどこで生まれ、どのような血筋なのでかろうかと考えている。それは本当に大きな家で、私は私の育ての姉と二人だけで暮らしていた。その家の内部は、とても美しく飾り立てられていた。奥の方には宝物の列が何列にも何段にもなっていて、首長が差すような太刀が飾られ、その太刀には二～三本の飾り紐の端がぶら下がっている。

宝壇の手前にはどういうお方が座っていたのか、移動自在の黄金の寝台が置いてある。寝台のまわりには平金が巻かれており、その平金の上には黄金の二つの渦巻きそして黄金の三つの渦巻きが施され飾られている。

その家の中は黄金の床が広がっており、奥には黄金の炉縁があり、その炉縁の先はアワビの貝殻のような光りを放ち、右座の後方には女性用の黄金の筐列があり、その筐の前には黄金の枕が置いてある。

誰が作ったものであろうか、黄金の立派な刺繍の衣などが竿にかけられ、その竿が撓（たわ）んでいる。それらの衣装の上には、二つの神光や三つの神光が明るく輝き、私はとても気持ちよく暮らしていた。

昼になると炉のそばで、私の育ての姉は絹織物を取り出し刺繍をしていた。私と私の育ての姉の二人は、どこの国にもどの村にもその美貌に匹敵するような者がいないくらい美しく、私たち二人の周りは本当の神のように美しい光で明るく輝いていた。私は、毎日毎日刺繍に夢中になり、私は手先が器用だったので我を忘れて刺繍をしていた。私が刺繍を施したものは、立派な二つの雲、三つの雲となって立ち昇り、私は気持ちよく暮らしていた。

私の育ての姉は、私に刺繍などを教えてくれて、またとても物知りなので、いろいろな事を私は教えてもらい、私は私の育ての姉と一緒に頑張って暮らしていたが、私はそれらの事に驚嘆した。

私の育ての姉がいてくれたお陰で、私は家の中の掃除をしたり、炊事をしたりしていた。

私は、それらの事が上手に出来たので、私の育ての姉はとても喜び、私の育ての姉は、私をととてもかわいがってくれた。私の育ての姉は、私のことをいつも気にかけてくれていた。私の育ての姉は、山へ行っては野草の混ぜ煮料理を作って、私に食べさせてくれた。その美味しい料理を私は食べながら暮らしていた。

ある時、私は私の育ての姉と一緒に山へ行き、楽しみながら野草を採ってきて、私たちは喜んで混ぜ煮を作って食べていた。

私は手先が器用なので、私が刺繍したものには神光が差しきらきらと輝いていた。私の反対側に座っている私の育ての姉は、手庇を上下にしなから私が刺繍したものに目を向けて、そして口元をほころばせ、驚きのあまり魂が鼻から飛び出さないように鼻を自ら押さえながら出来栄えに驚嘆していた。私の育ての姉は「私の妹は、本当に手先が器用過ぎるのです」と感嘆の声を上げた。私自身は「私の作ったものはすべて美しい」と思いながら、何不自由なく暮らしていた。

私は私の育ての姉と二人で楽しく暮らしていたが、私の育ての姉は先祖のことを知らないのではないか、と私は不思議に思った。

私たちが住んでいる家はとても立派で、ただの人間の住居ではないと私は思った。私は成長するにしたがい、この事に関して気にしながら暮らしていた。

夜になると神授の宝刀が、家の中を昼間の日差しのように明るく輝かせていた。

ある日、私の育ての姉は、混ぜ煮を作るために山へ行く支度をしながら次のように私に言った。「私は一人で山へ行き、混ぜ煮を作ろうと思う。私は早く家を出て、山へ行きます。あなたは独りで留守番をして私が帰る前に炊事をしていて下さい」と。このように言いながら、私の育ての姉は背負い袋を持って山へ山菜採りに行った。

私の育ての姉は、山へ山菜を採りに行ったきり戻って来なかった。夕暮れになり、私が炊事の支度を終えたが、年若い私の兄は出かける時間になっても全く出かける気配がなかった。私は、戻りの遅い私の育ての姉の事が心配になり、私は家の中でぱっと立ち上がり山へ行く道を跳ぶように駆け上がり、私の育ての姉がウバユリの根を掘っている所へ私は辿り着いた。

私の育ての姉は、自分で掘ったウバユリの根を荷造りしている所であった。私はどういう理由か分からないが、私の育ての姉を激しく打ちつけ、私は狂わんばかりの怒りに駆り立てられ、私は私の育ての姉の体を引き裂き、小袖の片方を投げ捨てた。そして、私は、私の育ての姉を残酷な方法で殺し、その私の育ての姉の頭を投げ捨てていた。

私は、私の育ての姉の頭を抱きながらこのように言った。「今はもう神であるあなたは、すべてをご存知のことと思います。私はあなたを打ちつけて、傷をつけて残酷な方法で殺してしまいました。どこの村かどこの国かの悪魔が、私に取り憑きこのような行いをさせたのです。その悪魔が住む村を私に教えて下さい。私は普通の者であり、霊力も巫術も持っていないけれども、その悪魔へ報復するつもりです。私は自分自身がどういう血筋の者かを知らずに、あなたに育てられながら立派な御座所で成長し、あなたがとても立派なの

で、私は妬まれたのだらうと思います」と。

私は泣きながら、育ての姉の頭で土の倉（お墓）をつくった。私の育ての姉の遺体を悪い獲物や悪い鳥や魔神などに喰われたりつつかれたり、えぐられたりされないように、私は立派な大きな土饅頭（お墓）を作った。私は自分自身の行いに腹立たしく思いながら、また悲しみにうちひしがれていた。私が土饅頭を作り終えた頃には、日が暮れてしまい私にはどうすることも出来なかった。

すると私は風に吹き上げられながら真っ暗闇の中を進み、どこかの村の上空へ到着した。私はその村へ近づいて見てみると、大きな沼の上手（かみて）がぼんやりと見え、沼の下手（しもて）もぼんやりと見えた。月の光でその沼のおもては広々と開けていき、次第に沼のおもてが晴れてきて、私は清々しい気持ちになった。

昼間になると険しい丸山が聳（そび）えているその頂上にはお城が建っていた。沼の周りには大勢の人々が住む村があり、沼の上手には険しい丸山が聳えていた。私はその丸山の頂上の方に興味をそそられた。

私は鳥に変身してその丸山の上を見た。そこには、大きい家や大きい城が重なり合うように立ち並んでいた。その住居は、私たちの住みかに優るもの、またそれに匹敵するような佇（たたず）まいであり私は驚かされた。

私は一軒の大きな家の上座の窓から簾越しに家の中を覗いてみた。その家の内部は、神の宝物で飾られ、家の中は明るく輝き、宝壇の手前には移動自在の黄金の寝台が置かれていた。

右座には年を取った翁（おきな）が座っていたが、その翁は黄金の小袖を襲ねて着ており、黄金の鎖を胴に巻きつけ、黄金の笠を被り、笠に垂れた紐できつく顔の上を締めて、笠の脇から光り輝く顔が見えている。

下座には一人前の女がいて、立派な黄金の刺繍の衣を全身に襲ねて着て、立派な鉢巻で髪を高く押し上げ、立派な髪の毛が絹糸のように頭の上に覆い被さり、髪の毛の先が光り輝き、神々しい顔が輝いていた。

年若い少年五人が横座に座っていた。最初は呪術で五人とも霧の中に隠れていたが、私はそれを払い除け見ることが出来た。五人とも黄金の小袖を襲ねて着ており、みんなは親類らしく目付きや眉の形が似ていた。年寄りの翁に五人の少年はよく似ていた。ほんの少し前に少年たちは走って到着したらしく疲れた顔色をして、全員が汗をかいていた。

左座の方には、年若い女が炊事をするために鍋の下へ火を燃やすために向かっていた。この女も霧に隠れていたが、その霧を払い除け見る事が出来た。その女は私と同じくらいの年頃で、立派な黄金の刺繍の衣を襲ねて着て、耳輪や首飾りを付けて着飾っていた。髪の毛は絹のように光り輝き、神々しい顔が光り輝いていた。先ほどの一人前の女とそっくりな目と眉をしていた。

年取った翁は、五人の少年を見ながら次のように言った。

「今日はお前たちが帰ってくるのが遅いので、私は心配しながら待っていたが、ちょうど

いい具合に帰ってきた。お前たちは獲物が獲れず、一匹の兎さえも獲れずに帰ってきたが、無事に戻って来たので私は安心した」と。

五人の少年たちは、互いに言葉を奪い合うように次のように言った。

「私の父と母、聞いて下さい。私たち五人は山へ行き、私たちの猟場とその上辺りを歩いたけれど、今日は狐一匹、小さい兎さえも見えず、獲物を獲ることが出来なかった。二つの周囲の山や三つの周囲の山を私たちは歩いていた。そして、ほかの方から流れている川の流域の低い土地には美しい木原があって、ウバユリの群落が広々と開けているところがあり、その群落の上手には一人の女がウバユリの荷作りをしてその荷を背負うところだった。当初は、その女は霧に隠れていたが、その霧を払い除けどうにかその正体を見る事が出来た。その女は人間ではなく、岩の妖精草の妖精で、人間より神よりも美しい者であった。私たちは、魔神岩の妖精草の妖精が姿を現したものだと思い、馬鹿にしてからかい、魔神でも人間でも一人の年若い女と侮ったところ、逆に私たち五人がその女に殺されそうになり、私たちは刀を抜いたのです」と。

その女は私たちに次のように言った。「私は自分自身の先祖のことを知らずに育ち、立派な御座所で、妹を育てていた。ウバユリを掘り混ぜ煮を作り、妹と一緒に貪り食べていた。妹を家に残し、ウバユリを掘りに一人で来たところ、小さい女であるということで馬鹿にされ、私は残酷に殺された。先祖が分からない私であるから、死んでもよいが、どういう理由で私は殺され、虐げられたのであろうか。私の妹は、私を心配しているであろう。最後にこれであなたたちは幸せになるであろう」と。

五人の子どもたちは、「殺した女が人間の女であることが分かり、気の毒に思うとともに憐れに思ったが、恐ろしい思いと、その女に仲間がいたら言い返す言葉もない、また遠い山の方であり他に人はいなかったもので、私たちは、その女を三つに斬って木原の上に投げ棄てた」と言った

この話を聞いた、五人の少年の父親は、顔色が青ざめて額の上がぶるぶると震えていた。五人の少年の母親は「私の悪い息子たち、お前たちの行いは悪く惨めで弱い者たちで、恥ずかしく身の程知らずの者たちである。その昔、私はトミサムペチシヌタブカで私の兄と二人で、その国を守っていた。ある時、私はキムントの村に嫁入りし、娘一人と息子五人を授かったのです。それがお前たちなのです。私の兄（実の兄）は、そのままトミサムペチシヌタブカを守り続けていたが、キムントウムマツが私の兄の所へ嫁いだのだ。兄夫婦は子供を持つのが遅く、大分あとになって娘が二人生まれたのだ。

このキムント沼の真ん中にある城でキムントの村を守護するために若い神がいる。その神の所へ嫁になるために、トミサムペチシヌタブカから私の年上の方の姪が来ることになり、今はトミサムペチシヌタブカと一緒に育てられているのです。」と言った。

叔父夫婦は、私の育ての姉が殺されたことに関して、トミサムペチシヌタブカへ行き神々へ謝罪をするお祈りをした。

私の育ての姉は、神の世界でトプトウンの神が私の育ての姉を惜しく思い、キムント城

を守っている神へ嫁がせ、そこで子供を産んだ。キムント城の神が天に昇ったとき、私の育ての姉はその神と本当の結婚をした。

私はキムントウクルと結婚した。私たち夫婦は、キムント村の叔父夫婦と同族を招待し、盛大な宴を持った。私たちの間には男の子と女の子が生まれた。

私の息子には私の姪っ子と、娘には甥っ子と結婚させた。そして、息子夫婦にも娘夫婦にも子供が生まれ、すなわち私たちの孫が二～三人誕生した。

私たちもやがて歳を取り、隠居生活をしている。

私は、私の育ての姉を他人と間違えて魔人のように思って、呪われ殺してしまった。私の親族や孫たちには仲良く喧嘩をしないように先祖の言葉、言い遣わされた言葉を心の中でしっかり守り、神への祈祷の儀式と先祖供養をするようにしなさい、と教え諭している。

私、トミサンペチの本当の淑女が語りました。終わり。

P.1

1 Nekon ikichi wa

ネコン イキチ ワ
 どのように / する・[継続] / ～して
 どんな

1 shiko kunip

シコ クニフ
 目・がつく / ～するべき・もの
 生まれ

2 baro kunip

バロ クニフ アネ ワ
 口・がつく / ～するべき・もの
 育ち

2 a-ne nankora.

ア・ネ ナンコラ。
 私は・[繫詞] / 顔・を持つ・～か
 で私はあるのだろうか。

3 Tam boro chise

タム ボロ チセ
 この / 大きい / 家
 この大きい家

3 uporo ta

ウプソロ タ
 内部におおわれている・ところ / [空間的位置]
 の内部で

3 pon a-kor sapo tura

ポン ア・コロ サポ トウラ
 年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小辞) / ～と一緒に
 年若い私の姉と一緒に

4 ouse tun a-ne wa batek

オウセ トゥン ア・ネ ワ バテカ
 ただ / 二つの・人・(接尾辞) / 私たち
 ちは・[繫詞] / ～して / ～ばかり
 ただ私たちは二人だけで

4 okai-an.

オカイ・アン。
 暮らしている・私たちは
 私たちは暮らしていた。

5 Tam boro chise uporo

タム ボロ チセ ウプソロ
 この / 大きい / 家 / 内部におおわ
 れている・ところ
 この大きい家の内部は

6 ineap kusu

イネアフ クス
 どうである・～した・もの / [熟語]
 何とまあ

6 a-tomte wa

ア・トムテ ワ
 人が・光る・させる / ～して
 美しく飾り立てられて

7 shiran nankora.

シラン ナンコラ。
 あたり八様子・ある / 顔・を持つ・
 ～か
 いるのだろうか。

7 Taban iyoikiri

タバノ イヨイキリ
 今ここに・ある / もの・(挿入音)・
 に～を入れる・列
 この宝器の列が

8 rambesh kunne

ラムベシ クンネ
 下・の・段丘 / 影八形八様・として
 海岸の段丘のように

8 chishiturire

チシトゥリレ
 [使役中相]される・伸びる・させる
 伸びていて

9 enkashi ta

エンカシ タ
 上の方 / [空間的位置]
 その上の方に

9 nishpa mutbe

ニシパ ムツベ
 裕福で身分の高い男性 / (?). を佩
 く・[名詞化辞]
 首長の差す太刀

10 otu san atkan

オトゥ サン アツカン
 (韻律)・二つの / 前・へ行く / 紐・
 末端
 二つの垂れ下がった紐の端

10 ore san atkan

オレ サン アツカン
 (韻律)・三つの / 前・へ行く / 紐・
 末端
 三つの垂れ下がった紐の端が

11 chieuiruke.

チエウイルケ。
 [使役中相]される・そこに・に位置す
 る・(他動詞形成)
 掛かっている。

11 Kurkashike

クルカシケ
 上
 その上に

12 kamui imeru

カムイ イメル
 美しい / もの・きらめき
 美しい光が

12 uweshimaka

ウウエシマカ
 互い・(挿入音)・で・自分・を開ける
 一緒に輝き

13 ikit tukari ta

イキツ トゥカリ タ
 列 / 手前 / [空間的位置]
 宝壇の手前に

13 nekona shikop

ネコナ シコフ
 どのように / 目・がつく・もの
 どのような生まれの人

14 nekona barop

ネコナ バロフ
 どのように / 口・がつく・もの
 どのような育ちの人が

14 ehorarba rok okaii

エホララバ ロク オカイイ
 そこに・尻・を押さえる / ～した (完了) / ある / いる・[名詞化辞]
 座っていたこと

15 kone nankora,

コネ ナンコラ、
 [繫詞] ※kone は ne の誤記 / 顔・
 を持つ・～か
 であるのだろうか、

16 chituye amset

チトゥイエ アムセツ
 [中相]される・を切る / (?). 寝台
 移動自在の寝台

16 kani amset

カニ アムセツ
 金属 / (?). 寝台
 黄金の寝台が

17 chishiturire

チシトゥリレ

[使役中相]される・伸びる・させる

伸びていて

17 amset okari

アムセツ オカリ

(?)・寝台 / へのまわりに

寝台のまわりを

18 sep birankani

セブ ビランカニ

広い / 平金

幅広い平金が

19 chiekarbare

チエカラバレ

[使役中相]される・その頭・を回す・

させる

取り巻き

19 birankani kurka

ビランカニ クルカ

平金 / 影八姿・の上

平金の上は

20 tu kani moreu

トゥ カニ モレウ

二つの / 金属 / 渦巻模様

二つの黄金の渦巻模様

21 re kani moreu

レ カニ モレウ

三つの / 金属 / 渦巻模様

三つの黄金の渦巻模様

21 chietomte.

チエトムテ。

[使役中相]される・それで・を飾る・

させる

で飾られている。

22 Kurkashike

クルカシケ

上

その上に

22 kamui imeru

カムイ イメル

美しい / もの・きらめき

美しい光が

23 eshimaka

エシマカ

で・自分・を開ける

ぱっと輝き

23 kani so kurka

カニ ソ クルカ

金属 / 床 / 影八姿・の上

黄金の床の上

P.2**24 teshnatara**

テシナタラ

(反ることを表す語根)・(状態が続い

ていることを表す接尾辞)

はるかに開け

24 kani inumbe

カニ イヌムベ

金属 / 炉縁の板

黄金の炉縁

25 baye ruwe konna

バイエ ルウェ コンナ

行く / への通った跡 / [韻律調整]

の行くさまは

26 rumaibe tomne kane,

ルマイベ トムネ カネ、

溶ける・(?)・水 / 光八色合い・で

ある / へして

ルマイベの色をして、

26 shiso sam ta

シソ サムタ

主要な・座 / そば / [空間的位置]

右座の側の

27 ikir kesh wano

イキリ ケシ ワノ

列 / 下手 / から・(副詞語尾)

列の下手から

27 kani matchuyop

カニ マツチュヨフ

金属 / 女・筐

黄金の女の筐

28 ikir bok konna

イキリ ボク コンナ

列 / 下 / [韻律調整]

列の下は

29 meunatará

メウナタラ

(擬態の語根)・(状態が続いているこ

とを表す接尾辞)

立派で美しく

29 utur un shikkeu

ウトゥル ウン シッケウ

下座 / [連体句形成] / 隅

下座の隅

30 chieushi

チエウシ

[使役中相]される・その頭・をつける

に立っていて

30 nei kotchake

ネイ コツチャケ

その / 前

その前に

31 kani mukru

カニ ムクル

金属 / 枕

黄金の枕が

31 chishiturire.

チシトゥリレ。

[使役中相]される・伸びる・させる

伸びている。

32 Nei enকাশike ta

ネイ エンカシケ タ

その / 上の方 / [空間的位置]

その上の方に

32 nekona shikop

ネコナ シコフ

どのように / 目・がつく・もの

どういう生まれの人

33 nekona barop

ネコナ バロフ

どのように / 口・がつく・もの

どういう育ちの人が

34 tekekar kunip

テケカラ クニフ

手・で・をつくる / へするべき・も

の

手で作ったもの

34 ne nankora,

ネ ナンコラ、

[繫詞] / 顔・を持つ・へか

であるのだろうか、

35 kani chikirbe

カニ チキリベ

金属 / 刺繍を施す・[名詞化辞]

黄金の刺繍衣

35 kamui chikirbe

カムイ チキリベ

立派だ / 刺繍を施す・[名詞化辞]

立派な刺繍衣で

36 rikun kakenchai

リクン カケンチャイ

高い所・にある / 衣装掛けの竿

上の方の衣装掛けの竿

37 ranke kakenchai

ランケ カケンチャイ

下の / 衣装掛けの竿

下の方の衣装掛けの竿が

37 eereweuse.

エエレウエウセ。
 それで・そこ・撓む
 撓んでいる。

38 Kurkashike

クルカシケ
 上
 その上に

38 tu kamui chupki

トゥ カムイ チュプキ
 二つの / 神 / 日の光
 二つの神光

39 re kamui chupki

レ カムイ チュプキ
 三つの / 神 / 日の光
 三つの神光が

40 eshimaka kane

エシマカ カネ
 で・自分・を開ける / ～して
 明るく輝いて

40 an-ramasu

アン・ラマス
 私は・～をおもしろく思う
 私は非常に

41 a-uwesuye kane

ア・ウウエスイエ カネ
 私は・～が楽しい / ～して
 私は気持ちがよくて

41 okai-an.

オカイ・アン。
 [接続助詞の後に置かれる]・私は
 私は暮らしていた。

42 Tokap an ko

トカプ アン コ
 日・(?) / ～になる / ～すると
 昼になると

42 abe teksam ta

アベ テクサム タ
 火 / 手・のそば / [空間的位置]
 炉のそばで

43 pon a-kor sapo

ポン ア・コロ サポ
 年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小辞)
 年若い私の姉は

43 sarambe sapte

サラムベ サプテ
 絹 / 出る・させる
 絹織物を取り出し

44 ikarkar

イカラカラ
 もの・を飾る
 刺繍をし

44 aokai ne yakka

アオカイ ネ ヤッカ
 私 / [繫詞] / ～すると・も
 私にしても

44 somo ainu shiretok

ソモ アイヌ シレトク
 [否定辞] / 人間 / 様子・の先端
 人間の美貌

45 a-kor noine,

ア・コロ ノイネ、
 私は・～を持つ / ～らしく
 を私は持っていないらしく、

46 i-bishkanike

イ・ビシカニケ
 私・のまわり
 私のまわりに

46 kamui imeru

カムイ イメル
 美しい / もの・きらめき
 美しい光が

47 eshimaka

エシマカ
 で・自分・を開ける
 ぱっと輝き

47 pon a-kor sapo

ポン ア・コロ サポ
 年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小辞)
 年若い私の姉

47 ne yakka

ネ ヤッカ
 [繫詞] / ～すると・も
 も

48 ine moshit ta

イネ モシツ タ
 どちら / 国 / [空間的位置]
 どこの国に

48 ine kotan ta

イネ コタン タ
 どちら / 村 / [空間的位置]
 どこの村に

P.3**49 eturbak shirika**

エトゥルバク シリカ
 について・匹敵する / 見えるもの・
 の上
 それに匹敵する美貌が

49 okai nankora,

オカイ ナンコラ、
 ある / いる / 顔・を持つ・～か
 あるのだろうか、

50 oar anakne

オアラ アナクネ
 全く / ある・すれば
 まったくもって

50 ainu shiretok

アイヌ シレトク
 人間 / 様子・の先端
 人間の美貌

51 somo koro

ソモ コロ
 [否定辞] / ～を持つ
 を持たず

51 sonno riwak kamui ne

ソンノ リワク カムイ ネ
 本当に / 高い・いる / 神 / ～に(な
 る)
 ほんとうに立派な神のように

52 riwak bito ne

リワク ビト ネ
 高い・いる / 神と同等の人 / ～に(な
 る)
 立派な人のように

53 okutchi urar

オクツチ ウララ
 薄くかける / 霧
 薄くかける霧

53 urar tumu

ウララ トウム
 霧 / 中
 霧の中心

54 yayomare kane,

ヤヨマレ カネ、
 自分・に位置する・させる / ～して
 に自身を入れて、

55 bishkanike

ビシカニケ
 周囲
 その周囲は

55 kamui imeru

カムイ イメル
 美しい / もの・きらめき
 美しい光

56 eshimaka kane,

エシマカ カネ、
 で・自分・を開ける / ～して
 で明るく輝いて、

56 a-eyaikiror-

ア・エヤイキロ

私は・で・自分・カ

それを私は楽しむように

57 ante kane,

アンテ カネ、

いる・させる / ～して

思つて、

57 monak pirikap sui

モナク ピリカプ スイ

ただでさえ / 美しい・[名詞化辞] /

また

ただでさえ美しいのがまた

58 usa ashkai wa

ウサ アシカイ ワ

いろいろ / 手先が器用である / ～して

いろいろ手先が器用であつて

58 ikichi nankora,

イキチ ナンコラ、

する・[継続] / 顔・を持つ・～か

そうなのだろうか、

59 keshto an ko

ケスト アン コ

毎～・日 / ～になる / ～すると

毎日毎日

59 karkar kunip

カラカラ クニプ

～をつくる・(重複) / ～するべき・もの

刺繍しているもの

60 attomsama

アットムサマ

全く・面の真ん中・のそば

に夢中になつて

60 yayomare

ヤヨマレ

自分・に位置する・させる

それに我を忘れ

61 karkar kunip

カラカラ クニプ

～をつくる・(重複) / ～するべき・

もの

刺繍していたものは

62 tu kamui nish ne

トゥ カムイ ニシ ネ

二つの / 立派だ / 雲 / ～に (なる)

二つの立派な雲となり

62 re kamui nish ne

レ カムイ ニシ ネ

三つの / 立派だ / 雲 / ～に (なる)

三つの立派な雲となり

63 yayebumpa

ヤイエブンパ

自分・その頭・を持ち上げる

立ち昇り

63 an-ramasu

アン・ラマス

私は・～をおもしろく思う

私は非常に

64 a-uwesuye.

ア・ウウエスイエ。

私は・～が楽しい

私は気持ちがよい。

64 Pon a-kor sapo

ポン ア・コロ サポ

年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小辞)

年若い私の姉は

65 ikarkar hene

イカラカラ ヘネ

もの・を飾る / ～でも

刺繍でも

66 nep ne yakka

ネプ ネ ヤッカ

何の・もの / [繫詞] / ～すると・も

何でも

66 i-ebakashnu

イ・エバカシヌ

私に・について・を教える

私に教え

67 hoshki tukbe

ホシキ トウクベ

先に / 成長する・[名詞化辞]

姉は先に生まれたもの

67 konep ne kusu

コネプ ネ クス

いったい何 / [繫詞] / [原因入理由]

であつたから

68 nep ne yakka

ネプ ネ ヤッカ

何の・もの / [繫詞] / ～すると・も

何でも

69 eraman eashkai

エラマン エアシカイ

について・心・ある / について・できる

知つていて

69 usa yuptek

ウサ ユプテク

いろいろ / (きつくしまる入しめる

ことを表す擬態の語根)・ちょっと～

する

いろいろがんばり

70 usa ashkai

ウサ アシカイ

いろいろ / 上手である

いろいろ上手なこと

70 ukabushte

ウカブシテ

互い・の上・破裂する・させる

を一緒に披露し

71 shiyoro keutum

シヨロ ケウトウム

驚く / 心

驚嘆の心

72 a-yaikore.

ア・ヤイコレ。

私は・自分・に～を与える

を私は覚えた。

72 Pon a-kor sapo

ポン ア・コロ サポ

年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小

辞)

年若い私の姉が

73 an kushkeraipo

アン クシケライポ

ある入いる / そのために・さすが

に・(指小辞)

いたおかげで

73 tane anakne

タネ アナクネ

今 / ある・すれば

今は

P.4**74 chise otta**

チセ オッタ

家 / の所・[空間的位置]

家に

74 an-an wa,

アン・アン ワ、

ある入いる・私は / ～して

私はいて、

75 usa shitchashnure

ウサ シッチャシヌレ

いろいろ / あたり・(さっぱりしてい

ることを表す擬態の語根)・を持つ・

させる

いろいろきれいに掃除をしたり

76 usa shuke

ウサ シュケ

いろいろ / 鍋・(自動詞形成)

いろいろ炊事をしたり

76 a-eashkai chiki,

ア・エアシカイ チキ、
私は・について・できる / 上手である
 / ~したから
それらを私は上手にできたから、

77 pon a-kor sapo

ポン ア・コロ サポ
年若い / 私は・~を持つ / 姉・(指小辞)
年若い私の姉は

77 shino nubetne

シノ ヌベツネ
本当である・(副詞形成) / 喜ぶ
じつに喜び

78 i-kobuntek kane,

イ・コブンテカ カネ、
私を・喜ぶ / ~して
私のことを喜んで、

79 ineap kusu

イネアプ クス
どうである・~した・もの / [熟語]
何とまあ

79 pon a-kor sapo

ポン ア・コロ サポ
年若い / 私は・~を持つ / 姉・(指小辞)
年若い私の姉は

80 i-yomap wa

イ・ヨマプ ワ
私を・(挿入音)・をかわいがる / ~
して
私をかわいがって

80 ikichi nankora,

イキチ ナンコラ、
する・[継続] / 顔・を持つ・~か
そうなのだろうか、

81 keshto ramma

ケスト ランマ
毎~・日 / いつも
毎日いつも

81 hese attom

ヘセ アットム
(擬音の語根)・と言う / 全く・真ん中
息の真ん中

82 sambe attom

サムベ アットム
出る・もの / 全く・真ん中
心臓の真ん中

82 i-ekote

イ・エコテ
私を・そこに・に~を結びつける
に私を結びつけ

83 makanneko

マカンネコ
どのように・[繋詞]・~すると
時としては

83 kimun iwor

キムン イウオロ
山・に在る / 山の谷間
山手の山地

84 koapkash wa,

コアプカシ ワ、
に向かって・歩く / ~して
に歩いて行って、

84 mun ratashkep

ムン ラタシケプ
草 / 山菜
野草の混ぜ煮

85 kina ratashkep

キナ ラタシケプ
草 / 山菜
野菜の混ぜ煮

86 haru kar

ハル カラ
食料 / ~をつくる
食料をつくり

86 sonno keranno

ソンノ ケランノ
本当に / 味・ある・[副詞形成]
ほんとうにおいしく

87 kar wa,

カラ ワ、
~をつくる / ~して
食べ物をつくって、

87 a-e shino

ア・エ シノ
私は・~を食べる / 本当である・(副
詞形成)
それを私は食べじつに

88 a-ekatnu kane

ア・エカツヌ カネ
私は・について・を好む / ~して
それを私は貪り食って

88 okai-an.

オカイ・アン。
[接続助詞の後に置かれる]・私は
私は暮らしていた。

89 Makanneko

マカンネコ
どのように・[繋詞]・~すると
時としては

89 a-tura rusui wa

ア・トゥラ ルスイ ワ
私は・~と一緒に行く / ~したい /
~して
姉と私は一緒に行きたくて

90 kimta baye-an wa

キムタ バイエ・アン ワ
山・[空間的位置] / 行く・私は / ~
して
私は山に入って

90 inkar-an ko,

インカラ・アン コ、
もの・を見る・私は / ~すると
私は見てみると、

91 ineap kusu

イネアプ クス
どうである・~した・もの / [熟語]
何とまあ

91 a-kor iwor

ア・コロ イウオロ
私は・~を持つ / 山の谷間
私の山地

92 iworso kurka

イウオロソ クルカ
山の谷間・平らな広がりを持つ所 /
影 / 姿・の上
山地の上

92 a-erasasu wa

ア・エラマス ワ
私は・~をおもしろく思う / ~して
を私はおもしろく思っ

93 shiran nankora,

シラン ナンコラ、
あたり / 様子・ある / 顔・を持つ・~か
そうなのだろうか、

93 shino nuchattekan kane

シノ ヌチャッテカン カネ
本当である・(副詞形成) / 顔・(晴
れることを表す語根)・ちょっと~す
る・私は / ~して
じつに私は楽しくなって

95 ouse tun a-ne yakka,

オウセ トウン ア・ネ ヤッカ、
ただ / 二つの・人・(接尾辞) / 私たち
は・[繋詞] / ~すると・も
ただ私たちは二人だったけれど、

95 mina-an hawe

ミナ・アン ハウェ
笑う・私たちは / 声
私たちの笑う声

96 itak-an hawe

イタク・アン ハウェ
話す・私たちは / 声
私たちの話す声が

97 kenashso kurka

ケナシソ クルカ
木原・広がりを持った所 / 影八姿・の上
木原の上

97 bebunitara

ベブニタラ
(擬音の語根)・(状態が続いていること
を表す接尾辞)
にぎわしく

98 sonno nubetne-an koro

ソノノ ヌベツネ・アン コロ
本当に/喜ぶ・私たちは/～しながら
ほんとうに私たちは喜びながら

P.5**99 ratashkepkar-an.**

ラタシケブ カラ・アン。
山菜・をつくる・私は
私は混ぜ煮をつくっていた。

99 Makanneko

マカンネコ
どのように・[繋詞]・～すると
時としては

100 chise otta

チセ オッタ
家 / の所・[空間的位置]
家に

100 okai-an wa

オカイ・アン ワ
ある八いる・私は / ～して
私はいて

101 uarsotta

ウアラソッタ
互い・片方・座の所・[空間的位置]
両側の座に

101 okai-an wa

オカイ・アン ワ
ある八いる・私は / ～して
私はいて

102 ikarkar-an ko,

イカラカラ・アン コ、
もの・を飾る・私は / ～すると
私が刺繍をすると、

102 aokai ne yakka

アオカイ ネ ヤッカ
私 / [繋詞] / ～すると・も
私にしても

103 shino ashkai-an

シノ アシカイ・アン
本当である・(副詞形成) / 手先が器
用である・私は
じつに私は手先が器用であり

104 a-karkar kunip

ア・カラカラ クニブ
私は・～をつくる・(重複) / ～する
べき・もの
私が刺繍したものは

105 tu kamui nish ne

トゥ カムイ ニシ ネ
二つの / 立派だ / 雲/～に (なる)
二つの立派な雲となり

105 re kamui nish ne

レ カムイ ニシ ネ
三つの / 立派だ / 雲/～に (なる)
三つの立派な雲となり

106 yayebumpa

ヤイエブumpa
自分・その頭・を持ち上げる
立ち昇り

107 kurkashike

クルカシケ
上
その上に

107 tu kamui chupki

トゥ カムイ チュブキ
二つの / 神 / 日の光
二つの神光

108 re kamui chupki

レ カムイ チュブキ
三つの / 神 / 日の光
三つの神光が

109 chishikaibare.

チシカイバレ。
[使役中相]される・閃く・させる
きらきら輝いている。

110 Pon a-kor sapo

ポン ア・コロ サポ
年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小辞)
年若い私の姉は

110 shiarso un

シアラソ ウン
本当に・反対側の・席 / [連用句形成]
向こう側の座席に

111 tekkakipo

テッカキポ
手・垣・(指小辞)
手びさし

111 rikunruke

リクンルケ
高い所・に位置する・(他動詞形成)
を高く捧げ

112 raunruke

ラウンルケ
低い所・に位置する・(他動詞形成)
手びさしを低く捧げ

112 a-karkar kunip

ア・カラカラ クニブ
私は・～をつくる・(重複) / ～する
べき・もの
私が刺繍したものは

113 kurkashike

クルカシケ
上
の上

113 shikomare

シコマレ
目・に位置する・させる
に目を向け

114 uwampare

ウワンパレ
互い・(挿入音)・を手に持つ・させる
それをよく見て調べ

114 kosancha otta

コサンチャ オッタ
を持つ・前の・口 / の所・[空間的位置]
その口元に

115 mina kane,

ミナ カネ、
笑う / ～して
ほころばせて、

115 shietuuina

シエトゥウイナ
自分・鼻・を取る
鼻の前にこぶしを当てて驚き

116 shibaruina kane,

シバルイナ カネ、
自分・口・を取る / ～して
口の前にこぶしを当てて驚いて、

117 shiyoro haukan

シヨロ ハウカン
驚く / 声・未
驚く声が

117 kari kane,

カリ カネ、
回る / ～して
巡って来て、

P.6

118 "Sonno hetapne

「ソソノ ヘタプ ネ
 本当に / いったい〜か・[繋詞]
 「ほんとうにまあ

118 a-matakipo

ア・マタキポ
 私の・妹・[指小辞]
 私の妹は

119 ashkai kashpa

アシカイ カシパ
 手先が器用である / 〜しすぎる
 手先が器用すぎる

119 ruwe okai." ari

ルウェ オカイ。」 アリ
 こと八さま / 〜である / 〜と
 ことなのです。」と

120 rayap

ラヤプ
 感嘆する
 感嘆し

120 utashpa bakno

ウタシパ バクノ
 互い・と交換する (tasa の語幹)・(複
 数) / まで八ほど・(副詞形成)
 次から次に

121 a-karbe

ア・カラベ
 私は・〜をつくる・[名詞化辞]
 私がつくったものは

121 nep ne yakka

ネプ ネ ヤッカ
 何の・もの / [繋詞] / 〜すると・も
 何でも

122 a-reka

ア・レカ
 私は・〜をほめる
 私は美しいと思い

122 a-eramasu kane,

ア・エラマス カネ、
 私は・〜をおもしろく思う / 〜して
 それを私はおもしろく思って、

123 ramma kane

ランマ カネ
 いつも / [意外]
 いつもいつも

123 katkor kane

カツコロ カネ
 あり方・を持つ / 〜して
 何不自由なく

124 okai-an.

オカイ・アン。
 [接続助詞の後に置かれる]・私は
 私は暮らしていた。

124 Pon a-kor sapo

ボン ア・コロ サポ
 年若い / 私は・〜を持つ / 姉・(指小辞)
 年若い私の姉は

125 pirika ram ne

ピリカ ラム ネ
 よい / 心 / 〜という状況で
 よい心で

125 i-kohebuni

イ・コヘブニ
 私に・に対して・頭・を持ち上げる
 私の方に顔を上げ

126 kusune ko,

クスネ コ、
 [目的・原因入理由]・[繋詞] / 〜すると
 ようとすると、

126 ene an kamui

エネ アン カムイ
 このように / ある / 神
 このような神

127 ene am bito

エネ アム ビト
 このように / ある / 神と同等の人
 このようなお方が

128 hemshiehose

ヘムシエホセ
 同じ・自分・そこに・背を向ける
 自分をさしおいて

128 konep kamuye

コネプ カムイェ
 いったい何 / 神・〜か
 いったい何神

129 konep bitoho

コネプ ビトホ
 いったい何 / 神と同等の人・〜か
 いったい何人

129 koshikraipa kunip

コシクライパ クニプ
 に対して・目・を行かせる八来させる
 / 〜するべき・もの
 に目を向けたものか

130 a-tukaripo

ア・トゥカリポ
 私の・手前・[指小辞]
 私の手前

130 koshikerana-

コシクラナ
 に対して・目・で・下・の方
 に視線を低く

131 rapte kane,

ラブテ カネ、
 下がる・(他動詞形成) / 〜して
 落として、

131 utashpa

ウタシパ
 互い・と交換する (tasa の語幹)・(複
 数)
 互いに

132 uerayap-an kane

ウエラヤプ・アン カネ
 互い・について・感心する・私たちは
 / 〜して
 私たちは感心し合って

132 sonno uwekatarotke-an

ソソノ ウウェカタロツケ・アン
 本当に / 互い・(挿入音)・と仲が良
 い・私たちは
 ほんとうに私たちは仲が良く

133 sunke ashbe

スンケ アシベ
 うそをつく / 立つ・[名詞化辞]
 うそのこと

134 sone ashbe

ソネ アシベ
 本当・である / 立つ・[名詞化辞]
 ほんとうのことを

134 a-ubaroka-

ア・ウバロカ
 私は・互い・の口・の上
 私たちは互いに

135 tata kane,

タタ カネ、
 (擬音の語根)・(重複) / 〜して
 しゃべり合って、

135 kunne hene

クンネ ヘネ
 影・である / 〜でも
 夜も

135 tokap hene

トカプ ヘネ
 日・(?) / 〜でも
 昼も

136 a-uwomina-

ア・ウウオミナ

私たちは・互い・(挿入音)・その尻・
笑う

私たちは一緒に笑い

136 ushi kane

ウシ カネ

～に…がつく・(他動詞形成) / ～し
て

を浮かべていた

137 yakka

ヤッカ

～すると・も

けれども

137 ramma keutum otta

ランマ ケウトウム オッタ

いつも/心/の所・[空間的位置]

いつも心の中で

138 ene yainu-ani

エネ ヤイヌ・アニ

このように / 自分・を聞く・感じる
・私は・[名詞化辞]

このように私は思っていたのに

138 nekon ikichi wa

ネコン イキチ ワ

どのように / する・[継続] / ～して
どうやって**139 ouse tun a-ne wa batek**

オウセ トウン ア・ネ ワ バテク

ただ / 二つの・人・(接尾辞) / 私た
ちは・[繋詞] / ～して / ～ばかり

ただ私たちは二人だけで

139 okai-an

オカイ・アン

暮らしている・私たちは

私たちは暮らし

140 nekon ikichi-an wa

ネコン イキチ・アン ワ

どのように / する・[継続]・私は / ～
して

私はどうやって

140 yaishinritka-

ヤイシンリッカ

自分・地・すじ・の上

自分の先祖

141 eramokai kunip

エラモカイ クニブ

について・心・ある / ～するべき・
もの

を知ったもの

142 a-ne ruwe taokai.

ア・ネ ルウェ タオカイ。

私は・[繋詞] / こと八さま / [強
調]・～ですか

で私はあるのだろうか。

142 Pon a-kor sapo

ポン ア・コロ サポ

年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小辞)

年若い私の姉は

143 hoshki tuk

ホシキ トウク

先に / 成長する

先に生まれ

143 ponno boro wa

ボンノ ボロ ワ

少ない・(副詞形成) / 大きくなる / ～して

少し大きくなって

144 ne yakka

ネ ヤッカ

[繋詞] / ～すると・も

も

144 oar oar

オアラ オアラ

全く / 全く

まったくまったく

144 yaishinritka-

ヤイシンリッカ

自分・地・すじ・の上

自分の先祖

145 erambetek noine

エラムベテク ノイネ

～を知らない / ～らしく

を知らないように

146 a-ramu.

ア・ラム。

私は・心・(他動詞形成)

私は思った。

146 Makaaneko

マカンネコ

どのように・[繋詞]・～すると

時としては

146 eashka

エアシカ

それこそ・～も

それこそ

147 yaikoshiramse a

ヤイコシラムセ ア

一人で・自分・心・と言う / 繰り返
し繰り返し～する

繰り返し考え

147 yaikoshiramse a yakka,

ヤイコシラムセ ア ヤッカ、

一人で・自分・心・と言う / 繰り返
し繰り返し～する / ～すると・も

繰り返し考えたけれど、

148 oar koyairambetek ruwe

オアラ コヤイラムベテク ルウェ

全く / と一緒に・自分・がわからない /
こと八さま

それがまったくわからなかったことが

P.7**149 sonno usetara**

ソンノ ウセタラ

本当に / はっきりと

ほんとうにはっきりと

150 a-noeraman kane,

ア・ノエラマン カネ、

私は・よく・について・心・ある / ～
して

私はよくわかって、

151 neita ka

ネイタ カ

何の・所・[空間的位置] / ～も
どこかに**151 a-utari hene**

ア・ウタリ ヘネ

私の・同族の人々 / ～でも

私の親戚でも

151 okai wa,

オカイ ワ、

いる / ～して

いて、

152 okaketa

オカケタ

後・[時間的位置]

そのあとで

152 naa ponno

ナア ポンノ

もつと / 少ない・(副詞形成)

もう少し

153 rupne-an ita

ルブネ・アン イタ

氷・のようである・私は / とき・[時
間的位置]

私が大人になったときに

153 i-pashkuma wa

イ・パシクマ ワ

私に・～に言い伝えを語り伝える /
～して

私に言い伝え

154 i-kore kusu

イ・コレ クス
私に・～に…を与える / [目的]
を語り伝えるために

154 ene shirani he an.

エネ シラニ ヘ アン。
このように / あたり八様子・ある・
[名詞化辞] / ～か / ～ですか
このようなことになったのだろうか。

155 A-ewak ushike

ア・エワク ウシケ
私たちは・そこに・(?) / する習慣
のある・ところ
私たちの住み家

155 oshke hene

オシケ ヘネ
～の中 / ～でも
の内側も

156 soike hene

ソイケ ヘネ
外 / ～でも
その外側も

156 ebitta a-nukar chiki,

エビッタ ア・ヌカラ チキ、
一つのもの全部 / 私は・～を見る /
～したところ
全部を私は見たところ、

157 atanan ainu utar ewaki

アタナン アイヌ ウタラ エワキ
ただの / 人間 / ～たち / に・(?)・
する所
ただの人間たちの住居

158 somo ne kuni

ソモ ネ クニ
[否定辞] / [繫詞] / [名詞化引
用]
ではないと

159 a-ramu

ア・ラム
私は・心・(他動詞形成)
私は思い

159 konep ainu

コネプ アイヌ
いったい何 / 人間
いったい何人間

159 ewak ushike

エワク ウシケ
に・(?) / する習慣のある・ところ
の住処が

160 ene pirika ruwe

エネ ピリカ ルウェ
このように / 立派だ / こと八さま
このように立派なこと

161 okaii taokai.

オカイイ タオカイ。
～である・[名詞化辞] / [強調]・
～ですか
であるのだろうか。

161 Ene wa boka

エネ ワ ボカ
このように/～して(指小辞)・も
どうにもこうにも

162 a-rekai ka

ア・レカイ カ
私は・～をほめる・[名詞化辞] / ～
も…しない
私は褒め称えようも

162 isam kane,

イサム カネ、
ない / ～して
なくなるほどであって、

162 tambe batek

タムベ バテク
この・もの / ～ばかり
そればかり

163 shukup turashi

シユクプ トウラン
成長する / ～に沿って上の方へ
成長するにしたがい

163 a-eyaikcutum-

ア・エヤイクウトム
私は・で・自分・心
私の心は

164 wente kane

ウエンテ カネ
悪い八悪くなる・させる / ～して
残念な思いをして

165 okai-an.

オカイ・アン。
[接続助詞の後に置かれる]・私は
私は暮らしていた。

165 Kunne an ko

クンネ アン コ
影・である / ～になる / ～すると
夜になると

165 kamui nubek

カムイ ヌベク
神 / 光輝
神の光

166 tomi nubek

トミ ヌベク
宝刀 / 光輝
宝刀の光が

166 tokap shikush ne

トカプ シクシネ
日・(?) / 日差し / ～に(なる)
昼の日差しのよう

167 chise upsoroho

チセ ウプソロホ
家 / 内部におおわれている・ところ
家の内部

168 eemaknatara kane,

エエマクナタラ カネ、
そこに・それで・(開いて明るいこと
を表す語根)・(状態が続いていること
を表す接尾辞) / ～して
に明るく輝いて、

168 an-ramasu

アン・ラマス
私は・～をおもしろく思う
私は非常に

169 a-uwesuiipa kane

ア・ウウエスイパ カネ
私は・～が楽しい / ～して
私は気持ちがよくて

170 okai-an awa,

オカイ・アン アワ、
[接続助詞の後に置かれる]・私は /
～したところ
私はいたところ、

170 shinean to ta

シネアン ト タ
一つの・ある / 日 / [時間的位置]
ある日

171 pon a-kor sapo sui

ポン ア・コロ サポ スイ
年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小
辞) / また
年若い私の姉はまた

171 ratashkep

ラタシケプ
山菜
混ぜ煮

172 kar kusu

カラ クス
～をつくる / [目的]
をつくるために

172 kimoshibini koro

キモシビニ コロ

山・に・身支度を / ～しながら
山に入る身支度をしながら**173 ene itaki.**

エネ イタキ。

このように / 話す・[名詞化辞]

次のように言った。

173 "Koninkarkusu

「コニンカラクス

それに・(挿入音)・見る・[熟語]

「よく聞いてください

P.8**174 a-matakipo**

ア・マタキボ

私の・妹・[指小辞]

私の妹よ

175 tanto shinen a-ne wa

タント シネン ア・ネ ワ

この・日 / 一つの・人 / 私は・[繫詞]

/ ～して

今日ただ一人で私はあって

175 ratashkepkar-an.

ラタシケブ カラ・アン。

山菜・をつくる・私は

私は混ぜ煮をつくります。

176 Shino a-e rusui kusu

シノ ア・エ ルスイ クス

本当である・(副詞形成) / 私は・～

を食べる / ～したい / [原因・理由]

じつに混ぜ煮を私は食べたいから

177 hembara kasuno

ヘムバラ カスノ

いつ / を凌ぐ・(副詞形成)

いつも以上に

178 tunashno san-an

トゥナシノ サン・アン

早い・(副詞形成) / 前・へ行く・私
は

早く私は出て行き

178 kusune na.

クスネ ナ。

[目的・原因・理由] [繫詞] / [要
求]

ましょう。

179 Eani shirwe kane

エアニ シリウェ カネ

あなた / 留守番をする / ～して

あなたは留守番をして

179 i-etok un shuke wa

イ・エトク ウン シュケ ワ

私の・先 / [連用句形成] / 鍋・(自
動詞形成) / ～して

私の前に炊事をして

180 i-kore." ari

イ・コレ。」 アリ

私に・～に…を与える / ～と

ください。」と

180 tu mina itak

トゥ ミナ イタク

二つの / 笑う / 言葉

二つの笑い言葉

181 re mina itak

レ ミナ イタク

三つの / 笑う / 言葉

三つの笑い言葉

182 i-tasare kane,

イ・タサレ カネ、

私と・と交換する・させる / ～して

を私と交わして、

182 i-koitaknyue

イ・コイタクヌイエ

私に・に・言葉・に彫刻をする

私に言い残し

183 i-henkotpa koro

イ・ヘンコツパ コロ

私に・顔・に～を結びつける / ～し
ながら

私に笑顔を向けながら

183 boro saranip

ボロ サラニフ

大きい / (?)・を持ち運ぶ・もの

大きい背負い袋

184 shuppakar wa,

シュッパカラ ワ、

きつく・(他動詞形成) / ～して

を束ねてきつく縛って、

184 shisetur ka

シセトゥル カ

自分・背中 / 上

自分の背の上

185 eterkere kane

エテレケレ カネ

そこに・跳ねる・させる / ～して

にその袋を投げ上げて

185 kim oterke.

キム オテレケ。

山 / のところで・跳ねる

山に山菜採りに行った。

185 Shiriki chiki

シリキ チキ

様子・ものごとをする / ～したところ

そうしたら

186 orhemkusu

オロヘムクス

所・何・[熟語]

どういうわけで

186 yainu-an nankora,

ヤイヌ・アン ナンコラ、

自分・を聞く・感じる・私は / 顔・

を持つ・～か

私はそう思うのだろうか、

187 tanto pon a-kor sapo

タント ポン ア・コロ サポ

この・日 / 年若い / 私は・～を持つ /

姉・(指小辞)

今日年若い私の姉が

188 ekimun oman kuni

エキムン オマン クニ

その頭・山・にある / 行く / ～する

(べき) こと

山に行くこと

189 a-koban

ア・コバン

私は・～を断る

を私は嫌がり

189 shino nishmu-an

シノ ニシム・アン

本当である・(副詞形成) / 寂しい・

私は

まるでじつに私は寂し

189 kasui apkoro

カスイ アプコロ

～しすぎる / まるで～したかのように

すぎるかのように

190 yainu-an yakka,

ヤイヌ・アン ヤッカ、

自分・を聞く・感じる・私は / ～す

ると・も

私は思っただけど、

191 "Ene pon a-kor sapo

「エネ ポン ア・コロ サポ

そのように / 年若い / 私は・～を持

つ / 姉・(指小辞)

「そのように年若い私の姉は

191 nubetneno

ヌベツネノ

喜ぶ・(副詞形成)

喜んで

P.9

192 ekimun oman rusui

エキムン オマン ルスイ
その頭・山・にある / 行く / ～したい
い
山に行きたい

193 shiri an.

シリ アン。
～する／している様子 / ある／いる
のだから。

193 Usa hembara kasuno

ウサ ヘムバラ カスノ
いろいろ / いつ / を凌ぐ・(副詞形
成)
いろいろいつも以上に

194 tunashno

トゥナシノ
早い・(副詞形成)
早く

194 san kusune." ari

サン クスネ。」 アリ
前・へ行く / [目的・原因／理由]・
[繋詞] / ～と
出て行くのだろう。」と

195 hawokai.

ハウオカイ。
言う
言った。

195 Tambe kusu

タムベ クス
この・もの / [原因／理由]
それゆえに

196 aokai ne yakka

アオカイ ネ ヤッカ
私 / [繋詞] / ～すると・も
私にしても

196 mina tura

ミナ トウラ
笑う / ～と一緒に
笑いながら

197 a-ramuoshma a koroka sui

ア・ラムオシマ ア コロカ スイ
私は・心・に入る / ～した(完了) /
けれども / また
それを私は承諾をしたけれどもまた

198 ramuchuptek-an kane,

ラムチュプテク・アン カネ、
心・(すばむことを表す語根)・ちよつ
と～する・私は / ～して
まるで私は心細くなって、

199 tane tokesh an

タネ トクシアン
今はもう / 日・の末端 / ～になる
今はもう夕暮れになり

199 shukeokere-an yakka,

シュケオケレ・アン ヤッカ、
炊事する・を終える・私は / ～する
と・も
私が炊事をし終わっても、

200 pon a-kor yubi

ボン ア・コロ ユビ
年若い / 私は・～を持つ / 兄
年若い私の兄は

201 san kuni

サン クニ
前・へ行く / ～する(べき) こと
出て行くべきとき

201 kasuno isam,

カスノ イサム、
を凌ぐ・(副詞形成) / ない
が過ぎてても出て行かず、

202 a-tere a

ア・テレ ア
私は・～を待つ / 繰り返し繰り返し
～する
そのときを私は繰り返し待ち

202 a-tere a yakka,

ア・テレ ア ヤッカ、
私は・～を待つ / 繰り返し繰り返し
～する / ～すると・も
そのときを私は繰り返し待たけれ
ど、

203 somo san shiri ka

ソモ サン シリ カ
[否定辞] / 前・へ行く / ～する／
している様子 / ～も…しない
出て行く様子も

203 isam,

イサム、
ない
なく、

203 tane anakne

タネ アナクネ
今 / ある・すれば
今は

204 nisomap keutum

ニソマップ ケウトム
心配する / 心
心配な心

205 a-yaikore.

ア・ヤイコレ。
私は・自分・に～を与える
を私は覚えた。

205 Pon a-kor sapo

ボン ア・コロ サポ
年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小
辞)
年若い私の姉

206 iramshik ta

イラムシク タ
人・心・目 / [空間的位置]
が私は心配に

206 chikarire

チカリレ
[使役中相]される・回る・させる
なり始め

206 a-keutum konna

ア・ケウトム コンナ
私の・心 / [韻律調整]
私の心は

207 chishkot kane,

チシコツ カネ、
泣きたいほど苦しい / ～して
泣きたいほど苦しくて、

208 tomota wenko

トモタ ウエンコ
あげくに / 悪い・(反語的意味の副詞
をつくる接尾辞)
あげくの果てに

208 a-matkosanu

ア・マツコサヌ
私は・(起きることを表す語根)・急に
～する
私はぱっと立ち上がり

209 ekimne toi ru

エキムネ トイ ル
その頭・山・である / 地面 / 道
山に入る道

209 toi ru kurka

トイ ル クルカ
地面 / 道 / 影／姿・の上
入る道の上

210 a-ehobuni

ア・エホブニ
私は・そこに・尻・を持ち上げる
に私は跳び上がり

210 toop kim ta

トオプ キム タ

ほらあすこに・(強調)・(語末子音) /

山 / [空間的位置]

はるか遠い山に

210 oman-an awa,

オマン・アン アワ、

行く・私は / ~したところ

私は行くと、

211 pon a-kor sapo

ポン ア・コロ サポ

年若い / 私は・~を持つ / 姉・(指小辞)

年若い私の姉は

211 turep ba ta

トゥレプ バ タ

ウバユリの根 / 上手 / [空間的位置]

ウバユリの群落の上手で

212 turepta wa

トゥレプ タ ワ

ウバユリの根・を掘って採る / ~して

ウバユリの根を掘って

213 shike kar wa

シケ カラ ワ

荷物 / ~をつくる / ~して

そのウバユリを荷造りして

213 tane e-yani kusune

タネ エ・ヤニ クスネ

今/あなたに・(挿入音)・を携える/[目的・原因/理由]・[繋詞]

これからあなたに食べ物を届ようとしていたところであって

214 rabokita

ラボキタ

~している間・[時間的位置]

そのときに

214 ne wa ka

ネ ワ カ

[繋詞] / ~して / ~も

になって

215 senne moyono

センネ モヨノ

[否定辞] / 人数が少ない・とても

少なからず

215 ainu arki wa

アイヌ アラキ ワ

人間 / 来る / ~して

人間が来て

216 ukohobumba

ウコホブムバ

一緒に・その尻・を持ち上げる

一緒に立ち上がった

216 rokokai.

ロコカイ。

~した (完了)・ある

のだった。

217 Turep bake

トゥレプ バケ

ウバユリの根 / 上手

ウバユリの群落の上手

217 turep toi noshki

トゥレプ トイ ノシキ

ウバユリの根 / 集まり / 真ん中

ウバユリの群落の真ん中

218 turep toi kese

トゥレプ トイ ケセ

ウバユリの根 / 集まり / 下手

ウバユリの群落の下手

218 chinanana kor,

チニナナ コロ、

[使役中相]される・をすりつぶす・(重複) / ~しながら

びっしりとつきながら、

219 too tu iworso ka

トオ トウ イウオロソ カ

ほらあそこに・(強調) / 二つの / 山の谷間・平らな広がりを持つ所 / 上

はるか遠い二つの山地の上

220 re iworso ka

レ イウオロソ カ

三つの / 山の谷間・平らな広がりを持つ所 / 上

三つの山地の上

220 pon a-kor sapo

ポン ア・コロ サポ

年若い / 私は・~を持つ / 姉・(指小辞)

年若い私の姉

221 a-eterke

ア・エテレケ

私は・そこに・跳ねる

に私は跳びはね

221 a-wenkoikikar kor

ア・ウエンコイキカラ コロ

私は・ひどい・をいじめる・(他動詞形成) / ~しながら

姉を私は激しく打ちつけながら

222 a-tekebashte wa,

ア・テケバシテ ワ、

私は・手・で・走る・させる / ~して

姉を私は取り返して、

222 baye ruwe

バイエ ルウエ

行く / ~の通った跡

行くさまは

223 komaknatara

コマクナタラ

(擬音語・擬態語を導く接頭辞)・(開いて明るいことを表す語根)・(状態が続いていることを表す接尾辞)

はるかに広々と開け

223 inkan newa

インカン ネワ

もの・を見る / [繋詞]・[熟語・慣用句]

ただ見るだけ

P.10**224 a-kip ne koroka,**

ア・キプ ネ コロカ、

私は・~をする・[名詞化辞] / [繋詞] / けれども

を私はしたけれども、

225 ene wa boka

エネ ワ ボカ

このように / ~して / (指小辞)・も

どうにもこうにも

225 iki-ani ka

イキ・アニ カ

ものごと・をする・私は・[名詞化辞]

/ ~も…しない

私はしようが

225 oarar isam.

オアラライサム。

全く・(重複) / ない

まったくない。

226 Eboso kusu

エボソ クス

で・貫く / [原因/理由]

ほんとうに

226 nisomap-an humi

ニソマップ・アン フミ

心配する・私は / ~の感じ

私は心配したこと

227 okai awa,

オカイ アワ、

~である / ~したところ

であったのに、

227 ne kotan korbe

ネ コタン コロベ

どの八何の / 村 / ～を持つ・[名詞化辞]

どの村のもの

228 ne moshiri korbe

ネ モシリ コロベ

どの八何の / 静かな・地 / ～を持つ・[名詞化辞]

どの国のもの

228 konep ikkewe

コネプ イッケウエ

いったい何 / 理由

いったいどんな理由

229 eonebare

エオネバレ

原因となる・(複数)・させる
にして**229 pon a-kor sapo**

ボン ア・コロ サポ

年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小辞)

年若い私の姉

230 konep wem buri

コネプ ウェム ブリ

いったい何 / 悪い / 行い

いったい何悪い行い

230 konep wen keutum korbe

コネプ ウェン ケウトウム コロベ

いったい何 / 悪い / 心 / ～を持つ・[名詞化辞]

いったい何悪い心を持つもの

231 ne wa kusu

ネ ワ クス

[繫詞] / [熟語・慣用句] / [熟語]

であったから

232 inunukashki

イヌヌカシキ

かわいそうである

かわいそうに

232 a-koiki ruwe

ア・コイキ ルウエ

私は・に対して・もの・をする / こと八さま

姉を私は打ったこと

233 okai chiki,

オカイ チキ、

～である / ～するから

だったから、

233 turush kinra ne

トゥルシ キンラ ネ

垢・がついている / 興奮状態 / ～に
狂わんばかりの怒り**234 i-kohobuni**

イ・コホブニ

私に・に対して・尻・を持ち上げる

に私は駆り立てられ

234 ru tuikashi

ル トウイカシ

道 / 上

道の上

235 a-ehobuni

ア・エホブニ

私は・そこに・尻・を持ち上げる

に私は跳び上がり

235 terke-an kane

テレケ・アン カネ

(擬態の語根)・(自動詞形成)・私は /
～して

私は跳ねて

236 bash-an kane

バシ・アン カネ

走る・私は / ～して

私は走って

236 oman-an aine,

オマン・アン アイネ、

行く・私は / ～した(完了)・～して

私は行って、

237 ru hontomta

ル ホントムタ

道 / 途中・[空間的位置]

道の途中で

237 seennekasui

セエンネカスイ

(否定辞)・も・また

まさかまた

238 shiran kuni

シラン クニ

あたり八様子・ある / [名詞化引用]

そうあろうとは

238 inkar-an kuni

インカラ・アン クニ

もの・を見る・私は / [名詞化引用]

私は見てみようとは

239 a-ramu roki

ア・ラム ロキ

私は・心・(他動詞形成) / 以前に～

した・[名詞化辞]

私は思わなかったのに

239 pon a-kor netobake

ボン ア・コロ ネットバケ

小さい / 私は・～を持つ / 体

小さい私の身体

240 ubak arke

ウバク アラケ

互い・ほど / 一つの・の所

同じくらい片方

241 a-yasa wa

ア・ヤサ ワ

私は・～を裂く / ～して

を私は裂いて

241 kosonte arke

コソント アラケ

小袖 / 一つの・の所

小袖の片方が

241 chikokarke kane

チコカラケ カネ

[使役中相]される・と一緒に・(回る八
回すことを表す擬態の語根)・(自動詞
形成) / ～して

ぐるぐる回って

242 a-osura kane,

ア・オスラ カネ、

私は・～を捨てる / ～して

その小袖を私は投げ捨てて、

243 kurkashike

クルカシケ

上

その上に

243 tu ok kamui kur

トゥ オク カムイ クル

二つの / 悲嘆にくれて顔を伏せてい
る / 神 / 姿

二つの悲しい神の姿

244 re ok kamui kur

レ オク カムイ クル

三つの / 悲嘆にくれて顔を伏せてい
る / 神 / 姿

三つの悲しい神の姿が

244 eerachitke kane,

エエラチッケ カネ、

を伴って・それで・(垂れ下がる意味
の語基)・(自動詞形成) / ～して

ぶら下がって、

245 inkar hetapne

インカラ ヘタプネ

もの・を見る / いったい～か・[繫詞]

見るでもまあ

- 246 konep tap teta**
コネプ タブ テタ
いったい何 / [強調] / ここ・[場所]
何とまあ
- 246 a-ki humi**
ア・キ フミ
私は・～をする / ～の感じ
私はしたこと
- 247 okai nankora,**
オカイ ナンコラ、
～である / 顔・を持つ・～か
であるのだろうか、
- 247 "Sapo ohai."**
「サポ オハイ。」
姉・(指小辞) / ～よう
「姉さんよう。」
- 248 a-raikotenke**
ア・ライコテンケ
私は・ひどく・に・叫ぶ
私は絶叫し
- 248 a-kor sapo**
ア・コロ サポ
私は・～を持つ / 姉・(指小辞)
私の姉
- 248 ouse kurkashike**
オウセ クルクシケ
ただ / 上
ただその上
- P.11**
- 249 a-yayeshirpa.**
ア・ヤイェシリパ。
私は・自分・そこに・をこする
に私は自身を擦りつけた。
- 250 A-chish hau konna**
ア・チシ ハウ コンナ
私は・泣く / 声 / [韻律調整]
私の泣く声が
- 251 tununitara**
トゥヌニタラ
(擬音の語根)・(状態が続いていること
を表す接尾辞)
美しく響き
- 251 sonno hetapte**
ソンノ ヘタプテ
本当に / いったい～か・[繋詞] ※
hetapte は hetapne の誤記
ほんとうにまあ
- 252 konep tap teta**
コネプ タブ テタ
いったい何 / [強調] / ここ・[場所]
何とまあ
- 252 ormashkino**
オロマシキノ
全く・あまりにも・(副詞形成)
あまりにもひどく
- 253 ramunishte**
ラムニシテ
その心・固い
残酷なこと
- 253 kiba ruwe**
キバ ルウエ
～をする・(複数) / こと八さま
をしたこと
- 254 konep tap teta**
コネプ タブ テタ
いったい何 / [強調] / ここ・[場所]
何とまあ
- 254 oikkeu ne wa**
オイッケウ ネ ワ
そこから・原因 / [繋詞] / ～して
それが理由となって
- 255 omoto ne wa**
オモト ネ ワ
そこから・もと・である / ～して
それがもとになって
- 255 irammayaisere**
イランマヤイセレ
それ・心・(擬態の語根)・と言う・さ
せる
気の毒に
- 256 pon a-kor sapo**
ボン ア・コロ サポ
年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小辞)
年若い私の姉
- 257 katuchiwente**
カトゥチウエンテ
恰好・[使役中相]される・悪い・させ
る
恥をかかされる
- 257 rai ne yakka**
ライ ネ ヤッカ
死ぬ / [繋詞] / ～すると・も
死ぬにしても
- 258 semkatune**
セムカトゥネ
[否定辞]・[名詞化辞]・の次第・[繋詞]
残酷を極める殺し方
- 258 a-ekarkar ruwe**
ア・エカラカラ ルウエ
私は・人に～する / こと八さま
を私はしたこと
- 259 okai chiki,**
オカイ チキ、
～である / ～するから
だったから、
- 259 otu babiror**
オトゥ バビロロ
(韻律)・二つの / 口・の中
二つ口の中で
- 260 ore babiror**
オレ バビロロ
(韻律)・三つの / 口・の中
三つ口の中で
- 260 a-koturi kane shui**
ア・コトゥリ カネ シュエイ
私は・に対して・を伸ばす / ～して / 再び
そのことを私は口の中でつぶやいて
また
- 261 karan pirika**
カラン ピリカ
味・ある※karan は keran の誤記 / よい
おいしい美味い
- 261 toyebunip a-kar.**
トイェブニプ ア・カラ。
土・で・を持ち上げる・[名詞化辞] /
私は・～をつくる
土饅頭を私はつくった。
- 262 Tap orowa sui**
タブ オロワ スイ
たった今 / 所・～から / また
たった今からまた
- 263 inne kunip**
インネ クニプ
大人数である / ～するべき・もの
大勢のもの
- 263 ine hunak un**
イネ フナク ウン
どちら / どこ / [連用句形成]
どこやりに
- 264 baye ruwe**
バイエ ルウエ
行く / ～の通った跡
行くさま
- 264 rutni kashi**
ルツニ カシ
[未詳] / 上
その上

265 a-ehobuni

ア・エホブニ
私は・そこに・尻・を持ち上げる
に私は跳び上がり

265 oman-an awa sui,

オマン・アン アワ スイ、
行く・私は / ~したところ / また
私は行ったところまた、

266 pon a-kor sapo

ボン ア・コロ サポ
年若い / 私は・~を持つ / 姉・(指小辞)
年若い私の姉

267 ouse saba

オウセ サバ
ただ / 頭
ただその頭

267 a-osura wa

ア・オスラ ワ
私は・~を捨てる / ~して
を私は投げ捨てて

267 an kane an.

アン カネ アン。
[接続助詞の後に置かれる] / ~して /
[接続助詞の後に置かれる]
いたのです。

268 Konepkeukata

コネプケウカタ
いったい何・体・の上・に
まあ何ということだろう

269 konepkashita

コネプカシタ
いったい何・の上・に
まあどうしたことだろう

269 hushkotoi wano

フシコトイ ワノ
古い・ずっと / から・(副詞語尾)
しばらくの間

270 chishbe ne kusu,

チシベ ネ クス、
泣く・[名詞化辞] / [繋詞] / [原因入理由]
泣いていたものだから、

270 eashka

エアシカ
それこそ・~も
それこそ

271 enuhup kane

エヌフア カネ
顔が腫れる / ~して
顔が腫れて

271 etottakot kane

エトッタコツ カネ
その頭・大袋・についている / ~して
頭に吠を被って

272 a-enankokikkikbe

ア・エナンコキッキクベ
私は・で・顔・と一緒に・を叩く・(重複)・[名詞化辞]
その頭を私が顔と一緒に何度も打つたもの

273 konep ne kusu,

コネプ ネ クス、
いったい何 / [繋詞] / [原因入理由]
であったから、

273 kamui sannanu

カムイ サンナヌ
神 / 前の・顔
神々しい顔が

P.12**274 totchetotche kane**

トツチェトツチェ カネ
腫れる・(重複) / ~して
ひどく腫れて

275 inkan newa

インカン ネワ
もの・を見る / [繋詞]・[熟語・慣用句]
ただ見るだけ

275 a-kip ne koroka,

ア・キプ ネ コロカ、
私は・~をする・[名詞化辞] / [繋詞] / けれども
を私はしたけれども、

276 ene wa boka

エネ ワ ボカ
このように / ~して / (指小辞)・も
どうにもこうにも

276 iki-ani ka

イキ・アニ カ
ものごと・をする・私は・[名詞化辞]
/ ~も…しない
私はしょうが

276 isam kane.

イサム カネ。
ない / ~して
なくなるほどであった。

277 Pon a-kor sapo

ボン ア・コロ サポ
年若い / 私は・~を持つ / 姉・(指小辞)
年若い私の姉

277 ouse sapa

オウセ サパ
ただ / 頭
のただ頭

278 a-shikoruye kane

ア・シコルイェ カネ
私は・自分・に向かって・を撫でさず
る / ~して
を私は抱きしめて愛撫して

279 a-koitak,

ア・コイタク、
私は・に・話す
姉と私は話をし、

279 "Koninkarkusu

「コニカラクス
それに・(挿入音)・見る・[熟語]
「よく聞いてください

280 pon a-kor sapo

ボン ア・コロ サポ
年若い / 私は・~を持つ / 姉・(指小辞)
年若い私の姉よ

280 itak-an chiki

イタク・アン チキ
言う・私は / ~するから
私が言うから

281 pirikano nu yan.

ピリカノ ヌ ヤン。
よい・(副詞形成) / ~を聞く / [命令]
よく聞きなさい。

281 Tane anakne

タネ アナクネ
今 / ある・すれば
今は

282 kamui e-ne kusu

カムイ エ・ネ クス
神 / あなたは・[繋詞] / [原因入理由]
神でああなたはあるから

283 nep ne yakka

ネプ ネ ヤッカ
何の・もの / [繋詞] / ~すると・も
何でも

283 e-eraman na.

エ・エラマン ナ。
あなたは・で・心・ある / [要求]
あなたは知っているのです。

284 Konep tap teta

コネプ タプ テタ
いったい何 / [強調] / ここ・[場所]
何とまあ

284 oikkeu ne wa

オイケウ ネ ワ

そこから・原因 / [繋詞] / ～して
それが理由となって

285 inunukashki

イヌヌカシキ

かわいそうである

かわいそうに

285 e-koiki-an ruwe

エ・コイキ・アン ルウェ

あなたを・～をいじめる・私は / こ
と八さま

あなたを私が打ったこと

286 e-wente-an ruwe

エ・ウェンテ・アン ルウェ

あなたを・悪くなる・させる・私は /
こと八さま

あなたを私が傷つけたこと

287 semkatune

セムカトゥネ

[否定辞]・[名詞化辞]・の次第・[繋詞]

残酷を極めること

287 okaibe ne ya.

オカイベ ネ ヤ。

～である・[名詞化辞] / [繋詞] / ～
か

であったのだろうか。

288 Ne kotan korobe

ネ コタン コロベ

どの八何の / 村 / ～を持つ・[名詞化辞]

どこの村のもの

288 ne moshiri korobe

ネ モシリ コロベ

どの八何の / 静かな・地 / ～を持
つ・[名詞化辞]

どこの国のもの

289 chihoiyore

チホイヨレ

[使役中相]される・悪事をする・させ
る

悪魔が憑き

289 chibauchikore ruwe

チバウチコレ ルウェ

[使役中相]される・魔物・を持つ・さ
せる / こと八さま

悪魔が取り憑いたこと

290 orsaureko

オロサウレコ

全く・軽い・[反語的副詞形成]

とんでもなく

290 ene okaii

エネ オカイイ

このように / ある・[名詞化辞]

このようであった

291 tambe ne ya.

タムベ ネ ヤ。

この・もの / [繋詞] / ～か

なのであろうか。

291 Tapne ikichip

タブネ イキチプ

これ・のように / する・[継続]・[名
詞化辞]

こうしたもの

292 anno ikichip

アンノ イキチプ

全く・(副詞形成) / する・[継続]・

[名詞化辞]

このようにしたものが

292 kor kotani

コロ コタニ

～を持つ / 村

領有する村を

293 orotunashno

オロトゥナシノ

そこ・早い・(副詞形成)

早速

293 i-ebakashnu wa

イ・エバカシヌ ワ

私に・について・を教える / ～して

私に教えて

294 i-kore yan.

イ・コレ ヤン。

私に・～に…を与える / [命令]

ください。

294 Atanan kunip

アタナン クニプ

ただの / ～するべき・もの

ただ普通のもの

295 nubur sak kunip

ヌブル サク クニプ

霊力がある / ～がない / ～するべ

き・もの

霊力のないもの

296 tusu sak kunip

トゥス サク クニプ

神おろしをする / ～がない / ～する

べき・もの

巫術のないもの

296 a-ne a yakka,

ア・ネ ア ヤッカ、

私は・[繋詞] / ～した(完了) / ～
すると・も

で私はあったけれど、

297 pon yayattasapo

ポン ヤヤッタサポ

少ない / 自分・に返礼する・[指小辞]

少し返報

298 a-ki kushne na.

ア・キ クシネ ナ。

私は・～をする / [目的・原因八理
由]・[繋詞] / [要求]

を私はするつもりです。

298 Konepkeukata

コネプケウカタ

いったい何・体・の上・に

まあ何ということだろう

P.13**299 konepkashita**

コネプカシタ

いったい何・の上・に

まあどうしたことだろう

299 sonno hetapne

ソンノ ヘタブネ

本当に / いったい～か・[繋詞]

ほんとうにまあ

300 nekon ikichi wa

ネコン イキチ ワ

どのように/する・[継続] / ～して

どのような

300 shiko kunip

シコ クニプ

目・がつく / ～するべき・もの

生まれ

301 baro kunip

バロ クニプ アネ ワ

口・がつく / ～するべき・もの

育ち

301 a-ne wa tapne

ア・ネ ワ タプネ

私は・[繋詞] / ～して / これ・のよ
うに

で私はあって

302 senne wenno

センネ ウェンノ

[否定辞] / 悪い・(副詞形成)

立派な

303 kamui ewaki

カムイ エワキ
立派だ / に・(?)・する所
立派な御座所

303 upsoroho

ウプ ソロホ
内部におおわれている・ところ
の内部

303 a-eshikup

ア・エシクプ
私は・そこに・成長する
で私は成長した

304 ruwe okai.

ルウェ オカイ。
ことハさま / ～ですか
ことなのだろうか。

304 Orowa

オロワ
そこ・から
それから

305 sonno oar

ソンノ オアラ
本当に / 全く
ほんとうにまったく

305 seta poka

セタ ポカ
犬 / (指小辞)・も
犬でも

305 eabasakbe

エアバサクベ
で・親戚・を持たない・[名詞化辞]
親戚のいないもの

306 a-ne wa hetapne

ア・ネ ワ ヘタプネ
私は・[繫詞] / ～して / いったい～
か・[繫詞]
で私はあるのかまあ

306 naa somo

ナア ソモ
まだ / [否定辞]
まだ

307 yaishinritka-

ヤイシンリツカ
自分・地・すじ・の上
自分の先祖

307 a-eraman aine,

ア・エラマン アイネ、
私は・で・心・ある / ～した(完了)・
～して
を私は知らずに、

308 pon a-kor sapo

ボン ア・コロ サポ
年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小辞)
年若い私の姉が

309 pirika shiri

ピリカ シリ
よい / ～するハしている様子
立派なこと

309 a-i-yekeshke shiri

ア・イ・イエケシケ シリ
人が・私を・(挿入音)・について・を
妬む / ～するハしている様子
それで私は妬まれたこと

310 okai." ari

オカイ。」 アリ
～である / ～と
である。」と

310 itak-an kane,

イタリ・アン カネ、
言う・私は / ～して
私は言って、

311 chish turanno

チシ トウランノ
泣く / を同伴する・(挿入音)・(副詞形成)
泣きながら

311 pon a-kor sapo

ボン ア・コロ サポ
年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小辞)
年若い私の姉

312 ouse saba

オウセ サバ
ただ / 頭
ただその頭

312 a-etoibukar.

ア・エトイブカラ。
私は・で・土・倉・をつくる
で私は土の倉をつくった。

313 Tap orowa sui

タップ オロワ スイ
たった今 / 所・～から / また
たった今からまた

313 terke-an kane

テレケ・アン カネ
(擬態の語根)・(自動詞形成)・私は /
～して
私は跳ねて

314 bash-an kane

バシ・アン カネ
走る・私は / ～して
私は走って

314 oman-an aine sui,

オマン・アン アイネ スイ、
行く・私は / ～した(完了)・～して
/ また
私は行ってまた、

315 pon a-kor sapo

ボン ア・コロ サポ
年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小
辞)
年若い私の姉

316 netobake

ネトバケ
体
の身体

316 a-ekehe

ア・エケヘ
私は・で・折れる
を私は折り

316 a-osura wa okai.

ア・オスラ ワ オカイ。
私は・～を捨てる / ～して / [接続
助詞の後に置かれる]
その身体を私は投げ捨てている。

317 Eashka sui

エアシカ スイ
それこそ・～も / また
それこそまた

318 kurkashike

クルカシケ
上
その上

318 a-yayeshirpa kane

ア・ヤイエシリパ カネ
私は・自分・そこに・をこする / ～
して
に私は自身を擦りつけて

319 a-shikoruye kane,

ア・シコロイェ カネ、
私は・自分・に向かって・を撫でさす
る / ～して
姉の身体を私は抱きしめて愛撫して、

320 kewe a-humsu

ケウェ ア・フムス
骸 / 私は・(擬音の語根)・と言う
姉を私は祝福し

320 a-shikoruye

ア・シコロイェ
私は・自分・に向かって・を撫でさす
る
姉を私は抱き締めて愛撫し

321 nepka wen chikoikip hene

ネプカ ウェン チコイキプ ヘネ

何の・もの・～も / 悪い / [使役中相]

される・を襲う / 獲る・[名詞化辞] /

～でも

何か悪い獲物でも

322 wen chikap hene

ウェン チカプ ヘネ

悪い / 鳥 / ～でも

悪い鳥でも

323 nitne kamui hene

ニツネ カムイ ヘネ

悪い / 神 / ～でも

魔神でも

323 pon sapo

ポン サポ

年若い / 姉・(指小辞)

年若い姉

P.14**324 netobake**

ネトバケ

体

の身体

324 soiba kuni boo

ソイバ クニ ボオ

～をえぐる / ～する(べき)こと / な

おいつそう

をえぐることはなおいつそう

325 a-niukesh kusu,

ア・ニウケシクス、

私は・～をしようと思ってもすることが

できない / [原因 / 理由]

私はできないから、

325 terke tuikata

テレケ トゥイカタ

(擬態の語根)・(自動詞形成) / ～

している最中・[時間的位置]

跳びながら

326 kimatek tuikata sui

キマテク トゥイカタ スイ

びっくりする / ～している最中・[時

間的位置] / また

びっくりしながらまた

327 pirika boro

ピリカ ボロ

立派だ / 大きい

立派な大きい

327 toiebunip a-kar

トイェブニプ ア・カラ

土・で・を持ち上げる・[名詞化辞] /

私は・～をつくる

土饅頭を私はつくり

328 tane resui anta

タネ レスイ アンタ

今 / 三つの・回 / ある / いる・[名詞

化辞]・[時間的位置]

今三度も

329 pon a-kor sapo

ポン ア・コロ サポ

年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小辞)

年若い私の姉

329 netobake

ネトバケ

体

の身体を

330 ebittano

エビッタノ

全部・(副詞形成)

何から何まで残らず

330 ukaye somokino

ウカイエ ソモキノ

互い・折れる・(他動詞形成) / [否

定辞]・～をする・[副詞形成]

一緒に折らずに

331 a-etoibukar

ア・エトイブカラ

私は・で・土・倉・をつくる

それで私は土の倉をつくり

331 irushka ka ta

イルシカ カタ

ものごと・を腹立たしく思う / 上 /

[空間的位置]

腹立たしく思いながら

332 oknatara ka ta

オクナタラ カタ

悲しくてうなだれる・(状態が続いているこ

とを表す接尾辞) / 上 / [空間的位置]

悲しみにうちひしがれながら

332 iki korokaiki

イキ コロカイキ

ものごと・ををする / けれども・もの

ごと・ををする

ではあるけれど

333 a-eramushinne kane,

ア・エラムシンネ カネ、

私は・について・心・地面・である / ～して

それで私は安心して、

334 raboketa

ラボケタ

～している間・[時間的位置]

そのときに

334 tane shirikunne

タネ シリクンネ

今はもう / あたり・暗い

今はもう日が暮れ

335 ene wa boka

エネ ワ ボカ

このように / ～して / (指小辞)・も

どうにもこうにも

335 iki-ani ka isam.

イキ・アニ カイサム。

ものごと・ををする・私は・[名詞化辞]

/ ～も…しない / ない

私はしようがない。

336 Ine hunak un

イネ フナク ウン

どちら / どこ / [連用句形成]

どこやりに

336 hauke rera

ハウケ レラ

(擬態の語根)・(自動詞形成) / 風

弱い風

337 rera etoko

レラ エトコ

風 / 先

風の方

337 a-i-yekoshne-

ア・イ・イエコシネ

人が・私を・(挿入音)・そこに・軽く

に私は軽やかに

338 buni kane

ブニ カネ

～を持ち上げる / ～して

吹き上げられて

338 oman-an

オマン・アン

行く・私は

私は行き

339 ine hunak ta

イネ フナク タ

どちら / どこ / [空間的位置]

どこやりに

339 oman-an awa,

オマン・アン アワ、

行く・私は / ～したところ

私は行くと、

340 kunne to ta

クンネ ト タ

影・である / 日 / [時間的位置]

真っ暗闇の夜

340 kuroma to ta

クロマ ト タ

影入姿・にある / 日 / [時間的位置]

暗い夜中

341 iki korokaiki

イキ コロカイキ

ものごと・をする / けれども・もの

ごと・をする

ではあるけれど

341 konep kotani

コネブ コタニ

いったい何 / 村

いったい何村

342 kotan kankuri

コタン カンクリ

村 / 上の・影

村のてっぺん

342 i-koyairikta-

イ・コヤイリクタ

私に・に向かって・自分・高く・に

を私に向かって高々と

343 buni kane

ブニ カネ

～を持ち上げる / ～して

持ち上げて

343 oman aine,

オマン アイネ、

行く / ～した (完了)・～して

行くと、

344 tane a-koehanke wa

タネ ア・コエハンケ ワ

今はもう / 私は・に向かって・その

頭・近い / ～して

今はもうその村に私は近づいて

344 inkar-an ko,

インカラ・アン コ、

もの・を見る・私は / ～すると

私は見てみると、

345 tam boro to

タム ボロ ト

この / 大きい / 沼

この大きい沼

345 to bake

ト バケ

沼 / 上手

沼の上手が

346 homar kane

ホマラ カネ

かすかである / ～して

ぼんやりと見えて

346 to kesehe

ト ケセヘ

沼 / 下手

沼の下手が

346 homar kane

ホマラ カネ

かすかである / ～して

ぼんやりと見えて

347 chup nubek

チュブ ヌベク

月 / 光輝

月の光

347 to kurkashi

ト クルカシ

沼 / 上

沼のおもてが

348 komaknatara

コマクナタラ

(擬音語・擬態語を導く接頭辞)・(開

いて明るいことを表す語根)・(状態が

続いていることを表す接尾辞)

はるかに広々と開け

P.15**349 to kurkashi**

ト クルカシ

沼 / 上

沼のおもてが

349 rakrak baye

ラクラク バイエ

晴れ・(重複) / 行く

晴れていき

350 an-ramasu

アン・ラマス

私は・～をおもしろく思う

私は非常に

350 a-uwesuye.

ア・ウウエスイエ。

私は・～が楽しい

私は気持ちがよい。

351 Tonoshkike

トノシキケ

日 / 真ん中

真昼

351 chibuni tapkop

チブニ タブコフ

[中相]される・を持ち上げる / 丸い山

険しい丸山が

352 chieashi

チエアシ

[使役中相]される・そこに・を立てる

聳え

352 tapka kashi

タブカ カシ

上 / 上

その上に

353 chise eroshki

チセ エロシキ

家 / そこに・を立てる

家が建っている

353 chashi eroshki noine

チャシ エロシキ ノイネ

[中相]される・を立てる・ところ / そ

こに・を立てる / ～らしく

城が建っているらしく

354 iramu-an

イラム・アン

もの・を思う・私は

私には思われ

355 to bishkani

ト ビシカニ

沼 / 周囲

沼の周囲に

355 inne kotan

インネ コタン

大人数である / 村

大勢の村が

356 chikosheshe

チコセシケ

[使役中相]される・に対して・をおおう

ぎっしりとつまり

356 makun kotan

マクン コタン

奥・にある / 村

山手の村は

357 chinitaikoboipa kane,

チニタイコボイパ カネ、

[使役中相]される・林・と一緒に・を

混ぜる / ～して

林と混じり合って、

358 to bake

ト バケ

沼 / 上手

沼の上手に

358 chibuni tapkopチブニ タブ^ニ コブ[中相]される・を持ち上げる / 丸い山
険しい丸山が**359 chieashi**

チエアシ

[使役中相]される・そこに・を立てる
聳え**359 tapkop ka un**タブ^{コブ} カ ウン丸い山 / 上 / [連用句形成]
丸山の上に**360 a-kon ram konna**

ア・コン ラム コンナ

私は・～を持つ / 心 / [韻律調整]

私の心は

360 chiturituri.

チトゥリトゥリ。

[使役中相]される・を伸ばす・(重複)
伸びていった。**361 Tambe kusu**

タムベ クス

この・もの / [原因∧理由]
それゆえに**362 chikap hobuni**

チカブ ホブニ

鳥 / 尻・を持ち上げる
鳥が飛び上る**362 a-shikobayar**

ア・シコバヤラ

私は・自分・を～と間違える・させる
私はふりをし**363 oserhum sakno**

オセルフム サクノ

その尻・(擬音の語根)・音 / がない・
(副詞形成)
こっそりと**363 tapkop kashi**タブ^{コブ} カシ丸い山 / 上
丸山の上**364 a-kohobuni**

ア・コホブニ

私は・に・立ち上がる
に私は飛び上り**364 inkar-an ko,**

インカラ・アン コ、

もの・を見る・私は / ～すると
私は見てみると、**365 tapkop ka ta**タブ^{コブ} カ タ丸い山 / 上 / [空間的位置]
丸山の上に**365 tan boro chise**

タン ボロ チセ

この / 大きい / 家
この大きい家**366 tam boro chashi**

タム ボロ チャシ

この / 大きい / [中相]される・を立てる・ところ
この大きい城が**367 uworeroshki**

ウウォレロシキ

互い・(挿入音)・その尻・(挿入音)・
そこに・を立てる
重なり合うようにして立ち**367 iyainumare**

イヤイヌマレ

人を・自分・驚き起つ・させる
驚いたことに**368 a-ewak ushike**

ア・エワク ウシケ

私たちは・そこに・(?) / する習慣
のある・ところ
私たちの住み家**368 ekasu kunip**

エカス クニブ

その頭・を凌ぐ / ～するべき・もの
に優るもの**369 eturbak kunip**

エトゥルバク クニブ

について・匹敵する / ～するべき・
もの
それに匹敵するもの**370 ne nankora,**

ネ ナンコラ、

[繫詞] / 顔・を持つ・～か
であるのだろうか、**370 chise soinake**

チセ ソイナケ

家 / 外側
家の外側**371 chashi soinake**

チャシ ソイナケ

[中相]される・を立てる・ところ / 外
側
城の外側**372 huihuinawano**

フイフイナワノ

どこか・(重複)・の方・から・(副詞
形成)
どこからどこまで**372 a-koomommomo**

ア・コオモンモモ

私は・に対して・を詳しく述べる
私はつまびらかにし**373 a-reka kashpa.**

ア・レカ カシパ。

私は・～をほめる / ～しすぎる
それに私は大いに感嘆した。**P.16****374 Chiare abe**

チアレ アベ

[使役中相]される・燃える・させる /
火
燃えている火は**374 soi ta barse**

ソイ タ バラセ

外 / [空間的位置] / (擬態の語根)・
と言う
戸外で燃え上がり**375 humi mo apkash**

フミ モ アブカシ

音 / 静かである / 歩く
音も静かに歩き**375 a-kourebentok-**

ア・コウレベントク

私は・に対して・足・上の・突き出し
私は足先**376 kiru kane,**

キル カネ、

～の向きを変える / ～して
を向けて、**377 rorunburai ne**

ロルンブライ ネ

神座・にある・窓 / ～に(なる)
神窓の方**377 a-koyaitunashka**

ア・コヤイトウナシカ

私は・に向かって・自分・早い・(他
動詞形成)

に私は急いで向かい

378 ratki burai

ラツキ ブライ

下方・(自動詞形成) / 窓
垂らしてある窓の帳

379 burai chinki

ブライ チンキ
窓 / 裾
窓の帳の裾

379 a-kokkaechiu

ア・コッカエチウ
私は・ひざ・そこに・に刺さる
に私はひざまずき

380 burai kurkashi

ブライ クルカシ
窓 / 上
窓の上

380 a-nankotukka

ア・ナンコトゥッカ
私は・顔・にくつつく・(他動詞形成)
に私は顔をくっつけ

381 sepka utur

セプカ ウトゥル
広い糸 / 間
糸の編み目の広いところ

382 a-shikbosore

ア・シクボソレ
私は・目・で・を突き抜ける・させる
に私は目を通し

382 inkar-an ko,

インカラ・アン コ、
もの・を見る・私は / ～すると
私は見てみると、

383 iyainumare

イヤイヌマレ
人を・自分・驚き起つ・させる
驚いたことに

383 tam boro chise

タム ボロ チセ
この / 大きい / 家
この大きい家

384 upsoroho

ウプソロホ
内部におおわれている・ところ
の内部は

384 kamui korobe

カムイ コロベ
神 / ～を持つ・[名詞化辞]
神の宝物

385 a-etomte

ア・エトムテ
人が・で・光る・させる
で飾られ

385 chise upsororo

チセ ウプソロ
家 / 内部におおわれている・ところ
家の中は

386 maknatara

マクナタラ
(明るさや開放を表す語根)・(状態が
続いていることを表す接尾辞)
明るく輝き

386 ikit tukari

イキツ トウカリ
列 / 手前
宝壇の手前に

387 chituye amset

チトゥイエ アムセツ
[中相]される・を切る / (?)・寝台
移動自在の寝台

387 kani amset

カニ アムセツ
金属 / (?)・寝台
黄金の寝台が

388 chishituri.

チシトゥリレ。
[使役中相]される・伸びる・させる
伸びている。

388 Amset bake

アムセツ バケ
(?)・寝台 / 上手
寝台の上手

389 kani tumbu

カニ トムブ
金属 / 部屋
黄金の部屋

389 ash ruwe konna

アシルウェ コンナ
立つ / こと八さま / [韻律調整]
の立つさまが

390 kinnatara

キンナタラ
(擬態の語根)・(状態が続いているこ
とを表す接尾辞)
厳めしく

390 tumbu kitai

トムブ キタイ
部屋 / てっぺん
部屋の屋根に

391 okutchi urar

オクツチ ウララ
薄くかける / 霧
薄くかける霧が

391 chikonoiba kane,

チコノイバ カネ、
[使役中相]される・と一緒に・をね
じる / ～して
立ちなびいて、

392 shiso sam ta

シソ サム タ
主要な・座 / そば / [空間的位置]
右座の側に

393 iyainumare

イヤイヌマレ
人を・自分・驚き起つ・させる
驚いたことに

393 tanepo tapne

タネポ タプネ
今・(指小辞) / これ・のように
今初めて

394 okkayo ari a-yep

オッカヨ アリ ア・イエフ
男 / ～と / 人が・～を言う・[名詞化辞]
男というもの

394 a-nukar kusu

ア・ヌカラ クス
私は・～を見る / [原因^理由]
を私は見るに

395 boro shikupkur

ボロ シクプクル
大きい / 成長する・人
年取った翁が

396 okai nankora,

オカイ ナンコラ、
ある^いる / 顔・を持つ・～か
いるのだろうか、

396 kani kosonte

カニ コソント
金属 / 小袖
黄金の小袖

397 arutomechiu

アルトメチウ
全く・互い・の中・そこに・に刺さる
を全身に襲ねて着て

397 uwokkanikut

ウウオクカニクツ
互い・(挿入音)・に引っかかる・金属・
帯
黄金の鎖

398 tumamkosaipa

トゥマムコサイパ
胴・と一緒に・を巻く
を胴に巻きつけ

398 kani kasa

カニ カサ
金属 / 笠
黄金の笠

P.17**399 kasa ran tubep**

カサ ラン トゥベフ
笠 / 下の方・(自動詞形成) / かけた結び
笠の垂れた紐の結び目

400 eyaisannanka-

エヤイサンナンカ
で・自分・前の・顔・の上
でもって自身の顔の上

400 yuppa kane,

ユッパ カネ、
～をきつく締める / ～して
をきつく締めて、

401 kasa kep sam ta

カサ ケフ サム タ
笠 / 縁 / そば / [空間的位置]
笠の縁のわきに

401 nan nubeki

ナン ヌベキ
顔 / 光輝
顔の光が

402 maknatara kane,

マクナタラ カネ、
(明るさや開放を表す語根)・(状態が続い
ていることを表す接尾辞) / ～して
明るく輝いて、

403 uturke ta

ウトウルケ タ
下座 / [空間的位置]
下座に

403 boro shikup mat

ボロ シクフ マツ
大きくなる / 成長する / 女
成長して一人前の女が

404 okai nankora,

オカイ ナンコラ、
あるハいる / 顔・を持つ・～か
いるのだろうか、

404 tane eashiri

タネ エアシリ
今 / で・新しい
今初めて

405 kamui chikirbe

カムイ チキリベ
立派だ / 刺繍を施す・[名詞化辞]
立派な刺繍衣

406 kani chikirbe

カニ チキリベ
金属 / 刺繍を施す・[名詞化辞]
黄金の刺繍衣

406 arutomechiu

アルトメチウ
全く・互い・の中・そこに・に刺さる
を全身に襲ねて着て

407 kamui chibanup

カムイ チバヌフ
立派だ / [中相]される・頭に巻く・もの
立派な鉢巻き

408 erurikikur-

エルリキクル
で・すじ・上へ・(韻律調整)
でもって髪を高く

408 raipa kane,

ライパ カネ、
～をやる / ～して
押しやって、

409 kamui otobi

カムイ オトビ
立派だ / 髪の毛
立派な髪の毛が

409 sarambe ka ne

サラムベ カネ
絹 / 糸 / ～に (なる)
絹糸のように

410 ekimui kashi

エキムイ カシ
そこに・頭 / 上
その頭の上

410 chiusurure

チウスルレ
[使役中相]される・互い・を蔽う・させる
に覆い被さり

411 otop etoko

オトフ エトコ
髪の毛 / 先
髪の毛の先が

411 chioimerukotpa kane,

チオイメルコツパ カネ、
[使役中相]される・そこに・稲光・に
～を結びつける / ～して
光り輝いて、

412 reuboki ta

レウボキ タ
曲がって斜めになっているもの
の下側 / [空間的位置]
その下に

412 kamui sannanu

カムイ サンナヌ
神 / 前の・顔
神々しい顔が

413 shikush toi kunne

シクシ トイ クンネ
日差し / 集合 / 影ハ形ハ様・として
日光のように

414 komaknatara

コマクナタラ
(擬音語・擬態語を導く接頭辞)・(開
いて明るいことを表す語根)・(状態が
続いていることを表す接尾辞)
輝き

414 ene wa boka

エネ ワ ボカ
このように / ～して / (指小辞)・も
どうにもこうにも

415 a-ukai ka

ア・ウカイ カ
私は・～をほめる・[名詞化辞] / ～
も…しない
私は褒め称えようも

415 isam kane.

イサム カネ。
ない / ～して
なくなるほどであった。

416 Hoka etok ta

ホカ エトク タ
尻・の上 / 先 / [空間的位置]
炉火の先で

416 tap i-kotbok ta

タブ イ・コツボク タ
このように / 私の・(?)・の下ハす
ぐそば / [空間的位置]
このように私より先に

417 ahupbe

アフフベ
(家などに) 入る・[名詞化辞]
入ったもの

417 ne kotom ne

ネ コトム ネ
[繫詞] / ～かのように / [繫詞]
のようで

418 pon urar tapkop

ボン ウララ タフ コフ
小さい / 霧 / 丸い山
小さい霧の小山が

- 419 ukirsam erok**
ウキリサム エロク
互い・足・のそば / そこに・座る
互いに膝を並べて座り
- 419 urar tumu**
ウララ トウム
霧 / 中
霧の中心
- 420 a-shikechari wa**
ア・シケチャリ ワ
私は・目・で・を散らす / ～して
を私は目で払いのけて
- 421 inkar-an ko,**
インカラ・アン コ、
もの・を見る・私は / ～すると
私は見てみると、
- 421 sonno ubakno**
ソンノ ウバクノ
本当に / 互い・ほど・(副詞形成)
ほんとうに同じように
- 422 ubakno hene**
ウバクノ ヘネ
互い・ほど・(副詞形成) / ～でも
同じようにでも
- 422 shikup apkoro okai**
シクプ アプ コロ オカイ
成長する / まるで～したかのように
/[接続助詞の後に置かれる]
まるで成長したかのようにある
- 423 pon ainu pon kur**
ポン アイヌ ポン クル
年若い / 人間 / 年若い / ～の人
年若い少年が
- P.18**
- 424 ashiknen**
アシクネン
五の・(人数)
五人
- 424 chitomte reshbp**
チトムテ レシバプ
[使役中相]される・光る・させる / ～
を育てる・[名詞化辞]
飾り立てられて育ったもの
- 425 chiarareshbp**
チアラレシバプ
[使役中相]される・を美しくする・を
育てる・[名詞化辞]
美しく育ったもの
- 426 sone kusu,**
ソネ クス、
本当・である / [原因/理由]
であるから、
- 426 shine ikinne**
シネ イキンネ
一つの / まとまり・[繫詞]
いっせいに
- 427 kani kosonte**
カニ コソント
金属 / 小袖
黄金の小袖
- 428 arutomechiu**
アルトメチウ
全く・互い・の中・そこに・に刺さる
を全身に襲ねて着て
- 428 obittano**
オビッタノ
皆・(副詞形成)
みなことごとく
- 429 irbe sone**
イリベ ソネ
ひとつづき・[名詞化辞] / 本当・で
ある
親類のものであり
- 429 shine shikbui**
シネ シクブイ
一つの / 目・穴
一つ目つき
- 430 shine rachiu**
シネ ラチウ
一つの / 眉・流れ
一つ眉つき
- 430 ukoturpa kane,**
ウコトゥルパ カネ、
一緒に・を伸ばす / ～して
を一緒に並べて、
- 431 obittano**
オビッタノ
皆・(副詞形成)
みなことごとく
- 431 shine imi**
シネ イミ
一つの / 着物
一つの着物
- 432 shine imut**
シネ イムツ
一つの / もの・を佩く
一つの佩刀
- 432 ukoturpa kane,**
ウコトゥルパ カネ、
一緒に・を伸ばす / ～して
を一緒に並べて、
- 433 tanepo ne wa ka**
タネポ ネ ワ カ
今・(指小辞) / [繫詞] / ～して /
～も
今になって
- 433 a-ikip ne kotomno**
ア・イキプ ネ コトムノ
私は・～をする・[名詞化辞] / [繫詞]
/～ように見えて・(副詞形成)
私もそうであるものであるらしく
- 434 tuima bashbe**
トゥイマ バシベ
遠い / 走る・[名詞化辞]
遠く走って来たもの
- 435 ne kotomno**
ネ コトムノ
[繫詞] / ～ように見えて・(副詞形成)
であるらしく
- 435 obittano**
オビッタノ
皆・(副詞形成)
みなことごとく
- 435 shinki ibor**
シンキ イボロ
疲れる / 顔つき
疲れた顔色
- 436 eibottumu**
エイボットウム
で・顔つき・色
その顔色が
- 436 shinnai kane,**
シンナイ カネ、
違う・(挿入音) / ～して
違っていて、
- 437 konubopbeta-**
コヌボプベタ
に・汗・で
汗を
- 438 rikan kane**
リカン カネ
湿る / ～して
びっしょりかいて
- 438 okai wa,**
オカイ ワ、
[接続助詞の後に置かれる] / ～して
いて、

438 tanepo yayabekosapte kane

タネポ ヤヤベコサプテ カネ
今・(指小辞) / 自分・火・に・出る・
させる / ～して
今火にあたって

440 obittano

オビッタノ
皆・(副詞形成)
みなことごとく

440 kani kosonte

カニ コソソテ
金属 / 小袖
黄金の小袖を

441 ninaimine

ニナイミネ
無垢に・衣服を着る・である人になる
無双に

441 arutomechui

アルトメチウ
全く・互い・の中・そこに・に刺さる
全身に襲ねて着て

442 kani pon kasa

カニ ポン カサ
金属 / 小さい / 笠
黄金の小さい笠

443 kasa ran tubep

カサ ラン トゥベフ
笠 / 下の方・(自動詞形成) / かけた結び
笠の垂れた紐の結び目

443 yaikoyuppa kane,

ヤイコユッパ カネ、
自分・に・をきつく締める / ～して
を自分にきつく締めて、

444 boro shikupkuru

ボロ シクプクル
大きい / 成長する・人
年取った翁

445 shikbui un ruwe

シクブイ ウン ルウェ
目・穴 / ～にある / こと入さま
の目つき

446 rachiu un ruwe

ラチウ ウン ルウェ
眉・流れ / ～にある / こと入さま
眉つき

446 horkasuipa kane okai

ホロカスイパ カネ オカイ
逆方向に・を揺らす / ～して / [接
続助詞の後に置かれる]
をすっかり真似をしていて

447 nepba shino

ネプバ シノ
何の・もの・～も / 本当である・(副
詞形成)
何かじつに

448 emina rusuipa kunip

エミナ ルスイパ クニフ
について・笑う / したい・(複数) / ～
するべき・もの
それで笑いたくなるもの

P.19**449 shisembirun**

シセムビルン
自分・の陰・[連用句形成]
自分の後ろの方に

449 ukohosarpa ko,

ウコホサラパ コ、
一緒に・その尻・(?) / ～すると
一緒に振り返ると、

450 shino hemanta ambe

シノ ヘマンタ アムベ
本当である・(副詞形成) / 何 / ある
入いる・[名詞化辞]
じつに何かか

450 eshikarumba wa,

エシカルムバ ワ、
を思い出す・(複数) / ～して
を思い出して、

451 shino emina rusuipa shiri

シノ エミナ ルスイパ シリ
本当である・(副詞形成) / について・笑う
/ したい・(複数) / ～する入している様子
じつにそれを笑いたい様子

452 shino a-oyamokte.

シノ ア・オヤモクテ。
本当である・(副詞形成) / 私は・～
を不思議に思う
をじつには不思議に思った。

452 Harkisotta

ハラキソッタ
左側の・座・の所・[空間的位置]
左座の

453 pon urar tapkop

ボン ウララ タプコフ
小さい / 霧 / 丸い山
小さい霧の小山が

453 shuke kusu

シュケ クス
鍋・(自動詞形成) / [目的]
炊事するために

454 shu chorbok

シュ チョロボク
鍋 / 下
鍋の下に

454 abe are kusu

アベ アレクス
火 / 燃える・させる / [目的]
火を燃やすために

455 eusheush

エウシエウシ
その頭・につく・(重複)
向かって行き

455 urar tumu

ウララ トウム
霧 / 中
霧の中心

455 a-shikechari

ア・シケチャリ
私は・目・で・を散らす
を私は目で払いのけ

456 inkar-an ko,

インカラ・アン コ、
もの・を見る・私は / ～すると
私は見てみると、

456 pom menoko

ポム メノコ
年若い / 女
年若い女

456 tum pa ne wa

トゥム パ ネ ワ
この※tum は tam の誤記 / 年 /
[繫詞] / ～して
今年あたり

457 i-turbakno

イ・トゥルバクノ
私に・匹敵する・[副詞形成]
私に匹敵するぐらいに

457 chishikupka

チシクプカ
[使役中相]される・成長する・(他動
詞形成)
成長した

458 kotomno

コトムノ
～ように見えて・(副詞形成)
ように

458 a-ramup

ア・ラムプ
私は・心・(他動詞形成)・[名詞化辞]
私が思うもの

458 chitomte reshup

チトムテ レシユブ

[使役中相]される・光る・させる / ～
を育てる・[名詞化辞]
飾り立てられて育ったもの**459 chiara reshup**

チアラ レシユブ

[使役中相]される・を美しくする / ～
を育てる・[名詞化辞]
美しくして育ったもの**459 sone kusu,**

ソネ クス、

本当・である / [原因∧理由]
であるから、**460 kamui chikirbe**

カムイ チキリベ

立派だ / 刺繍を施す・[名詞化辞]
立派な刺繍衣**460 kani chikirbe**

カニ チキリベ

金属 / 刺繍を施す・[名詞化辞]
黄金の刺繍衣を**461 ninaimine**

ニナイミネ

無垢に・衣服を着る・である∧になる
無双に**461 arutomechiu**

アルトメチウ

全く・互い・の中・そこに・に刺さる
全身に襲ねて着て**462 kisar kashike**

キサラ カシケ

耳 / 上
耳の上**462 rekut kashike**

レクツ カシケ

のど / 上
喉の上**463 koikatara**

コイカタラ

に・あふれる・(状態を表す接尾辞)
に飾りをいっぱいつけ**463 kamui otobi**

カムイ オトビ

立派だ / 髪の毛
立派な髪の毛が**463 ekimui kashi**

エキムイ カシ

そこに・頭 / 上
その頭の上を**464 sarambe kunne**

サラムベ クンネ

絹 / 影∧形∧様・として
絹のように**464 chiesurure**

チエスルレ

[使役中相]される・で・広がる・させ
る
覆いつくし**465 otop etoko**

オトブ エトコ

髪の毛 / 先
髪の毛の先が**465 chioimerukotpa kane,**

チオイメルコツパ カネ、

[使役中相]される・そこに・稲光・に
～を結びつける / ～して
光り輝いて、**466 reuboki ta**

レウボキ タ

曲がって斜めになっているもののそ
の下側 / [空間的位置]
その下に**466 kamui sannanu**

カムイ サンナヌ

神 / 前の・顔
神々しい顔が**467 shikush toi kunne**

シクシ トイ クンネ

日差し / 集合 / 影∧形∧様・として
日光のように**467 komaknatara**

コマクナタラ

(擬音語・擬態語を導く接頭辞)・(開
いて明るいことを表す語根)・(状態が
続いていることを表す接尾辞)
輝き**468 boro shikup mat**

ボロ シクブ マツ

大きくなる / 成長する / 女
成長して一人前の女**468 shikbui un ruwe**

シクブイ ウン ルウェ

目・穴 / ～にある / こと∧さま
の目つき**469 rachiu un ruwe**

ラチウ ウン ルウェ

眉・流れ / ～にある / こと∧さま
眉つき**470 horkashuipa kane,**

ホロカシユイパ カネ、

逆方向に・を揺らす / ～して
をそっくりまねて、**470 ene wa boka**

エネ ワ ボカ

このように / ～して / (指小辞)・も
どうにもこうにも**471 a-rekai ka**

ア・レカイ カ

私は・～をほめる・[名詞化辞] / ～
も…しない

私は褒め称えようも

471 isam kane okai.

イサム カネ オカイ。

ない / ～して / [接続助詞の後に置
かれる]
ないでいる。**472 Boro shikupkuru**

ボロ シクブクル

大きい / 成長する・人
年取った翁**472 boro shikup**

ボロ シクブ

大きい / 成長する
年取ったものが**473 shine ikinne**

シネ イキンネ

一つの / まとまり・[繫詞]
いっせいに**473 erorun**

エロルン

その頭・上座・の方へ
横座の**473 ashikne okkaipo**

アシクネ オッカイポ

五・である / 男・(指小辞)
五人の男**P.20****474 kohebumpa**

コヘブンバ

に向かって・頭・を持ち上げる
に顔を上げ**474 huihuinawano**

フイフイナワノ

どこか・(重複)・の方・から・(副詞
形成)

どこからどこまで

475 uwampare kane,

ウワンパレ カネ、
互い・(挿入音)・を手に持つ・させる
/ ~して
よく見て調べて、

475 shine itak

シネ イタク
一つの / 言葉
一つの言葉

476 eubaemko-

エウバエムコ
について・互い・口・半分
をお互いに口の半分で

476 uina hawe

ウイナ ハウェ
~を取る / (~と言った) こと
受け取ったこと

476 ehautum konna

エハウトゥム コンナ
で・声・の中 / [韻律調整]
その声の中心が

477 tununitara

トゥヌニタラ
(擬音の語根)・(状態が続いているこ
とを表す接尾辞)
美しく響き

477 ene okaii.

エネ オカイイ。
このように / ある・[名詞化辞]
次のようであった。

478 "Nep kushta

「ネプ クシタ
何 / [理由・目的]・[強調]
「何のために

478 tan an to otta

タン アン ト オッタ
この / [熟語] / 日 / の所・[空間
的位置]
今日という日に

478 echi-sap moire kashpa

エチ・サプ モイレ カシパ
あなたたちは・下る / 遅い / ~しす
ぎる
あなたたちは帰って来るのが遅すぎ

479 tambe kusu

タムベ クス
この・もの / [原因∧理由]
それゆえに

479 shino nisomap-an koro

シノ ニソマプ・アン コロ
本当である・(副詞形成) / 心配す
る・私は / ~しながら
じつに私は心配しながら

480 echi-tere-an wa

エチ・テレ・アン ワ
あなたたちを・~を待つ・私は / ~して
あなたたちを私は待って

481 okai-an awa,

オカイ・アン アワ、
[接続助詞の後に置かれる]・私は /
~したところ
私はいたところ、

481 pirika kuni ne

ピリカ クニ ネ
よい / ~する(べき) こと / ~に(な
る)
よいぐあいに

481 konep ebetchiu

コネプ エベッチウ
いったい何 / それで・指・をさす
いったい何障害も

482 koisamno

コイサムノ
(叙述を導く)・ない・(副詞形成)
まったくなく

482 echi-sap

エチ・サプ
あなたたちは・下る
あなたたちは帰って来て

483 echi-omuken

エチ・オムケン
あなたたちは・獲物がとれない
あなたたちは獲物がとれず

483 shine pon isepo boka

シネ ポン イセポ ボカ
一つの / 小さい / (擬音の語根)・と
言う・(指小辞) / (指小辞)・も
一匹の小さい兎さえ

484 echi-eomuken yakka,

エチ・エオムケン ヤッカ、
あなたたちは・に関して・獲物がとれ
ない / ~すると・も
あなたたちは獲れなくても、

484 nepka yaihumshu ka

ネプカ ヤイフムシュ カ
何の・もの・~も…しない / 自分・(擬
音の語根)・と言う / ~も…しない
何の雄叫びの声も

485 isamno

イサムノ
ない・[副詞形成]
なくて

486 echi-sap ko

エチ・サプ コ
あなたたちは・下る / ~すると
あなたたちが帰って来ると

486 anakne

アナクネ
ある・すれば
は

486 sonno ramushinne-an

ソンノ ラムシンネ・アン
本当に / その心・地面・である・私
は
ほんとうに私は安心した

487 ruwe ne." ari

ルウェ ネ。」 アリ
こと八さま / [繫詞] / ~と
のです。」と

488 hawash awa,

ハワシ アワ、
声・する / ~したところ
言ったところ、

488 ashikne okkaipo

アシクネ オッカイポ
五・である / 男・(指小辞)
五人の男は

489 shine itak

シネ イタク
一つの / 言葉
一つの言葉

489 eubaemko-

エウバエムコ
について・互い・口・半分
をお互いに口の半分で

489 uina kane

ウイナ カネ
~を取る / ~して
拾い合って

490 ene haweokaii.

エネ ハウェオカイイ。
このように / 言う・[名詞化辞]
次のように言った。

490 "Koninkarkusu

「コニカラクス
それに・(挿入音)・見る・[熟語]
「よく聞いてください

491 a-kor ainu

ア・コロ アイヌ
私は・～を持つ / 父
私の父

491 a-kor totto

ア・コロ トット
私は・～を持つ / 乳房・(次の子音が
重ねられたもの)・(重複)
私の母よ

492 itak-an chiki

イタク・アン チキ
言う・私は / ～するから
私が言うから

492 pirikano nu wa

ピリカノ スワ
よい・(副詞形成) / ～を開く / ～して
よく聞いて

493 i-kore yan.

イ・コレ ヤン。
私に・～に…を与える / [命令]
ください。

493 Ekimne-an kusu

エキムネ・アン クス
その頭・山・である・私たちは / [目的]
私たちは山に行こうと

494 a-kor iwor

ア・コロ イウォロ
私たちは・～を持つ / 山の谷間
私たちの山地

494 iworso kurka

イウォロソ クルカ
山の谷間・平らな広がりを持つ所 /
影入姿・の上
山地の上

495 shiri ebittano

シリ エビッタノ
あたり / 全部・(副詞形成)
のあたり全部を

495 apkash-an

アプカシ・アン
歩く・私たちは
私たちは歩いた

495 ruwe ne koroka,

ルウェ ネ コロカ、
こと八さま / [繋詞] / けれども
ことであるけれども、

496 nekon ne ruwe

ネコン ネ ルウェ
どのように / [繋詞] / こと八さま
まあ何ということ

496 ne nankora,

ネ ナンコラ、
[繋詞] / 顔・を持つ・～か
であるのだろうか、

497 tan an to otta

タン アン ト オッタ
この / [熟語] / 日 / の所・[空間
的位置]
今日という日は

497 shine pon chironnup boka

シネ ボン チロンヌプ⁷ ボカ
一つの / 小さい / 我々が八される・
殺す・もの / (指小辞)・も
一匹の小さい狐さえ

498 shine pon isepo boka

シネ ボン イセポ ボカ
一つの / 小さい / (擬音の語根)・と
言う・(指小辞) / (指小辞)・も
一匹の小さい兎さえ

P.21**499 a-koekari somoki**

ア・コエカリ ソモキ
私たちは・と一緒に・で・回る / [否
定辞]・～をする
私たちは出会わずに

499 omuken-an.

オムケン・アン。
獲物がとれない・私たちは
私たちは獲物が捕れなかった。

500 Tu bishkan iwor

トゥ ビシカン イウォロ
二つの / 周囲 / 山の谷間
二つの周囲の山地

500 re bishkan iwor

レ ビシカン イウォロ
三つの / 周囲 / 山の谷間
三つの周囲の山地

501 iworso kashi

イウォロソ カシ
山の谷間・平らな広がりを持つ所 / 上
山地の上

501 a-eapkash aine,

ア・エアプカシ アイネ、
私たちは・で・歩く / ～した(完了)・
～して
を私たちは歩いて、

502 konep iwori

コネプ イウォリ
いったい何 / 山の谷間
いったい何山地

502 ne nankora,

ネ ナンコラ、
[繋詞] / 顔・を持つ・～か
であるのだろうか、

503 oyak wa

オヤクワ
他の・所 / ～から
他のところから

503 sam bet

サム ベツ
前・へ行く / 川
降る川

503 bet ruwori

ベツ ルウォリ
川 / 道入筋・(挿入音)・のところ
川の流域の低地

504 a-i-yosapte

ア・イ・ヨサブテ
人が・私たちを・(挿入音)・その尻・
出る・(他動詞形成)
に私たちは近寄り

504 pirika kenash

ピリカ ケナシ
美しい / 木原
美しい木原

505 kenashso kurka

ケナシソ クルカ
木原・広がりを持った所 / 影入姿・
の上
木原の上

505 pirika turep toi

ピリカ トウレプ⁷ トイ
美しい / ウバユリの根 / 集まり
美しいウバユリの群落が

506 neita bakno

ネイタ バクノ
何の・所・[空間的位置] / まで八ほど・
(副詞形成)
どこまでも

506 maknatara kane,

マクナタラ カネ、
(明るさや開放を表す語根)・(状態が
続いていることを表す接尾辞) / ～
して
はるかに広々と開けて、

507 shiran ko

シラン コ
あたり八様子・ある / ～すると
しばらくすると

507 turep toi ba ta

トゥレプ^ト トイ バタ
 ウバユリの根 / 集まり / 上手 / [空間的位置]
 ウバユリの群落の上手で

508 pon urar tapkop

ポン ウララ タプ コプ^ト
 小さい / 霧 / 丸い山
 小さい霧の小山が

508 shike kar wa

シケ カラ ワ
 荷物 / ～をつくる / ～して
 そのウバユリを荷造りして

509 tane eyayeni kusu

タネ エヤイエニ クス
 今 / で・踏ん張る / [目的]
 今そのウバユリを背負おうと

509 ikichi koro okai.

イキチ コロ オカイ。
 する・[継続] / ～しながら / [接続
 助詞の後に置かれる]
 している。

510 Tambe kusu

タムベ クス
 この・もの / [原因・理由]
 それゆえに

510 samake ta

サマケ タ
 そば / [空間的位置]
 そのかたわらに

511 uterkere-an wa

ウテレケレ・アン ワ
 互い・跳ねる・させる・私たちは / ～して
 私たちは一緒に進んで行って

511 baye-an awa,

バイエ・アン アワ、
 行く・私たちは / ～したところ
 私たちは行ったところ、

512 shino homatu

シノ ホマトウ
 本当である・(副詞形成) / 驚く
 じつに驚き

512 tu urar ikkeu

トゥ ウララ イッケウ
 二つの / 霧 / 節・骨格
 二つの霧の中心

513 re urar ikkeu

レ ウララ イッケウ
 三つの / 霧 / 節・骨格
 三つの霧の中心

513 a-kocharikar yakka,

ア・コチャリカラ ヤッカ、
 私たちは・に対して・を散らす・(他
 動詞形成) / ～すると・も
 を私たちは掻き散らしたけれど、

514 oar oar

オアラ オアラ
 全く / 全く
 まったくまったく

514 ainu kat ne

アイヌ カツネ
 人間 / 恰好・有様 / ～に (なる)
 人間の形に

514 a-kar eaikap aine,

ア・カラ エアイカプ アイネ、
 私たちは・～をつくる / について・
 できない / ～した (完了)・～して
 その者を私たちはつくることができ
 ずに、

515 "Urar tum ta

『ウララ トム タ
 霧 / 中 / [空間的位置]
 『霧の中心に

515 pom menoko

ポム メノコ
 年若い / 女
 年若い女

516 ainu anakne

アイヌ アナクネ
 人間 / ある・すれば
 人間では

516 oar somo ne

オアラ ソモ ネ
 全く / [否定辞] / [繋詞]
 まったくない

517 nekon okaibe tapne

ネコン オカイベ タプ^トネ
 どのように / ある・いる・[名詞化
 辞] / これ・の・ように
 どんな姿のものか

517 iwa koshimbuk

イワ コシムブク
 山 / 妖怪
 岩の妖精

518 kina koshimbuk ne

キナ コシムブク ネ
 草 / 妖怪 / ～に (なる)
 草の妖精のように

519 ainu kasuno

アイヌ カスノ
 人間 / を凌ぐ・(副詞形成)
 人間にも増して

519 kamui kasuno

カムイ カスノ
 神 / を凌ぐ・(副詞形成)
 神にもまして

520 pirikap ne." ari

ピリカプ ネ。』 アリ
 美しい・[名詞化辞] / [繋詞] / ～と
 美しいものである。』と

520 hawash awa,

ハワシアワ、
 声・する / ～したところ
 言ったところ、

521 konep ainu matapa

コネプ^ト アイヌ マタパ
 いったい何 / 人間 / 女・親族
 いったい何人間の女の親族

521 ene pombe

エネ ポムベ
 このように / 小さい・もの
 このように小さいものが

522 oar shinen ne shiri

オアラ シネン ネ シリ
 全く / 一つの・人 / ～として / ～す
 る・している様子
 まったく一人きりであること

522 konep kotani

コネプ^ト コタニ
 いったい何 / 村
 いったい何村

523 iworso ka ta

イウォロソ カタ
 山の谷間・平らな広がりを持つ所 /
 上 / [空間的位置]
 の山地の上に

523 turepta kusu ekbe

トゥレプ^ト タ クス エクベ
 ウバユリの根・を掘って採る / [目
 的] / 来る・[名詞化辞]
 ウバユリの根を掘りにやって来たも
 の

P.22**524 ne wa kusu**

ネ ワ クス
 [繋詞] / [熟語・慣用句] / [熟
 語]
 であったから

524 annitne kamui

アンニツネ カムイ
 全く・悪い / 神
 まったくの魔神

525 iwa koshimbuk

イワ コシムブク
 山 / 妖怪
 岩の妖精

525 kina koshimbuk

キナ コシムブク
 草 / 妖怪
 草の妖精が

526 yaikurursere

ヤイクルルセレ
 自分・(擬音の重複)・と言う・させる
 姿を現した

526 ruwe ne kuni

ルウェ ネ クニ
 こと八さま / [繫詞] / [名詞化引用]
 のだと

527 a-ramu kusu

ア・ラム クス
 私は・心・(他動詞形成) / [原因八理由]
 私たちは思ったから

528 ponno a-shimemokka akusu,

ポンノ ア・シメモッカ アクス、
 少ない・(副詞形成) / 私たちは・～
 を馬鹿にする / ～したところ
 その魔神を少し私たちは馬鹿にした
 ところ、

529 shino irushka

シノ イルシカ
 本当である・(副詞形成) / ものご
 と・を腹立たしく思う
 じつに腹を立て

529 nitne kamui hene

ニツネ カムイ ヘネ
 悪い / 神 / ～でも
 魔神でも

530 ainu hene

アイヌ ヘネ
 人間 / ～でも
 人間でも

530 ouse shine

オウセ シネ
 ただ / 一人の
 ただ一人の

530 pom menoko

ポム メノコ
 年若い / 女
 年若い女

531 ne kusu,

ネ クス、
 [繫詞] / [原因八理由]
 であるから、

531 konep ne ka

コネプ ネ カ
 いったい何 / [繫詞] / ～も
 いったい何とも

531 a-ramu ka somoki

ア・ラム カ ソモキ
 私たちは・心・(他動詞形成) / ～も…
 しない [否定辞]・～をする
 私たちは思わずに

532 a-rara kane

ア・ララ カネ
 私たちは・～を馬鹿にする / ～して
 その魔神を私たちは侮る

532 yainu-an rok wa,

ヤイヌ・アン ロク ワ、
 自分・を聞く八感じる・私たちが / ～
 した(完了) / ～して
 ように私たちは考えて、

533 ashiknen

アシクネン
 五の・(人数)
 五人

533 a-ne wa

ア・ネ ワ
 私たちは・[繫詞] / ～して
 で私たちはあつて

534 i-kohobuni

イ・コホブニ
 私に・に対して・尻・を持ち上げる
 私たちはものすごく怒り狂い

534 seennenaksui

セエンネナクスイ
 (否定)・も・また
 まさかまた

535 arwen kamui

アラウエン カムイ
 全く・悪い / 神
 まったくの悪神

535 arwen bito

アラウエン ビト
 全く・悪い / 神と同等の人
 まったく悪い神が

535 katkor kuni

カツコロ クニ
 あり方・を持つ / [名詞化引用]
 そうするとは

536 a-ramu roki

ア・ラム ロキ
 私たちは・心・(他動詞形成) / 以前
 に～した・[名詞化辞]
 私たちは思わなかったのに

536 chikibo ne wa

チキボ ネ ワ
 [接続助詞+指小辞] / [繫詞] / ～して
 もう少しのところで

537 i-nosaushire-an

イ・ノサウシレ・アン
 私たちを・(?)・人は
 今にも私たちは殺されそうになり

537 i-annokar-an anke,

イアンノカラ・アン アンケ、
 私たちを・全く・(副詞形成)・をつく
 る・人が / 今にも～しように
 私たちは打ち負かされそうになって、

538 atpakita

アツパキタ
 最初・[時間的位置]
 最初

538 anakne

アナクネ
 ある・すれば
 は

538 ouse shinot ari

オウセ シノッ アリ
 ただ / 遊ぶ / ～でもって
 ただの遊びでもって

539 irara ne

イララ ネ
 人・を無能と思う / ～に(なる)
 人を馬鹿にするように

539 a-ramu

ア・ラム
 私たちは・心・(他動詞形成)
 私たちは思い

540 a-obittano

ア・オビッタノ
 私たちは・皆・(副詞形成)
 私たちはみんな

540 mina tura

ミナ トウラ
 笑う / ～と一緒に
 笑いながら

540 ikichi-an a koroka,

イキチ・アン ア コロカ、
 する・[継続]・私たちは / ～した(完了) / けれども
 私たちはそうやっていたけれども、

541 tane anakne

タネ アナクネ
 今 / ある・すれば
 今は

541 yaiwenukar-an wa kusu

ヤイウエヌカラ・アン ワ クス
 自分・悪い・を見る・私たちは / [熟語・慣用語] / [熟語]
 私たちは困っていたから

542 a-eukaobiki wa

ア・エウカオビキ ワ
 人が・で・互い・の上・に・(?) / ～して
 私たちは応援されて

543 a-ukokikkik

ア・ウコキッキク
 人が・一緒に・を叩く・(重複)
 私たちは一緒に殴られて

543 a-ukoeshirikik yakka,

ア・ウコエシリキク ヤッカ、
 人が・一緒に・で・あたり・を打つ / ～すると・も
 私たちは一緒にあたりをたたかれたけれど、

544 ponno ka

ポンノ カ
 少ない・(副詞形成) / ～も…しない
 少しも

544 iyunin ruwe ka

イユニン ルウェ カ
 もの・(挿入音)・痛い / こと八さま / ～も…しない
 激しく痛むことも

545 a-koerametek

ア・コエラムベテク
 私たちは・に・を知らない
 私たちにはわからず

545 a-eyapkir ko,

ア・エヤプキリ コ、
 私たちは・で・投げる / ～すると
 そこに私たちが放り投げたところ、

546 naa tasa

ナア タサ
 もっと / 反対に
 もっとそれに逆らって

546 matkosanu

マツコサヌ
 (起きることを表す語根)・急に～する
 ぱっと起ち上がり

547 i-nisapkokikkik

イ・ニサプコキッキク
 私たちを・急に・と一緒に・を打つ・
 (重複)
 私たちを突然一緒に何度も殴り

547 aokai utar

アオカイ ウタラ
 私たち / 仲間
 私たちの仲間

548 ne yakka

ネ ヤッカ
 [繫詞] / ～すると・も
 も

548 shino yaiwenukar-an.

シノ ヤイウエヌカラ・アン。
 本当である・(副詞形成) / 自分・悪い・を見る・私たちは
 じつに私たちは困っていた。

P.23**549 Tambe kusu**

タムベ クス
 この・もの / [原因八理由]
 それゆえに

549 a-kotametaye awa,

ア・コタメタイエ アワ、
 私たちは・に対して・刀・を引き抜く / ～したところ
 その女に私たちは刀を抜いたところ、

550 chish turanno

チシ トウランノ
 泣く / を同伴する・(挿入音)・(副詞形成)
 泣きながら

551 tane shino

タネ シノ
 今 / 本当である・(副詞形成)
 今はじつに

551 yaiwenukar aike

ヤイウエヌカラ アイケ
 自分・悪い・を見る / した・すると
 苦勞していて

552 ene itaki.

エネ イタキ。
 このように / 話す・[名詞化辞]
 次のように言った。

552 "Konepkeukata

『コネプケウカタ
 いったい何・体・の上・に
 『まあ何ということだろう

552 konepkashita

コネプカシタ
 いったい何・の上・に
 まあどうしたことだろう

553 nekon ikichi wa

ネコン イキチ ワ
 どのように / する・[継続] / ～して
 どのような

553 shiko kunip

シコ クニプ
 目・がつく / ～するべき・もの
 生まれ

554 baro kunip

バロ クニプ アネ ワ
 口・がつく / ～するべき・もの
 育ち

554 a-ne wa

ア・ネ ワ
 私は・[繫詞] / ～して
 で私はあつて

554 senne wenno

センネ ウェンノ
 [否定辞] / 悪い・(副詞形成)
 立派な

555 kamui ewaki

カムイ エワキ
 立派だ / に・(?)・する所
 立派な御座所

555 upsoro

ウブソロ
 内部におおわれている・ところ
 の内部

556 a-koyaishikarun

ア・コヤイシカルン
 私は・に対して・自分・思い出す
 で私は意識を取り戻した

556 ruwe ne ko,

ルウェ ネ コ、
 こと八さま / [繫詞] / ～すると
 ことであるが、

557 neita ka

ネイタ カ
 何の・所・[空間的位置] / ～も…しない
 どこにも

557 seta boka

セタ ボカ
犬 / (指小辞)・も
犬でさえ

557 a-utarihi

ア・ウタリヒ
私の・同族の人々
私の同族の人が

558 okai yakne

オカイ ヤクネ
ある八いる / ～すると・である
いたならば

558 moire tunash

モイレ トゥナシ
遅い / 早い
遅かれ早かれ

558 iki yakka,

イキ ヤッカ、
ものごと・ををする / ～すると・も
であつても、

559 a-shinrichi

ア・シンリチ
私たちの・先祖
私たちの先祖

559 a-eraman

ア・エラマン
私は・で・心・ある
を私は覚える

560 nankoro ari batek

ナンコロ アリ バテク
顔・を持つ / ～と / ～ばかり
だろうとばかり

560 ponram orowano

ボンラム オロワノ
小さい・心 / そこ・から・(副詞形成)
幼い頃から

561 yainu-an kane,

ヤイヌ・アン カネ、
自分・を聞く八感じる・私は / ～し
て
私は思つて、

562 a-matakipo

ア・マタキポ
私の・妹・[指小辞]
私の妹

562 a-resu wa

ア・レス ワ
私は・～を育てる / ～して
を私は育てて

562 nepka a-eewen

ネプカ ア・エエウエン
何の・もの・～も…しない / 私は・
で・悪い
何もそれで私は損をしたり

563 iberusui ka

イベルスイ カ
ものを食べる・したい / ～も…しな
い
お腹が空いたりすることも

563 somoki koroka,

ソモキ コロカ、
[否定辞]・～をする / けれども
なかったけれども、

564 ratashkep

ラタシケブ
山菜
混ぜ煮を

564 shino a-matakipo tura

シノ ア・マタキポ トウラ
本当である・(副詞形成) / 私の・妹・
[指小辞] / ～と一緒に
じつに私の妹と一緒に

565 a-ekatnu wa kusu,

ア・エカツヌ ワ クス、
私は・について・を好む / [熟語・
慣用句] / [熟語]
私は貪り食つたから、

565 "Irukai

『イルカイ
ちよつとの間
『ちよつとの間

566 nani san-an

ナニ サン・アン
すぐに / 前・へ行く・私は
すぐに私は戻る

566 kusune." ari

クスネ。』 アリ
[目的・原因八理由]・[繫詞] / ～
と
でしょう。』 と

567 a-matakipo

ア・マタキポ
私の・妹・[指小辞]
私の妹

567 a-koitaknuye koro

ア・コイタクヌイエ コロ
私は・に・言葉・を彫る / ～しなが
ら
に私は言い残しながら

568 ek-an awa,

エク・アン アワ、
来る・私は / ～したところ
私が来たら、

568 ne kotan korobe

ネ コタン コロベ
どの八何の / 村 / ～を持つ・[名詞化
辞]
どこの村のもの

569 utarorke

ウタロロケ
～たち
たち

569 pombe ane manu

ポムベ アネ マヌ
小さい・もの / 私は・[繫詞] / ～と
いう
小さいもので私はあると

570 menoko a-ne manu

メノコ アネ マヌ
女 / 私は・[繫詞] / ～という
女で私はあると

571 chikoyayikire

チコヤイキレ
[中相動名詞]される・と一緒に・自
分・集団・(他動詞形成)
私を

571 chieramunishte

チエラムニシテ
[中相動名詞]される・で・心・固い
馬鹿にし

572 i-yekarkar shiri

イ・イエカラカラ シリ
私を・(挿入音)・人に～をする / ～
する八している様子
私に残酷にしたこと

572 ene okaii

エネ オカイイ
このように / ある・[名詞化辞]
このようであった

573 tambe ne ya.

タムベ ネ ヤ。
この・もの / [繫詞] / ～か
のであろうか。

573 Ramma tashi

ランマ タシ
いつも / ～こそ
いつもいつも

P.24

574 shinrit kashi

シンリツ カシ
地・すじ / 上
先祖の上

574 koyairambetekbe

コヤイラムベテクベ
と一緒に・自分・がわからない・[名
詞化辞]
まったくわからないもの

575 a-ne kusu,

ア・ネ クス、
私は・[繫詞] / [原因∧理由]
で私はあったから、

576 rai-an hene

ライ・アン ヘネ
死ぬ・私は / ~でも
私が死んでも

576 nekona hene

ネコナ ヘネ
どのように / ~でも
どのように

577 i-kar-an yakka

イ・カラ・アン ヤッカ
私を・~をする・人が / ~すると・
も
私はされても

577 pirika koroka,

ピリカ コロカ、
よい / けれども
いいけれども、

578 konep ikkewe

コネプ イッケウエ
いったい何 / 理由
いったいどんな理由

578 eonepare

エオネパレ
原因となる・(複数)・させる
にして

579 ene i-koiki-an shiri

エネ イ・コイキ・アン シリ
このように / 私を・~をいじめる・
人が / ~する∧している様子
このように私は殺されたこと

579 i-wente-an shiri

イ・ウェンテ・アン シリ
私を・悪い∧悪くなる・させる・人が
/ ~する∧している様子
私は虐げられたこと

580 tambe ne ya.

タムベ ネ ヤ。
この・もの / [繫詞] / ~か
なのであろうか。

580 Konepkeukata

コネプケウカタ
いったい何・体・の上・に
まあ何ということだろう

581 konepkashita

コネプカシタ
いったい何・の上・に
まあどうしたことだろう

581 tap i-kar-ani

タップ イカラニ
このように / 私を・~をする・人が・
[名詞化辞]
このように私がされたこと

582 a-matakipo

ア・マタキポ
私の・妹・[指小辞]
私の妹

582 ponno ka

ボンノ カ
少ない・(副詞形成) / ~も…しない
少しも

583 erambetekno

エラムベテクノ
~を知らない・[副詞形成]
わからずに

583 eokaramne

エオカラムネ
について・その後・心・になる
このことを忘れられず

584 nekona tapne

ネコナ タプネ
どのように / これ・のように
どんなにかまあ

584 i-enisomap wa

イ・エニソマフワ
私を・について・心配する / ~して
私のことを心配して

585 i-tere humi

イ・テレフミ
私を・~を待つ / ~の感じ
私を待っていること

585 an nankora.

アン ナンコラ。
~である / 顔・を持つ・~か
であるのだろうか。

585 Tane anakne

タネ アナクネ
今 / ある・すれば
今は

586 rai ne manup

ライ ネ マヌプ
死ぬ / [繫詞] / ~という・[名詞化
辞]
死ぬということ

587 a-ki kusu,

ア・キクス、
私は・~をする / [目的]
を私はするために、

587 nekona hene

ネコナ ヘネ
どのように / ~でも
どのようにでも

587 ikichi kunip

イキチクニプ
する・[継続] / ~すべき・もの
すべきもの

588 katkoro kunip

カツコロクニプ
あり方・を持つ / ~すべき・もの
振る舞うもの

588 echi-ne ap kusu

エチ・ネ アプクス
あなたたちは・[繫詞] / ~した(完
了)・[名詞化辞] / [原因∧理由]
であなたたちはあったから

589 rai-an wa isam-an.

ライ・アン ワ イサム・アン。
死ぬ・私は / ~して / いない・私は
私は死んで私はしまいます。

590 Okaketa

オカケタ
後・[時間的位置]
そのあとで

590 shino shino

シノ シノ
本当である・(副詞形成) / 本当であ
る・(副詞形成)
じつにじつに

591 echi-epirika shiri

エチ・エピリカ シリ
あなたたちは・で・よくなる / ~す
る∧している様子
それであなたたちが幸せになるさま

591 echi-nukar

エチ・ヌカラ
 あなたたちは・～を見る
 をあなたたちは見る

592 nankor wa." ari

ナンコロワ。』アリ
 顔・を持つ / [反語的表現] / ～と
 であるうのに。』と

593 hawean,

ハウエアン、
 声・ある
 言い、

593 orota eashiri

オロタ エアシリ
 所・[空間的位置] / それこそ
 そこではじめて

593 ainu mat

アイヌ マツ
 人間 / 女
 人間の女

594 ainu nei

アイヌ ネイ
 人間 / [繋詞]・[名詞化辞]
 人間であること

594 a-eraman

ア・エラマン
 私たちは・で・心・ある
 が私たちにはわかり

594 arkehe ta

アラケヘ タ
 一つの・の所 / [空間的位置]
 半分は

595 shino a-eramboken

シノ ア・エラムボケン
 本当である・(副詞形成) / 私たち
 は・で・心・その下・悪い
 そのことをじつに私たちは気の毒に思い

595 shino a-tuyashkarap

シノ ア・トゥヤシカラプ
 本当である・(副詞形成) / 私たち
 は・～を憐れむ
 そのことをじつに私たちは憐れに思った

596 koroka,

コロカ、
 けれども
 けれども、

596 tane sonno

タネ ソンノ
 今 / 本当に
 今ほんとうに

597 a-wente okere

ア・ウェンテ オケレ
 私たちは・悪い／悪くなる・させる /
 ～し終わる
 女を私たちは叩き潰し終わった

597 ne yakka

ネ ヤッカ
 [繋詞] / ～すると・も
 ことでも

598 ki arke ta

キ アラケ タ
 ～をする / 一つの・の所 / [空間的位置]
 半分は

598 ishitoma-an

イシトマ・アン
 もの・をこわがる・私たちは
 私たちは恐ろしいと思

P.25**599 ene an kamui**

エネ アン カムイ
 このように / ある / 神
 このような神

599 ene am bito

エネ アム ビト
 このように / ある / 神と同等の人
 このようなお方が

600 ainu ne yakne,

アイヌ ネ ヤクネ、
 人間 / [繋詞] / ～すると・である
 人間であるならば、

600 neita ka utarihi

ネイタ カ ウタリヒ
 何の・所・[空間的位置] / ～も / 仲間
 どこかにその仲間が

601 okai yakne,

オカイ ヤクネ、
 ある／いる / ～すると・である
 いたならば、

601 oar oar

オアラ オアラ
 全く / 全く
 まったくまったく

602 aokai utara

アオカイ ウタラ
 私たち / ～たち
 私たち

602 oitaksak-an.

オイタクサク・アン。
 そこに・言葉・を持たない・私たちは
 私たちは言い返す言葉もない。

603 Tambe kusu

タムベ クス
 この・もの / [原因／理由]
 それゆえに

603 a-eramboken koroka,

ア・エラムボケン コロカ、
 私たちは・で・心・その下・悪い / け
 れども
 そのことを私たちは気の毒に思った
 けれども、

604 kimun tuima iwor

キムン トウイマ イウォロ
 山・にいる / 遠い / 山の谷間
 山の遠い山地

605 iworso ka ta

イウォロソ カ タ
 山の谷間・平らな広がりを持つ所 /
 上 / [空間的位置]
 山地の上に

605 aokai utara

アオカイ ウタラ
 私たち / ～たち
 私たち

606 moshma kuru

モシマ クル
 ～の他の / ～の人
 の他に人は

607 shinen ka

シネン カ
 一つの・人 / ～も…しない
 一人も

607 isam kusu,

イサム クス、
 いない / [原因／理由]
 いなかったから、

608 nukarbe

ヌカラベ
 ～を見る・[名詞化辞]
 そのことを見たもの

608 eramambe

エラムambe
 について・心・ある・[名詞化辞]
 そのことを知っていたものは

608 sonno isam.

ソンノ イサム。
 本当に / いない
 ほんとうにいなかった。

609 Tambe kusu

タムベ クス
この・もの / [原因・理由]
それゆえに

609 repbish ne

レブピシ ネ
三つ / ～として
三つに

609 a-tuye wa

ア・トゥエ ワ
私たちは・切れる・(他動詞形成) / ～して
女を私たちは斬って

610 kenashso kurka

ケナシソ クルカ
木原・広がりを持った所 / 影・姿・の上
木原の上

610 a-koosura

ア・コオスラ
私たちは・そこに・を投げ落とす
に女を私たちは投げ棄てた

611 ruwe ne.

ルウェ ネ。
こと・八さま / [繋詞]
のです。

611 Nepka wen chikoikip hene

ネプカ ウェン チコイキプ ヘネ
何の・もの・～も / 悪い / [使役中
相]される・を襲う・獲る・[名詞化辞]
/ ～でも
何か悪い獲物でも

612 wen chikap hene

ウェン チカプ ヘネ
悪い / 鳥 / ～でも
悪い鳥でも

613 tane bakita

タネ バキタ
今 / までの時・に
今ようやく

613 ponekokuikui wa

ポネコクイクイ ワ
骨・と一緒に・を噛む・(重複) / ～して
女を骨と一緒に何度も噛んで

614 e okere nankoro.

エ オケレ ナンコロ。
～を食べる / ～し終わる / 顔・を持つ
女を食べ終えるだろう。

614 Tanto tapne kane

タント タプネ カネ
この・日 / これ・のように / [意外]
今日このようにして

615 pon irara

ポン イララ
小さい / 人・を無能と思う
少しからかい

615 shinot ukorachi

シノツ ウコラチ
遊ぶ / 互い・のように
遊びと同じように

616 ikichi-an wa kusu,

イキチ・アン ワ クス、
する・[継続]・私たちは / [熟語・
慣用句] / [熟語]
私たちはしたから、

617 hembara kasuno

ヘムバラ カスノ
いつ / を凌ぐ・(副詞形成)
いつも以上に

617 moire-an

モイレ・アン
遅い・私たちは
私たちは遅くなった

618 ruwe ne." ari

ルウェ ネ。」 アリ
こと・八さま / [繋詞] / ～と
のです。」と

618 wen ainu

ウェン アイヌ
悪い / 人間
悪い人間

618 toy ainu utar

トイ アイヌ ウタラ
ひどく / 人間 / ～たち
ひどい人間たちが

619 isoitak

イソイタク
話をする
話をし

619 inu newa

イヌ ネワ
もの・を開く / [繋詞]・[熟語・慣用句]
ただ聞くだけ

620 a-kip ne koroka,

ア・キプ ネ コロカ、
私は・～をする・[名詞化辞] / [繋
詞] / けれども
を私はしたけれども、

620 nekona shino

ネコナ シノ
どのように / 本当である・(副詞形成)
どんなふう実際に

621 iki-an yakka,

イキ・アン ヤッカ、
ものごと・をする・私は / ～すると・
も
私は聞いたけれど、

621 an-eramishkare

アン・エラミシカレ
私は・～を知らない
そのことを私は知らない

622 semkorachi

セムコラチ
～のように
ように

622 tanto torino

タント トリノ
この・日 / 一日いっぱい過ごす・[副
詞形成]
一日中

623 a-chimoshiriko-

ア・チモシリコ
私は・[使役中相]される・国・地・に
対して
私は国が

623 suye kane,

スイエ カネ、
(揺らすことを表す語根)・(他動詞形
成) / ～して
揺れて、

P.26**624 rabokita**

ラボキタ
～している間・[時間的位置]
そのときに

624 boro shikupkuru

ボロ シクプクル
大きい / 成長する・人
年取った翁は

625 inu rokbe

イヌ ロクベ
もの・を開く / ～した (完了)・[名
詞化辞]
それを聞いて

625 woroma kombu

ウオロマ コムブ
水の中・～にある / 昆布
水にうるけた昆布

626 shikobayar

シコバヤラ
自分・を～と間違える・させる
さながらであり

626 kimatek ruibe

キマテク ルイベ
 びっくりする / 激しい・[名詞化辞]
 ひどく驚きあわてたもの

627 homatu ruibe

ホマトウ ルイベ
 驚く / 激しい・[名詞化辞]
 ひどく驚いたもの

627 konep ne kusu,

コネプ ネ クス、
 いったい何 / [繫詞] / [原因ハ理由]
 であったから、

628 hottur ka ta

ホットゥル カ タ
 額 / 上 / [空間的位置]
 額の上

628 kotususatki.

コトウスサツキ。
 (擬音語・擬態語を導く接頭辞)・(擬音重複)・(自動詞形成)
 ぶるぶる震えていた。

629 Boro shikup mat

ボロ シクフ マツ
 大きくなる / 成長する / 女
 成長して一人前の女は

629 inu rokbe

イヌ ロクベ
 もの・を聞く / ～した(完了)・[名詞化辞]
 それを聞いて

630 homatu ruibe

ホマトウ ルイベ
 驚く / 激しい・[名詞化辞]
 ひどく驚いたもの

630 konep ne kusu,

コネプ ネ クス、
 いったい何 / [繫詞] / [原因ハ理由]
 であったから、

631 aokai ukorachi

アオカイ ウコラチ
 私 / 互い・のように
 私と同じように

631 tanto torino

タント トリノ
 この・日 / 一日いっぱい過ごす・[副詞形成]
 一日中

632 chimoshiriko-

チモシリコ
 [使役中相]される・国・と一緒に
 国中が

632 suye kane

スイエ カネ
 (揺らすことを表す語根)・(他動詞形成) / ～して
 揺れて

633 okai roki ne.

オカイ ロキ ネ。
 [接続助詞の後に置かれる] / 以前に
 ～した・[名詞化辞] / [繫詞]
 いたのであった。

633 Arbutanke

アラペウタンケ
 全く・危急を知らせる女の叫び声
 驚きの叫び声

634 ekususuye,

エクススイエ、
 その頭・(?)・を揺らす
 を振り絞り、

634 "Ayabo oyoyo

「アヤボ オヨヨ
 苦しい / 苦しい
 「ああ おお

635 konep he ta

コネプ ヘ タ
 いったい何 / ～か / [空間的位置]
 何ということだろう

635 a-wenpoho

ア・ウエンポホ
 私の・悪い・息子
 私の悪い息子

635 wenko kashbap

ウエンノ カシバフ
 悪い・(副詞形成) / ～しすぎる・[名詞化辞]
 悪すぎるもの

636 katchak kashbap

カッチャク カシバフ
 惨めな / ～しすぎる・[名詞化辞]
 惨めすぎるもの

637 hauke kashbap

ハウケ カシバフ
 (擬態の語根)・(自動詞形成) / ～
 しすぎる・[名詞化辞]
 弱すぎるもの

637 konep tap teta

コネプ タフ テタ
 いったい何 / [強調] / ここ・[場所]
 何とまあ

638 somo yashtomano

ソモ ヤシトmano
 [否定辞] / 恥ずかしい・(副詞形成)
 恥ずかしくもなく

639 ehoyatarara hawe

エホヤタララ ハウエ
 で・尻・陸・を上に上げている / (～
 と言った) こと
 身の程知らずであったこと

639 okaibe ne ya.

オカイベ ネ ヤ。
 ～である・[名詞化辞] / [繫詞] / ～
 か
 であったのだろうか。

640 Sonep hetapne

ソネフ ヘタフネ
 本当・に・[名詞化辞] / いったい～
 か・[繫詞]
 いったいまこのことか

640 ambe hetapne

アムベ ヘタフネ
 ある入る・[名詞化辞] / いったい
 ～か・[繫詞]
 いったいほんとうのことか

641 irammayaisere

イランマヤイセレ
 それ・心・(擬態の語根)・と言う・さ
 せる
 気の毒に

642 a-nu humi

ア・ヌ フミ
 私は・～を聞く / ～の感じ
 そのことを私は聞いたこと

642 iyoshserkere

イヨシセレケレ
 恐ろしい
 恐ろしい

643 okaibe ne ya.

オカイベ ネ ヤ。
 ～である・[名詞化辞] / [繫詞] / ～
 か
 ことであったのだろうか。

643 Konep tap teta

コネプ タフ テタ
 いったい何 / [強調] / ここ・[場所]
 何とまあ

644 a-nu humi

ア・ヌ フミ
 私は・～を聞く / ～の感じ
 そのことを私は聞いたこと

644 okaibe ne ya.

オカイベ ネ ヤ。
 ～である・[名詞化辞] / [繋詞] / ～か
 であったのだろうか。

644 Koninkarkusu

コニンカラクス
 それに・(挿入音)・見る・[熟語]
 よく聞いてください

645 a-wenpoho

ア・ウエンボホ
 私の・悪い・息子
 私の悪い息子

646 a-otuiike

ア・オトゥイイケ
 私の・その尻・切れるもの
 この出来損ない

646 utarorke

ウタロロケ
 ～たち
 たちよ

646 itak-an chiki

イタク・アン チキ
 言う・私は / ～するから
 私が言うから

647 pirikano nu yan.

ピリカノ ヌ ヤン。
 よい・(副詞形成) / ～を聞く / [命令]
 よく聞きなさい。

647 Ambe tapne

アムベ タプネ
 ある八いる・[名詞化辞] / これ・の
 ように
 ほんとうのことは

648 teeta kane

テエタ カネ
 昔 / [意外]
 その昔

648 Tomisambechi

トミサムベチ
 トミサムベチ
 トミサムベチ

648 Shinutapka ta

シヌタプカ タ
 シヌタプカ / [空間的位置]
 シヌタプカの

P.27**649 pon a-kor yubi**

ボン ア・コロ ユビ
 年若い / 私は・～を持つ / 兄
 年若い私の兄

650 yayirwakikor

ヤイリワキコ
 自分の・兄弟・を持つ
 男の兄弟がおらず

650 shine turesh ne

シネ トゥレシ ネ
 一人の / 妹 / [繋詞]
 妹が一人で

651 nei menoko

ネイ メノコ
 その / 女
 その女

651 a-ne ruwe ne.

ア・ネ ルウェ ネ。
 私は・[繋詞] / こと八さま / [繋詞]
 で私はあつたのです。

652 Pon a-kor yubi

ボン ア・コロ ユビ
 年若い / 私は・～を持つ / 兄
 年若い私の兄

652 koro shiretok

コロ シレトク
 ～を持つ / 様子・の先端
 その容貌

653 kon rametok

コン ラメトク
 ～を持つ / 心・の先端
 その度胸

653 koro bawetok

コロ バウエトク
 ～を持つ / 口・(つなぎの音)・の先
 その雄弁

654 nep ne yakka

ネプ ネ ヤッカ
 何の・もの / [繋詞] / ～すると・
 も
 何でも

654 ainu kasuno

アイヌ カスノ
 人間 / を凌ぐ・(副詞形成)
 人間にも増して

655 ki eashkai

キ エアシカイ
 ～をする / について・できる
 それらをしてすることができた

655 nei wa ambe.

ネイ ワ アムベ。
 [繋詞] / ～して / [接続助詞の後に置
 かれる]・[名詞化辞]
 のです。

656 A-ekeshke kusu

ア・エケシケ クス
 人が・について・を嫌う / [原因八
 理由]
 妬まれたから

656 tuima okaibe

トゥイマ オカイベ
 遠い / ある八いる・[名詞化辞]
 遠くにいるもの

657 hanke okaibe

ハンケ オカイベ
 近い / ある八いる・[名詞化辞]
 近くにいるもの

658 pon a-kor yubi

ボン ア・コロ ユビ
 年若い / 私は・～を持つ / 兄
 年若い私の兄

658 ukokeshke

ウコケシケ
 一緒に・を嫌う
 を一緒に妬み

659 ukoebokpa wa

ウコエボクパ ワ
 一緒に・を憎む / ～して
 兄と一緒に憎んで

659 euyairamta-

エウヤイラムタ
 について・互い・自分・心・に
 一緒に心で

660 utekambare

ウテカムバレ
 互い・手・を持つ・させる
 手を取り合い

660 anrorumbe

アンロルムベ
 [完全]・戦争
 ひどいたたかい

661 attumunchi

アットウムンチ
 [完全]・戦争
 ひどいくさを

662 Tomisambechi

トミサムベチ
 トミサムベチ
 トミサムベチ

662 Shinutapkashi

シヌタプカシ
 シヌタプカ
 シヌタプカ

663 oyapte kusu,

オヤapte クス、
そこに・上陸する・させる / [目的]
に挙げるために、

663 oyakak ta

オヤカク タ
他の所・(重複) / [空間的位置]
あちこち

663 tumi shikarkar

トゥミ シカラカラ
戦争 / ~の準備をする
いくさの支度をし

664 rorumbe shikarkar

ロルムベ シカラカラ
上座・にある・もの / ~の準備をする
たたかひの支度をし

665 pon a-kor yubi

ポン ア・コロ ユビ
年若い / 私は・~を持つ / 兄
年若い私の兄を

665 shinrit kotan

シンリツ コタン
地・すじ / 村
先祖の村

666 totto kotan

トット コタン
乳房・(次の子音が重ねられたもの)・
(重複) / 村
母の村

666 kikkar kusu

キッカカラ クス
~を防ぎ守る / [目的]
を防ぎ守るために

667 kashikewe kusu

カシケウエ クス
~を守る / [目的]
村を防ぎ護るために

667 a-tura wa,

ア・トゥラ ワ、
私は・~を連れて来る / ~して
私は連れて来て、

668 shukup tuikata

シュクプ トウイカタ
成長する / ~している最中・[時間的
位置]
生まれてからこれまでずっと

668 tumunchi batek

トゥムンチ バテク
戦争 / ~ばかり
いくさばかり

669 rorumbe batek

ロルムベ バテク
上座・にある・もの / ~ばかり
たたかひばかり

670 ritne shikup

エリツネ シクプ
それで・筋・である / 成長する
で私は

670 a-ki aine,

ア・キ アイネ、
私は・~をする / ~した(完了)・~して
辛酸を嘗めて育て、

671 tumunchi renkaine

トゥムンチ レンカイネ
戦争 / 意図・(挿入音)・として
いくさの思うままに

672 rorumbe renkaine

ロルムベ レンカイネ
上座・にある・もの / 意図・(挿入
音)・として
たたかひの思うままに

672 taban kotan

タバン コタン
今ここに・ある / 村
この村

673 rei koro katu

レイ コロ カトゥ
名前 / ~しながら / 恰好八有様
その名前は

673 Kimunto ne wa

キムント ネ ワ
キムント / [繋詞] / ~して
キムントであって

P.28**674 Kimunto kotan**

キムント コタン
キムント / 村
キムントの村を

674 a-kon tumunchi

ア・コン トゥムンチ
私たちは・~を持つ / 戦争
私たちのいくさ

675 a-kon rorumbe

ア・コン ロルムベ
私は・~を持つ / 上座・にある・もの
私たちのたたかひが

676 kush ita

クシ イタ
~を通る / とき・[時間的位置]
通るときに

676 taban echi-kor ainu

タバン エチ・コロ アイヌ
今ここに・ある / あなたたちは・~
を持つ / 人間
このあなたたちの人間が

677 kamui irenka

カムイ イレンカ
神 / 意向
神の意向

677 tono irenka

トノ イレンカ
殿様 / 意向
殿の意向

678 eyaikotankamore

エヤイコタンカモレ
で・自分・村・の上・静かである・させる
で自分の村を治め

678 pirika keutum

ピリカ ケウトウム
よい / 心
よい心

679 pirika buri kor

ピリカ ブリ コロ
よい / 行い / ~を持つ
よい行いを持ち

680 tambe kusu

タムベ クス
この・もの / [原因∧理由]
それゆえに

680 ikkewe wembe

イッケウエ ウェムベ
理由 / 悪い・もの∧こと
理由の悪いもの

681 motoho wembe

モトホ ウェムベ
原因 / 悪い・もの∧こと
原因の悪いもの

681 eikurkashi-

エイクルカシ
で・それ・の上一面
に味方をして

682 tamomare kuni

タモマレ クニ
刀・に位置する・させる / [名詞化引用]
戦うこと

682 niukesh kusu,

ニウケシ クス、
~をしようと思ってもすることがで
きない / [原因∧理由]
ができないから、

683 pon a-kor yubi

ポン ア・コロ ユビ
年若い / 私は・～を持つ / 兄
年若い私の兄

683 kobaksam wa

コバクサム ワ
の方・そば / ～に
の方に

684 ash hine,

アシ ヒネ、
立つ / ～して
味方して、

684 shine tumunchi

シネ トゥムンチ
一つの / 戦争
一つのいくさ

685 shine rorumbe

シネ ロルムベ
一つの / 上座・にある・もの
一つのたたかい

685 a-uarkamka

ア・ウアラカムカ
私たちは・互い・全く・肉・の上
を私たちが一緒にひとつ膚身

686 otasashke rok ine,

オタサシケ ロク イネ、
その尻・(擬態の重複)・(自動詞形成)
 / ～した (完了) / ～して
に辛酸を分かちながらいと、

687 tumunchi utur

トゥムンチ ウトゥル
戦争 / 間
いくさのあいま

687 wembe utur

ウヰムベ ウトゥル
悪い・もの八こと / 間
戦争のあいま

688 a-eshini ita

ア・エシニ イタ
私たちは・で・休む / とき・[時間的
位置]
に私たちが休むときに

688 tumunchi ukoheboki

トゥムンチ ウコヘボキ
戦争 / 一緒に・頭を下げる
いくさに感謝し

689 rorumbe ukoheboki-an

kusu,
ロルムベ ウコヘボキ・アン クス、
上座・にある・もの / 一緒に・頭を
下げる・私は / [原因入理由]
たたかいは私は感謝したから、

690 Kimuntoummat

キムントウムマツ
キムントウムマツ
キムントウムマツ

691 echi-koro unarbe

エチ・コロ ウナラベ
あなたたちは・～を持つ / おば
あなたたちのおば

690 kamui korbe

カムイ コロベ
神 / ～を持つ・[名詞化辞]
の神の宝を

690 okkeu kashi

オッケウ カシ
えり首・骨格 / 上
襟首の上

693 a-epirkare wa

ア・エピリカレ ワ
私は・で・よくなる・させる / ～して
に私は嫁入り道具にもって

693 Tomisambechi

トミサムベチ
トミサムベチ
トミサムベチ

694 Shinutapkashi

シヌタブ カシ
シヌタブ カ
シヌタブ カ

694 koitomnukar

コイトムヌカラ
に対して・人・の正面の真ん中・を見る
に嫁入りし

695 pon a-kor yubi

ポン ア・コロ ユビ
年若い / 私は・～を持つ / 兄
年若い私の兄

695 hekote ruwe ne.

ヘコテ ルウエ ネ。
頭・に～を結びつける / こと八さま/[繫詞]
と連れ添ったのです。

696 Neino sui

ネイノ スイ
である・(挿入音)・(副詞形成) / また
そのようにまた

696 kamui korbe

カムイ コロベ
神 / ～を持つ・[名詞化辞]
神の宝を

697 boronno

ボロンノ
多い・(挿入音)・(副詞形成)
たくさん

697 a-okkeu kashi

ア・オッケウ カシ
私の・えり首 / 上
私の首の上

698 a-epirikare wa

ア・エピリカレ ワ
人が・それで・よくなる・させる / ～
して
に飾り付けられて

698 Tomisambet wa

トミサムベツ ワ
トミサムベツ / ～から
トミサムベツから

P.29**699 taban Kimunto kotan**

タブン キムント コタン
今ここに・ある / キムント / 村
このキムントの村

700 a-koitomnukar,

ア・コイトムヌカラ、
私は・に・人・まん中八正面・を見る
に私は嫁入りし、

700 "Wembe anakne

『ウヰムベ アナクネ
悪い・もの八こと / ある・すれば
『悪いことに

701 kashike wa

カシケ ワ
上 / ～から
内側から

701 po tui." ari

ポ トゥイ。』 アリ
子 / とれて落ちる / ～と
子どもが落ちる。』と

702 hawash awa,

ハワシ アワ、
声・する / ～したところ
言ったところ、

702 naa shomo

ナア ショモ
まだ / [否定辞]
まだ

703 pon a-kor yubi

ポン ア・コロ ユビ
年若い / 私は・～を持つ / 兄
年若い私の兄は

703 po kor aine,

ポ コロ アイネ、
子 / ～を持つ / ～した (完了)・～して
子どもを持たずに、

704 aokai

アオカイ
私たち
私たちは

704 sonno naa

ソンノ ナア
本当に / まだ
ほんとうにまだ

705 uben-an aine,

ウベン・アン アイネ、
若い・私たちは / ～した (完了)・～して
私たちは若くて、

705 i-ka wa

イ・カ ワ
私たちの・上 / ～から
私たちの上から

705 po tui apkoro

ポ トゥイ アプコロ
子 / とれて落ちる / まるで～したか
のように
まるで子どもが落ちるかのように

706 iwan okkayo

イワン オッカヨ
六人の / 男
六人の男

706 shine matnepo

シネ マツネポ
一人の / 女・である・子
一人の娘

707 a-ukosapte ko,

ア・ウコサプテ コ、
私は・一緒に・出る・させる / ～す
ると
を私は産むと、

707 rabokita

ラボキタ
～している間・[時間的位置]
そのときに

708 pon a-kor yubi

ポン ア・コロ ユビ
年若い / 私は・～を持つ / 兄
年若い私の兄

708 umurek

ウムレク
夫婦
夫婦は

709 shino po koro

シノ ポ コロ
本当である・(副詞形成) / 子 / ～を
持つ
じつに子どもを持つ

709 moire aine,

モイレ アイネ、
遅い / ～した (完了)・～して
のが遅くて、

710 hushkotoi wano

フシコトイ ワノ
古い・ずっと / から・(副詞語尾)
しばらくの間

710 ne aine,

ネ アイネ、
[繫詞] / ～した (完了)・～して
あって、

711 tu pon matkachi

トゥ ポン マッカチ
二人の / 小さい / 女・少年
二人の小さい娘

711 ukosapte yak a-ye.

ウコサプテ ヤクア・イエ。
一緒に・出る・させる / [名詞化引
用] / 人が・～を言う
を産んだと言う。

712 Taban Kimunto

タブン キムント
今ここに・ある / キムント
このキムント

713 to noshki ta an

ト ノシキ タ アン
湖八沼 / 真ん中 / [空間的位置] /
ある八いる
沼の真ん中にある

713 chashi otta

チャシ オッタ
[中相]される・を立てる・ところ / の
所・[空間的位置]
城で

714 Kimunto kotan

キムント コタン
キムント / 村
キムントの村

714 ebunkine kusu

エブンキネ クス
で・守護者・である / [目的]
を守護するために

715 kanto orwano

カント オロワノ
上の・湖八沼 / のところ・から・(副
詞形成)
天から

715 hushkotoi wano

フシコトイ ワノ
古い・ずっと / から・(副詞語尾)
しばらくの間

716 uwosakarpa

ウウォサカラパ
互い・(挿入音)・その尻・前・を回る
次から次に

716 uwosakarpa

ウウォサカラパ
互い・(挿入音)・その尻・前・を回る
次から次に

717 kamui rap wa,

カムイ ラプ ワ、
神 / 下りる / ～して
神々が天降りして、

718 tane anakne

タネ アナクネ
今 / ある・すれば
今は

718 pon a-kor yubi

ポン ア・コロ ユビ
年若い / 私は・～を持つ / 兄
年若い私の兄

719 amkir kamui

アマキリ カムイ
(?)・に見覚えがある / 神
見覚えのある神

719 kanto orun

カント オルン
上の・湖八沼 / 所・[連用句形成]
天上に

720 rikin wa,

リキン ワ、
高い所・(挿入母音)・(自動詞形成) /
～して
昇って、

720 okakehe ta

オカケヘ タ
後 / [時間的位置]
その後で

721 poho ne

ポホ ネ
子 / ～に (なる)
子どもらしい

721 shino uben kamui

シノ ウベン カムイ
本当である・(副詞形成) / 若い / 神
じつに若い神が

722 an ruwe ne.

アン ルウェ ネ。
ある入る / こと入さま / [繋詞]
いたのです。

722 Nei kamui orun

ネイ カムイ オルン
その / 神 / 所・[連用句形成]
その神のところに

723 Tomisambechi

トミサムベチ
トミサムベチ
トミサムベチ

723 Shinutapka wa

シヌタプカ ワ
シヌタプカ / ～から
シヌタプカから

P.30**724 a-boromatarku**

ア・ボロマツカラク
私の・年上のほうの・女・甥
私の年上の方の姪が

724 koshmatne

コシマツネ
(?)・女・になる
嫁になり

725 ek kusune

エク クスネ
来る / [目的・原因入理由]・[繋詞]
来ることになり

725 a-ukoreshpa wa

ア・ウコレシバ ワ
人が・一緒に・を育てる / ～して
一緒に育てられて

726 okai ruwe ne.

オカイ ルウェ ネ。
ある入る / こと入さま / [繋詞]
いるのです。

727 Eebakita

エエバキタ
次・[時間的位置]
その上

727 pon a-kor yubi

ボン ア・コロ ユビ
年若い / 私は・～を持つ / 兄
年若い私の兄

728 okkainepo

オッカイネポ
男・(指小辞)
の息子は

728 eabasak

エアバサク
で・親戚・を持たない
親戚がおらず

728 tambe kusu

タムベ クス
この・もの / [原因入理由]
それゆえに

729 a-ponpoho

ア・ボンポホ
私の・小さい・息子
私の年若い息子は

729 iyotta pombe ne kusu,

イヨッタ ポムベ ネ クス、
もの・(挿入音)・の所・で / 小さい・
もの / [繋詞] / [原因入理由]
いちばん小さいものであったから、

730 pon a-kor yubi

ボン ア・コロ ユビ
年若い / 私は・～を持つ / 兄
年若い私の兄は

731 pone kon rusui

ポネ コン ルスイ
骨 / ～を持つ / ～したい
骨が欲しくて

731 otu teshkari

オトゥ テシカリ
(韻律)・二つの / 便りをする・[名
詞化辞]
二つの便り

732 ore teshkari arki,

オレ テシカリ アラキ、
(韻律)・三つの / 便りをする・[名
詞化辞] / 来る
三つの便りが来て、

733 "Pon a-poho

『ボン ア・ポホ
幼い / 私の・息子
『幼い私の息子は

733 pon a-matkarku

ボン ア・マツカラク
小さい / 私の・女・甥
小さい私の姪が

734 rupne ko

ルプネ コ
氷・のようである / ～すると
大人になったら

734 a-ukore wa,

ア・ウコレ ワ、
人が・互い・に～を与える / ～して
結婚させられて、

734 Tomisambechi

トミサムベチ
トミサムベチ
トミサムベチ

735 Shinutapkashi

シヌタプカシ
シヌタプカ
シヌタプカ

735 ehorarpa wa,

エホララパ ワ、
そこに・尻・を押さえる / ～して
に住んでいて、

736 pon a-kor yubi

ボン ア・コロ ユビ
年若い / 私は・～を持つ / 兄
年若い私の兄は

736 nomi kamui

ノミ カムイ
～に祈る / 神
祈る神

737 nomi wa,

ノミ ワ、
～に祈る / ～して
に祈って、

737 ben kirechui

ベン キレチウ
上の方・の / ～を治める
上流の方を治め

737 ban kirechui

バン キレチウ
下の方・の / ～を治める
下流の方を治める

738 kuni ne

クニ ネ
～する (べき) こと / ～に (なる)
ように

738 kar wa,

カラ ワ、
～をする / ～して
して、

739 i-ruokake

イ・ルオカケ
私の・跡・の後
私の去った後

739 shiturire kuni ne

シトゥリレ クニ ネ
自分・を伸ばす・させる / ～する (べき) こと / ～に (なる)
身を伸ばすように

740 kar orowa

カラ オロワ
～をする / そこ・から
しそれから

740 echi-eramushinne chiki

エチ・エラムシンネ チキ
あなたたちは・について・心・地面・
である / ～したら
それであなたたちは安心したら

741 orowa

オロワ
そこ・から
それから

741 kamui orun

カムイ オルン
神 / 所・[連用句形成]
神々の中に

742 arki yan.

アラキ ヤン。
来る / [命令]
来なさい。

742 Aokai utara

アオカイ ウタラ
私たち / ～たち
私たち

743 anakne

アナクネ
ある・すれば
は

743 ainu kotan otta

アイヌ コタン オッタ
人間 / 村 / の所・[空間的位置]
人間の村で

744 a-ukoebokpa

ア・ウコエボクパ
私たちは・一緒に・を憎む
私たちは憎み合い

744 hotashnu batek

ホタシヌ バテク
非常な危険を感じる / ～ばかり
びくびくしてばかり

745 inkush batek

インクシ バテク
悪い予感がする / ～ばかり
おびえてばかり

746 a-kip ne kusu,

ア・キプ ネ クス、
私たちは・～をする・[名詞化辞] /
[繋詞] / [原因∧理由]
私たちはいたことだから、

747 ramuoshitchiuno

ラムオシツチウノ
心・その尻・地・に刺さる・[副詞形
成]
心を落ち着かせて

747 okai-an eaikap.

オカイ・アン エアイカプ。
ある∧いる・私たちは / について・
できない
私たちはいることができない。

748 Tambe kusu

タムベ クス
この・もの / [原因∧理由]
それゆえに

P.31**749 a-matnepo utari**

ア・マツネポ ウタリ
私の・女・である・子 / ～たち
私の娘たち

749 kamui a-ekoshi

カムイ ア・エコシ
神 / 私は・について・任せる
を神に私は任せ

750 naa yarbekoteinep

ナア ヤラベコテイネプ
まだ / すりきれた・もの・と一緒に・
濡れる・[名詞化辞]
まだ襦袢の赤ん坊

751 ne shiri

ネ シリ
[繋詞] / ～する∧している様子
であるのに

751 a-hoppa wa

ア・ホッパ ワ
私たちは・(置いて去ることを表す語
根)・(?) / ～して
赤ん坊のもとを私たちは去って

752 kamui orun

カムイ オルン
神 / 所・[連用句形成]
神々の中に

752 baye-an na." ari

バイエ・アン ナ。』 アリ
行く・私たちは / [要求] / ～と
私たちは行くのです。』と

753 teshkar ek wa

テシカラ エク ワ
便りをする / 来る / ～して
言づてが来て

754 a-uweraman wa

ア・ウウェラマン ワ
私たちは・互い・(挿入音)・について・
心・ある / ～して
それを私たちはわかり合って

754 okai-an.

オカイ・アン。
[接続助詞の後に置かれる]・私たちは
私たちは暮らしていた。

755 Tambe kusu

タムベ クス
この・もの / [原因∧理由]
それゆえに

755 a-ponpoho

ア・ボンボホ
私の・小さい・息子
私の年若い息子

756 hushkoti wano

フシコティ ワノ
古い・ずっと / から・(副詞語尾)
久しいあいだ

756 kamui orowano

カムイ オロワノ
神 / そこ・から・(副詞形成)
神から

757 tu shinrit kashi

トゥ シンリツ カシ
二つの / 地・すじ / 上
二つの家系

758 re shinrit kashi

レ シンリツ カシ
三つの / 地・すじ / 上
三つの家系

758 a-eraman wa ambe

ア・エラマン ワ アムベ
私は・で・心・ある / ～して / [接
続助詞の後に置かれる]・[名詞化辞]
を私が知っているもの

759 Tomisambechi

トミサムベチ
トミサムベチ
トミサムベチ

760 Shinutapkashi

シヌタブカシ
シヌタブカ
シヌタブカ

760 ne kusu,

ネ クス、
[繋詞] / [原因入理由]
であるから、

761 a-ponpoho

ア・ポンポホ
私の・小さい・息子
私の年若い息子

761 oro shikkashi kuru

オロ シッカシ クル
所 / 目・で・を見守る / ~の人
を見守る人

762 a-bashtareshu ko

ア・バシタレシュ コ
私たちは・凡庸な・を育てる / ~すると
を私たちは平凡に育てると

763 kamui a-eainukor.

カムイ ア・エアイヌコロ。
神 / 私たちは・で・人間入男・を持つ
神に私たちは敬意を払った。

763 Tambe kusu

タムベ クス
この・もの / [原因入理由]
それゆえに

764 a-pommatkarku

ア・ボンマツカラク
私の・小さい・女・甥
私の年若い姪

765 sembir kashi

セムビリ カシ
陰 / 上
の蔭

765 a-etursakka kusu

ア・エトゥルサッカ クス
私たちは・で・垢・を持っていない・
(他動詞形成) / [目的]
を私たちは汚れのないようにするた
めに

766 ponram orwano

ボンラム オロワノ
小さい・心 / のところ・から・(副詞形成)
幼い頃から

767 a-tumbuoeshe

ア・トゥムブオレシュ
私たちは・部屋・そこに・を育てる
姪を私たちは部屋で育て

767 a-pirikareshu.

ア・ピリカレシュ。
私たちは・よい・を育てる
姪を私たちは立派に育てた。

768 Eeebakita

エエバキタ
次・[時間的位置]
その上

768 to noshke un

ト ノシケ ウン
湖入沼 / 真ん中 / [連体句形成]
沼の真ん中の

769 kamui hene

カムイ ヘネ
神 / ~でも
神も

769 boro a-matkarku

ボロ ア・マツカラク
年上のほうの / 私の・女・甥
年上の方の私の姪

770 sembir kashi

セムビリ カシ
陰 / 上
の蔭

771 eyaitursakka koro

エヤイトウルサッカ コロ
で・自分・垢・を持っていない・(他動詞形
成) / ~しながら
を汚れのないようにしながら

772 an nankoro awa,

アン ナンコロ アワ、
[接続助詞の後に置かれる] / 顔・
を持つ / ~したところ
いたであろうのに、

772 orotunashno

オロトゥナシノ
そこ・早い・(副詞形成)
早速

773 Tomisambechi

トミサムベチ
トミサムベチ
トミサムベチ

773 kamui ewaki

カムイ エワキ
立派だ / に・(?)・する所
の立派な御座所

P.32**774 a-obaye wa,**

ア・オバイエ ワ、
私たちは・に・行く / ~して
に私たちは行って、

774 tapne tapne

タブネ タブネ
これ・のように / これ・のように
かくかくしかじか

775 shinrit korobe nei

シンリツ コロベ ネイ
地・すじ / ~を持つ・[名詞化辞] /
[繋詞]・[名詞化辞]
先祖を持つものであること

776 utar korobe nei

ウタラ コロベ ネイ
親類 / ~を持つ・[名詞化辞] / [繋
詞]・[名詞化辞]
親類を持つものであること

776 aokai

アオカイ
私
私は

776 hoshkino

ホシキノ
先に・(副詞形成)
まず先に

777 unarbe a-ne wa

ウナラベ ア・ネ ワ
おぼ / 私は・[繋詞] / ~して
おぼで私はあって

778 ubashkuma-an wa

ウバシクマ・アン ワ
互い・にものごとを教え伝える・私は
 / ~して
私は言い伝えを語り伝える

778 a-nure kusunep

ア・ヌレ クスネブ
私は・を聞く・させる / [目的・原
因入理由]・[繋詞]・[名詞化辞]
それを私は聞かせるであろうもの

779 ne koroka,

ネ コロカ、
[繋詞] / けれども
であるけれども、

780 a-poho utari

ア・ポホ ウタリ
私の・子 / ~たち
私の子どもたちは

780 ubakno ubakno

ウバクノ ウバクノ

互い・ほど・(副詞形成) / 互い・ほど・(副詞形成)

ちょうど同じように

781 nokan kusu,

ノカン クス、

小さい / [原因∧理由]

小さいから、

781 ureshba batek

ウレシバ バテク

互い・を育てる / ～ばかり

みんなが育つことばかり

782 a-eyairamushitne

ア・エヤイラムシツネ

私は・で・自分・心・苦しい

それで私は自分の心を悩ませ

782 pon a-poho hene

ポン ア・ポホ ヘネ

幼い / 私の・息子 / ～でも

幼い私の息子も

783 pon kasui

ポン カスイ

年若い / ～しすぎる

年が若すぎ

783 a-matnepo hene

ア・マツネポ ヘネ

私の・女・である・子 / ～でも

私の娘も

784 pon kasui

ポン カスイ

年若い / ～しすぎる

年が若すぎ

785 sonno umurek

ソンノ ウムレク

本当に / 夫婦

ほんとうの夫婦

785 a-ne wa

ア・ネ ワ

私たちは・[繫詞] / ～して

で私たちはあって

786 ramma yaimonikor-an

ランマ ヤイモニコラ・アン

いつも / 自分・手∧働き・を持つ・

私たちは

いつも私たちは忙しく

787 montabi-an aine,

モンタビ・アン アイネ、

忙しい・私たちは / ～した(完了)・～して

私たちは慌ただしくて、

787 tanepo konna

タネポ コンナ

今・(指小辞) / [韻律調整]

今初めて

788 a-wenpo utari hene

ア・ウェンポ ウタリ ヘネ

私の・悪い・息子 / ～たち / ～でも

私の悪い息子達も

789 tambe bakno

タムベ バクノ

この・もの / まで∧ほど・(副詞形成)

これほどまでに

789 shukuppa ruwe

シュクッパ ルウェ

成長する・(複数) / こと∧さま

成長したこと

790 shino a-eyaikobuntek wa,

シノ ア・エヤイコブンテクワ、

本当である・(副詞形成) / 私たち

は・について・自分・のことを喜んで

ねぎらう / ～して

をじつに私たちは喜んで、

791 nisatta hene

ニサッタ ヘネ

夜明け前の白み・において / ～でも

明日でも

791 tanto hene

タント ヘネ

この・日 / ～でも

今日でも

792 tapne tapne

タップネ タップネ

これ・のように / これ・のように

かくかくしかじか

792 shinrit korbe

シンリツ コルベ

地・すじ / ～を持つ・[名詞化辞]

先祖を持つもの

793 utar kor kunip

ウタラ コルクニプ

親類 / ～を持つ / ～するべき・もの

親類を持つもの

793 echi-ne katu

エチ・ネ カトゥ

あなたたちは・[繫詞] / 恰好∧有様

であなたたちはあること

794 echi-epashkuma-an

エチ・エパシクマ・アン

あなたたちに・について・語り伝える・私は

をあなたたちに私たちは語り伝える

795 orowa

オロワ

そこ・から

それから

795 nani Tomisambechi un

ナニ ドミサムベチ ウン

すぐに / トミサムベチ / [連用句形成]

すぐにトミサムベチに

796 baye-an wa

バイエ・アン ワ

行く・私たちは / ～して

私たちは行って

796 a-matkarku utar

ア・マツカラク ウタラ

私の・女・甥 / ～たち

私の姪たち

797 a-hotanukar wa

ア・ホタヌカラワ

私たちは・(?)・を見る / ～して

を私たちは訪れて

797 tapne nei

タップネ ネイ

これ・のように / [繫詞]・[名詞化辞]

かくかくしかじかであること

798 a-epashkuma kuni

ア・エパシクマ クニ

私は・について・語り伝える / [名詞化引用]

を私は語り伝えると

798 a-ramu awa,

ア・ラム アワ、

私は・心・(他動詞形成) / ～したところ

私は思ったところ、

P.33**799 a-matkarku**

ア・マツカラク

私の・女・甥

私の姪

799 kiyanne ike

キヤンネ イケ

年上である / ほう

年長の方が

800 inunukashki

イヌヌカシキ
 かわいそうである
 かわいそうに

800 a-raike ne yakka

ア・ライケ ネ ヤッカ
 人が・死ぬ・(他動詞形成) / [繋詞]
 / ～すると・も
 殺されるにしても

801 semkatune

セムカトゥネ
 [否定辞]・[名詞化辞]・の次第・[繋詞]
 残酷を極める

802 a-ekarkar hawe ne.

ア・エカラカラ ハウエ ネ。
 人が・人に～する / (～と言った)
 こと / [繋詞]
 殺され方をしたことなのです。

802 Oyoyobota

オヨヨボタ
 まあ忌々しい
 まあ忌々しい

803 taban orushbe

タブン オルシベ
 今ここに・ある / の所・についてい
 る・もの
 この話を

803 kamui or bakno

カムイ オロ バクノ
 神 / 所 / まで八ほど・(副詞形成)
 神々までも

804 kanto or bakno

カント オロ バクノ
 上の・湖八沼 / 所 / まで八ほど・(副
 詞形成)
 天上までも

804 tunashno

トゥナシノ
 早い・(副詞形成)
 早く

805 a-i-koeraman

ア・イ・コエラマン
 人が・私に・に対して・がわかる
 私は知り

805 yak anakne

ヤク アナクネ
 ～すると / ある・すれば
 もしそうなら

806 aokai

アオカイ
 私
 私は

806 hoshkino

ホシキノ
 先に・(副詞形成)
 まず先に

806 echi-wenrenkabi

エチ・ウエンレンカビ
 あなたたちの・悪い・希望
 あなたたちの悪い思惑

807 okai rok kusu,

オカイ ロク クス、
 ある八いる / ～した(完了) / [原
 因八理由]
 があったから、

808 chiarbanakte

チアラバナクテ
 [中相動名詞]される・全く・を罰する
 私は

808 a-i-yekarkar nankor.

ア・イ・イエカラカラ ナンコロ。
 人が・私を・(挿入音)・人に～をする
 / 顔・を持つ
 罰せられるだろう。

809 Ubashkuma

ウバシクマ
 互い・にものごとを教え伝える
 先祖の話

809 a-ki moire hene

ア・キ モイレ ヘネ
 私は・～をする / 遅い / ～でも
 を私がするやいなや

810 ki ap kusu,

キ アプ クス、
 ～をする / ～した(完了)・[名詞化
 辞] / [原因八理由]
 そうしたものだから、

810 nekona tapne

ネコナ タプネ
 どのように / これ・のように
 どんなにかまあ

811 shukup tuikata

シュクフ トウイカタ
 成長する / ～している最中・[時間的
 位置]
 生まれてからこれまでずっと

812 echi-bakashnu-an

エチ・バカシヌ・アン
 あなたたちに・～を教える・私は
 それをあなたたちに私は教えた

812 wa kusu,

ワ クス、
 [熟語・慣用句] / [熟語]
 から、

813 konep ainu

コネプ アイヌ
 いったい何 / 人間
 いったい何人間

813 sambe korbe

サムベ コロベ
 出る・もの / ～を持つ・[名詞化辞]
 心臓を持つものが

814 ene ikichi

エネ イキチ
 そのように / する・[継続]
 そのようにし

814 ene hoiyoi

エネ ホイヨイ
 そのように / その尻・もの・(挿入
 音)・に～を入れる・[名詞化辞]
 そのように悪いことをしたこと

815 ne wa kusu,

ネ ワ クス、
 [繋詞] / [熟語・慣用句] / [熟
 語]
 であったから、

815 echi-wenrenkabi

エチ・ウエンレンカビ
 あなたたちの・悪い・希望
 あなたたちの悪い思惑が

816 an a kusu,

アン ア クス、
 ある八いる / ～した(完了) / [原
 因八理由]
 あったから、

816 tane anakne

タネ アナクネ
 今 / ある・すれば
 今は

817 kanto otta hene

カント オッタ ヘネ
 上の・湖八沼 / の所・[空間的位置]
 / ～でも
 天の中でも

817 kamui orushbe

カムイ オルシベ
 神 / の所・についている・もの
 神の話は

818 hokampa nankor.

ホカンパ ナンコロ。
 難しい / 顔・を持つ
 難しいだろう。

819 Tane onnep

タネ オンネブ
 今はもう / 老死する・[名詞化辞]
 今はもう老衰したものと

819 tane raibe

タネ ライベ
 今はもう / 死ぬ・[名詞化辞]
 今はもう死ぬもの

820 a-ne yakka,

ア・ネ ヤッカ、
 私は・[繫詞] / ～すると・も
 で私はあるけれど、

820 ainu buri

アイヌ ブリ
 人間 / 慣習
 人間の風習

821 kamui buri

カムイ ブリ
 神 / 慣習
 神の風習

821 ne kusu,

ネ クス、
 [繫詞] / [原因入理由]
 であるから、

821 nepka somo

ネпка ソモ
 何の・もの・～も…しない / [否定辞]
 何も

822 a-eramusarakno

ア・エラムサラクノ
 私は・について・心・(?)・[副詞形成]
 それで私は心を傷めることはなく

823 a-ki kusunep

ア・キ クスネブ
 私は・～をする / [目的・原因入理由]・[繫詞]・[名詞化辞]
 私のすることを

823 pirikano

ピリカノ
 よい・(副詞形成)
 しっかりと

P.34**824 a-ki okere**

ア・キ オケレ
 私は・～をする / ～し終わる
 私はし終わり

824 orowa

オロワ
 そこ・から
 それから

824 a-eramushinne wa

ア・エラムシンネ ワ
 私は・について・心・地面・である /
 ～して
 私は安心して

825 kamui otta

カムイ オッタ
 神 / の所・[空間的位置]
 神々の中に

826 baye-an yakne,

バイエ・アン ヤクネ、
 行く・私は / ～すると・である
 私が行くならば、

826 pon a-kor yubi

ボン ア・コロ ユビ
 年若い / 私は・～を持つ / 兄
 年若い私の兄

827 umurek

ウムレク
 夫婦
 夫婦は

827 shino i-kobuntek

シノ イコブンテク
 本当である・(副詞形成) / 私を・に・喜ぶ
 じつに私のことを喜ぶ

828 kuni batek

クニ バテク
 ～する(べき)こと / ～ばかり
 ことばかり

828 a-chipachiba awa,

ア・チパチバ アワ、
 私は・～を望む・(重複) / ～したところ
 を私は望んでいたのに、

829 tane anakne

タネ アナクネ
 今 / ある・すれば
 今は

830 nekona ne kusu

ネコナ ネ クス
 どのように / [繫詞] / [原因入理由]
 どういう訳か

831 eepakita

エエパキタ
 次・[空間的位置]
 その上

831 to noshke un

ト ノシケ ウン
 湖入沼 / 真ん中 / [連体句形成]
 沼の真ん中の

832 matkoshikup kamui hene

マツコシクプ カムイ ヘネ
 女・と一緒に・成長する / 神 / ～でも
 女と一緒に成長した神でも

833 tapan hawash

タパン ハワシ
 今ここに・ある / 声・する
 こんな話

833 bashte ko,

バシテ コ、
 ～に気がつく / ～すると
 に気がついたら、

834 nekona tapne

ネコナ タプネ
 どのように / これ・のように
 どんなにかまあ

834 yainu

ヤイヌ
 自分・を聞く入感じる
 思い

834 nekona tapne

ネコナ タプネ
 どのように / これ・のように
 どんなにかまあ

835 irushka ruwe an

イルシカ ルウェ アン
 ものごと・を腹立たしく思う / こと
 八さま / ～である
 腹を立てることである

836 nankora.

ナンコラ。
 顔・を持つ・～か
 だろうか。

836 Echi-renkap kusu

エチレンカプ クス
 あなたたちは・～を承諾する・[名詞化辞] / [原因入理由]
 あなたたちのせいでは

837 onne tuikata

オンネ トゥイカタ
 年をとる / ～している最中・[時間的位置]
 年老いている上に

837 tana yaikataikap-an

タナ ヤイカタイカプ・アン

今※tana は tane の誤記 / 自分・

形・が下手だ・私は

今私は心を痛め

838 yashtoma-an kasui wa,

ヤシトマ・アン カスイ ワ、

恥ずかしい・私は / ～しすぎる / ～

して

私は恥ずかしすぎて、

839 orun inkar-an

オルン インカラ・アン

所・[連用句形成] / もの・を見る・

私は

そちらの方を私は見て

840 orun hosarpa-ani ka

オルン ホサラパ・アニ カ

所・[連用句形成] / その尻・(?)・

私は・[名詞化辞] / ～も…しない

そちらの方を私は振り向くことも

841 isam ruwe ne.

イサム ルウェ ネ。

ない / こと八さま / [繋詞]

ないので。

841 Echi-ki rusui kusu

エチ・キ ルスイ クス

あなたたちは・～をする / ～したい /

[原因八理由]

そのようにあなたたちがしたいから

842 echi-ikichip ne kusu,

エチ・イキチプ ネ クス、

あなたたちは・する・[継続]・[名詞

化辞] / [繋詞] / [原因八理由]

あなたたちがしたことであるから、

843 tane anakne

タネ アナクネ

今 / ある・すれば

今は

843 nekona echi-ikichi yakka,

ネコナ エチ・イキチ ヤッカ、

どのように / あなたたちは・する・

[継続] / ～すると・も

どのようにあなたたちがしても、

845 echi-eboso eaikap

エチ・エボソ エアイカプ

あなたたちは・で・貫く / について・

できない

それをあなたたちは掻い潜ることは

できない

845 nankoro.

ナンコロ。

顔・を持つ

でしょう。

846 Sonno hetapne

ソンノ ヘタプネ

本当に / いったい～か・[繋詞]

ほんとうにまあ

846 a-wenpoho utari

ア・ウェンポホ ウタリ

私の・悪い・息子 / ～たち

私の悪い息子たちは

847 haita kashpa." ari

ハイタ カシパ。」 アリ

知恵が足りない / ～しすぎる / ～と

知恵が足りなさすぎる。」と

847 itak kane,

イタク カネ、

言う / ～して

言って、

848 ashikne wen ainu

アシクネ ウェン アイヌ

五・である / 悪い / 人間

五人の悪い人間

848 toikokobashrota.

トイココバシロタ。

ひどく・に向かって・ののしる

にひどい悪口雑言を浴びせた。

P.35**849 Ashikne ainu**

アシクネ アイヌ

五・である / 人間

五人の人間は

850 inu rokbe

イヌ ロクベ

もの・を聞く / ～した(完了)・[名

詞化辞]

それを聞いて

850 homatpa ruibe

ホマツパ ルイベ

驚く / 激しい・[名詞化辞]

ひどく驚いたもの

851 kimatek ruibe

キマテク ルイベ

びっくりする / 激しい・[名詞化辞]

ひどく驚きあわてたもの

851 shine ikinne

シネ イキンネ

一つの / まとまり・[繋詞]

いっせいに

852 utomohosarpa

ウトモホサラパ

互い・中ほど・その尻・振り向く

一緒に振り返り

852 woroma kombu

ウォロマ コムブ

水の中・～にある / 昆布

水にうるけた昆布

853 shikobayar

シコバヤラ

自分・を～と間違える・させる

さながらであり

853 hottur ka ta

ホットウル カ タ

額 / 上 / [空間的位置]

額の上が

854 kotushsatkipa.

コトウシサツキパ。

(擬音語・擬態語を導く接頭辞)・(擬

音重複)・(自動詞形成)・(複数)

ぶるぶる震えていた。

854 Boro shikup mat

ボロ シクプ マツ

大きくなる / 成長する / 女

成長して一人前の女は

855 shiyabekesh

シヤベケシ

大きい・(挿入音)・火・の末端

大きい燃えさし

856 teksaikari

テクサイカリ

手・一巻き・をつくる・させる

を手で持ち上げ

856 ashikne poho utari

アシクネ ポホ ウタリ

五・である / 息子 / ～たち

五人の息子たちを

857 kitaina wano

キタイナワノ

てっぺん・の方 / から・(副詞語尾)

頭のとっぺんから

857 kikkik hum konna

キッキク フム コンナ

～を打つ・(重複) / 音 / [韻律調整]

何度も打つ音が

858 emonetoko

エモネトコ

について・手・の先

激しく

859 toknatara.

トクナタラ。
 (擬音の語根)・(状態が続いていること
 を表す接尾辞)
 こつこつと鳴り響いた。

859 Inne kunip

インネ クニプ
 大人数である / ~するべき・もの
 大勢のもの

860 yaikokatbak kunip

ヤイコカツバク クニプ
 自分・に・やり方・をとがめる / ~
 するべき・もの
 後悔しているもの

860 konep ne kusu

コネプ ネ クス
 いったい何 / [繋詞] / [原因入理
 由]
 であったから

861 inumbe oshmak

イヌムベ オシマク
 炉縁の板 / の後ろ・の奥
 炉縁の後ろ

862 kohebokiki kane,

コヘボキキ カネ、
 に向かって・頭・を下げる・(重複) /
 ~して
 に拝礼して、

862 abe rayochi

アベ ラヨチ
 火 / 虹
 火の虹

863 koekomomse.

コエコモムセ。
 に対して・その頭・ぎっしりと詰まる
 に覆い被さった。

863 Harkisotta

ハラキシツタ
 左側・座・の所・[空間的位置]
 左座の

863 pom menoko

ポム メノコ
 年若い / 女
 年若い女は

864 inu rokbe

イヌ ロクベ
 もの・を聞く / ~した (完了)・[名
 詞化辞]
 それを聞いて

864 tanebo konna

タネボ コンナ
 今・(指小辞) / [韻律調整]
 今初めて

865 utar kor kunip

ウタラ コロ クニプ
 親類 / ~を持つ / ~するべき・もの
 親類を持つもの

865 aba koro kunip

アバ コロ クニプ
 親戚 / ~を持つ / ~するべき・もの
 親戚を持つもの

866 nei eramanbe

ネイ エラマンベ
 [繋詞]・[名詞化辞] / について・
 心・ある・[名詞化辞]
 であることを知ったもの

867 konep ne kusu,

コネプ ネ クス、
 いったい何 / [繋詞] / [原因入理由]
 であったから、

867 sonno homatu ruibe

ソンノ ホマトウ ルイベ
 本当に / 驚く / 激しい・[名詞化辞]
 ほんとうにひどく驚いたもの

868 konep ne kusu,

コネプ ネ クス、
 いったい何 / [繋詞] / [原因入理由]
 であったから、

869 "Sapo ohai."

「サポ オハイ。」
 姉・(指小辞) / ~よう
 「姉さんよう。」

869 raikotenke

ライコテンケ
 ひどく・に・叫ぶ
 死ぬほど叫び

870 chish hau konna

チシ ハウ コンナ
 泣く / 声 / [韻律調整]
 泣く声が

870 tununitara

トゥヌニタラ
 (擬音の語根)・(状態が続いているこ
 とを表す接尾辞)
 美しく響き

871 rabokita

ラボキタ
 ~している間・[時間的位置]
 そのときに

871 sennenaksui

センネナクスイ
 [否定辞]・である・すれば・また
 よもやまた

872 humash kuni

フマシ クニ
 音・立つ (=する) / [名詞化引用]
 そうあろうとは

872 a-ramu roki

ア・ラム ロキ
 私は・心・(他動詞形成) / 以前に~
 した・[名詞化辞]
 私は思わなかったのに

873 to noshkike

ト ノシキケ
 湖入沼 / 真ん中
 沼の真ん中

873 chashi tapkashi

チャシ タプカシ
 [中相]される・を立てる・ところ / 上
 の城の上

P.36**874 bushkosanu**

ブシコサヌ
 はじける・急に~する
 破裂したような音が響き

875 tane eashiri

タネ エアシリ
 今 / で・新しい
 今初めて

875 irushka kamui

イルシカ カムイ
 ものごと・を腹立たしく思う / 神
 腹を立てた神

876 ek hum konna

エクフム コンナ
 来る / 音 / [韻律調整]
 の来る音が

876 keurototke

ケウロトツケ
 (擬音の語根)・(たて続けにくり返さ
 れることを表す接尾辞)・(自動詞形
 成)
 ゴーゴーと鳴り響き

877 humash awa,

フマシアワ、
 音・立つ (=する) / ~したところ
 そうしたときに、

877 boro shukup mat

ボロ スクフ マツ
大きい / 成長する / 女
中年の女が

878 kisattarara

キサッタララ
耳・を高く上げている
耳をかたむけ

878 ikokanu kane

イコカヌ カネ
人八もの・を聞き入れる / ～して
じっと聞いて

879 okai roki ne

オカイ ロキ ネ
[接続助詞の後に置かれる] / 以前
に～した・[名詞化辞] / [繋詞]
いたのであるが

879 ene itaki.

エネ イタキ。
このように / 話す・[名詞化辞]
次のように言った。

880 "Hokure hokure

「ホクレ ホクレ
さあ早く / さあ早く
「さあさあ

880 pirikano inu yan

ピリカノ イヌ ヤン
よい・(副詞形成) / もの・を聞く /
[命令]
よく聞きなさい

881 inkar yan.

インカラ ヤン。
もの・を見る / [命令]
見なさい。

882 Sonno wen buri ari a-yep

ソンノ ウェン ブリ アリ ア・イエブ
本当に / 悪い / 行い / ～と / 人
が・～を言う・[名詞化辞]
ほんとうに悪い行いと言われるもの
は

883 ashtomap

アットマブ
恐ろしい・[名詞化辞]
恐ろしいもの

883 taban na.

タバナンナ。
これこのとおり・ある / [要求]
なのです。

884 Kimun iwor ta

キムン イウオロ タ
山・にいる / 山の谷間 / [空間的位
置]
山手の山地

884 oainusak ita

オアイヌサク イタ
そこに・人間・がいない / とき・[時
間的位位置]
に人間がいないときに

885 ainu echi-raike kusu,

アイヌ エチ・ライケ クス、
人間 / あなたたちは・死ぬ・(他動詞
形成) / [原因八理由]
人間をあなたたちは殺したから、

886 nepka somo

ネブカ ソモ
何の・もの・～も…しない / [否定
辞]
何も

886 echi-shitoma ari

エチ・シトマ アリ
あなたたちは・～を恐れる / ～と
あなたたちは恐れないと

887 echi-yainu yakka,

エチ・ヤイヌ ヤッカ、
あなたたちは・自分・を聞く八感じる
/ ～すると・も
あなたたちは思っても、

888 kamui anakne

カムイ アナクネ
神 / ある・すれば
神は

888 wembe hene

ウェムベ ヘネ
悪い・もの八こと / ～でも
悪いことでも

889 pirikap hene

ピリカブ ヘネ
よい・[名詞化辞] / ～でも
よいことでも

889 neita kuroma to ta

ネイタ クロマ ト タ
何の・所・[空間的位位置] / 影八姿・
にある / 日 / [時間的位位置]
どこかに暗い夜中に

890 an wa

アン ワ
ある八いる / ～して
あって

890 ne yakka,

ネ ヤッカ、
[繋詞] / ～すると・も
も、

891 eshiknakbe

エシクナクベ
について・目が見えない・[名詞化辞]
それが見えないもの

891 somo taban na.

ソモ タバン ナ。
[否定辞] / これこのとおり・ある /
[要求]
ではないのです。

892 Tane anakne

タネ アナクネ
今 / ある・すれば
今は

893 echi-ki wem buri

エチ・キ ウェム ブリ
あなたたちは・～をする / 悪い / 行
い
あなたたちがした悪い行い

893 to noshke un

ト ノシケ ウン
湖八沼 / 真ん中 / [連用句形成]
沼の真ん中に

894 kamui bashte wa,

カムイ バシテ ワ、
神 / 走る・させる / ～して
神を走らせて、

894 echi-wenrenkabi

エチ・ウェンレンカビ
あなたたちの・悪い・希望
あなたたちの悪い思惑が

895 an kusu,

アン クス、
ある八いる / [原因八理由]
あったから、

896 ukokushishpa

ウコクシシパ
一緒に・(?)・(複数)
皆一緒に

896 chiukoronnu

チウコロヌ
[中相動名詞]される・一緒に・を殺す
私たちは

897 chiukotata

チウコタタ
[中相動名詞]される・一緒に・を刻む
一緒に殺され

897 a-i-yekarkar

ア・イ・イエカラカラ

人が・私たちを・(挿入音)・人に～を
する

一緒に斬り刻まれる

898 nankoro." ari

ナンコロ。」アリ

顔・を持つ / ～と
だろう。」と**898 hawean kane,**ハウエアン カネ、
声・ある / ～して
言って、**P.37****899 otu chish wembe**

オトゥ チシ ウェムベ

(韻律)・二つの / 泣く / 悪い・もの
二つの泣きの涙**900 ore chish wembe**

オレ チシ ウェムベ

(韻律)・三つの / 泣く / 悪い・もの
三つの泣きの涙**901 yayekote**

ヤイエコテ

自分・そこに・に～を結びつける
にかきくれ**901 rabokita**

ラボキタ

～している間・[時間的位置]
そのときに**902 kanakan kunip**

カナカン クニプ

どんな・ある / ～するべき・もの
何者かが**902 soyun yakura**

ソユン ヤクラ

外・にある / 櫓
外の櫓**903 yakura kurka**

ヤクラ クルカ

櫓 / 影八姿・の上
櫓の上**904 chieranke.**

チエランケ。

[使役中相]される・そこに・下りに
降りて来た。**904 Chise sam ka ta**

チセ サム カ タ

家 / そば / 上 / [空間的位置]
家のすぐそばに**905 terke humi**

テレケ フミ

(擬態の語根)・(自動詞形成) / 音
跳ねる音が**905 rimnatara**

リムナタラ

(擬音・擬態の語根)・(状態が続いて
いることを表す接尾辞)
ドシンドシンと鳴り響き**906 nishte toitoi**

ニシテ トイトイ

固い / 地八土・(重複)
固い地面を**906 uyake toi ne**

ウヤケ トイ ネ

砕ける / 地面 / ～に (なる)
泥土のように**907 habut toi ne**

ハブツ トイ ネ

柔らかい / 地面 / ～に (なる)
柔らかい土のように**908 eureboki**

エウレボキ

で・足・の下
その足の下**908 tawushitara**

タウシタラ

～を踏む・(状態が続いていることを
表す接尾辞)
に踏みにじり**909 tumpa maikan**

トゥンパ マイカン

鏝 / 金属性の美しい響き・末
太刀の鏝の音が**909 tununitara**

トゥヌニタラ

(擬音の語根)・(状態が続いているこ
とを表す接尾辞)
美しく響き**910 mosem tuyor**

モセム トウヨロ

小さい・物置 / 内部
玄関の内**910 eshikiru**

エシキル

そこに・自分・を回す
に向きを変え**911 ratki aba**

ラツキ アバ

下方・(自動詞形成) / (?)・口
垂れ下がる簾戸を**911 shikantap kurka**

シカントプ クルカ

自身・上・肩 / 影八姿・の上
自分の肩の上**912 eshitaiki**

エシタイキ

で・をたたく
でたたき**912 mintar ka ta**

ミンタラ カ タ

外庭 / 上 / [空間的位置]
外庭の上に**913 imeru tura**

イメル トウラ

もの・きらめき / ～とともに
光とともに**914 urar tura**

ウララ トウラ

霧 / ～とともに
霧とともに**914 rutkosanup**

ルツコサヌプ

(擬態の語根)・急に～する・[名詞化
辞]
さっと押し入ったもの**915 a-ekannukar.**

ア・エカンヌカラ。

私は・に向かって・を見る
を私は迎え見た。**915 Pon urar tapkop**

ボン ウララ タプコプ

小さい / 霧 / 丸い山
小さい霧の小山**916 tu urar ikkeu**

トゥ ウララ イッケウ

二つの / 霧 / 節・骨格
の二つの霧の中心**917 re urar ikkeu**

レ ウララ イッケウ

三つの / 霧 / 節・骨格
三つの霧の中心**917 a-kocharikar**

ア・コチャリカラ

私は・に対して・を散らす・(他動詞
形成)
を私は掻き散らし

918 naani tusui

ナアニ トゥスイ
もう少しで〜するところだった / 二
つの・回
ほとんど二度

918 naani resui

ナアニ レスイ
もう少しで〜するところだった / 三
つの・回
ほとんど三度

919 a-kar koyaikush aine,

ア・カラ コヤイクシ アイネ、
私は・〜をつくる / 〜ができない /
〜した (完了)・〜して
その者を私はつくることができずに、

920 urar tum ta

ウララ トゥム タ
霧 / 中 / [空間的位置]
霧の中心に

920 wen ainu utar

ウエン アイヌ ウタラ
悪い / 人間 / 〜たち
悪い人間たち

921 pirika ari

ピリカ アリ
美しい / 〜と
美しいと

921 itak-an awa,

イタク・アン アワ、
言う・私は / 〜したところ
私は言ったのに

922 konep ne rok wa

コネプ ネ ロクワ
いったい何 / [繋詞] / 〜した (完
了) / 〜して
いったいどうしたこと

923 shiran nankora.

シラン ナンコラ。
あたり八様子・ある / 顔・を持つ・
〜か
なのだろうか。

923 Tane eashiri

タネ エアシリ
今 / で・新しい
今初めて

P.38**924 pon ainu pon kuru**

ポン アイヌ ポン クル
年若い / 人間 / 年若い / 〜の人
年若い少年

924 soonno boka

ソオンノ ボカ
本当に / (指小辞)・も
思ったとおり

925 ainu anakne

アイヌ アナクネ
人間 / ある・すれば
人間では

925 oar somo ne

オアラ ソモ ネ
全く / [否定辞] / [繋詞]
まったくなく

926 kamui ne kusu,

カムイ ネ クス、
神 / [繋詞] / [原因∧理由]
神であるから、

926 kamui ibor

カムイ イボロ
神 / 顔つき
神の顔つき

927 annoyekar.

アンノイエカラ。
全く・をねじる・(他動詞形成)
をしている。

927 Kani kosonte

カニ コソント
金属 / 小袖
黄金の小袖

928 kotbar ka ta

コツバラ カ タ
襟元 / 上 / [空間的位置]
襟元の上

928 chinki ka ta

チンキ カ タ
裾 / 上 / [空間的位置]
裾の上を

928 sep birankani

セプ ビランカニ
広い / 平金
幅広い平金が

929 chiokarbarep

チオカラバレプ
[使役中相]される・ぐると巡る・さ
せる・[名詞化辞]
取り囲んでいるもの

929 nenaimine

ネナイミネ
同じような・衣装・に
を下から襲ね

930 arutomechiu

アルトメチウ
全く・互い・の中・そこに・に刺さる
その小袖を全身に襲ねて着て

930 kamui ranke tam

カムイ ランケ タム
神 / 下がる・(他動詞形成) / 刀
神から賜った太刀

931 kutbokechiu

クツボケチウ
帯・の下・そこに・に刺さる
を帯に差し

931 kani pon kasa

カニ ポン カサ
金属 / 小さい / 笠
黄金の小さい笠

932 kasa ran tubep

カサ ラン トゥベプ
笠 / 下の方・(自動詞形成) / かた結
び
笠の垂れた紐の結び目

933 eyaisannanka-

エヤイサンナンカ
で・自分・前の・顔・の上
でもって自身の顔の上

933 yuppa kane,

ユツパ カネ、
〜をきつく締める / 〜して
をきつく締めて、

934 kasa kep sam ta

カサ ケプ サム タ
笠 / 縁 / そば / [空間的位置]
笠の縁のわきに

934 kamui sannanu

カムイ サンナヌ
神 / 前の・顔
神々しい顔が

935 komaknatara

コマクナタラ
(擬音語・擬態語を導く接頭辞)・(開
いて明るいことを表す語根)・(状態が
続いていることを表す接尾辞)
輝き

936 irushka ibor

イルシカ イボロ
ものごと・を腹立たしく思う / 顔つ
き
怒った顔色

936 eibottumu

エイボットムム
で・顔つき・色
でその顔色が

936 koniunatara.

コニウナタラ。
(擬音語・擬態語を導く接頭辞)・(擬態の語根)・(状態が続いていることを表す接尾辞)
厳めしい。

937 Einkar kunip

エインカラクニプ
で・もの・を見る / ～すべき・もの
それで見るものは

937 tu pon nochiu ne

トゥ ポン ノチウ ネ
二つの / 小さい / 星 / ～に (なる)
二つの小さい星のように

938 uweutuisam-

ウウェウトゥイサム
互い・(挿入音)・そこに・互い・側
相並んで

938 unte kane,

ウンテ カネ、
そこにある・させる / ～して
そこにはまっていて、

939 tan arka itak

タン アラカ イタク
この / 痛い / 言葉
次のような荒々しい言葉

939 chautum konna

エハウトゥム コンナ
で・声・の中 / [韻律調整]
その声の中心が

940 tununitara

トゥヌニタラ
(擬音の語根)・(状態が続いていることを表す接尾辞)
美しく響き

940 ene okaii.

エネ オカイイ。
このように / ある・[名詞化辞]
次のようであった。

940 "Achikarata

「アチカラタ
ああいやだ
「ああいやだ

941 ayakannata

アヤカンナタ
まあいやだ
まあいやだ

941 toy ainu sani

トイ アイヌ サニ
ひどく / 人間 / 出る八出たもの・(所属語尾)
ひどい人間の血統

942 wen ainu sani

ウエン アイヌ サニ
悪い / 人間 / 出る八出たもの・(所属語尾)
悪い人間の血統

942 utarorke

ウタロロケ
～たち
たちよ

943 haita kashpa

ハイタ カシパ
知恵が足りない / ～しすぎる
愚かすぎる

943 hoiyo kashpa shiri

ホイヨ カシパ シリ
その尻・もの・(挿入音)・に～を入れる / ～しすぎる / ～する八している様子
悪事を働きすぎたこと

944 a-oyamokte na.

ア・オヤモクテ ナ。
私は・～を不思議に思う / [要求]
を私は不思議に思います。

944 Konep ne kusu

コネプ ネ クス
いったい何 / [繋詞] / [原因入理由]
それがために

945 a-i-ebunkinere kusu

ア・イ・エブンキネレ クス
人が・私を・で・守護者・である・させる / [目的]
そこを私に守護させるために

945 kanto orowano

カント オロワノ
上の・湖入沼 / そこ・から・(副詞形成)
天から

946 i-ranke-an wa

イ・ランケ・アン ワ
私を・下がる・(他動詞形成)・人が /
～して
私は降ろされて

946 an-an kunip

アン・アン クニプ
[接続助詞の後に置かれる]・私は /
～すべき・もの
私はいるのに

947 toy ainu sani

トイ アイヌ サニ
ひどく / 人間 / 出る八出たもの・(所属語尾)
ひどい人間の血統

947 wen ainu sani

ウエン アイヌ サニ
悪い / 人間 / 出る八出たもの・(所属語尾)
悪い人間の血統

948 ne rok wa

ネ ロクワ
[繋詞] / ～した (完了) / ～して
であったが

948 sonno hetapne

ソンノ ヘタブネ
本当に / いったい～か・[繋詞]
ほんとうにまあ

948 ouse irukai

オウセ イルカイ
ただ / ちよつとの間
ただちよつとの間

P.39**949 somo hosari-an ko,**

ソモ ホサリ・アン コ、
[否定辞] / その尻・(?)・私は / ～
すると
私は振り返らずにいると、

949 rabokita

ラボキタ
～している間・[時間的位置]
そのときに

949 chihoiyore

チホイヨレ
[使役中相]される・悪事をする・させる
悪魔が憑き

949 chibauchikore

チバウチコレ
[使役中相]される・魔物・を持つ・させる
悪魔が取り憑く

951 newa ne yakka

ネワ ネ ヤッカ
[繋詞]・[熟語・慣用句] / [繋詞]
/ ～すると・も
にしてもまた

951 orsaureko

オロサウレコ

全く・軽い・[反語的副詞形成]

とんでもないこと

951 kichi rok okai.

キチ ロク オカイ。

～をする・[継続] / ～した (完了)

/ ある入る

をしたのです。

952 Tap tanepo eashiri

タップ タネポ エアシリ

このように / 今・(指小辞) / で・新しい

このように今初めて

953 a-nukar

ア・ヌカラ

私は・～を見る

それを私は見て

953 oyoyobota

オヨヨボタ

まあ忌々しい

まあ忌々しい

953 tapne ne ko,

タップネ ネ コ、

これ・のように / [繫詞] / ～すると

このようであるならば、

954 aokai ne yakka

アオカイ ネ ヤッカ

私 / [繫詞] / ～すると・も

私にしても

954 kanto orowa

カント オロワ

上の・湖入沼 / 所・～から

天から

955 chiarababu

チアラバブ

[中相動名詞]される・全く・避難する

私は

955 a-i-yekarkar

ア・イ・イエカラカラ

人が・私を・(挿入音)・人に～をする

叱られる

956 nankoro.

ナンコロ。

顔・を持つ

だろう。

956 echi-nepkoro okaibe

エチ・ネブコロ オカイベ

あたはたちは・～のように / ある入

いる・[名詞化辞]

あなたたちのようなもの

957 haita kashbap

ハイタ カシバブ

知恵が足りない / ～しすぎる・[名詞

化辞]

知恵が足りなすぎるもの

957 weno kashbap

ウェンノ カシバブ

悪い・(副詞形成) / ～しすぎる・[名

詞化辞]

悪すぎるもの

958 nekona hene

ネコナ ヘネ

どのように / ～でも

どのように

958 a-kar yakka,

ア・カラ ヤッカ、

私は・～をする / ～すると・も

私がしても、

958 ponno hene

ボンノ ヘネ

少ない・(副詞形成) / [強調]

少しも

959 a-ehese ka

ア・エヘセ カ

私は・のことで・息をする / ～も…

しない

それで私はほっと安心しも

959 somoki koroka,

ソモキ コロカ、

[否定辞]・～をする / けれども

しないけれども、

960 tane echi-toikoronnu-an

タネ エチ・トイコロヌ・アン

今すぐ / あなたたちを・ひどく・を

殺す・私は

今すぐあなたたちを私はひどく殺し

961 nep echi-ne

ネブ エチ・ネ

何 / あなたたちは・[繫詞]

何であなたたたちがあ

961 ushike ka

ウシケ カ

する習慣のある・ところ / ～も…し

ない

のかも

961 echi-koyairambetek

エチ・コヤイラムベテク

あなたたちは・と一緒に・自分・がわ

からない

あなたたちがまったく分からない

962 kuni ne

クニ ネ

～する (べき) こと / ～に (なる)

ように

963 echi-kar-an kushki na.

エチ・カラ・アン クシキ ナ。

あなたたちを・～をする・私は / ま

さに～しようとしている / [要求]

あなたたちを私はしようとしている

のです。

963 Eramokai yan.

エラムカイ ヤン。

について・心・ある / [命令]

それを覚えておいてください。

964 Konepkeukata

コネブケウカタ

いったい何・体・の上・に

まあ何ということだろう

965 konepkashita

コネブカシタ

いったい何・の上・に

まあどうしたことだろう

965 ikkewe ambe

イッケウエ アムベ

理由 / ある入る・[名詞化辞]

理由があるもの

966 konep ne kusu

コネブ ネ クス

いったい何 / [繫詞] / [原因入理由]

であったから

966 Tomisambechi

トミサムベチ

トミサムベチ

トミサムベチ

967 Shinutapka ta

シヌタップカ タ

シヌタップカ / [空間的位置]

シヌタップカの

967 kamui akkari

カムイ アッカリ

神 / それより

神よりも

968 a-eoribakbe

ア・エオリバクベ

人が・に・かしこまる・[名詞化辞]

畏れ慚むもの

968 kamui rametok

カムイ ラメトク

神 / 心・の先端

神の勇者

- 969 kiyanne matnepo**
 キヤンネ マツネボ
 年上である / 女・である・子
 年上の娘
- 970 a-i-koreshu**
 ア・イ・コレシュ
 人が・私を・と一緒に・を育てる
 と私は一緒に育てられ
- 970 naa ponno**
 ナア ポンノ
 もっと / 少ない・(副詞形成)
 もう少し
- 970 shiran ko**
 シラン コ
 あたり八様子・ある / ～すると
 しばらくすると
- 971 chihotanukar**
 チホタヌカラ
 [中相動名詞]される・見舞いに行く・
 (他動詞形成)
 私は
- 971 a-ekarkar kuni**
 ア・エカラカラ クニ
 私は・人に～する / [名詞化引用]
 訪ねよう
- 972 a-ramu rok wa,**
 ア・ラム ロクワ、
 私は・心・(他動詞形成) / ～した(完了) / ～して
 私は思ったのに、
- 972 eatterketa**
 エアツレケタ
 一つだけ・跳ねる・[空間的位置]
 ちよっとの間に
- 973 pirika shiri**
 ピリカ シリ
 よい / ～する八している様子
 立派なこと
- 973 a-i-yekeshke rok okai.**
 ア・イ・イエケシケ ロク オカイ。
 人が・私を・(挿入音)・について・を
 妬む / ～した(完了) / ある八いる
 それで私は妬まれたことであった。
- P.40**
- 974 Nekona shikop**
 ネコナ シコブ
 どのように / 目・がつく・もの
 どういう生まれの人
- 974 nekona barop**
 ネコナ バロブ
 どのように / 口・がつく・もの
 どういう育ちの人
- 975 arshino poka**
 アラシノ ポカ
 全く・本当に / (指小辞)・も
 ただの一度も
- 976 a-nukar ka somoki**
 ア・ヌカラ カ ソモキ
 私は・～を見る / ～も…しない / [否定辞]・～をする
 その者に私は会わずに
- 976 sembir kashi**
 セムビリ カシ
 陰 / 上
 その蔭に
- 976 eyaitursakka**
 エヤイトウルサッカ
 で・自分・垢・を持っていない・(他動詞形成)
 自身を汚れないように
- 977 a-ki humi**
 ア・キ フミ
 私は・～をする / ～の感じ
 私はしていたこと
- 977 okai rok wa,**
 オカイ ロクワ、
 ～である / ～した(完了) / ～して
 であったのに、
- 978 inunukashki**
 イヌヌカシキ
 かわいそうである
 かわいそうに
- 978 irammayaisere**
 イランマヤイセレ
 それ・心・(擬態の語根)・と言う・させる
 気の毒に
- 979 shukup matkachi**
 スクブ マツカチ
 成長する / 女・少年
 年若い女わらべ
- 979 shukup menoko**
 シュクブ メノコ
 成長する / 女
 成長した女
- 980 shukup upsorka**
 シュクブ ウブ ソロカ
 成長する / 内部におおわれている・
 ところ・上
 のうら若いふところ
- 981 a-kochari kane,**
 ア・コチャリ カネ、
 私は・に対して・を散らす / ～して
 を私は掻き散らして、
- 981 chiraike kaiki**
 チライケ カイキ
 [中相動名詞]される・死ぬ・(他動詞形成) / ～も
 殺すにしても
- 982 semkatune**
 セムカトゥネ
 [否定辞]・[名詞化辞]・の次第・[繋詞]
 残酷を極める
- 982 a-ekarkar**
 ア・エカラカラ
 私は・人に～する
 殺し方を私はしたこと
- 982 rok okai ko,**
 ロク オカイ コ、
 ～した(完了) / ある八いる / ～すると
 だったのに、
- 983 a-eannotaine kane,**
 ア・エアンノタイネ カネ、
 私は・について・全く・知らずにいる
 / ～して
 それに私は気づかずに、
- 983 "Konep kar kusu**
 『コネブ カラクス
 いったい何 / ～をする / [熟語]
 『いったいなにゆえに
- 984 kamui ari**
 カムイ アリ
 神 / ～と
 神と
- 984 iborse-an kane,**
 イボロセ・アン カネ、
 もの・を言い表す・私は / ～して
 私は呼んで、
- 985 tan tewano**
 タン テワノ
 この / ここから・(副詞語尾)
 たった今から

985 ainu moshiri

アイヌ モシリ
人間 / 静かな・地
人間の国

986 a-iyorotbe an." ari

ア・イ・ヨロッパ アン。』 アリ
私は・人・(挿入音)・の・ところ・に・い
る・[名詞化辞] / ～ですか / ～と
に私が仲間入りするものだろうか。』と

986 yainu-an ko,

ヤイヌ・アン コ、
自分・を聞く・感じる・私は / ～すると
私は考えると、

987 boo hene

ボオ ヘネ
なおいっそう / [強調]
なおいっそう

987 echi-ronnu-an yakka,

エチ・ロンヌ・アン ヤッカ、
あなたたちを・～を殺す・私は / ～
すると・も
あなたたちを私は殺しても、

988 kera ka

ケラ カ
味 / ～も…しない
味も

988 a-erambetek yakka,

ア・エラムベテク ヤッカ、
私は・～を知らない / ～すると・も
私はわからないけれども、

989 ainu tureshpo

アイヌ トゥレシポ
人間 / 妹・[指小辞]
人間の妹

989 kor pon yayattasa

コロ ポン ヤヤッタサ
～を持つ / 少ない / 自分・に返礼する
の返報を少し

990 echi-ekarkar-an

エチ・エカラカラ・アン
あなたたちに・人に～をする・私は
あなたたちに私はし

991 tambe boka

タムベ ボカ
この・もの / (指小辞)・も
これだけでも

991 a-tureshpo

ア・トゥレシポ
私の・妹・[指小辞]
私の妹

992 ruokake

ルオカケ
の去った後・の所
の死後

992 a-kotuwashi

ア・コトゥワシ
私は・そこに・を見込んで頼りにする
私は頼りに

992 kusune." ari

クスネ。』 アリ
[目的・原因・理由]・[繋詞] / ～
と
しよう。』と

993 itak kese ta

イタク ケセ タ
言葉 / 端 / [空間的位置]
言葉の末に

993 nichitakne op

ニチ タクネ オプ
柄 / 短い / 槍
柄の短い槍を

994 ram kuwa ne

ラム クワ ネ
低い所・(?) / 杖 / ～として
短い杖として

994 eyaitete kane

エヤイテテ カネ
で・自分・杖につく / ～して
杖について

995 okai awa,

オカイ アワ、
[接続助詞の後に置かれる] / ～し
たところ
いたところ、

995 ashikne okkayo

アシクネ オッカヨ
五・である / 男
五人の男

995 shishi bentok

シシ ベントク
～を避ける / 上の・突き出し
諦めて少しも

996 eyaiunkeshke

エヤイウンケシケ
について・自分・(?)・を嫌う
それを自ら拒んで避けず

996 shirush tuntu ne

シルシ トゥントゥ ネ
地・につく / 大黒柱 / ～に (なる)
地面に突き立つ大黒柱のように

997 yaishiretchiu

ヤイシレッチウ
自分・地・そこに・に刺さる
自身を落ち着かせ

998 arobittano

アロビットノ
全く・全部・(副詞形成)
みなことごとく

998 hottur ka ta

ホットゥル カ タ
額 / 上 / [空間的位置]
額の上

998 kotususatkipa

コトゥッサツキパ
(擬音語・擬態語を導く接頭辞)・(擬
音重複)・(自動詞形成)・(複数)
ぶるぶる震え

P.41**999 koro okai.**

コロ オカイ。
～しながら / [接続助詞の後に置か
れる]
ながらいた。

999 Shine ikinne

シネ イキンネ
一つの / まとまり・[繋詞]
いっせいに

1000 enkashike

エンカシケ
上の方
その上に

1000 taban op

タバン オプ
今ここに・ある / 槍
この槍を

1001 chieshuyekar

チエシユイェカラ
[使役中相]される・で・を揺らす・(他
動詞形成)
振り下ろそう

1001 yak a-ramu

クア・ラム
[名詞化引用] / 私は・心・(他動詞
形成)
と私は思い

1002 shine ikinne

シネ イキンネ
一つの / まとまり・[繋詞]
いっせいに

1002 chiopeninu

チオベニヌ

[使役中相]される・槍・で・を縫う

そこに槍が突き通り

1003 hontomota

ホントモタ

途中・[時間的位置]

たちまち

1003 chikap korachi

チカプ コラチ

鳥 / へのように

鳥のように

1004 temka konna

テムカ コンナ

腕八手・上 / [韻律調整]

手元が

1004 barkosanu.

バラコサヌ。

(擬態の語根)・急に～する

ぱっと光った。

1005 Shine ikinne

シネ イキンネ

一つの / まとまり・[繫詞]

いっせいに

1005 op tuika un

オブ トウイカ ウン

槍 / 上 / [連用句形成]

槍の上に

1006 ohau not charke

オハウ ノツ チャラケ

汁 / ひとくち / 散らばる

汁がひと口跳ね散る

1006 ekannayukar

エカンナユカラ

について・上の方・ものまねする

さながらであり

1007 kamui inotor

カムイ イノトロ

神 / 魂・の所

神の霊

1007 hobumpa humi

ホブンパ フミ

尻・を持ち上げる / 音

の立ち昇る音が

1008 keurototke

ケウロトツケ

(擬音の語根)・(たて続けにくり返さ

れることを表す接尾辞)・(自動詞形

成)

ゴーゴーと鳴り響き

1009 shitchupka ne

シツチュプカネ

あたり・日の出る方角 / ～に

真東の方に

1009 yainiukeshte

ヤイニウケシテ

自分・し損じる・させる

行くことができず

1010 shitchupbok ne

シツチュプボクネ

あたり・日の沈む方角 / ～に

真西の方に

1010 yainiukeshte rokine

ヤイニウケシテ ロキネ

自分・し損じる・させる / 以前に～

した・して

行くことができずに

1011 shitchupbok ne

シツチュプボクネ

あたり・日の沈む方角 / ～に

真西の方

1012 oshikirpa

オシキリパ

そこに・自分・を回す

に回り

1012 anrai bito

アンライ ビト

全く・死ぬ / 神と同等の人

まったく死んでいくもの

1013 utarorke

ウタロロケ

～たち

たちは

1013 shitchupbok ne

シツチュプボクネ

あたり・日の沈む方角 / ～に

真西の方

1013 kohumerauta-

コフメラウタ

へ向かって・音・で・底・に

に音が底の方に

1014 rorpa kane,

ロロパ カネ、

沈む / ～して

沈んで、

1014 kohumokake

コフモカケ

と一緒に・音・のその後

その音の後

1015 chakkosampa.

チャッコサンパ。

(暗れることを表す語根)・急に～する

さっと空が晴れ渡った。

1016 Kamui okkaibe

カムイ オッカイベ

神 / 男

神の男たちは

1016 yayochakke-

ヤヨチャッケ

自分・そこに・(不快にすることを表

す語根)・(自動詞形成)

口の中で舌打ち

1017 echiu kane

エチウ カネ

その頭・に刺さる / ～して

をして

1017 chisoyekatta.

チソイエカッタ。

[使役中相]される・外・に向けて突進

させる

さっと外に出た。

1018 Irushka kamui

イルシカ カムイ

ものごと・を腹立たしく思う / 神

腹を立てた神は

1018 earhumneno

エアラムネノ

ただ一つ・一カ所に・(副詞形成)

ただ一つ音に

1019 to noshke

ト ノシケ

湖八沼 / 真ん中

沼の真ん中

1019 chashi tapka

チャシ タプカ

[中相]される・を立てる・ところ / 上

の城の頂き

1020 kohumterkere

コフムテレケレ

に向かって・音・跳ねる・させる

に音を跳ばし

1020 kohumokake

コフモカケ

と一緒に・音・のその後

その音の後

1021 chakkosanu.

チャッコサヌ。

(暗れることを表す語根)・急に～する

さっと空が晴れ渡った。

- 1021 Inu newa**
 イヌ ネワ
 もの・を聞く / [繋詞]・[熟語・慣用句]
 ただ聞くだけ
- 1021 inkan hau newa**
 インカン ハウ ネワ
 もの・を見る / (～と言った) こと /
 [繋詞]・[熟語・慣用句]
 見ることだけ
- 1022 a-kip ne koroka,**
 ア・キプ[°] ネ コロカ、
 私は・～をする・[名詞化辞] / [繋詞]
 / けれども
 を私はしたけれども、
- 1023 shiyoro keutum**
 シヨロ ケウトウム
 驚く / 心
 驚嘆の心
- 1023 a-yaikore.**
 ア・ヤイコレ。
 私は・自分・に～を与える
 を私は覚えた。
- 1023 Konep anuni**
 コネプ アヌニ
 いったい何 / 他人
 いったい何他人
- P.42**
- 1024 konep oyabe**
 コネプ オヤベ
 いったい何 / 他の・[名詞化辞]
 いったい何他者が
- 1024 katkor shiri**
 カツコロ シリ
 あり方・を持つ / ～する入している
 様子
 すること
- 1025 ne yakka tapne,**
 ネ ヤッカ タプネ、
 [繋詞] / ～すると・も / これ・の
 ように
 であっても、
- 1026 ene hetapne**
 エネ ヘタプネ
 このように / いったい～か・[繋詞]
 このようにまあ
- 1026 a-rushka humi**
 ア・ルシカ フミ
 私は・～に腹を立てる / ～の感じ
 私は腹が立つこと
- 1027 okai rok wa,**
 オカイ ロクワ、
 ～である / ～した(完了) / ～して
 であつたのに、
- 1027 konep teta**
 コネプ テタ
 いったい何 / ここ [空間的位置]
 いったい何ここに
- 1028 oroyachiki**
 オロヤチキ
 そこ・他の・すれば
 気がついてみると
- 1028 senne otobar**
 センネ オトバラ
 [否定辞] / 普通である
 このように立派なもの
- 1029 utar ne manup**
 ウタラ ネ マヌプ[°]
 親類 / [繋詞] / ～という・[名詞化辞]
 親類というもの
- 1030 a-kon rok okai.**
 ア・コン ロク オカイ。
 私は・～を持つ / ～した(完了) / あ
 る入いる
 を私は持っていたのです。
- 1030 Eboso kusu**
 エボソ クス
 で・貫く / [原因入理由]
 ほんとうに
- 1031 kamui ewaki upsoro**
 カムイ エワキ ウプソロ
 立派だ / に・(?)・する所 / 内部に
 おおわれている・ところ
 立派な御座所の内部
- 1031 a-oshikup ruwe**
 ア・オンクプ[°] ルウエ
 私は・そこに・成長する / こと入さま
 で私は成長したこと
- 1032 okai awa,**
 オカイ アワ、
 ～である / ～したところ
 であつたのに、
- 1032 oroyachiki**
 オロヤチキ
 そこ・他の・すれば
 気がついてみると
- 1033 tapne kane**
 タプネ カネ
 これ・のように / [意外]
 このようにして
- 1033 senne wenno**
 センネ ウェンノ
 [否定辞] / 悪い・(副詞形成)
 立派な
- 1034 a-eshikop**
 ア・エシコプ[°]
 私は・で・目・ついた・もの
 私の親である
- 1034 umurek utar**
 ウムレク ウタラ
 夫婦である / ～たち
 夫妻たちが
- 1035 okai hawe okai**
 オカイ ハウエ オカイ
 ある入いる / (～と言った) こと / ～
 である
 いたことであり
- 1036 nekona shikop tapne**
 ネコナ シコプ[°] タプネ
 どのように / 目・がつくもの / こ
 れ・のように
 どういう生まれの人
- 1036 a-kor ainu ne wa**
 ア・コロ アイヌ ネ ワ
 私は・～を持つ / 父 / [繋詞] / ～して
 で私の父はあつて
- 1037 pirika kasui wa**
 ピリカ カスイ ワ
 立派だ / ～しすぎる / ～して
 立派すぎて
- 1038 a-keshke hawe**
 ア・ケシケ ハウエ
 人が・～を呪う / (～と言った) こと
 それで呪われたこと
- 1038 a-ebokpa hawe**
 ア・エボクパ[°] ハウエ
 人が・～を憎む / (～と言った) こと
 それで憎まれたこと
- 1039 mashkino**
 マシキノ
 あまりにも・(副詞形成)
 あまりにも
- 1039 ramubekamam kashpa**
 ラムベカマム カシパ
 心・つらい / ～しすぎる
 ひどく悲しく思いをしすぎ
- 1040 tambe kusu**
 タムベ クス
 この・もの / [原因入理由]
 それゆえに

1041 tapne tapne

タブネ タブネ
これ・のように / これ・のように
かくかくしかじか

1041 itak hoppa koro,

イタク ホッパ コロ、
言葉 / (置いて去ることを表す語
根)・(複数) / ~しながら
遺言を遺しながら、

1042 nohan-ani wano

ノハン・アニ ワノ
小さい・私は・[名詞化辞] / から・
(副詞語尾)
私が小さい頃から

1043 kamui i-ekoshipa-an wa

カムイ イ・エコシパ・アン ワ
神 / 私を・について・任せる・(複
数)・人が / ~して
神に私は任せられて

1044 shikup-an hawe

シクプ・アン ハウエ
成長する・私は / (~と言った) こ
と
私は成長したことが

1044 tanepo konna

タネポ コンナ
今・(指小辞) / [韻律調整]
今初めて

1045 pirikano

ピリカノ
よい・(副詞形成)
しっかりと

1045 a-eraman yakka,

ア・エラマン ヤッカ、
私は・で・心・ある / ~すると・も
私はわかったけれど、

1046 a-koro unarbe

ア・コロ ウナラベ
私は・~を持つ / おば
私のおばが

1046 naa ponno

ナア ポンノ
もっと / 少ない・(副詞形成)
もう少し

1047 tunashno

トゥナシノ
早い・(副詞形成)
早く

047 i-hotanukar wa

イ・ホタヌカラ ワ
私を・(?)・を見る / ~して
私を訪ねた

1048 newa ne yakne

ネワ ネ ヤクネ
[繋詞]・[熟語・慣用句] / [繋詞]
/ ~すると・である
ならば

1048 tapne okai

タブネ オカイ
これ・のように / ある八いる
このように

P.43**1049 wen orushbe**

ウエン オルシベ
悪い / の所・についている・もの
私は

1049 wen irushka

ウエン イルシカ
程度がひどい / ものごと・を腹立た
しく思う
悪いうわさ話をしたり

1050 somo a-ki yakka

ソモ ア・キ ヤッカ
[否定辞] / 私は・~をする / ~す
ると・も
ひどく腹を立てたりしなければ

1050 pirikap ari

ピリカプ アリ
よい・[名詞化辞] / ~と
よかったのにと

1051 a-kor unarbe

ア・コロ ウナラベ
私は・~を持つ / おば
私のおばのこと

1051 ne yakka

ネ ヤッカ
[繋詞] / ると・も
も

1052 a-koramusarak kane

ア・コラムサラク カネ
私は・に・心・苦しむ / ~して
私は心配に

1053 yainu-an koroka,

ヤイヌ・アン コロカ、
自分・を聞く八感じる・私は / けれ
ども
私は思っていたけれども、

1053 tane anakne

タネ アナクネ
今 / ある・すれば
今は

1054 ene a-yei

エネ ア・イエイ
このように / 私は・~を言う・[名詞
化辞]
私はどう言いようも

1054 ene a-kari isam.

エネ ア・カリ イサム。
このように / 私は・~をする・[名詞
化辞] / ない
私はどうしようもない。

1055 A-koro unarbe

ア・コロ ウナラベ
私は・~を持つ / おば
私のおば

1055 newa ne yakka

ネワ ネ ヤッカ
[繋詞]・[熟語・慣用句] / [繋詞]
/ ~すると・も
にしてもまた

1056 tusu sak kunip

トゥス サククニプ
神おろしをする / ~がない / ~する
べき・もの
巫術のないもの

1057 nubur sak kunip

ヌブル サククニプ
霊力がある / ~がない / ~するべ
き・もの
霊力のないもの

1057 ne wa okaibe

ネ ワ オカイベ
[繋詞] / ~して / [接続助詞の後
に置かれる]・[名詞化辞]
であるもの

1057 tapne okai

タブネ オカイ
これ・のように / ある八いる
このような

1058 wen buri

ウエン ブリ
悪い / 行い
悪い行い

1058 ashtoma orushbe

アシトマ オルシベ
恐ろしい / の所・についている・もの
恐ろしい話を

1059 poho utari

ポホ ウタリ
息子 / ～たち
息子たちが

1059 ki kuni ka

キ クニ カ
～をする / [名詞化引用] / ～も…
しない
するとは

1060 ponno ka

ポンノ カ
少ない・(副詞形成) / ～も…しない
少しも

1060 ramu somoki ko,

ラム ソモキ コ、
心・(他動詞形成) / [否定辞]・～
をする / ～すると
思わずに、

1061 ear ikinne

エアラ イキンネ
一つだけ / まとまり・[繋詞]
まったく

1061 a-kor unarbe

ア・コロ ウナラベ
私は・～を持つ / おば
私のおば

1062 a-eashishkar ka

ア・エアシカラ カ
私は・そこに・を立てる・(他動詞形
成) / ～も…しない
を私は蘇生させる

1062 eaikap kane

エアイカプ カネ
について・できない / ～して
ことができずに

1063 yainu-an

ヤイヌ・アン
自分・を聞く・感じる・私は
私は考え

1063 eebakita

エエバキタ
次・[時間的位置]
その上

1064 tapne kane

タプネ カネ
これ・のように / [意外]
このようにして

1064 eusa eusa

エウサ エウサ
について・いろいろ・別々に / につ
いて・いろいろ・別々に
いろいろ

1065 hokukoshikupbe

ホクコシクプベ
夫・と一緒に・成長する・[名詞化辞]
許嫁

1065 a-ne rok okai.

ア・ネ ロク オカイ。
私は・[繋詞] / ～した(完了) / あ
る・いる
で私はあったのです。

1066 Pon a-kor sapo

ポン ア・コロ サポ
年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小辞)
年若い私の姉は

1066 kamui hoku

カムイ ホク
神 / 夫
神の夫と

1067 senne wenno

センネ ウェンノ
[否定辞] / 悪い・(副詞形成)
立派に

1067 koshikup

コシクプ
と一緒に・成長する
一緒に成長した

1068 rok okai ko,

ロク オカイ コ、
～した(完了) / ある・いる / ～すると
のに、

1068 a-keshke hetapne

ア・ケシケ ヘタプネ
人が・～を呪う / いったい～か・[繋詞]
いったいそれで呪われたのだろうか

1069 konep tap teta

コネプ タプ テタ
いったい何 / [強調] / ここ・[場所]
何とまあ

1069 orsaureko

オロサウレコ
全く・軽い・[反語的副詞形成]
とんでもないこと

1070 a-ekarkar shiri

ア・エカラカラ シリ
私は・人に～する / ～する・している様子
を私はしたこと

1070 okai chiki,

オカイ チキ、
～である / ～するから
だったから、

1071 sonno a-tuyashkarap

ソンノ ア・トゥヤシカラプ
本当に / 私は・～を憐れむ
そのことをほんとうに私は憐れに思
い

1072 inunukashki

イヌヌカシキ
かわいそうである
かわいそうに

1072 kamui okkaipo hene

カムイ オッカイポ ヘネ
神 / 男・(指小辞) / ～でも
神の男も

1073 pon a-kor sapo

ポン ア・コロ サポ
年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小辞)
年若い私の姉

1073 oshkor kasui shiri

オシコロ カスイ シリ
～を惜しかったと残念に思う / ～し
すぎる / ～する・している様子
を惜しかったと残念に思いすぎたこ
と

P.44**1074 sonno a-eramboken.**

ソンノ ア・エラムボケン。
本当に / 私は・で・心・その下・悪い
そのことをほんとうに私は気の毒に
思った。

1074 A-wenutari

アウェヌタリ
私の・悪い・仲間
私の悪い人たち

1075 ne rok okaibe

ネ ロク オカイベ
[繋詞] / ～した(完了) / ある・
[名詞化辞]
そんなやつ

1075 hemanta ne kusu

ヘマンタ ネ クス
何 / [繋詞] / [原因・理由]
何ということ

1076 ene okai

エネ オカイ
このように / ある
このような

1076 haita buri

ハイタ ブリ
知恵が足りない / 行い
愚かな行い

1077 koro shiri okai.

コロ シリ オカイ。
～を持つ / ～する入している様子 /
～ですか
を持ったことだろうか。

1077 Orowa

オロワ
そこ・から
それから

1077 ki rusui kusu

キ ルスイ クス
～をする / ～したい / [原因入理由]
しなかったから

1078 ikichip ne kusu,

イキチプ ネ クス、
する・[継続]・[名詞化辞] / [繋詞]
/ [原因入理由]
したものであるから、

1079 shinnai moshiri

シンナイ モシリ
違う・(挿入音) / 静かな・地
違う国

1079 a-obayere humi

ア・オバイエレ フミ
私は・に・行く・させる / ～の感じ
に姉を私は行かせたこと

1080 arkehe ta

アラケヘ タ
一つの・の所 / [空間的位置]
半分は

1080 a-eramboken kane

ア・エラムボケン カネ
私は・で・心・その下・悪い / ～して
それを私は気の毒に思っ

1081 arkehe ta

アラケヘ タ
一つの・の所 / [空間的位置]
半分は

1081 a-ehese kane

ア・エヘセ カネ
私は・のことで・息をする / ～して
それで私はほっと安心するように

1081 yainu-an.

ヤイヌ・アン。
自分・を聞く入感じる・私は
私は思った。

1082 Boro shikup kuru hene

ボロ シクフ クル ヘネ
大きくなる / 成長する / ～の人 /
～でも
成長して一人前の人でも

1082 shino yaikataikapbe

シノ ヤイカタイカプ ベ
本当である・(副詞形成) / 自分・形・
が下手だ・[名詞化辞]
じつにそれを恥ずかしく思うもの

1083 ramusarakbe

ラムサラクベ
その心・苦しむ・[名詞化辞]
心配するもの

1084 konep ne kusu,

コネプ ネ クス、
いったい何 / [繋詞] / [原因入理由]
であったから、

1084 nanka konna

ナンカ コンナ
顔・の上 / [韻律調整]
顔のおもて

1085 rapnatara

ラプナタラ
(擬態の語根)・(状態が続いているこ
とを表す接尾辞)
さびしく黙り込み

1085 ikkeu ka wa

イクケウ カ ワ
節・骨格 / 上 / ～から
腰の上から

1086 chininarbare kane,

チニナラバレ カネ、
[使役中相]される・消える・行く・さ
せる / ～して
消え失せるようにうつむいて、

1086 shine anipo

シネ アニポ
一つの / ある入いる・[名詞化辞]・
[指小辞]
一つところ

1087 nantuibare kane okai.

ナントウイバレ カネ オカイ。
顔・を切る・させる / ～して / [接
続助詞の後に置かれる]
をじつと見つめている。

1087 A-kor unarbe

ア・コロ ウナラベ
私は・～を持つ / おば
私のおばは

1088 taban rachishkar

タバシ ラチシカラ
今ここに・ある / 死ぬ・泣く・(他動
詞形成)
この嘘泣き

1089 riknakekke

リクナケッケ
高い所・の方へ・を折る
を上の方に折り

1089 ranakekke

ラナケッケ
低い所・の方へ・を折る
嘘泣きを下の方に折り

1089 ehautum konna

エハウトゥム コンナ
で・声・の中 / [韻律調整]
その声の中心が

1090 tununitara

トゥヌニタラ
(擬音の語根)・(状態が続いているこ
とを表す接尾辞)
美しく響き

1090 pon menoko

ボン メノコ
年若い / 女
若い女

1091 chish hau konna

チシ ハウ コンナ
泣く / 声 / [韻律調整]
の泣く声が

1092 tununitara.

トゥヌニタラ。
(擬音の語根)・(状態が続いているこ
とを表す接尾辞)
美しく響いた。

1092 Burai reubok ta

ブライ レウボク タ
窓 / 曲がって斜めになっているもの
のその下側 / [空間的位置]
窓の下で

1093 aokai ne yakka

アオカイ ネ ヤッカ
私 / [繋詞] / ～すると・も
私にしても

1093 otu chish wembe

オトゥ チシ ウェムベ
(韻律)・二つの / 泣く / 悪い・もの
二つの泣きの涙

1094 ore chish wembe

オレ チシ ウェムベ

(韻律)・三つの / 泣く / 悪い・もの
三つの泣きの涙**1094 a-yayekote kane,**

ア・ヤイエコテ カネ、

私は・自分・そこに・に～を結びつけ
る / ～して

に私はかきくれて、

1095 "Ene hetapne

「エネ ヘタプネ

このように / いったい～か・[繋詞]

「このようにまあ

1095 irushka-an kasui humi

イルシカ・アン カスイ フミ

ものごと・を腹立たしく思う・私は /
～しすぎる / ～の感じ

私は腹を立てすぎたこと

1096 okai a koroka,

オカイ ア コロカ、

～である / ～した (完了) / けれど
も

であったけれども、

1096 a-yaikotuima-

ア・ヤイコトウイマ

私は・自分・に・遠く

私はよくよく

1097 shiramsuiba

シラムスイバ

自分・心・を揺らす

考えてみると

1097 nep obitta

ネプ オビッタ

何の・もの / 全部

何全部

1098 euwokamkirbe

エウウォカムキルベ

で・もの・を買う・に見覚えがある・

[名詞化辞]

を互いに知っているもの

1098 somo ne katu

ソモ ネ カトゥ

[否定辞] / [繋詞] / 恰好八有様

ではないこと

P.45**1099 sonno a-eraman wa**

ソンノ ア・エラマン ワ

本当に / 私は・で・心・ある / ～し
て

ほんとうにそれが私にはわかって

1099 ambe

アムベ

[接続助詞の後に置かれる]・[名詞化辞]

いるのに

1100 tane anakne

タネ アナクネ

今 / ある・すれば

今は

1100 ouse shinen

オウセ シネン

ただ / 一つの・人

ただ一人

1100 a-ne batek

ア・ネ バテク

私は・[繋詞] / ～ばかり

で私はあるだけ

1101 an-an ruwe an ko,

アン・アン ルウェ アン コ、

あるハいる・私は / ことハさま / ～

である / ～すると

で私はあることであるのに、

1101 weno ikichip

ウエンノ イキチプ

悪い・(副詞形成) / する・[継続]・

[名詞化辞]

ひどいことをしたこと

1102 ne yakka

ネ ヤッカ

[繋詞] / ～すると・も

でも

1102 tane arobittano

タネ アロビッタノ

今はもう / 全く・全部・(副詞形成)

今はもうみなことごとく

1103 a-banakte okerba

ア・バナクテ オケルバ

人が・～を罰する / ～し終わる

罰せられ終わり

1103 pon a-kor sapo

ポン ア・コロ サポ

年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小辞)

年若い私の姉

1104 ruwokake

ルウォカケ

跡・(挿入音)・の後

の去った後

1104 tambe boka

タムベ ボカ

この・もの / (指小辞)・も

これだけでも

1105 a-kotuwashi.

ア・コトゥワシ。

私は・そこに・を見込んで頼りにする

私は頼りにしている。

1105 Tambe kusu

タムベ クス

この・もの / [原因ハ理由]

それゆえに

1105 ahun-an wa

アフン・アン ワ

家などの中・(自動詞形成)・私は / ～

して

私は家に入って

1106 a-koro unarbe hemem

ア・コロ ウナラベ ヘメモ

私は・～を持つ / おば / ～も・(重複)

私のおば

1107 a-nukar

ア・ヌカラ

私は・～を見る

に私は会って

1107 a-utari a-nukar yakne,

ア・ウタリ ア・ヌカラ ヤクネ、

私の・同族の人々 / 私は・～を見る /

～すると・である

私の仲間に私は会うならば、

1108 pirika nubetne

ピリカ ヌベツネ

よい / 喜ぶ

大いに喜ぶ

1108 nankoro.

ナンコロ。

顔・を持つ

だろう。

1109 E-irushka wa

エ・イルシカ ワ

あなたは・ものごと・を腹立たしく思

う / ～して

あなたが腹を立てて

1109 eutari tane baki

エウタリ タネ バキ

あなたの・仲間 / 今 / までの時・に

あなたの仲間を今さら

1110 e-tuiba ap kusu

エ・トゥイバ アプ クス

あなたは・～を切る / ～した (完

了)・[名詞化辞] / [原因ハ理由]

あなたが斬ったからといって

1110 e-ronnu ap kusu

エ・ロンヌ アプ クス

あなたは・～を殺す / ～した (完了)・[名詞化辞] / [原因∧理由]
仲間をあなたが殺したからといって

1111 konep raka

コネプ ラカ

いったい何 / 収穫
いったい何役に立つ

1111 nep an.

ネプ アン。

[繫詞]・[名詞化辞] / ～ですか
であろうか。

1111 Pon a-kor sapo hene

ボン ア・コロ サポ ヘネ

年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小辞) / ～でも
年若い私の姉も

1112 hetobo shiknup

ヘトボ シクヌプ

頭・を回す / 目・を持つ・[名詞化辞]
逆に生きるもの

1112 ne wa kusu." ari

ネ ワ クス。」アリ

[繫詞] / [熟語・慣用句] / [熟語] / ～と
であるから。」と

1113 hetobo yaitomooitak-an.

ヘトボ ヤイトモオイタク・アン。

頭・を回す / 自分・をなだめる・私は
逆に私は自身をなだめた。

1114 Tap orowa

タップ オロワ

そのとき / 所・～から
それから

1114 tanepo ekbe

タネポ エクベ

今・(指小辞) / 来る・[名詞化辞]
たった今来たもの

1114 katkoro kuni

カツコロ クニ

あり方・を持つ / ～する (べき) こと
のように振る舞うこと

1115 a-horkasuye

ア・ホカスイエ

私は・逆方向に・を揺らす
を私はすっかり真似をし

1115 burai reubok wa

ブライ レウボクワ

窓 / 曲がって斜めになっているもの
のその下側 / ～から
窓の下から

1116 chep shikiru

チェプ シキル

我々が・を食べる・もの / 自分・を
回す
魚が急旋回する

1116 a-shikobayar

ア・シコバヤラ

私は・自分・を～と間違える・させる
私はふりをし

1117 chise sam ka ta

チセ サム カ タ

家 / そば / 上 / [空間的位置]
家のすぐそばに

1117 apkash-an humi

アプカシ・アン フミ

歩く・私は / 音
私が歩く音

1118 a-upsor ikor

ア・ウプソロ イコロ

私の・ふところ / 宝物
私の懐の宝が

1118 kotununatki

コトウヌナツキ

(擬音語・擬態語を導く接頭辞)・(擬音重複)・(自動詞形成)
美しく鳴り響き

1119 mosem tuyor

モセム トウヨロ

小さい・物置 / 内部
玄関の内

1119 a-oshikiru

ア・オシキル

私は・そこに八で・自分・を回す
に私はまわって行き

1120 ratki aba

ラツキ アバ

下方・(自動詞形成) / (?)・口
垂れ下がる簾戸

1120 a-tunashmaka

ア・トゥナシマカ

私は・早く・(明るさや開放を表す語根)・(他動詞形成)
を私は素早く開け

1121 mintar ka ta

ミンタラ カ タ

外庭 / 上 / [空間的位置]
外庭の上に

1121 imeru tura

イメル トウラ

もの・きらめき / ～とともに
光とともに

1121 urar tura

ウララ トウラ

霧 / ～とともに
霧とともに

1122 a-rutkosanu.

ア・ルトコサヌ。

私は・(押しずらすことを表す語根)・
急に～する
私はさっと押し入った。

1122 Boro shikupkuru

ボロ シクプクル

大きい / 成長する・人
年取った翁

1123 ne wa

ネ ワ

[繫詞] / ～して
と

1123 a-kor unarbe

ア・コロ ウナラベ

私は・～を持つ / おば
私のおば

P.46**1124 ne wa**

ネ ワ

[繫詞] / ～して
と

1124 harkisotta

ハラキシソッタ

左側の・座・の所・[空間的位置]
左座に

1124 ponno i-turkasuno

ボンノ イ・トゥルカスノ

少ない・(副詞形成) / 私を・(伸ばすことを表す語根)・を凌ぐ・(副詞形成)

少し私よりも年上に

1125 chishikupka kuni

チシクプカ クニ

[使役中相]される・成長する・(他動詞形成) / [名詞化引用]
成長したと

1126 a-ramu

ア・ラム
私は・心・(他動詞形成)
私は思う

1126 pom menoko

ポム メノコ
年若い / 女
年若い女

1127 humi ash kunip

フミ アシクニフ
〜の感じ / (音が, 声が) する / 〜するべき・もの
のような感じがするものが

1127 oyamoktepa

オヤモクテパ
〜を不思議に思う・(複数)
それを不思議に思い

1128 shine ikinne

シネ イキンネ
一つの / まとまり・[繫詞]
いっせいに

1128 mintar ka un

ミンタラ カ ウン
外庭 / 上 / [連用句形成]
外庭の上の

1129 a-urari

ア・ウラリ
私の・霧
私の霧

1129 shikeshitaikipa

シケシタイキパ
目・で・をたたく・(複数)
を目で打ち払い

1130 katune kane

カトゥネ カネ
様子・[繫詞] / 〜して
表面だけでも

1130 ehomatpa kunip

エホマツパ クニフ
について・驚く / 〜するべき・もの
それに驚くもの

1131 newa ne yakne

ネワ ネ ヤクネ
[繫詞]・[熟語・慣用句] / [繫詞]
/ 〜すると・である
であったならば

1131 kotom korkaiki,

コトム コロカイキ、
〜かのように / けれども・ものごと・をする
いいけれど、

1132 arobittano

アロビットノ
全く・全部・(副詞形成)
みなことごとく

1132 kanibor ka ta

カニボロ カ タ
[上部八表面]・顔つき / 上 / [空間的位置]
その顔のおもて

1133 koraikosampa

コライコサンパ
一緒に・死ぬ・急に〜する
さっと青ざめ

1133 kani eashka

カニ エアシカ
私 / それこそ・〜も
私はそれこそ

1134 yaituyashkarap kunip

ヤイトウヤシカラフ クニフ
自分・を憐れむ / 〜するべき・もの
口惜しく思うもの

1135 a-nep ne kusu,

ア・ネフ ネ クス、
私は・[繫詞]・[名詞化辞] / [繫詞]
/ [原因八理由]
で私はあったから、

1135 tanebo konna

タネボ コンナ
今・(指小辞) / [韻律調整]
今初めて

1136 sonno tantebota

ソンノ タンテボタ
本当に / この・ここ・(指小辞)・に
ほんとうにたった今

1137 senne wenno

センネ ウェンノ
[否定辞] / 悪い・(副詞形成)
立派な

1137 unarbe ne manup

ウナラベ ネ マヌフ
おば / [繫詞] / 〜という・[名詞化辞]
おばというもの

1138 a-kor ruwe

ア・コロ ルウェ
私は・〜を持つ / こと八さま
を私は持つこと

1138 a-nukar chiki,

ア・ヌカラ チキ、
私は・〜を見る / 〜したから
を私は見たから、

1139 a-sambe bake

ア・サムベ バケ
私の・出る・もの / 頭
私の心臓の頭

1139 a-sambe kese

ア・サムベ ケセ
私の・出る・もの / 端
私の心臓の尻

1140 ekobuyuise

エコブユイセ
で・(擬音語・擬態語を導く接頭辞)・(搾られるように苦しむことを表す語根)・と言う
が沸き返り

1141 hese buira

ヘセ ブイラ
(擬音の語根)・と言う / 渦潮
息をする孔

1141 a-i-koseshke kane,

ア・イ・コセシケ カネ、
人が・私を・と一緒に・をふさぐ / 〜して
を私は塞がれて、

1142 unarbe okai

ウナラベ オカイ
おば / ある八いる
おばがいて

1142 a-raikotenke

ア・ライコテンケ
私は・ひどく・に・叫ぶ
私は絶叫し

1143 a-chish hau konna

ア・チシ ハウ コンナ
私は・泣く / 声 / [韻律調整]
私の泣く声が

1144 tununitara.

トゥヌニタラ、
(擬音の語根)・(状態が続いていること
を表す接尾辞)
美しく響いた。

1144 A-koro unarbe

ア・コロ ウナラベ
私は・〜を持つ / おば
私のおばを

- 1145 attemkoro**
アッテムコロ
全く・腕・を持つ
ただひと抱え
- 1145 a-koyaieyapkir**
ア・コヤイエヤブキリ
私は・に向かって・自分・で・投げる
動作をする
に私は放り投げ
- 1146 a-koro unarbe**
ア・コロ ウナラベ
私は・～を持つ / おば
私のおばは
- 1146 nushikari kasui**
ヌシカリ カスイ
私を・～を掴む ※ nushikari は
ieshikari の誤記 / ～しすぎる
私をしっかりとおさえすぎ
- 1147 homatu kasuibe**
ホマトウ カスイベ
驚く / ～しすぎる・[名詞化辞]
驚きすぎるもの
- 1148 konep ne kusu,**
コネブ ネクス、
いったい何 / [繋詞] / [原因入理由]
であったから、
- 1148 hauke imu**
ハウケ イム
(擬態の語根)・(自動詞形成) / イムをする
軽いイム
- P.47**
- 1149 tarui imu**
タルイ イム
激しい / イムをする
激しいイムが
- 1149 uturare**
ウトウラレ
互い・を同伴する・させる
入りまじり
- 1150 homakochiwe**
ホマコチウエ
その尻・後ろ側・そこに・に刺さる
後ずさりし
- 1150 nube tum wa**
ヌベ トウムワ
目・汁 / 中 / ～から
涙の中から
- 1151 imasasa kane,**
イマササ カネ、
もの・を開け広げる・(重複) / ～して
目を大きく見開いて、
- 1151 tap shisam un**
タブ シサム ウン
このように / 自分・のそば [連用句形成]
このように自分のそばで
- 1152 a-nukarbe**
ア・ヌカラベ
私は・～を見る・[名詞化辞]
おばを私は見ると
- 1152 mashkin**
マシキン
なおさら
なおさら
- 1153 a-koro unarbe**
ア・コロ ウナラベ
私は・～を持つ / おば
私のおばは
- 1153 kamui shiri ne**
カムイ シリネ
神 / ～する入している様子 / ～に (なる)
神のように
- 1154 tu urar ikkeu**
トゥ ウララ イッケウ
二つの / 霧 / 節・骨格
二つの霧の中心
- 1155 re urar ikkeu**
レ ウララ イッケウ
三つの / 霧 / 節・骨格
三つの霧の中心
- 1155 i-kocharikar**
イ・コチャリカラ
私に・に向かって・を散らす・(他動詞形成)
を私に向かって散らし
- 1156 naani tusui**
ナアニ トゥスイ
もう少しで～するところだった / 二つの・回
ほとんど二度
- 1156 naani resui**
ナアニ レスイ
もう少しで～するところだった / 三つの・回
ほとんど三度
- 1157 ainu kat ne**
アイヌ カツネ
人間 / 恰好入有様 / ～に (なる)
人間の形に
- 1157 i-kar eaikap kane,**
イ・カラ エアイカフ カネ、
私を・～をつくる / について・できない / ～して
私をつくることができずに、
- 1158 rembish ne wa**
レムビシ ネワ
三つの・人 / [繋詞] / ～して
三人で
- 1159 shine ikinne**
シネ イキンネ
一つの / まとまり・[繋詞]
いっせいに
- 1159 i-kourarchari**
イ・コウララチャリ
私に・に向かって・霧・を散らす
私に向かって霧を散らし
- 1160 hushkotoi wano**
フシコトイ ワノ
古い・ずっと / から・(副詞語尾)
しばらくの間
- 1160 ikichi rok ine,**
イキチ ロクイネ、
する・[継続] / ～した (完了) / ～して
そうやって、
- 1161 tanepo konna**
タネポ コンナ
今・(指小辞) / [韻律調整]
今初めて
- 1162 a-annanorke**
ア・アンナノロケ
私の・全く・顔・の所
私の全貌
- 1162 a-netobake**
ア・ネトバケ
私の・体
私の身体
- 1163 nukarba**
ヌカラバ
～を見る・[複数形形成]
を見て
- 1163 nani aokai**
ナニ アオカイ
すぐに / 私
すぐに私
- 1163 nei katu**
ネイ カトゥ
[繋詞]・[名詞化辞] / 恰好入有様
であることが

1164 usetara

ウセタラ
はつきりと
はつきりと

1164 eramokaibe

エラモカイベ
について・心・ある・[名詞化辞]
わかったもの

1165 konep ne kusu,

コネブ ネ クス、
いったい何 / [繋詞] / [原因入理由]
であったから、

1165 arobittano

アロピッタノ
全く・全部・(副詞形成)
みなことごとく

1166 ashirikinne

アシリキンネ
新しい・一まとまり・として
またさらに

1166 shum kina ne

シュム キナ ネ
萎える / 草 / ～に (なる)
萎れた草のように

1167 noikosampa.

ノイコサンパ。
(ねじれを表す語根)・急に～する
急に倒れ伏した。

1167 A-koro unarbe

ア・コロ ウナラベ
私は・～を持つ / おば
私のおばは

1168 i-kurkashike

イ・クルカシケ
私の・影入姿・の上
私の上に

1168 onoyoise,

オノヨイセ、
(擬音の語根)・と言う
崩れ落ち、

1169 "Matkarkupo

「マツカラクポ
女・甥・(指小辞)
「姪よ

1169 sambe." ari

サムベ。」 アリ
出る・もの / ～と
心臓よ。」と

1170 itak kane,

イタク カネ、
言う / ～して
言って、

1170 tusui chishnoye

トゥスイ チシノイエ
二つの・回 / 泣く・(ねじれを表す擬
態の語根)・(他動詞形成)
二度泣き死に

1171 resui chishnoye kane,

レスイ チシノイエ カネ、
三つの・回 / 泣く・(ねじれを表す擬
態の語根)・(他動詞形成) / ～して
三度泣き死んで、

1171 i-kata chish a chish a

イ・カタ チシア チシア
私の・～の上・[場所] / 泣く / 繰り返
し繰り返し～する / 泣く / 繰り返
し繰り返し～する
私の上で繰り返し泣き

1172 otusui konna

オトゥスイ コンナ
(韻律)・二つの・～回 / [韻律調整]
二度も

1173 oresui konna

オレスイ コンナ
(韻律)・三つの・～回 / [韻律調整]
三度も

1173 i-shikoruye kane,

イ・シコルイエ カネ、
私を・自分・に対して・を撫でさする
 / ～して
私を撫でさすって、

P.48**1174 kurkashike**

クルカシケ
上
その上

1174 itakomare hawe

イタコマレ ハウエ
言葉・に位置する・させる / 声
に言葉を入れる声は

1175 ene okaii.

エネ オカイイ。
このように / ある・[名詞化辞]
次のようであった。

1175 "Koninkarkusu

「コニンカラクス
それに・(挿入音)・見る・[熟語]
「よく聞いてください

1176 a-matkarku

ア・マツカラク
私の・女・甥
私の姪よ

1177 itak-an chiki

イタク・アン チキ
言う・私は / ～するから
私が言うから

1177 pirikano nu yan.

ピリカノ ス ヤン。
よい・(副詞形成) / ～を聞く / [命令]
よく聞きなさい。

1178 Sermaka yupkep

セレマカ ユプケブ
背後 / 強い・[名詞化辞]
憑き物が強いもの

1178 kash kamui korobe

カシ カムイ コロベ
上 / 神 / ～を持つ・[名詞化辞]
川の守り神を持つもの

1179 e-ne kusu,

エ・ネ クス、
あなたは・[繋詞] / [原因入理由]
であなたはあるから、

1179 hushkotoi wano

フシコトイ ワノ
古い・ずっと / から・(副詞語尾)
しばらくの間

1180 taban ushike ta

タバノ ウシケ タ
今ここに・ある / する習慣のある・
ところ / [空間的位置]
この場所に

1180 e-ek wa

エ・エクワ
あなたは・来る / ～して
あなたが来て

1181 wembe hene

ウヰムベ ヘネ
悪い・もの八こと / ～でも
悪いことでも

1181 pirikap hene

ピリカブ ヘネ
よい・[名詞化辞] / ～でも
よいことでも

1182 a-ki ubashkuma

ア・キ ウバシクマ
私は・～をする / 互い・にものごと
を教え伝える
私が伝えた先祖の話を

1182 obittano

オビッタノ
皆・(副詞形成)
みなことごとく

1182 e-nu okere awan.

エ・ヌ オケレ アワン。
あなたは・～を聞く / ～し終わる /
以前に～した・(挿入音)・ある / いる
あなたは聞き終わったのです。

1183 Tane anakne

タネ アナクネ
今 / ある・すれば
今は

1184 a-neike shiko

ア・ネイケ シコ
私の・どこに / 目・がつく
私はどういう生まれであり

1184 a-neike baro wa

ア・ネイケ バロ ワ
私の・どこに / 口・にある / ～して
私はどういう育ちであって

1185 e=nukar=ambe an.

エ・ヌカラ・アムベ アン。
あなたを・～を見る・私は・[名詞化
辞] / ～ですか
あなたに私は会ったものだろうか。

1185 "Sonno aokai

『ソンノ アオカイ
本当に / 私
『ほんとうに私

1186 ne yakka

ネ ヤッカ
[繫詞] / ～すると・も
も

1186 wen-an

ウェン・アン
悪い・私は
私は悪く

1187 yaikokatbak-an wa

ヤイコカツバク・アン ワ
自分・に・やり方・をとがめる・私は
 / ～して
私は後悔して

1187 a-yaikeur-

ア・ヤイケウオロ
私は・自分・骸・の所
私は自身

1188 ochiwe wa

ロチウェ ワ
その尻・に刺さる・(他動詞形成) / ～
して
を投げ棄てて

1188 e-koyayababu-an." ari

エ・コヤヤバブ・アン。』 アリ
あなたに・に・謝る・私は / ～と
あなたに私は謝りたい。』と

1189 tap bakno

タップ バクノ
たった今 / まで / ほど・(副詞形成)
たった今まで

1190 yainu-an kane

ヤイヌ・アン カネ
自分・を聞く / 感じる・私は / ～し
て
私は思っ

1190 an-an awa,

アン・アン アワ、
[接続助詞の後に置かれる]・私は /
～したところ
私はいたところ、

1191 pombe e-ne a yakka,

ポムベ エ・ネ ア ヤッカ、
小さい・もの / あなたは・[繫詞] / ～
した(完了) / ～すると・も
小さいものであなたはあっても、

1191 ebenuburbe

エベヌブルベ
について・霊力がある・[名詞化辞]
霊力のあるもの

1192 e-ne kusu,

エ・ネ クス、
あなたは・[繫詞] / [原因 / 理由]
でああなたはあるから、

1192 eramuan

エラムアン
～がわかる
覚えていなさい

1192 ene ne yakne

エネ ネ ヤクネ
このように / [繫詞] / ～すると・
である
それならば

1193 pirika kunii

ピリカ クニイ
よい / ～することになっている・[名
詞化辞]
よいこと

1193 e-eraman wa,

エ・エラマン ワ、
あなたは・で・心・ある / ～して
をあなたは知って、

1194 an-ewak ushike

アン・エワク ウシケ
私たちは・に・(?) / する習慣のあ
る・ところ
私たちの住み家

1195 e-oahun wa,

エ・オアフン ワ、
あなたは・そこに・入る / ～して
にああなたは入って、

1195 wen-an shiri

ウェン・アン シリ
悪い・私は / ～する / している様子
私のみじめなさま

1195 otui-an shiri

オトゥイ・アン シリ
その尻・切れる・私は / ～する / し
ている様子
私のつまらないさま

1196 unarbe ari

ウナラベ アリ
おば / ～と
おばと

1196 e-itak hawe

エ・イタク ハウエ
あなたは・言う / (～と言った) こ
と
あなたが言うこと

1197 sonno keutum oshi wano

ソンノ ケウトウム オシ ワノ
本当に / 心 / 後ろ / から・(副詞語
尾)
ほんとうに心の底から

1198 ram oshi wano

ラム オシ ワノ
心 / 後ろ / から・(副詞語尾)
心の中から

1198 yayiraike-an

ヤイライケ・アン
感謝する・私は
私は感謝し

P.49**1199 e-kobuntek-an na.**

エ・コブンテク・アン ナ。
あなたを・に・喜ぶ・私は / [要求]
あなたを私は褒めるのです。

1199 Katkemat anakne

カツケマツ アナクネ
あり方・のある・女性 / ある・すれ
ば
淑女は

1200 tap korachi

タブ コラチ
このように / ~のように
このように

1200 ramu hauke

ラム ハウケ
心 / (擬態の語根)・(自動詞形成)
心穏やかな

1201 pirika keutum

ピリカ ケウトム
よい / 心
よい心

1201 eashkai ko boo

エアシカイ コ ボオ
について・できる / ~すると / なお
いっそう
を持つことができるならばなおいっ
そう

1202 neita bakno

ネイタ バクノ
何の・所・[空間的位置] / まで / ほど・(副詞形成)
どこまでも

1202 kamui koinkar wa,

カムイ コインカラ ワ、
神 / 恵みを与える / ~して
幸運に巡り会って、

1203 pirika shikup

ピリカ シクブ
立派だ / 成長する
立派に成長し

1204 nisashnu shikup

ニサシヌ シクブ
(丈夫であることを表す語根)・優れ
ている / 成長する
健康に成長し

1204 maukopirikap

マウコピリカブ
空気・に・よい・[名詞化辞]
運がよいものは

1205 tap okai.

タブ オカイ。
このように / ある / いる
このようにある。

1205 "Sonno a-wenpoho

『ソンノ ア・ウエンポホ
本当に / 私の・悪い・息子
『ほんとうに私の悪い息子

1206 utarorke

ウタロケ
~たち
たち

1206 ene hetapne

エネ ヘタブネ
このように / いったい~か・[繫詞]
このようにまあ

1207 a-pirikareshu humi

ア・ピリカレシュ フミ
私は・よい・を育てる / ~の感じ
息子たちを私は立派に育てたこと

1207 okai rok awa,

オカイ ロク アワ、
~である / ~した(完了) / ~したところ
であったのに、

1208 katuchiwente

カトッチウエンテ
恰好・[使役中相]される・悪い・させる
恥をかかされる

1208 newa ne yakka

ネワ ネ ヤッカ
[繫詞]・[熟語・慣用句] / [繫詞]
/ ~すると・も
にしてもまた

1209 semkatune

セムカトゥネ
[否定辞]・[名詞化辞]・の次第・[繫詞]
とんでもない

1209 i-yekarkar shiri

イ・イエカラカラ シリ
私を・(挿入音)・人に~をする / ~
する / している様子
恥を私にかかせたさま

1210 sonno tane wen wa

ソンノ タネ ウエン ワ
本当に / 今はもう / 悪い / ~して
ほんとうに今はもうすっかり悪く

1210 okerep

オケレブ
~してしまう・[名詞化辞]
なってしまったもの

1211 ene a-yei

エネ ア・イエイ
このように / 私は・~を言う・[名詞化辞]
私はどう言ಿಯうも

1211 ene a-kari isam.

エネ ア・カリ イサム。
このように / 私は・~をする・[名詞
化辞] / ない
私はどうしようもない。

1211 Tane anakne

タネ アナクネ
今 / ある・すれば
今は

1212 shine ikinne

シネ イキンネ
一つの / まとまり・[繫詞]
いっせいに

1212 chiattamnere

チアットムネレ
[中相動名詞]される・一つの・刀・で
ある・させる
あなたが私を

1213 e-i-yekarkar

エ・イ・イエカラカラ
あなたが・私を・(挿入音)・人に~を
する
ひと太刀に斬り殺す

1213 kuni batek

クニ バテク
[名詞化引用] / ~ばかり
ことばかり

1214 a-ramu

ア・ラム
私は・心・(他動詞形成)
私は思い

1214 chiattamnere

チアットムネレ
[中相動名詞]される・一つの・刀・で
ある・させる
あなたは私を

1215 e-i-yekarkar

エ・イ・イエカラカラ
あなたが・私を・(挿入音)・人に~を
する
ひと太刀に斬り殺し

1215 yakka pirika.

ヤッカ ピリカ。
~すると・も / よい
てもよい。

1216 A-wempo utari

ア・ウエンポ ウタリ
私の・悪い・息子 / ~たち
私の悪い息子たちが

1216 ki ewembe

キ エウヱムベ

～をする / で・悪い・[名詞化辞]

やった悪いこと

1216 kor ewembe

コロ エウヱムベ

～を持つ / で・悪い・[名詞化辞]

犯した悪いこと

1217 a-korbe ne." ari

ア・コロベ ネ。』 アリ

私は・～を持つ・[名詞化辞] / [繋

詞] / ～と

を私は持つものなのです。』と

217 sonno yainu-an koro

ソンノ ヤイヌ・アン コロ

本当に / 自分・を聞く・感じる・私

は / ～しながら

ほんとうに私は考えながら

1218 okai-an awa,

オカイ・アン アワ、

[接続助詞の後に置かれる]・私は /

～したところ

私はいたところ、

1219 chieramboken

チエラムボケン

[中相動名詞]される・で・心・その下・

悪い

あなたは私を

1219 chituyashkarap

チトゥヤシカラプ

[中相動名詞]される・を憐れむ

かわいそうに思い

1220 ukokushpa

ウコクシバ

一緒に・(?)・(複数)

皆いっせいに

1220 e-i-yekarkar

エ・イ・イエカラカラ

あなたが・私を・(挿入音)・人に～を

する

私を憐れみ

1221 utar ne aba ne

ウタラ ネ アバ ネ

親類 / ～に(なる) / 親戚 / ～に(なる)

親類のように親戚のように

1221 e-i-ramu shiri

エ・イ・ラム シリ

あなたは・私を・～を思う / ～する

入している様子

あなたが私を思うこと

1222 oioi oyoi

オイオイ オヨイ

[はやしのかけ声]・(重複) / まあ

まあまあ

1222 sonno nubetne-an

ソンノ ヌベツネ・アン

本当に / 喜ぶ・私は

ほんとうに私は嬉しく

1223 sonno eramaye

ソンノ エラマイエ

本当に / ～を褒められる

ほんとうにそれを褒められる

1223 ruwe taban." ari

ルウェ タバン。』 アリ

こと八さま / これこのとおり・ある /

～と

ことなのです。』と

P.50**1224 hawash chiki,**

ハワシ チキ、

声・する / ～するから

そう聞こえたから、

1224 ene hetapne

エネ ヘタブネ

このように / いったい～か・[繋詞]

このようにまあ

1225 keutum otta

ケウトウム オッタ

心 / の所・[空間的位置]

心の中で

1225 a-koirushka kane

ア・コイルシカ カネ

私は・に対して・腹を立てる / ～し

て

それに私は腹を立てて

1226 yainu-an a koroka,

ヤイヌ・アン ア コロカ、

自分・を聞く・感じる・私は / ～し

た(完了) / けれども

私は思っていたけれども、

1227 "Orhetopo

「オロヘトポ

[強調]・逆に

「まったく逆に

1227 inunukashki

イヌナカシキ

かわいそうである

かわいそうに

1228 tane onne kushnep." ari

タネ オンネ クシネプ。』 アリ

今はもう / 老死する / [目的・原因

八理由]・[繋詞]・もの / ～と

今はもう老死するであろうのに。』と

1229 yainu-an chiki,

ヤイヌ・アン チキ、

自分・を聞く・感じる・私は / ～したから

私は考えたから、

1229 sonno orhetopo

ソンノ オロヘトポ

本当に / [強調]・逆に

ほんとうにまったく逆に

1230 tu pirika kunip

トゥ ピリカ クニプ

二つの / よい / ～するべき・もの

二つのよいこと

1231 re pirika kunip

レ ピリカ クニプ

三つの / よい / ～するべき・もの

三つのよいこと

1231 a-ye chiki,

ア・イエ チキ、

私は・～を言う / ～したから

を私は言ったから、

1232 a-keushutu hene

ア・ケウシュトゥ ヘネ

私の・おじ / ～でも

私のおじも

1232 pon a-kor sapo hene

ボン ア・コロ サポ ヘネ

年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小

辞) / ～でも

年若い私の姉も

1233 eashka

エアシカ

それこそ・～も

それこそ

1233 ramupo

ラムポ

心・[指小辞]

心が

1233 hemesusuba

ヘメススバ

頭・をそぐ・(重複)・(複数)

すっかり安心し

1234 i-kobakeun wa

イ・コバケウンワ

私に・～の方・[連用句形成] / ～に

私の方に

1234 shinushinu

シヌシヌ
ずる・(重複)
膝でずり寄り

1235 i-ukoruiruye

イ・ウコルイルイエ
私を・一緒に・を何回もなでる
私を何度も撫で

1236 i-keuhumshu

イ・ケウフムシュ
私を・骸・を祝福する
私を祝福し

1236 tu pirika kunip

トゥ ピリカ クニプ
二つの / よい / ～するべき・もの
二つのよいこと

1237 re pirika kunip

レ ピリカ クニプ
三つの / よい / ～するべき・もの
三つのよいこと

1238 i-ebakashnu

イ・エバカシヌ
私に・について・を教える
を私に教え

1238 utashpa

ウタシパ
互い・と交換する (tasa の語幹)・(複
数)
互いに

1238 uchishkar-an.

ウチシカラ・アン。
互い・泣く・(他動詞形成)・私たちは
私たちは泣き合った。

1239 Tap orowa

タブ オロワ
そのとき / 所・～から
それから

1239 a-keushutu

ア・ケウシュトゥ
私の・おじ
私のおじは

1240 ene itaki.

エネ イタキ。
このように / 話す・[名詞化辞]
次のように言った。

1240 "Hokure hokure

「ホクレ ホクレ
さあ早く / さあ早く
「さあさあ

1241 a-tureshipo

ア・トゥレシポ
私の・妹・[指小辞]
私の妹よ

1241 tane wen wa

タネ ウェン ワ
今 / だめである / ～して
今だめであって

1241 okerep

オケレプ
～してしまう・[名詞化辞]
しまったもの

1242 ene a-yei

エネ ア・イエイ
このように / 私は・～を言う・[名詞
化辞]
私はどう言いようも

1242 ene a-yei isam.

エネ ア・イエイ イサム。
このように / 私は・～を言う・[名詞
化辞] / ない
私はどう言いようもない。

1243 Kamui orushbe

カムイ オルシベ
神 / の所・についている・もの
神の話は

1243 hokampa nankoro

ホカンパ ナンコロ
難しい / 顔・を持つ
難しいだろう

1244 etoko ta

エトコ タ
先 / [時間的位置]
その前に

1244 wen kusu

ウェン クス
悪い / [原因∧理由]
悪いから

1244 ambe ka

アムベ カ
ある∧いる・[名詞化辞] / ～も
あるものも

1245 Tomisambechi

トミサムベチ
トミサムベチ
トミサムベチ

1245 Shinutapka

シヌタブカ
シヌタブカ
シヌタブカ

1246 kamui ewaki ta

カムイ エワキ タ
立派だ / に・(?)・する所 / [空間
的位置]
立派な御座所に

1246 bayean wa,

バイエアン ワ、
行く・私は / ～して
私は行って、

1247 tapne nei

タブネ ネイ
これ・のように / [繫詞]・[名詞化辞]
かくかくしかじかであること

1247 kamui a-nure

カムイ ア・ヌレ
神 / 私は・を聞く・させる
を神に私は聞かせ

1248 yayababu-an

ヤヤバブ・アン
謝る・私は
私は罪を謝し

1248 eepakita

エエパキタ
次・[空間的位置]
その上

1248 Moisamunkuru

モイサムンクル
モイサムンクル
モイサムンクル

P.51**1249 Tunibokunkur**

トゥニボクンクル
トゥニボクンクル
トゥニボクンクル

1250 Kotanraunkuru

コタンラウンクル
コタンラウンクル
コタンラウンクル

1250 echi-utari

エチ・ウタリ
あなたたちの・仲間
あなたたちの仲間が

1251 okai yakka,

オカイ ヤッカ、
ある∧いる / ～すると・も
いるけれど、

1251 naa nokan nankoro.

ナア ノカン ナンコロ。
まだ / 小さい / 顔・を持つ
まだ小さいであろう。

1252 Tapne nei

タブネ ネイ

これのように / [繋詞]・[名詞化辞]

かくかくしかじかであること

1252 ponno ka

ポンノ カ

少ない・(副詞形成) / ～も…しない

少しも

1253 erambetek

エラムベテク

～を知らない

わからない

1253 nankor kusu,

ナンコロ クス、

顔・を持つ / [原因]理由]

だろうから、

1253 obittano

オビッタノ

皆・(副詞形成)

みなことごとく

1254 a-tak wa,

ア・タクワ、

私は・～を招待する / ～して

私は招待して、

1254 a-inure orowa

ア・イヌレ オロワ

私は・もの・を聞く・させる / そこ・

から

そのことを私は聞かせそれから

1254 boro a-matkarku

ボロ ア・マツカラク

年上のほうの / 私の・女・甥

年上の方の私の姪

1255 kamui ramachi

カムイ ラマチ

神 / 魂

神の魂

1256 a-okanom

ア・オカノミ

私は・の後・をまつる

を私は祈禱し

1256 a-harukore wa,

ア・ハルコレ ワ、

私は・食物の収穫・に～を与える / ～

して

神の魂に私は食料を与えて、

1257 pirikano

ピリカノ

よい・(副詞形成)

きちんと

1257 kamui teksam

カムイ テクサム

神 / 手・のそばへ傍ら

神のすぐそば

1258 shinrit teksam

シンリツ テクサム

地・すじ / 手・のそばへ傍ら

先祖のすぐそば

1258 oshiraipa kuni ne

オシライバ クニ ネ

そこに・自分・を行かせるへ来させる

/ ～する (べき) こと / ～に (なる)

に私は出るように

1259 tunashno

トゥナシノ

早い・(副詞形成)

早く

1259 a-ki kusune na." ari

ア・キ クスネ ナ。」 アリ

私は・～をする / [目的・原因]理

由]・[繋詞] / [要求] / ～と

私はするつもりだ。」と

1260 hawash chiki,

ハワシ チキ、

声・する / ～するから

そう聞こえたから、

1260 ineap kusu

イネアプ クス

どうである・～した・もの / [熟語]

何とまあ

1261 uitaknu wa

ウイタクヌ ワ

互い・言葉・を聞く / ～して

耳を貸して

1261 shiriki nankora.

シリキ ナンコラ。

様子・ものごとをする / 顔・を持つ・～か

いるのだろうか。

1262 A-kor unarbe

ア・コロ ウナラベ

私は・～を持つ / おぼ

私のおぼは

1262 itak etoko

イタク エトコ

言葉 / 先

言葉の前

1263 ehobuni

エホブニ

に・尻・を持ち上げる

に跳び上がり

1263 shut ketushi

シュツ ケトゥシ

祖母 / 長持ち

昔の古い長持ち

1263 tekkushbare

テックシバレ

手・を通る・(複数)・させる

に手を通し

1264 tap orowa

タブ オロワ

そのとき / 所・～から

それから

1264 shiyuk kane,

シユク カネ、

自分・(挿入音)・を受け取る / ～し

て

盛装して、

1265 shut ketushi

シュツ ケトゥシ

祖母 / 長持ち

昔の古い長持ち

1265 se wa

セ ワ

～を背負う / ～して

を背負って

1265 matnepo

マツネポ

女・である・子

娘

1266 koitakhoppa kane,

コイタクホッパ カネ、

に・言葉・を残して去る / ～して

に言葉を遺して、

1267 nekona shikop

ネコナ シコフ

どのように / 目・がつく・もの

どういう生まれの人

1267 nekona barop

ネコナ バロフ

どのように / 口・がつく・もの

どういう育ちの人が

1268 tumbu otta

トゥムブ オッタ

部屋 / の所・[空間的位置]

部屋に

1268 okai ruwe

オカイ ルウェ

あるへいる / ことへさま

いること

1268 ne nankora,

ネ ナンコラ、
[繫詞] / 顔・を持つ・～か
であるのだろうか、

1269 soine shiri ka

ソイネ シリ カ
外・へ行く / ～するハしている様子 /
～も…しない
外に出た様子も

1269 isam kane,

イサム カネ、
ない / ～して
なくて、

1270 pon a-kor sapo

ボン ア・コロ サポ
年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小
辞)
年若い私の姉は

1270 tusui konna

トゥスイ コンナ
二つの・回 / [韻律調整]
二度も

1271 oresui konna

オレスイ コンナ
(韻律)・三つの・～回 / [韻律調整]
三度も

1271 i-shikoruye kane,

イ・シコルイェ カネ、
私を・自分・に対して・を撫でさする
/ ～して
私を撫でさすって、

1272 ene itaki.

エネ イタキ。
このように / 話す・[名詞化辞]
次のように言った。

1272 "Okaketa sui

「オカケタ スイ
後・[時間的位置] / また
「その後また

1273 unukar kunip

ウヌカラ クニフ
互い・を見る / ～するべき・もの
会うべきもの

1273 a-ne nankoro na." ari

ア・ネ ナンコロ ナ。」 アリ
私たちは・[繫詞] / 顔・を持つ / [要
求] / ～と
で私たちはあるだろう。」と

P.52**1274 hawokai kane,**

ハウオカイ カネ、
言う / ～して
言って、

1275 ineap kusu

イネアフ クス
どうである・～した・もの / [熟語]
何とまあ

1275 a-kateomare wa

ア・カテオマレ ワ
私の・～を好きになる / ～して
姉を私は慕わしく思っ

1276 humash nankora,

フマシ ナンコラ、
音・立つ (=する) / 顔・を持つ・
～か
そうなのだろうか、

1276 uwekoppa ka

ウウェコッパ カ
互い・(挿入音)・で・に・から去る /
～も…しない
別れ別れになることも

1277 a-niukesh kane,

ア・ニウケシ カネ、
私は・～をしようと思ってもすること
ができない / ～して
私はできずに、

1277 a-keushutu

ア・ケウシュトゥ
私の・おじ
私のおじ

1278 a-kor unarbe

ア・コロ ウナラベ
私は・～を持つ / おば
私のおば

1278 a-tura wa,

ア・トゥラ ワ、
私は・～を連れて来る / ～して
を私は連れて来て、

1278 soiwasamwa

ソイワサムワ
外・の・そば・へ
戸外

1279 an-oshiraipa

アン・オシライパ
私の・そこに・自分・を行かせるハ来
させる
に私は出て

1279 soyun yakura

ソユン ヤクラ
外・にある / 櫓
外の櫓

1280 yakura ka wa

ヤクラ カワ
櫓 / 上 / ～から
櫓の上から

1280 kamui nish ka

カムイ ニシカ
神 / 雲 / 上
天空上

1281 a-kohobumpa

ア・コホブンパ
私は・に・立ち上がる
に私は飛び上り

1281 ear humnen

エアラ フムネノ
一つだけ / 音・になる・(副詞形成)
ただひと音に

1282 Tomisambechi

トミサムベチ
トミサムベチ
トミサムベチ

1282 Shinutapka

シヌタプカ
シヌタプカ
シヌタプカ

1283 a-kohumterkere.

ア・コフムテレケレ。
私は・に・音・跳ねる・させる
に私は音を跳ばした。

1283 A-kor unarbe

ア・コロ ウナラベ
私は・～を持つ / おば
私のおばは

1284 erorun euturun

エロルン エウトウルン
その頭・上座・の方へ / その頭・下
座・の方へ
横座の方に下座の方に

1284 temeshirkik kane

テメシリキカ カネ、
手・で・あたり・を打つ / ～して
手であたりをたたいて、

1285 chishkonambe

チシコナムベ
[使役中相]される・自分・と一緒に・
その・ある・こと
大きく

1285 kobara tem ne

コバラ テム ネ
 に対して・広い / 腕入手 / ～に (なる)
 広がる手のように

1286 shinrit ewaki

シンリッ エワキ
 地・すじ / に・(?)・する所
 先祖の住むところ

1287 totto ewaki ta

トット エワキ タ
 乳房・(次の子音が重ねられたもの)・(重複)
 / に・(?)・する所 / [空間的位置]
 母の住むところで

1287 a-matkarku

ア・マツカラク
 私の・女・甥
 私の姪

1288 utar tura

ウタラ トウラ
 ～たち / ～と一緒に
 たちと一緒に

1288 pirika unukar

ピリカ ウヌカラ
 よい / 互い・を見る
 私は

1289 ratchi unukar

ラッチ ウヌカラ
 ゆっくり / 互い・を見る
 仲よく一緒に会い

1289 a-ki kuni batek

ア・キ クニ バテク
 私は・～をする / [名詞化引用] / ～ばかり
 ゆっくりと会うとばかり

1290 keutum oshi wano

ケウトゥム オシ ワノ
 心 / 後ろ / から・(副詞語尾)
 心の底から

1290 ram oshi wano

ラム オシ ワノ
 心 / 後ろ / から・(副詞語尾)
 心の中から

1291 a-chibachipa kane

ア・チバチパ カネ
 私は・を望む・(重複) / ～して
 私は望んで

1292 an-an awa,

アン・アン アワ、
 [接続助詞の後に置かれる]・私は /
 ～したところ
 私はいたところ、

1292 oyoyobota

オヨヨボタ
 まあ忌々しい
 まあ忌々しい

1293 neita bakno

ネイタ バクノ
 何の・所・[空間的位置] / までへほ
 ど・(副詞形成)
 どこまでも

1293 maukowen kunip

マウコウエン クニプ
 空気・に・悪い / ～するべき・もの
 運が悪いもの

1294 a-ne kusu,

ア・ネ クス、
 私は・[繫詞] / [原因へ理由]
 で私はあったから、

1294 arwen kamui

アラウエン カムイ
 全く・悪い / 神
 まったくの悪神

1295 arwem bito

アラウエム ビト
 全く・悪い / 神と同等の人
 まったく悪いお方は

1295 i-keshke shiri okai.

イ・ケシケ シリ オカイ。
 私を・～を憎む / ～するへしている
 様子 / ～である
 私を憎んだことであつた。

1296 Wen-an shiri

ウエン・アン シリ
 悪い・私は / ～するへしている様子
 私のみじめなさま

1296 otui-an shiri

オトゥイ・アン シリ
 その尻・切れる・私は / ～するへし
 ている様子
 私をつまらないさま

1297 shiknu-an ruwe

シクヌ・アン ルウェ
 目・を持つ・私は / ことへさま
 私は生きていること

1297 okai ko,

オカイ コ、
 ～である / ～すると
 であるのに、

1298 a-boromatarku

ア・ボロマツカラク
 私の・年上のほうの・女・甥
 私の年上の方の姪

1298 inunukashki

イヌヌカシキ
 かわいそうである
 かわいそうに

P.53**1299 shukup matkachi**

スクフ マツカチ
 成長する / 女・少年
 年若い女わらべ

1300 shukup menoko

シュクフ メノコ
 成長する / 女
 成長した女

1300 nekona tapne

ネコナ タプネ
 どのように / これ・のように
 どんなにかまあ

1301 a-keshke shiri

ア・ケシケ シリ
 人が・～を呪う / ～するへしている
 様子
 呪われたこと

1301 chikoyayomap

チコヤヨマフ
 [中相動名詞]される・と一緒に・自
 分・をかわいがる
 を私は

1302 i-yekarbe an ari

イ・イエカラベ アン アリ
 私を・(挿入音)・人に～をする・[名
 詞化辞] / ～ですか / ～と
 可哀想に思ったのだらうかと

1303 kamuikoyayababu-an ari

カムイコヤヤバブ・アン アリ
 神・に・わびる・私は / ～と
 私は神に謝ったと

1304 usa bishkani

ウサ ビシカニ
 いろいろ / 周囲
 いろいろな事柄

1304 koinne kane,

コインネ カネ、
 に・多い / ～して
 ことの次第を説き解いて、

1305 chisoroitak

チソロイタク
泣く・の所・言う
泣きながらものを言い

1305 a-etubeshnu.

ア・エトウベシヌ。
私は・について・悔やみを言う
それに私は同情した。

1305 Rabokita

ラボキタ
～している間・[時間的位置]
そのときに

1306 hawash hawe

ハワシ ハウエ
声・する / (～と言った) こと
その者たちが言うこと

1306 humash hawe

フマシ ハウエ
音・立つ (=する) / (～と言った)
こと
感じることを

1307 a-utari utar

ア・ウタリ ウタラ
私の・同族の人々 / ～たち
私の同族の人たちは

1307 oyamokte

オヤモクテ
～を不思議に思う
不思議に思い

1308 inne utar

インネ ウタラ
大人数である / 人々
大勢の人々が

1308 ukataterke

ウカタテレケ
互い・の上・に・跳ねる
互いに踏み合い

1309 ukoawokarpa

ウコアウオカラバ
一緒に・家の中・に取って代わる
一緒に入って来て

1309 tapne tapne

タップネ タブネ
これ・のように / これ・のように
かくかくしかじか

1310 nei katu

ネイ カトゥ
[繫詞]・[名詞化辞] / 恰好八有様
であること

1310 a-nure eashka

ア・ヌレ エアシカ
私は・を聞く・させる / それこそ・～も
をその者たちに私は聞かせそれこそ

1311 inne utar

インネ ウタラ
大人数である / 人々
大勢の人々が

1311 uchishtashbare kane,

ウチシタシバレ カネ、
互い・泣く・と交換する・させる / ～
して
一緒に泣き合って、

1312 sonno hetapne

ソンノ ヘタップネ
本当に / いったいへか・[繫詞]
ほんとうにまあ

1313 hawash hawe

ハワシ ハウエ
声・する / (～と言った) こと
その者たちが言うこと

1313 okaibe ne ya.

オカイベ ネ ヤ。
～である・[名詞化辞] / [繫詞] / へか
であったのだろうか。

1314 "Kamui ewaki ta

「カムイ エワキ タ
立派だ / に・(?)・する所 / [空間
的位置]
「立派な御座所で

1314 a-hekote

ア・ヘコテ
私は・頭・を～につなぐ
私が連れ添った

1315 pon katkemat utar

ボン カッケマツ ウタラ
年若い / あり方・のある・女性 / ～たち
年若い淑女たち

1315 sonno ramuratkino

ソンノ ラムラッキノ
本当に / 心・ぶら下がる・(副詞形成)
ほんとうに心安らかで

1316 uwekatarotke wa,

ウエカタロツケ ワ、
互い・(挿入音)・と仲が良い / ～して
仲が良くて、

1317 keshto an ko

ケシト アン コ
毎～・日 / ～になる / ～すると
毎日毎日

1317 uweomina-

ウウエオミナ
互い・(挿入音)・で・その尻・笑い
笑い

1318 ushi koro okai." ari

ウシ コロ オカイ。」 アリ
～に…がつく・(他動詞形成) / ～し
ながら / [接続助詞の後に置かれる]
/ ～と
ながらいた。」と

1319 hawash ko,

ハワシ コ、
声・する / ～すると
言うのと、

1319 sonno a-kotuwashba

ソンノ ア・コトゥワシバ
本当に / 私は・そこに・を見込んで
頼りにする・(複数)
それをほんとうに私は頼りにし

1320 a-enubetne

ア・エヌベツネ
私は・について・喜ぶ
それを私は喜び

1320 koro okai-an.

コロ オカイ・アン。
～しながら / [接続助詞の後に置か
れる]・私は
ながら私はいた。

1321 Aokai utar anakne

アオカイ ウタラ アナクネ
私たち / ～たち / ある・すれば
私たちは

1321 oribak-an kusu,

オリバク・アン クス、
恐れ込む・私は / [原因^理由]
私たちは遠慮深かったから、

1322 kamui ewaki ta

カムイ エワキ タ
立派だ / に・(?)・する所 / [空間
的位置]
立派な御座所に

1323 somo ahup-an yakka,

ソモ アフブ・アン ヤッカ、
[否定辞] / (家などに) 入る・私
たちは / ～すると・も
私たちは入らなかったけれど、

1323 pon katkemat utara

ボン カッケマツ ウタラ
年若い / あり方・のある・女性 / ～たち
年若い淑女たちは

P.54

1324 ratchino

ラッチノ

静かである人になる・十分に～である
静かに

1325 okai ko,

オカイ コ、

ある人いる / ～すると
いたので、

1325 ene a-eramushinne humi

エネ ア・エラムシンネ フミ

このように / 私は・について・心・
地面・である / ～の感じ
それでこのように私は安心したこと

1326 okai awa,

オカイ アワ、

～である / ～したところ
であったのに、

1326 "Inunukashki

「イヌヌカシキ

かわいそうである

「かわいそうに

1327 ene a-keshke hawe

エネ ア・ケシケ ハウエ

このように / 人が・～を呪う / (～
と言った) こと

このように呪われたこと

1328 okaii taan." ari

オカイイ タアン。」 アリ

～である・[名詞化辞] / [強調]・

～ですか / ～と

であったのだろうか。」と

1328 haweokai koro

ハウエオカイ コロ

言う / ～しながら

言いながら

1329 i-ukochishkarpa.

イ・ウコチシカラパ。

私を・一緒に・泣く・(他動詞形成)・
(複数)

私のことで一緒に泣いた。

1329 Nani a-keushutu

ナニ ア・ケウシュトゥ

すぐに / 私の・おじ

すぐに私のおじは

1330 tapne nei

タプネ ネイ

これ・のように / [繋詞]・[名詞化辞]

かくかくしかじかであること

1330 kotan ra un

コタン ラ ウン

村 / 下手 / [連用句形成]

村の下手に

1331 kotam ba un

コタム バ ウン

村 / 上手 / [連用句形成]

村の上手に

1331 Moisam un

モイスラム ウン

モイスラム / [連用句形成]

モイスラムに

1332 Tunibok un

トゥニボク ウン

トゥニボク / [連用句形成]

トゥニボク

1332 esonkoamba

エソンコアマバ

について・言つて・を携える

に言つてを持って行き

1333 hontomota

ホントモタ

途中・[時間的位置]

たちまち

1333 kamui arki hum

カムイ アラキ フム

神 / 来る / 音

神のやって来る音が

1334 keurototke

ケウロトツケ

(擬音の語根)・(たて続けにくり返さ
れることを表す接尾辞)・(自動詞形
成)

ゴーゴーと鳴り響き

1334 a-ye rok okai

ア・イエ ロク オカイ

人が・～を言う / ～した(完了) / あ
る人いる

いわゆる

1334 oyakak ta okai

オヤカク タ オカイ

他の所・(重複) / [空間的位置] / あ

る人いる

あちこちにいる

1335 a-utari utar

ア・ウタリ ウタラ

私の・同族の人々 / ～たち

私の同族の人たち

1335 neyak a-yep

ネヤク ア・イエフ

[繋詞]・～すると / 人が・～を言
う・[名詞化辞]

とやらしいもの

1336 iyainumare

イヤイヌマレ

人を・自分・驚き起つ・させる

驚いたことに

1336 rametok batek

ラメトク バテク

心・の先端 / ～ばかり

勇者ばかり

1337 utarpa batek

ウタラバ バテク

人々・頭 / ～ばかり

首領ばかり

1337 menoko otta

メノコ オッタ

女 / の所・[空間的位置]

女の中に

1338 katkemat batek

カツケマツ バテク

あり方・のある・女性 / ～ばかり

淑女ばかり

1338 pom menoko

ポム メノコ

年若い / 女

年若い女

1339 utarorke

ウタロロケ

～たち

たちが

1339 uwekarpa

ウウエカラパ

互い・(挿入音)・の方に向かって

たくさん集まり

1340 obittano

オビッタノ

皆・(副詞形成)

みなことごとく

1340 uchishtashbare

ウチシタシバレ

互い・泣く・と交換する・させる

一緒に泣き合い

1341 i-keuhumsu-an.

イ・ケウフムス・アン。

私たちを・骸・を祝福する・人が

私たちは祝福された。

1341 A-kor unarbe

ア・コロ ウナラベ
 私は・～を持つ / おば
 私のおば

1342 utari utar

ウタリ ウタラ
 親類 / ～たち
 親類たちは

1342 chish turanno

チシ トウランノ
 泣く / を同伴する・(挿入音)・(副詞形成)
 泣きながら

1343 boronno

ボロンノ
 多い・(挿入音)・(副詞形成)
 たくさん

1343 yayababu kane

ヤヤバブ カネ
 謝る / ～して
 謝って

1343 ekap.

エカプ。
 ～にあいさつする
 女たちにあいさつした。

1344 Okakean ko tapne

オカケアン コ タプネ
 後・[補助動詞] / ～すると / これ・
 のように
 そのあとでこのよう

1344 nei kamui

ネイ カムイ
 [繫詞]・[名詞化辞] / 神
 であることを神

1345 a-nure orowa

ア・ヌレ オロワ
 私は・を聞く・させる / そこ・から
 に私は聞かせそれから

1345 pon tonotopo a-kar

ポン トノトポ ア・カラ
 少ない / 酒・[指小辞] / 私は・～を
 つくる
 少し酒を私は造り

1346 boronno

ボロンノ
 多い・(挿入音)・(副詞形成)
 たくさん

1346 shitokar-an.

シトカラ・アン。
 団子・をつくる・私は
 私は団子をつくった。

1347 A-utari utar

ア・ウタリ ウタラ
 私の・同族の人々 / ～たち
 私の同族の人たち

1347 usa shisakbe

ウサ シサクベ
 いろいろ / 自分・を欠く・[名詞化辞]
 いろいろな珍しいもの

1348 biye kam hene

ビイエ カム ヘネ
 脂がのった / 肉 / ～でも
 脂がのった肉でも

1348 kirbu hene

キリブ ヘネ
 骨髄・(?) / ～でも
 脂身でも

1348 chep hene

チェプ ヘネ
 我々が・を食べる・もの / ～でも
 魚でも

P.55**1349 rebun chikoikip**

レブン チコイキプ
 沖・にある / [使役中相]される・を襲
 う / 獲る・[名詞化辞]
 沖の獲物

1349 haru hene

ハル ヘネ
 食料 / ～でも
 の食料でも

1350 pirika ike

ピリカ イケ
 よい / ほう
 おいしいもの

1350 boronno a-ukaerura

ボロンノ ア・ウカエルラ
 多い・(挿入音)・(副詞形成) / 私は・
 互い・の上・そこに・を運ぶ
 をたくさん私は何度も運んで行き

1351 orowano

オロワノ
 それから・(副詞形成)
 それから

1351 inne utar shuke

インネ ウタラ シュケ
 集合・である / 人々 / 鍋・(自動詞形
 成)
 大勢の人々が炊事をし

1352 rabokita

ラボキタ
 ～している間・[時間的位置]
 そのときに

1352 tonoto

トノト
 殿・乳
 酒

1353 pirika inumba-an.

ピリカ イヌムバ・アン。
 よい / もの・をしぼる・私は
 よく私は酒を搾った。

1353 Tane pon a-kor sapo

タネ ポン アコロ サポ
 今 / 年若い / 私は・～を持つ / 姉・
 (指小辞)
 今年若い私の姉

1354 kamui ramachi

カムイ ラマチ
 神 / 魂
 の神の魂

1355 a-okanomi kani,

ア・オカノミ カニ
 私は・の後・をまつる / ～して※kani
 は kane の誤記
 を私は祈禱して、

1355 pirikano

ピリカノ
 よい・(副詞形成)
 きちんと

1356 etoko a-oiki

エトコ ア・オイキ
 その先 / 私は・そこに・ものごとをする
 私は仕度をし

1356 okere kane,

オケレ カネ、
 ～し終わる / ～して
 終わって、

1357 rabokita

ラボキタ
 ～している間・[時間的位置]
 そのときに

1357 Kimunto kotan

キムント コタン
 キムント / 村
 キムントの村

1358 kotan noshkike

コタン ノシキケ
 村 / 真ん中
 村の真ん中

1358 bushkosanu

ブシコサヌ
はじける・急に～する
破裂したような音が響き

1359 earmatkinu

エアラマツキノ
ただ一つ・まっすぐに
まっすぐに

1359 kamui ek humi

カムイ エクフミ
神 / 来る / 音
神の来る音が

1360 keurototke

ケウロトツケ
(擬音の語根)・(たて続けにくり返されることを表す接尾辞)・(自動詞形成)
ゴーゴーと鳴り響き

1360 i-oyakeun ekbe

イ・オヤケウン エクベ
私を・～の他の所・[方向] / 来る・
[名詞化辞]
私より他の方に来るもの

1361 newa ne yakne

ネワ ネ ヤクネ
[繫詞]・[熟語・慣用句] / [繫詞]
/ ～すると・である
であったならば

1362 kotom korokaiki,

コトム コロカイキ、
～かのように / けれども・ものごと・をする
いいけれども、

1362 kamui ewaki

カムイ エワキ
立派だ / に・(?)・する所
立派な御座所

1363 attomsama

アットムサマ
全く・面の真ん中・のそば
にまっしぐらに

1363 yayomarep

ヤヨマレプ
自分・に位置する・させる・[名詞化辞]
近づいて来るもの

1364 konep ne kusu,

コネプ ネ クス、
いったい何 / [繫詞] / [原因八理由]
であったから、

1364 irukai ne ko tura

イルカイ ネ コ トウラ
ちよつとの間 / [繫詞] / ～すると /
～と一緒に
しばらくすると連れだって

1365 kamui mau

カムイ マウ
神 / 風
神風

1366 chashi karbe

チャシ カラベ
[中相]される・を立てる・ところ / ～
にあたる・[名詞化辞]
城に当たる風

1366 kosebebatke

コセベバツケ
(擬音語・擬態語を導く接頭辞)・(擬音の重複)・(動詞接尾辞)
はたはたと鳴り響き

1367 toyan karbe

トヤン カラベ
大地 / ～に当たる・[名詞化辞]
大地に当たる風

1367 koturimimse kane

コトゥリミムセ カネ
(擬音語・擬態語を導く接頭辞)・(擬音重複)・とと言う / ～して
ゴーゴーと鳴り響いて

1368 humash chiki,

フマシ チキ、
音・立つ (=する) / ～したから
音がしたから、

1368 a-utari utar

ア・ウタリ ウタラ
私の・同族の人々 / ～たち
私の同族の人たち

1369 a-keusutu

ア・ケウストゥ
私の・おじ
私のおじ

1369 a-kor unarbe

ア・コロ ウナラベ
私は・～を持つ / おば
私のおばは

1370 utomohosarpa

ウトモホサラバ
互い・中ほど・その尻・振り向く
一緒に振り返り

1370 shine itak

シネ イタク
一つの / 言葉
一つの言葉を

1371 eubaemko-

エウバエムコ
について・互い・口・半分
お互いに口の半分で

1371 uina kane

ウイナ カネ
～を取る / ～して
拾い合つて

1371 ene haweokaii.

エネ ハウェオカイイ。
このように / 言う・[名詞化辞]
次のように言った。

1372 "Inunukashki

「イヌヌカシキ
かわいそうである
「かわいそうに

1373 Kimunto un

キムント ウン
キムント / [連体句形成]
キムントの

1373 kotan koro kamui

コタン コロ カムイ
村 / ～を持つ / 神
村の神を

P.56**1374 monak**

モナク
ただでさえ
ただでさえ

1374 a-eramboken

ア・エラムボケン
私は・で・心・その下・悪い
私は気の毒に思い

1374 a-tuyashkarap humi

ア・トゥヤシカラプ フミ
私は・～を憐れむ / ～の感じ
神を私は憐れに思ったこと

1375 ambe

アムベ
～である・[名詞化辞]
であったのに

1376 kot tureshipo

コッ トウレシポ
～を持つ / 妹・[指小辞]
その妹

1376 a-okanomi

ア・オカノミ
私は・の後・をまつる
を私は祈禱し

1376 iramnuhare wa,

イラムヌカレ ワ、
人・心・を見る・させる / ～して
それを心で見抜いて、

1377 anihi ne yakka

アニヒ ネ ヤッカ
彼女 / [繫詞] / ～すると・も
彼女もまた

1378 iyokanomi

イヨカノミ
もの・(挿入音)・の後・をまつる
祈禱し

1378 inubeo wa boka

イヌベオ ワ ボカ
もの・目・汁・に～を入れる / ～し
て / (指小辞)・も
涙を流してでも

1379 kot tureshi

コツ トウレシ
～を持つ / 妹
その妹

1379 kotuwashi kusu,

コトウワシ クス、
と一緒に・誇りとする / [原因∧理由]
を見込んで頼りにしたから、

1380 san humi nei

サン フミ ネイ
前・へ行く / ～の感じ / [繫詞]・[名
詞化辞]
降りて来たことであったこと

1381 a-noeraman.

ア・ノエラマン。
私は・よく・について・心・ある
が私にはよくわかる。

1381 Kamui kushta

カムイ クシタ
神 / [理由・目的]・[強調]
神だからこそ

1382 kamui buri

カムイ ブリ
神 / 行い
神の行いが

1382 eashkai humi okai,

エアシカイ フミ オカイ、
について・できる / ～の感じ / ～である
できることであろうか、

1383 ikkewe wembe hene

イッケウェ ウェムベ ヘネ
理由 / 悪い・もの∧こと / ～でも
理由の悪いものでも

1383 pirikap hene

ピリカプ ヘネ
よい・[名詞化辞] / ～でも
よいものでも

1384 sonno ene ne yakne,

ソンノ エネ ネ ヤクネ、
本当に / このように / [繫詞] / ～
すると・である
ほんとうにそれならば、

1385 pirika kuni

ピリカ クニ
よい / [名詞化引用]
よいと

1385 eraman wa

エラマン ワ
について・心・ある / ～して
わかって

1386 kusune." ari

クスネ。」 アリ
[目的・原因∧理由]・[繫詞] / ～と
しよう。」と

1386 inne utarpa utar

インネ ウタラバ ウタラ
集合・である / 人々・頭 / ～たち
大勢の首領たちは

1387 chish tura

チシ トウラ
泣く / ～と一緒に
泣きながら

1387 nube tuta

ヌベ トッタ
目・汁 / ～と一緒に※tuta は tura の
誤記
涙と一緒に

1388 ukobabise

ウコバビセ
一緒に・口・ふくらむ袋
ひそひそ内緒話

1388 atte kane,

アツテ カネ、
掛かる・させる / ～して
をして、

1388 rabokita

ラボキタ
～している間・[時間的位置]
そのときに

1389 soyun yakura

ソユン ヤクラ
外・にある / 櫓
外の櫓

1390 yakura ka un

ヤクラ カウン
櫓 / 上 / [連用句形成]
櫓の上に

1390 kamui hachir hum

カムイ ハチリ フム
神 / 落ちる / 音
神の落ち来る音が

1391 naikosanu

ナイコサヌ
(擬音の語根)・急に～する
美しく鳴り響き

1392 chise sam ka ta

チセ サム カ タ
家 / そば / 上 / [空間的位置]
家のすぐそばに

1392 apkash humi

アプカシ フミ
歩く / 音
歩く音

1393 tumpa maikan

トゥンパ マイカン
鏝 / 金属性の美しい響き・末
太刀の鏝の音が

1393 tununitara

トゥヌニタラ
(擬音の語根)・(状態が続いているこ
とを表す接尾辞)
美しく響き

1394 mosem tuyor

モセム トウヨロ
小さい・物置 / 内部
玄関の内

1394 eshikiru

エシキル
そこに・自分・を回す
に向きを変え

1395 mosem tuyor un

モセム トウヨロ ウン
小さい・物置 / 内部 / [連用句形成]
玄関の内に

1395 kamui ranke tam

カムイ ランケ タム
神 / 下がる・(他動詞形成) / 刀
神から賜った太刀

1397 seppa rarkan

セツパ ララカン
 刀の鏝 / 眉・の末
 の鏝の縁

1396 a-kik hum konna

ア・キク フム コンナ
 私は・～を打つ / 音 / [韻律調整]
 を私が打った音が

1397 naikosanu.

ナイコサヌ。
 (擬音の語根)・急に～する
 美しく鳴り響いた。

1398 Ratki aba

ラツキ アバ
 下方・(自動詞形成) / (?)・口
 垂れ下がる簾戸

1398 omausuyere

オマウスイエレ
 その尻・風・を揺らす・させる
 を風のように揺るがし

P.57**1399 mintar ka ta**

ミンタラ カ タ
 外庭 / 上 / [空間的位置]
 外庭の上に

1399 imeru tura

イメル トウラ
 もの・きらめき / ～とともに
 光とともに

1400 urar tura

ウララ トウラ
 霧 / ～とともに
 霧とともに

1400 rutkosanu

ルツコサヌ
 (擬態の語根)・急に～する
 さっと押し入り

1400 inkar-an ko,

インカラ・アン コ、
 もの・を見る・私は / ～すると
 私は見てみると、

1401 isenramkusu

イセンラムクス
 もの・いつものことである・のために
 いつものように

1401 okutchi urar

オクツチ ウララ
 薄くかける / 霧
 薄くかける霧

1402 urar tumu

ウララ トウム
 霧 / 中
 霧の中心

1402 yayomare kane,

ヤヨマレ カネ、
 自分・に位置する・させる / ～して
 に自身を入れて、

1403 harkiso ne

ハラキソ ネ
 左側・の・座 / ～に
 左座

1403 urekushte

ウレクシテ
 足・を通る・させる
 を通り

1404 hoka etok ne

ホカ エトク ネ
 尻・の上 / 先 / ～に
 炉火の先

1404 ehorari

エホラリ
 そこに・尻・を押さえる
 に座り

1405 inkar-an ko,

インカラ・アン コ、
 もの・を見る・私は / ～すると
 私は見てみると、

1405 konepkukata

コネヅケウカタ
 いったい何・体・の上・に
 まあ何ということだろう

1406 konepkashita

コネヅカシタ
 いったい何・の上・に
 まあどうしたことだろう

1406 ene an a kamui

エネ アン ア カムイ
 このように / ある八いる / ～した
 (完了) / 神
 このようにあった神

1407 ene an a bito

エネ アン ア ビト
 このように / ある八いる / ～した
 (完了) / 神と同等の人
 このようにあったお方

1407 irukai tom ta

イルカイ トム タ
 ちよつとの間 / ～している最中に /
 [時間位置]
 ちよつとの間

1408 konep tashumi

コネヅ タシユミ
 いったい何 / 病気
 いったい何病気

1408 konep ikoni

コネヅ イコニ
 いったい何 / もの・痛む
 いったい何患い

1408 ki kunip

キ クニヅ
 ～をする / ～するべき・もの
 をしたものが

1409 okai nankora,

オカイ ナンコラ、
 ある八いる / 顔・を持つ・～か
 いるのだろうか、

1409 ibottum konna

イボットウム コンナ
 顔つき・中 / [韻律調整]
 顔色が

1410 koshumnatarā

コシュムナタラ
 (擬音語・擬態語を導く接頭辞)・(擬
 態の語根)・(状態が続いていることを
 表す接尾辞)
 萎れ

1410 korennatarā

コレンナタラ
 (擬音語・擬態語を導く接頭辞)・(擬
 態の語根)・(状態が続いていることを
 表す接尾辞)
 優れず

1411 sattek kane

サツテク カネ
 乾く・ちよつと～する / ～して
 痩せて

1411 okai wa,

オカイ ワ、
 いる / ～して
 いて、

1412 kamui huchi

カムイ フチ
 神 / 祖母
 神の媼

1412 kotekrikikur-

コテクリキクル
 に対して・手・上へ・(韻律調整)
 の方に手を高く

1413 buni kane

ブニ カネ
 へを持ち上げる / へして
 持ち上げて

1413 koonkami.

コオンカミ。
 に・拝礼する
 媼に拝礼した。

1413 Kamui ne kusu,

カムイ ネ クス、
 神 / [繫詞] / [原因^理由]
 神であるから、

1414 ineap kusu

イネアプ クス
 どうである・へした・もの / [熟語]
 何とまあ

1414 wayashnu wa

ワヤシヌ ワ
 (?)・がすぐれている / へして
 叡智に富んで

1415 bawetokkoro wa

バウエトッコロ ワ
 口・(つなぎの音)・の先・を持つ / へ
 して
 雄弁である

1416 hawash nankora.

ハワシ ナンコラ。
 声・する / 顔・を持つ・へか
 ことなのだろうか。

1416 Tapne tapne

タップネ タップネ
 これ・のように / これ・のように
 かくかくしかじか

1417 ikkewe wembe okaii

イッケウエ ウェムベ オカイイ
 理由 / 悪い・もの^こと / ある^い
 る・[名詞化辞]
 理由の悪いものがあつたこと

1417 kamuikoyayababui hene

カムイコヤヤバブイ ヘネ
 神・に・わびる・[名詞化辞] / へでも
 神に謝つたことでも

1418 pon a-kor sapo

ポン ア・コロ サポ
 年若い / 私は・へを持つ / 姉・(指小辞)
 年若い私の姉

1419 okanomi kusu

オカノミ クス
 の後・をまつる / [目的]
 を供養するために

1419 yayoteknare

ヤヨテクナレ
 自分・そこに・手をかける・させる
 自分から手をかけ

1420 Tomisambechi

トミサムベチ
 トミサムベチ
 トミサムベチ

1421 Shinutapkashi

シヌタプカシ
 シヌタプカ
 シヌタプカ

1421 kamui ewaki

カムイ エワキ
 立派だ / に・(?)・する所
 の立派な御座所

1422 upsor orke

ウプ ソロ オロケ
 内部におおわれている・ところ / 所
 のふところ深く

1422 koshirepai hene

コシレパイ ヘネ
 に・到着する・[名詞化辞] / へでも
 に到着したことでも

1423 usa bishkani

ウサ ビシカニ
 いろいろ / 周囲
 いろいろな事柄

1423 koomommomo kane,

コオモンモモ カネ、
 に対して・をつぶさに述べる / へして
 をつまびらかにして、

P.58**1424 kamui nure**

カムイ ヌレ
 神 / を開く・させる
 神にそれを聞かせ

1424 chise so ba un hene

チセ ソ バ ウン ヘネ
 家 / 床 / 上手 / [連用句形成] / へでも
 家の床の上手にも

1425 arukorachi neino

アルコラチ ネイノ
 全く・互い・のように / である・(挿
 入音)・(副詞形成)
 まったく同じように

1426 kamuikoitak.

カムイコイタク。
 神・に・話す
 神に祈りを捧げた。

1426 Utarpa utar

ウタラバ ウタラ
 人々・頭 / へたち
 首領たち

1427 katkemat utar

カツケマツ ウタラ
 あり方・のある・女性 / へたち
 淑女たち

1427 kamui tubeshnu

カムイ トゥベシヌ
 神 / へに同情する
 神に同情し

1428 okkayo utar

オッカヨ ウタラ
 男 / へたち
 男たちは

1428 okkeu ka wa

オッケウ カ ワ
 えり首・骨格 / 上 / へから
 襟首の上から

1429 chininarbare kane,

チニナラバレ カネ、
 [使役中相]される・消える・行く・さ
 せる / へして
 消え失せるようにうつむいて、

1429 tu kishnu nube

トゥ キシヌ ヌベ
 二つの / 音がないこと / 目・汁
 二つの声無き涙

1430 re kishnu nube

レ キシヌ ヌベ
 三つの / 音がないこと / 目・汁
 三つの声無き涙

1431 rapte kane,

ラプテ カネ、
 下がる・(他動詞形成) / へして
 を落として、

1431 katkemat utara

カツケマツ ウタラ
 あり方・のある・女性 / へたち
 淑女たちは

1432 oribak tura

オリバク トウラ
 畏れ慎む / へと一緒に
 畏れ慎みながら

1432 otu chish wembe

オトゥ チシ ウェムベ

(韻律)・二つの/泣く/悪い・もの
二つの泣きの涙

1433 ore chish wembe

オレ チシ ウェムベ

(韻律)・三つの/泣く/悪い・もの
三つの泣きの涙

1433 yayekotpa

ヤイエコツパ

自分・そこに・に～を結びつける
にかきくれ

1434 shittoyakan

シットヤカン

地・土・陸地・表面
地上はいたるところ

1434 kokishnatara

コキシナタラ

(擬音語・擬態語を導く接頭辞)・(擬態の語根)・(状態が続いていることを表す接尾辞)
ひっそりとして

1435 nep hawe ka

ネプ ハウェ カ

何の・もの / 声 / ～も…しない
何声も

1435 nep humi ka

ネプ フミ カ

何の・もの / 音 / ～も…しない
何音も

1436 isam

イサム

ない
なく

1436 ouse bichish-an

オウセ ビチシ・アン

ただ / 小声・泣く・私は
ただ私が小声で泣く

1436 hawe batek

ハウエ バテク

声 / ～ばかり
声ばかりが

1437 chiutasare.

チウタサレ。

[使役中相]される・交叉する・させる
そこで交叉している。

1437 Tu ok kamui kuru

トゥ オク カムイ クル

二つの / 悲嘆にくれて顔を伏せている / 神 / 姿
二つの悲しい神の姿

1438 re ok kamui kur

レ オク カムイ クル

三つの / 悲嘆にくれて顔を伏せている / 神 / 姿
三つの悲しい神の姿が

1438 tam boro chise

タム ボロ チセ

この / 大きい / 家
この大きい家

1439 upsoroho

ウプソロホ

内部におおわれている・ところ
の内部

1439 eerachitke kane,

エエラチック ケネ、

を伴って・それで・(垂れ下がる意味の語基)・(自動詞形成) / ～して
にぶら下がって、

1440 tanepo konna

タネポ コンナ

今・(指小辞) / [韻律調整]
今初めて

1440 a-keusutu

ア・ケウストゥ

私の・おじ
私のおじ

1441 ki charanke

キ チャランケ

～をする / 口・を下ろす
の抗議する言葉が

1441 kakkok hau ne

カッコク ハウ ネ

カッコウ / 声 / ～になる
カッコウの声のように

1442 ouse turse

オウセ トウルセ

ただ / (擬態の語根)・と言う
ただ転がり

1442 ehautum konna

エハウトゥム コンナ

で・声・の中 / [韻律調整]
その声の中心が

1443 tununitara.

トゥヌニタラ。

(擬音の語根)・(状態が続いていることを表す接尾辞)
美しく響いた。

1443 Ene ene

エネ エネ

このように / このようにかくかくしかじか

1444 wen orushbe

ウェン オルシベ

悪い / の所・についている・もの
悪い話が

1444 heashi kuni hene

ヘアシ クニ ヘネ

顔・を立てる / ～する(べき)こと / ～でも
起こることでも

1445 ubashkuma

ウバシクマ

互い・にものごとを教え伝える
先祖の話が

1445 moirei hene

モイレイ ヘネ

遅い・[名詞化辞] / ～でも
遅いことでも

1446 ukaebita

ウカエビタ

互い・の上・その頭・をほどく
それらをすべて明らかにし

1446 yayababu

ヤヤバブ

謝る
謝り

1446 itasa bakno

イタサ バクノ

人・と交代する / まで八ほど・(副詞形成)
同じように

1447 kamui okkaipo

カムイ オッカイポ

神 / 男・(指小辞)
神の男

1447 newa ne yakka

ネワ ネ ヤッカ

[繫詞]・[熟語・慣用句] / [繫詞]
 / ～すると・も
にしてもまた

1448 tu pirika kunip

トゥ ピリカ クニフ
 二つの / よい / ～するべき・もの
 二つのよいこと

P.59**1449 re pirika kunip**

レ ピリカ クニフ
 三つの / よい / ～するべき・もの
 三つのよいこと

1449 ukaebita.

ウカエビタ。
 互い・の上・その頭・をほどく
 をすべて明らかにした。

1450 Tane anakne

タネ アナクネ
 今 / ある・すれば
 今は

1450 a-utari

ア・ウタリ
 私の・同族の人々
 私の親族

1451 obittano

オビッタノ
 皆・(副詞形成)
 みなことごとく

1451 unukar itak

ウヌカラ イタク
 互い・を見る / 言葉
 顔を合わせる言葉

1451 utashbare

ウタシバレ
 互い・と交換する (tasa の語幹)・(複
 数)・させる
 を返し合い

1452 okakean ko,

オカケアン コ、
 後・[補助動詞] / ～すると
 そのあとで、

1452 utashpa

ウタシパ
 互い・と交換する (tasa の語幹)・(複
 数)
 互いに

1453 arusantek kashi

アルサンテク カシ
 全く・互い・出る・手 / 上
 まったく互いの手先の上

1453 ukoruiruipa kane,

ウコルイルイパ カネ、
 一緒に・(撫でることを表す語根)・(重
 複) / ～して
 を一緒に撫でさずって、

1454 aokai ne

アオカイ ネ
 私 / [繫詞]
 私にしても

1454 oribak tura

オリバク トウラ
 畏れ慎む / ～と一緒に
 畏れ慎みながら

1455 shinu-an kane

シヌ・アン カネ
 ずる・私は / ～して
 私はずって

1455 reye-an kane

レイエ・アン カネ
 這う・私は / ～して
 私は這って

1456 kamui okkaipo

カムイ オッカイポ
 神 / 男・(指小辞)
 神の男

1456 samake ta

サマケ タ
 そば / [空間的位置]
 のかたわらに

1456 oman-an chiki,

オマン・アン チキ、
 行く・私は / ～したから
 私が行ったなら、

1457 tanepo konna

タネポ コンナ
 今・(指小辞) / [韻律調整]
 今初めて

1458 i-kohosari

イ・コホサリ
 私に・に向かって・振り向く
 私の方を振り返り

1458 ene an kamui

エネ アン カムイ
 このように / ある / 神
 このような神

1458 ene am bito

エネ アム ビト
 このように / ある / 神と同等の人
 このようなお方が

1459 hemshiehose

ヘムシエホセ
 同じ・自分・そこに・背を向ける
 自分をさしおいて

1459 konep kamuye

コネフ カムイエ
 いったい何 / 神・～か
 いったい何神

1460 konep bitoho

コネフ ビトホ
 いったい何 / 神と同等の人・～か
 いったい何人

1460 koshikraibap

コシクライバフ
 に対して・目・を行かせる八来させ
 る・[名詞化辞]
 に目をやったものか

1461 kanibor kashi

カニボロ カシ
 [上部八表面]・顔つき / 上
 顔のおもて

1461 koraikosampa

コライコサンパ
 一緒に・死ぬ・急に～する
 さっと青ざめ

1462 katune kane

カトゥネ カネ
 様子・[繫詞] / ～して
 表面だけでも

1462 i-erayap kunip

イ・エラヤフ クニフ
 私を・で・感心する / ～するべき・
 もの
 私に感嘆するもの

1463 newa ne yakne

ネワ ネ ヤクネ
 [繫詞]・[熟語・慣用句] / [繫詞]
 / ～すると・である
 であったならば

1464 kotom korokaiki,

コトム コロカイキ、
 ～かのように / けれども・ものご
 と・をする
 いいけれども、

1464 i-tukarikepo

イ・トゥカリケポ
 私の・手前の所・[指小辞]
 私の手前のところ

1465 koshikerana-

コシケラナ
 に対して・目・で・下・の方
 に視線を低く

1465 atte kane,

アツテ カネ、
 掛かる・させる / ～して
 目を伏せて、

1466 "Tureshbe." ari

「トゥレシベ。」アリ
 妹・[指小辞] / ～と
 「妹よ。」と

1466 "Sambe." ari

「サムベ。」アリ
 出る・もの / ～と
 「心臓よ。」と

1466 itak kane,

イタク カネ、
 言う / ～して
 言って、

1467 a-kimui kashi

ア・キムイ カシ
 私の・頭 / 上
 私の頭の上

1467 i-koruiruye kane

イ・コルイルイェ カネ
 私を・に対して・(なでることを表す
 語根)・(重複)・(他動詞形成) / ～
 して
 を撫でて

1468 i-nukar chiki,

イ・ヌカラ チキ、
 私を・～を見る / ～するから
 私を見るのに、

1468 boo hene

ボオ ヘネ
 なおいっそう / [強調]
 なおいっそう

1469 pon a-kor sapo

ボン ア・コロ サポ
 年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小辞)
 年若い私の姉

1469 eshikarun wa

エシカルン ワ
 ～を思い出す / ～して
 を思い出す

1470 ne noine

ネ ノイネ
 [繫詞] / ～らしく
 ように

1470 i-kurkashike

イ・クルカシケ
 私の・影八姿・の上
 私の上に

1470 tu kishnu nube

トゥ キシヌ スベ
 二つの / 音がないこと / 目・汁
 二つの声無き涙

1471 re kishnu nube

レ キシヌ スベ
 三つの / 音がないこと / 目・汁
 三つの声無き涙

1471 eranke kane,

エランケ カネ、
 そこに・を落とす / ～して
 を落として、

1472 shiriki chiki

シリキ チキ
 様子・ものごとをする / ～したところ
 そうしたら

1472 konepkeukata

コネプケウカタ
 いったい何・体・の上・に
 まあ何ということだろう

1473 konepkashita

コネプカシタ
 いったい何・の上・に
 まあどうしたことだろう

1473 ene an kamui

エネ アン カムイ
 このように / ある / 神
 このような神

P.60**1474 ene am bito**

エネ アム ビト
 このように / ある / 神と同等の人
 このようなお方は

1474 pon a-kor sapo

ボン ア・コロ サポ
 年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小辞)
 年若い私の姉

1475 a-ekeshke shiri okai,

ア・エケシケ シリ オカイ。
 人が・について・を嫌う / ～する人
 している様子 / ～ですか
 に妬まれていることだろうか、

1476 inunukashki

イヌヌカシキ
 かわいそうである
 かわいそうに

1476 shukup hekachi

シュクフ ヘカチ
 成長する / 少年
 若い少年

1477 shukup okkaipo

シュクフ オッカイポ
 成長する / 男・(指小辞)
 若い青年

1478 shukup imokir

シュクフ イモキリ
 成長する / 嘆き悲しむ
 成長する上での嘆き悲しみ

1478 eyairamkoiki ruwe

エヤイラムコイキ ルウェ
 で・自分・心・をいじめる / こと入
 さま
 で気苦労したこと

1479 okai chiki,

オカイ チキ、
 ～である / ～するから
 だったから、

1479 sonno a-sambe ka

ソノノ ア・サムベ カ
 本当に / 私の・出る・もの / ～も
 ほんとうに私の心臓も

1480 beine wa isam

ベイネ ワ イサム
 泡・である / ～して / いない
 まるで滅茶苦茶になってしまった

1481 apkoro kane

アプコロ カネ
 まるで～したかのように / [意外]
 かのように

1481 yainu-an kane,

ヤイヌ・アン カネ、
 自分・を聞く人感じる・私は / ～し
 て
 私は思って、

1482 "Yuppo." ari

「ユッポ。」アリ
 兄・(指小辞) / ～と
 「お兄さん。」と

1482 itak-an kane,

イタク・アン カネ、
 言う・私は / ～して
 私は言って、

1482 chinki kashi

チンキ カシ
 裾 / 上
 裾の上

1483 a-oukoraiba

ア・オウコライバ

私は・そこに・一緒に・を行かせる八
来させる

を私はかき寄せ

1483 sankokkasapa

サンコッカサバ

前・へ行く・ひざ・頭

膝がしら

1484 a-koruiruye kane,

ア・コルイルイエ カネ、

私は・に対して・(なでることを表す
語根)・(重複)・(他動詞形成) / ～
して

を私は撫でさすって、

1485 utashpa bakno

ウタシバ バクノ

互い・と交換する (tasa の語幹)・(複
数) / まで八ほど・(副詞形成)

次から次に

1485 tu pirika kunip

トゥ ピリカ クニブ

二つの / よい / ～するべき・もの

二つのよいこと

1486 re pirika kunip

レ ピリカ クニブ

三つの / よい / ～するべき・もの

三つのよいこと

1487 a-ye wa,

ア・イエ ワ、

私は・～を言う / ～して

を私は語って、

1487 tane anakne

タネ アナクネ

今 / ある・すれば

今は

1487 a-obittano

ア・オビッタノ

私たちは・皆・(副詞形成)

私たちはみんな

1488 ramuoshitchiu-an.

ラムオシッチウ・アン。

心・その尻・地・に刺さる・私たちは

私たちは心を落ち着かせた。

1489 Tan tewano

タン テワノ

この / ここから・(副詞語尾)

たった今から

1489 yairamatte-an kuni

ヤイラマッテ・アン クニ

自分・心・を掛ける・私たちは / [名
詞化引用]

私たちは気をしっかりと持つと

1490 a-uweraman

ア・ウウエラマン

私たちは・互い・(挿入音)・について・

心・ある

私たちはわかり合い

1490 a-kor unarbe

ア・コロ ウナラベ

私は・～を持つ / おば

私のおば

1491 ne yakka

ネ ヤッカ

[繫詞] / ～すると・も

も

1491 i-henkotba kane

イ・ヘンコツバ カネ

私たちに・顔・に～を結びつける / ～して

私たちに笑顔に向けて

1492 ramushinne.

ラムシンネ。

その心・地面・である

安心した。

1492 Tap orowano

タブ オロワノ

そのとき / それから・(副詞形成)

それから

1493 pon a-kor sapo

ボン ア・コロ サポ

年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小辞)

年若い私の姉

1493 kamui ramachi

カムイ ラマチ

神 / 魂

神の魂

1494 kamui orun

カムイ オルン

神 / 所・[連用句形成]

神々の中に

1494 pirikano

ピリカノ

よい・(副詞形成)

きちんと

1495 oman kuni ne

オマン クニ ネ

行く / ～する (べき) こと / ～に (なる)

行くように

1495 shinurappa-an.

シヌラッパ・アン。

祖先・をまつる・私たちは

私たちは先祖供養をした。

1496 Pon a-kor sapo

ボン ア・コロ サポ

年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小辞)

年若い私の姉

1496 kanna katkemat

カンナ カッケマツ

上の・方 / あり方・のある・女性

上の方の淑女

1497 a-eramkanu kuni

ア・エラムカヌ クニ

私たちは・で・心・(?)・を聞く / ～

する (べき) こと

を私たちは葬ったこと

1498 tu okkashi ta

トゥ オッカシ タ

二つの / ～のまだその上 / [空間的位置]

二つのそれ以上

1498 re okkashi ta

レ オッカシ タ

三つの / ～のまだその上 / [空間的位置]

三つのそれ以上

P.61**1499 sonno pirikano**

ソンノ ピリカノ

本当に / よい・(副詞形成)

ほんとうによく

1499 a-eramkanu.

ア・エラムカヌ。

私たちは・で・心・(?)・を聞く

淑女を私たちは葬った。

1500 A-keusutu

ア・ケウストゥ

私のおじ

私のおじ

1500 a-koro unarbe

ア・コロ ウナラベ

私は・～を持つ / おば

私のおばよ

1501 sonno

ソンノ

本当に

ほんとうに

1501 nep ne yakka

ネブ ネ ヤッカ

何の・もの / [繫詞] / ～すると・も

何でも

1501 pirikano

ピリカノ
よい・(副詞形成)
きちんと

1502 kar wa i-kore.

カラ ワ イ・コレ。
～をする / ～して / 私に・～に…を
与える
そうしてください。

1502 Tane anakne

タネ アナクネ
今 / ある・すれば
今は

1503 nep ne yakka

ネブ ネ ヤッカ
何の・もの / [繋詞] / ～すると・も
何でも

1503 pirikano

ピリカノ
よい・(副詞形成)
しっかりと

1504 a-eramushinne

ア・エラムシンネ
私たちは・について・心・地面・である
それで私たちは安心して

1504 a-okere.

ア・オケレ。
私たちは・～してしまう
私たちはしまった。

1505 Okaketa

オカケタ
後・[時間的位置]
そのあとで

1505 maraptokar-an

マラプトカラ・アン
酒宴のごちそう・をつくる・私は
私は酒宴のごちそうをつくり

1506 utar obitta

ウタラ オビッタ
仲間 / 全部
仲間はみんな

1506 ibe iku

イベ イク
食事する / もの・を飲む
食事をし酒を飲む

1506 obittano

オビッタノ
皆・(副詞形成)
みなことごとく

1507 hoshippa

ホシッパ
その尻・(?)
帰り

1507 a-keushutu

ア・ケウシュトゥ
私の・おじ
私のおじ

1507 umurek

ウムレク
夫婦
夫婦は

1508 tutko rerko bakno

トゥツコ レレコ バクノ
二つの・(前の音節の子音の重複)・日
/ 三つの・(前の音節の子音の重複)・日
/ まで八ほど・(副詞形成)
二日三日ばかり

1508 i-tura okai.

イ・トゥラ オカイ。
私たちと・～と一緒に / ある八いる
私たちと一緒にいた。

1509 Orowa,

オロワ、
そこ・から
それから、

1509 "Naa ponno

「ナア ポンノ
もっと / 少ない・(副詞形成)
「もう少し

1509 shiran yakne,

シラン ヤクネ、
あたり八様子・ある / ～すると・で
ある
時が経てば、

1510 a-poho

ア・ポホ
私の・息子
私の息子は

1510 kamui ewaki

カムイ エワキ
立派だ / に・(?)・する所
立派な御座所

1511 koiwak kusu

コイワク クス
に向かって・帰宅する / [目的]
に帰るために

1511 ek kusune na.

エク スネ ナ。
来る / [目的・原因八理由]・[繋詞]
/ [要求]
やって来るだろう。

1512 Iteki mashkino

イテキ マシキノ
～するな / あまりにも・(副詞形成)
あまりにも

1512 nishmu

ニシム
寂しい
寂しい

1513 iteki mashkino

イテキ マシキノ
～するな / あまりにも・(副詞形成)
あまりにも

1513 yaikeutum-

ヤイケウトウム
自分・心
自らの心が

1514 wente." ari

ウエンテ。」 アリ
悪い八悪くなる・させる / ～と
傷ついた。」と

1514 chish turanno

チシ トウランノ
泣く / を同伴する・(挿入音)・(副詞形成)
泣きながら

1515 i-shikoruye kane,

イ・シコルイェ カネ、
私を・自分・に対して・を撫でさせる
/ ～して
私を撫でさすって、

1516 i-omaoma koro

イ・オマオマ コロ
私を・～に入る・(重複) / ～しながら
私を何度も可愛がりながら

1516 baye wa isam.

バイェ ワ イサム。
行く / ～して / いない
行ってしまった。

1517 Okaketa

オカケタ
後・[時間的位置]
そのあとで

1517 sonno nishmu-an

ソンノ ニシム・アン
本当に / 寂しい・私は
ほんとうに私は寂しく

1518 kane an-an.

カネ アン・アン。
 ～して / [接続助詞の後に置かれる]・私は
 して私はいた。

1518 Mokor-an awa,

モコロ・アン アワ、
 静けさ・を持つ・私は / ～したところ
 私は眠ったところ、

1519 i-erupshike ta

イ・エルプシケ タ
 私の・先端 / [空間的位置]
 私の枕元の

1519 pon a-kor sapo

ボン ア・コロ サポ
 年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小辞)
 年若い私の姉は

1520 kamui shiri ne

カムイ シリ ネ
 神 / ～する / している様子 / ～に (なる)
 神のように

1521 tane am pirika

タネ アム ピリカ
 今 / ある / 美しい
 今ある美しさ

1521 shioarwenrui.

シオアラウェンルイ。
 本当に・全く・ひどく・激しい
 いつも変わらず美しい。

1522 Kamui akkari

カムイ アッカリ
 神 / それより
 神よりも

1522 pirika kane,

ピリカ カネ、
 美しい / ～して
 美しくて、

1523 tane chishekot anke

タネ チシエコツ アンケ
 今 / 泣く・で死ぬ / 今にも～しように
 今にも泣き死にそうに

P.62**1524 iki koro,**

イキ コロ、
 ものごと・をする / ～しながら
 しながら、

1524 "Matakpo."

「マタクポ。」
 女・弟・[指小辞]
 「妹よ。」

1524 "Sambe." ari

「サムベ。」 アリ
 出る・もの / ～と
 「心臓よ。」と

1525 itak kane,

イタク カネ、
 言う / ～して
 言って、

1525 i-shikoruye kane,

イ・シコルイェ カネ、
 私を・自分・に対して・を撫でさせる
 / ～して
 私を撫でさすつて、

1526 kurkashike

クルカシケ
 上
 その上

1526 itakomare hawe

イタコマレ ハウェ
 言葉・に位置する・させる / 声
 に言葉を入れる声は

1527 ene okaii.

エネ オカイイ。
 このように / ある・[名詞化辞]
 次のようであった。

1527 "Konepkashita

「コネプカシタ
 いったい何・の上・に
 「まあどうしたことだろう

1528 konepkeukata

コネプケウカタ
 いったい何・体・の上・に
 まあ何ということだろう

1528 a-ye boka

ア・イエ ボカ
 私は・～を言う / (指小辞)・も
 私は言うのも

1529 rushka koroka,

ルシカ コロカ、
 ～のことで腹を立てる / けれども
 腹が立ったけれども、

1529 mashkino

マシキノ
 あまりにも・(副詞形成)
 あまりにも

1530 e-eramboken-an kusu,

エ・エラムボケン・アン クス、
 あなたを・で・心・その下・悪い・私は
 / [原因入理由]
 あなたを私はいかに思っていたから、

1531 kanna sui

カンナ スイ
 上の・方へ / また
 何度もまた

1531 hoshibi-an anke

ホシビ・アン アンケ
 その尻・(?)・私は / 今にも～しそ
 うに
 今にも私は戻りそうに

1532 yainu-an koroka,

ヤイヌ・アン コロカ、
 自分・を聞く / 感じる・私は / けれ
 ども
 私は思ったけれども、

1532 shukup matkachi

スクプ マツカチ
 成長する / 女・少年
 年若い女わらべ

1533 shukup upsorka

シュクプ ウプソロカ
 成長する / 内部におおわれている・
 ところ・上
 のうら若いふところ

1534 eyaishibororep

エヤイシボロレプ
 で・自分・自分・大きくなる・させる・
 [名詞化辞]
 で我慢をするもの

1534 a-ne awa,

ア・ネ アワ、
 私は・[繫詞] / ～したところ
 で私はあったのに、

1535 katuchiwente

カトゥチウエンテ
 恰好・[使役中相]される・悪い・させ
 る
 恥をかかされ

1535 rai ne yakka

ライ ネ ヤッカ
 死ぬ / [繫詞] / ～すると・も
 死ぬにしても

1536 semkatune

セムカトゥネ
 [否定辞]・[名詞化辞]・の次第・[繫詞]
 残酷を極めること

1536 a-i-yekarkar shiri

ア・イ・イエカラカラ シリ
 人が・私を・(挿入音)・人に～をする
 / ～する / している様子
 を私はされたこと

1537 a-eshikarun ko,

ア・エシカルン コ、
私は・～を思い出す / ～すると
を私は思い出すと、

1537 a-neike shik o

ア・ネイケ シク オ
私の・どこに / 目 / (目が) つく
私はどんな目をし

1538 a-neike bar o wa,

ア・ネイケ バラ オ ワ、
私の・どこに / 口 / (目が) つく / ～
して
私はどんな口をして、

1538 tam moshiri ka ta

タム モシリ カ タ
この / 静かな・地 / 上 / [空間的位
置]
この国の上に

1539 an-ambe taan.

アン・アマベ タアン。
ある入る・私は・[名詞化辞] / [強
調]・～ですか
私はいるものなのだろうか。

1540 Kamui otta

カムイ オッタ
神 / の所・[空間的位置]
神々の中に

1540 a-kor ainu

ア・コロ アイヌ
私は・～を持つ / 父
私の父

1540 a-kor totto hene

ア・コロ トット ヘネ
私は・～を持つ / 乳房・(次の子音が
重ねられたもの)・(重複) / ～でも
私の母も

1541 inne kamui utar

インネ カムイ ウタラ
集合・である / 神 / ～たち
大勢の神々たち

1542 a-nukar

ア・ヌカラ
私は・～を見る
を私は見て

1542 kamui irenka

カムイ イレンカ
神 / 意向
神の意向

1542 shino hokamba kusu,

シノ ホカムバ クス、
本当である・(副詞形成) / 難しい /
[原因入理由]
じつに難しかったから、

1543 kanna i-ranke-an wa

カンナ イ・ランケ・アン ワ
上の・方へ / 私を・下がる・(他動詞
形成)・人が / ～して
再び私は降ろされて

1544 Tobutun kotan

トブトゥン コタン
トブトゥン / 村
トブトゥンの村

1544 kor kamui

コロ カムイ
～を持つ / 神
の神

1545 a-i-kore." ari

ア・イ・コレ。」 アリ
人が・私を・～を持つ・させる / ～
と
を私にください。」と

1545 hawash koroka,

ハワシ コロカ、
声・する / けれども
言ったけれども、

1546 yayikushruibe

ヤイクシルイベ
恥ずかしい・激しい・[名詞化辞]
ひどく恥ずかしがるもの

1546 a-ne kusu,

ア・ネ クス、
私は・[繫詞] / [原因入理由]
で私はあったから、

1547 yaishiborore-an wa,

ヤイシボロレ・アン ワ、
自分・自分・大きくなる・させる・私
は / ～して
私は我慢して、

1548 "Nekona ne yakka

「ネコナ ネ ヤッカ
どのように / [繫詞] / ～すると・
も
「どうしても

1548 kanna

カンナ
上の・方へ
また

P.63**1549 tam moshiri ka ta**

タム モシリ カ タ
この / 静かな・地 / 上 / [空間的位
置]
この国の上に

1549 itomnukar

イトムヌカラ
人・まん中入正面・を見る
私は

1550 somo a-ki." ari

ソモ アキ。」 アリ
[否定辞] / 私は・～をする / ～と
嫁入りはしません。」と

1550 shiramikiyar-an.

シラミキヤラ・アン。
あたり入土地・を見知る・(他動詞形
成)・私は
私はあたりの様子がわかった。

1551 "Tobutun kamui

「トブトゥン カムイ
トブトゥン / 神
「トブトゥンの神が

1552 i-oshkor kusu,

イ・オシコロ クス、
私を・～を惜しかったと残念に思う /
[原因入理由]
私のことを惜しく思ったから、

1552 naani ka

ナアニ カ
もう少しで～するところだった / ～も
もう少しで

1553 yaikeuorochiwe koroka,

ヤイクウオロチウエ コロカ、
自分・骸・の所・に追いやる / けれ
ども
命を捨てるところだったけれども、

1553 kanto orowa

カント オロワ
上の・湖入沼 / 所・～から
天から

1554 kamui moiremat

カムイ モイレマツ
神 / 遅い・妻
神の淑女が

1555 a-ranke wa

ア・ランケ ワ
人が・下がる・(他動詞形成) / ～し
て
降ろされて

1555 a-hekotere wa

ア・ヘコテレ ワ
 人が・頭・を～につなぐ・させる / ～
 して
 連れ添わされ

1556 pokor yakne,

ポコロ ヤクネ、
 子・を持つ / ～すると・である
 子どもを産んだならば、

1556 to but Kimunto chashi

ト ブツ キムント チャシ
 沼 / ロ / キムント / [中相]される・
 を立てる・ところ
 沼のロキムントの城

1557 ebunkine orowa

エブンキネ オロワ
 で・守護者・である / そこ・から
 を守護しそれから

1558 Kimunto un

キムント ウン
 キムント / [連体句形成]
 キムントの

1558 kamui kanto otta

カムイ カント オッタ
 神 / 上の・湖入沼 / の所・[空間的位
 置]
 神は天に

1559 rikin wa,

リキン ワ、
 高い所・(挿入母音)・(自動詞形成) /
 ～して
 昇って、

1559 orota eashiri

オロタ エアシリ
 所・[空間的位置] / それこそ
 そこではじめて

1559 shino ukor

シノ ウコロ
 真の / 互い・を持つ
 まことの結婚

1560 sonno ukor

ソンノ ウコロ
 本当に / 互い・を持つ
 ほんとうの結婚

1560 a-ki kushnei

ア・キ クシネイ
 私は・～をする / [目的・原因入理
 由]・[繋詞]・[名詞化辞]
 を私たちはするであろうこと

1561 a-uweraman.

ア・ウウエラマン。
 私たちは・互い・(挿入音)・について・
 心・ある
 を私たちはわかり合った。

1561 Tambe kusu

タムベ クス
 この・もの / [原因入理由]
 それゆえに

1562 Kimunto un kamui

キムント ウン カムイ
 キムント / [連体句形成] / 神
 キムントの神は

1563 sonno nubetne

ソンノ ヌベツネ
 本当に / 喜ぶ
 ほんとうに喜んだ

1563 ruwe ne.

ルウェ ネ。
 こと入さま / [繋詞]
 のです。

1564 Kimunto un

キムント ウン
 キムント / [連体句形成]
 キムントの

1564 a-kor unarbe

ア・コロ ウナラベ
 私は・～を持つ / おぼ
 私のおぼ

1565 umurek hene

ウムレク ヘネ
 夫婦 / ～でも
 夫婦も

1565 too neita okai

トオ ネイタ オカイ
 ほらあそこに・(強調) / 何の・所・
 [空間的位置] / ある入いる
 はるか遠くどこかにいる

1566 a-utari utar hene

ア・ウタリ ウタラ ヘネ
 私の・同族の人々 / ～たち / ～でも
 私の同族の人たちでも

1567 tapne nei

タプネ ネイ
 これ・のように / [繋詞]・[名詞化辞]
 かくかくしかじかであることを

1567 pirikano

ピリカノ
 よい・(副詞形成)
 はっきりと

1568 a-ewentarapka kusune.

ア・エウエンタラ^フカ クスネ。
 私は・について・夢を見る・させる /
 [目的・原因入理由]・[繋詞]
 私は夢を見させるでしょう。

1569 Tam moshiri ka ta

タム モシリ カ タ
 この / 静かな・地 / 上 / [空間的位
 置]
 この国の上に

1569 an-an kasuno

アン・アン カスノ
 ある入いる・私は / を渡ぐ・(副詞形成)
 私はいるよりも

1570 kamui otta anani

カムイ オッタ アン・アニ
 神 / の所・[空間的位置] / ある入い
 る・私は・[名詞化辞]
 神々の中に私はいるほうが

1571 sonno pirika.

ソンノ ピリカ ルウェ ネ。
 本当に / よい
 ほんとうによい。

1571 Eani anakne

エアニ アナクネ
 あなた / ある・すれば
 あなたは

1572 somo e-i-nukar

ソモ エ・イ・ヌカラ
 あなたは・私を・～を見る
 あなたは私に会っていない

1572 koroka,

コロカ、
 けれども
 けれども、

1573 aokai anakne

アオカイ アナクネ
 私 / ある・すれば
 私は

1573 ramma e-nukar-an wa

ランマ エ・ヌカラ・アン ワ
 いつも / あなたを・～を見る・私は /
 ～して
 いつもあなたを私は見て

P.64**1574 an-an ruwe ne.**

アン・アン ルウェ ネ。
 [接続助詞の後に置かれる]・私は /
 こと入さま / [繋詞]
 私はいるのです。

1574 Tane nep ne yakkaタネ ネ^フ ネ ヤッカ今はもう / 何の・もの / [繋詞] / ～
すると・も

今はもう何でも

1575 pirika kuni ne

ピリカ クニ ネ

よい / ～する (べき) こと / ～に (なる)
よいぐあいに**1576 kamui otta hene**

カムイ オッタ ヘネ

神 / の所・[空間的位置] / ～でも
神々の中でも**1576 ainu otta hene**

アイヌ オッタ ヘネ

人間 / の所・[空間的位置] / ～でも
人間の中でも**1577 a-uweraman**

ア・ウウエラマン

私たちは・互い・(挿入音)・について・
心・ある
そのことを私たちはわかり合い**1577 a-ukoramuoshma**

ア・ウコラムオシマ

私たちは・一緒に・その心・に入る
それに私たちは一緒に同意して**1578 okere ruwe ne.**

オケレ ルウェ ネ。

～してしまう / こと八さま / [繋詞]
しまったのです。**1578 Tambe kusu**

タムベ クス

この・もの / [原因入理由]
それゆえに**1579 iteki mashkino**

イテキ マシキノ

～するな / あまりにも・(副詞形成)
あまりにも**1579 i-oshkor wa**

イ・オシコロ ワ

私を・～を惜しかったと残念に思う / ～して
私のことを惜しく思って**1580 chish yan.**

チシ ヤン。

泣く / [禁止]

泣かないでください。

1580 Ramma e-chish ko

ランマ エ・チシ コ

いつも / あなたは・泣く / ～すると
いつもあなたが泣く**1581 anakne**

アナクネ

ある・すれば
と**1581 eirbakno**

エイリバクノ

について・ひとつつながり・まで八ほ
ど・(副詞形成)
それと同時に**1581 aokai**

アオカイ

私

私は

1581 sonno e-chish nube ari

ソンノ エ・チシヌベ アリ

本当に / あなたは・泣く / 目・汁 /
～でもって

ほんとうにあなたの泣く涙でもって

1582 etori ari

エトリ アリ

鼻汁 / ～でもって

鼻汁でもって

1582 ibe ka

イベカ

食事する / ～も…しない

食事をするの

1583 a-ekisashke

ア・エキサシケ

私は・について・寒気がする

私は悪寒が走り

1583 a-eramubekamam

ア・エラムベカムム

私は・で・心・辛い

それで私は嫌な思いをし

1584 shino shino

シノ シノ

本当である・(副詞形成) / 本当であ
る・(副詞形成)

じつにじつに

1584 ichakkere

イチヤッケレ

人・(不快にすることを表す語根)・(自
動詞形成)・させる

汚らしい

1584 ruwe ne na.

ルウェ ネ ナ。

こと八さま / [繋詞] / [要求]
のです。**1585 Eraman wa**

エラマン ワ

について・心・ある / ～して
そのことをわかって**1585 yairamatte wa**

ヤイラマッテ ワ

自分・心・を掛ける / ～して
気をしっかりと持って**1586 i-kore kunak**

イ・コレ クナク

私に・～に…を与える / [名詞化引用]
くれるよう**1586 ramu yan." ari**

ラム ヤン。」 アリ

心・(他動詞形成) / [命令] / と
頼みます。」と**1586 itak kane**

イタク カネ

言う / ～して

言って

1587 i-shikruye.

イ・シクルイエ。

私を・自分・に対して・を撫でさせる
※i-shikruye は i-shikoruye の誤記
私を撫でさすった。**1587 Ene ketapne**

エネ ケタプネ

このように / いったい～か・[繋詞]
※ketapne は hetapne の誤記
このようにまあ**1588 a-ramu humi**

ア・ラム フミ

私は・心・(他動詞形成) / ～の感じ
私は思ったこと**1588 okai a.**

オカイ ア。

～である / ～した (完了)
であった。**1588 Pon a-kor sapo**

ポン ア・コロ サポ

年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小辞)
年若い私の姉**1589 a-nukar shiri**

ア・ヌカラ シリ

私は・～を見る / ～する入している様子
に私は会ったこと**1589 okai chiki,**

オカイ チキ、

～である / ～するから
だったから、

1590 "Sapo." ari

「サポ。」 アリ
 姉・(指小辞) / ～と
 「姉よ。」と

1590 itak-an kane,

イタク・アン カネ、
 言う・私は / ～して
 私は言って、

1590 a-eshikari

ア・エシカリ
 私は・～をつかまえる
 姉を私はつかまえ

1591 a-shikoyubu

ア・シコユブ
 私は・自分・に対して・を締める
 姉を私はきつく締めつける

1591 pokor yainu-an ko,

ポコロ ヤイヌ・アン コ、
 ～するかのように / 自分・を聞く
 感じる・私は / ～すると
 ように私は思うと、

1592 shichattektek-an

シチャttektek・アン
 自分・を散らす・パッと瞬間にする・私は
 私は心を躍らせ

1592 ouse a-enunui

オウセ ア・エヌヌイベ
 ただ / 私は・そこに・枕する・[名詞化辞]
 ただそれで私が枕にするもの

1593 a-taritari

ア・タリタリ
 私は・～を上げる・(重複)
 を私は振りまわし

1593 koro an-an.

コロ アン・アン。
 ～しながら / [接続助詞の後に置か
 れる]・私は
 ながら私はいた。

1594 Tarap-an humi

タラブ・アン フミ
 夢を見る・私は / ～の感じ
 私は夢を見ていたこと

1594 mokor-an humi

モコロ・アン フミ
 静けさ・を持つ・私は / ～の感じ
 私は眠っていたこと

1595 ne rok okai

ネ ロク オカイ
 [繫詞] / ～した(完了) / ～である
 であって

1595 a-yaikotuima-

ア・ヤイコトウイマ
 私は・自分・に・遠く
 私はよくよく

1596 shiramsuiba,

シラムスイバ、
 自分・心・を揺らす
 考えてみると、

1596 "Ene hetapne

「エネ ヘタブネ
 このように / いったい～か・[繫詞]
 「このようにまあ

1597 Kimunto un

キムント ウン
 キムント / [連体句形成]
 キムントの

1597 kotan koro kamui

コタン コロ カムイ
 村 / ～を持つ / 神
 村の神

1598 kamui ne yakka

カムイ ネ ヤッカ
 神 / [繫詞] / ～すると・も
 神でも

P.65**1599 inunukashki**

イヌヌカシキ
 かわいそうである
 かわいそうに

1599 pon a-kor sapo

ボン ア・コロ サポ
 年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小
 辞)
 年若い私の姉

1600 eyaichishte ruwe

エヤイチシテ ルウエ
 で・自分・泣く・させる / こと八さま
 をそれで泣かせたこと

1600 eimokiri ruwe

エイモキリ ルウエ
 について・悲しむ / こと八さま
 姉を嘆き悲しませこと

1601 etuyashkarap

エトウヤシカラフ
 について・を憐れむ
 姉を憐れに思い

1601 a-obittano

ア・オビッタノ
 私たちは・皆・(副詞形成)
 私たちはみんな

1602 a-eyaikataikap wa,

ア・エヤイカタイカフ ワ、
 私たちは・について・自分・形・が下
 手だ / ～して
 姉を私たちは気の毒に思っ、

1602 ene wa

エネ ワ
 このように / ～して
 どうにもこうにも

1603 shino ikichi-ani ka

シノ イキチ・アニ カ
 本当である・(副詞形成) / する・[継
 続]・私たちは・[名詞化辞] / ～も
 …しない
 私たちははすることも

1603 isam awa,

イサム アワ、
 いない / ～したところ
 できずにいたところ、

1604 tane anakne

タネ アナクネ
 今 / ある・すれば
 今は

1604 pirika kuni ne

ピリカ クニ ネ
 よい / ～する(べき) こと / ～に(な
 る)
 よいぐあいに

1605 tapne ne

タブネ ネ
 これ・のように / [繫詞]
 このようであり

1605 hawe ne yakun

ハウエ ネ ヤクン
 (～と言った) こと / [繫詞] / す
 れば・(強め肯定)
 そういうことなら

1606 eukobi

エウコビ
 で・互い・に・を残して去る
 一人一人離ればなれになり

1606 a-kotuwashpa

ア・コトウワシパ
 私たちは・そこに・を見込んで頼りに
 する・(複数)
 それを私たちは頼りにし

1607 tapne ne

タブネ ネ
 これ・のように / [繫詞]
 このようであり

1607 hawe ne yakun

ハウエ ネ ヤクン

(～と言った) こと / [繫詞] / す

れば・(強めハ肯定)

そういうことなら

1608 tan tewano

タン テワノ

この / ここから・(副詞語尾)

たった今から

1608 sonno a-chishkarbe ka

ソンノ ア・チシカラベ カ

本当に / 私たちは・泣く・(他動詞形成)・[名詞化辞] / ～も…しない

ほんとうにそれで私たちは泣くものも

1609 isam hawe ne.

イサム ハウエ ネ。

いない / (～と言った) こと / [繫詞]

いないことである。

1609 Ouse neita bakno

オウセ ネイタ バクノ

ただ / 何の・所 [空間的位置] / ま

ただどこまで

1610 ne yakka

ネ ヤッカ

[繫詞] / ～すると・も

でも

1610 pirika pon a-kor sapo

ピリカ ポン ア・コロ サポ

立派だ / 年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小辞)

立派な年若い私の姉は

1611 i-omap

イ・オマフ

私を・～をかわいがる

私をかわいがり

1611 pon a-kor sapo

ポン ア・コロ サポ

年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小辞)

年若い私の姉

1612 a-ewen

ア・エウエン

私は・で・悪い

のために私は具合が悪くなり

1612 a-eshikarun batek

ア・エシカルン バテク

私は・～を思い出す / ～ばかり

姉を私は思い出すばかり

1612 ne nankoro." ari

ネ ナンコロ。」 アリ

[繫詞] / 顔・を持つ / ～と

であるだろう。」と

1613 yainu-an.

ヤイヌ・アン。

自分・を聞くハ感じる・私は

私は思った。

1613 Hetobo

ヘトボ

頭・を回す

逆に

1614 shino ramushinne-an kane,

シノ ラムシンネ・アン カネ、

本当である・(副詞形成) / その心・

地面・である・私は / ～して

まことに私は安心して、

1615 keshto pirikano

ケシト ピリカノ

毎～・日 / 美しい・(副詞形成)

毎日美しく

1615 yaitomte-an kane,

ヤイトムテ・アン カネ、

自分・光る・させる・私は / ～して

私は化粧をして、

1616 a-karkar kunip

ア・カラカラ クニフ

私は・～をつくる・(重複) / ～する

べき・もの

私が刺繍するもの

1616 attomsama

アットムサマ

全く・面の真ん中・のそば

に夢中になって

1617 a-yayomare

ア・ヤヨマレ

私は・自分・に位置する・させる

刺繍に私は自身を入れ

1617 ikarkar-an

イカラカラ・アン

もの・を飾る・私は

私は刺繍をし

1618 yaikota

ヤイコタ

ひとりでに

ひとりで

1618 a-karbe

ア・カラベ

私は・～をつくる・[名詞化辞]

私がつくったもの

1618 newa ne yakka

ネワ ネ ヤッカ

[繫詞]・[熟語・慣用句] / [繫詞]

/ ～すると・も

にしてもまた

1619 pirika ruwe

ピリカ ルウェ

美しい / ことハさま

美しいこと

1619 ashkai-an ruwe

アシカイ・アン ルウェ

手先が器用である・私は / ことハさま

ま

私は手先が器用であること

1620 an-eyaikiror-

アン・エヤイキロロ

私は・について・自分・力

を私は楽しみに

1621 ante kane an-an.

アンテ カネ アン・アン。

いる・させる / ～して / [接続助詞

の後に置かれる]・私は

思っ私はいた。

1621 Shine ani wano

シネ アニ ワノ

一つの / ～になる・[名詞化辞] / か

ら・(副詞語尾)

あるときから

1622 a-yaikotuima-

ア・ヤイコトゥイマ

私は・自分・に・遠く

私はよくよく

1622 shiramsuye,

シラムスイエ、

自分・心・を揺らす

考えてみると、

1623 "Nekona shikop

「ネコナ シコフ

どのように / 目・がつく・もの

「どういう生まれの人

1623 nekona barop tapne

ネコナ バロフ タプネ

どのように / 口・にある・もの / これ・のように

どういう育ちの人が

P.66

1624 Kimuntounkuru

キムントウンクル
キムントウンクル
キムントウンクル

1625 pon a-kor yubi

ポン ア・コロ ユビ
年若い / 私は・～を持つ / 兄
年若い私の兄

1626 ne wa,

ネ ワ、
[繋詞] / ～して
であって、

1626 a-hekote wa

ア・ヘコテ ワ
私は・頭・を～につなぐ / ～して
兄と私は連れ添って

1626 a-kor ainu

ア・コロ アイヌ
私は・～を持つ / 父
私の父

1627 ruwokake

ルウォカケ
跡・(挿入音)・の後
の去った後

1627 a-ehorarpa kusu."

ア・エホララバ クス。」
私たちは・そこに・その尻・を押さえる / [未来を表す]
に私たちは住むであろう。」

1628 hawash.

ハワシ。
声・する
言った。

1628 Seennekasui

セエンネカスイ
(否定辞)・も・また
まさかまた

1629 ene yainu-an kuni

エネ ヤイヌ・アン クニ
そのように / 自分・を聞く△感じる
・私は / [名詞化引用]
そのように私は考えると

1630 a-ramu roki

ア・ラム ロキ
私は・心・(他動詞形成) / 以前に～
した・[名詞化辞]
私は思わなかったのに

1630 shukupkuru yainu

シュクプクル ヤイヌ
成長する・～の人 / 自分・を聞く△
感じる
若者の思い

1631 nokankuru yainui

ノカンクル ヤイヌイ
小さい・～の人 / 自分・を聞く△感
じる・[名詞化辞]
年少者の心

1632 ene okaii

エネ オカイイ
このように / ある・[名詞化辞]
このようであったこと

1632 ne nankora,

ネ ナンコラ、
[繋詞] / 顔・を持つ・～か
であるのだろうか、

1632 pon a-kor yubi

ポン ア・コロ ユビ
年若い / 私は・～を持つ / 兄
年若い私の兄

1633 a-eshikarun,

ア・エシカルン、
私は・～を思い出す
を私は思い出し、

1633 "Hetak ta usa

「ヘタク タ ウサ
さあ / ここに / いろいろ
「さあさあ早く

1634 arki yakne,

アラキ ヤクネ、
来る / ～すると・である
来るならば、

1634 a-eneusar okai." ari batek

ア・エネウサラ オカイ。」 アリ バテク
私は・と一緒に・話をして楽しむ /
[願望] / ～と / ～ばかり
兄と私は一緒に話をして楽しみた
い。」とばかり

1635 yainu-an kane,

ヤイヌ・アン カネ、
自分・を聞く△感じる・私は / ～し
て
私は思って、

1635 makanneko

マカンネコ
どのように・[繋詞]・～すると
時としては

1636 a-ama sotki

ア・アマ ソツキ
私は・～を置く / 寝床
私の寝床

1636 sotki kurka

ソツキ クルカ
寝床 / 影△姿・の上
寝床の上

1637 a-koyayosura

ア・コヤヨスラ
私は・そこに・自分・を投げ落とす
に私は身を投げ出し

1637 ouse shinen ne

オウセ シネン ネ
ただ / 一つの・人 / ～として
ただ一人きりで

1638 ambe a-ne kusu,

アムベ ア・ネ クス、
ある△いる・[名詞化辞] / 私は・[繋
詞] / [原因△理由]
いるもので私はあったから、

1638 tutko bakno

トゥツコ バクノ
二つの・(前の音節の子音の重複)・日
/ まで△ほど・(副詞形成)
二日ばかり

1639 rerko bakno

レレコ バクノ
三つの・(前の音節の子音の重複)・日
/ まで△ほど・(副詞形成)
三日ばかり

1639 somo ibe-an kane,

ソモ イベ・アン カネ、
[否定辞] / 食事する・私は / ～し
て
私は食事をせずに、

1640 makanneko

マカンネコ
どのように・[繋詞]・～すると
時としては

1640 sotki ka ta

ソツキ カ タ
寝床 / 上 / [空間的位置]
寝床の上で

1641 a-yainubeko-

ア・ヤイヌベコ
私は・自分・涙・と一緒に
私は涙に

1641 shiru kane,

シル カネ、
～をこする / ～して
かきくれて、

1642 makaneko

マカンネコ
どのように・[繋詞]・～すると
時としては

1642 hobuni-an wa

ホブニ・アン ワ
尻・を持ち上げる・私は / ～して
私は起き上って

1642 shuke-an wa

シュケ・アン ワ
鍋・(自動詞形成)・私は / ～して
私は炊事をして

1643 ibe-an ranke kor

イベ・アン ランケ コロ
食事する・私は / ～する / ～しながら
私は繰り返し食事をしながら

1644 an-an awa,

アン・アン アワ、
[接続助詞の後に置かれる]・私は /
～したところ
私はいたところ、

1644 shinean to ta

シネアン ト タ
一つの・ある / 日 / [時間的位置]
ある日

1644 shino shiripirika

シノ シリピリカ
本当である・(副詞形成) / あたり・
よい / 美しい
じつに天気がよく

1645 hobuni-an wa

ホブニ・アン ワ
尻・を持ち上げる・私は / ～
して
私は起き上って

1646 soi beka

ソイ ベカ
外 / ～に / へで / へを
外を

1646 yaiapkashte-an

ヤイアプカシテ・アン
自分・歩く・させる・私は
私は歩き

1646 yainuchaktekka-an

ヤイヌチャクテッカ・アン
自分・顔・(晴れることを表す語根)・
ちょっと～する・(他動詞形成)・私は
私は楽しくなり

1647 shino katuchakakke-an.

シノ カトゥチャカッケ・アン。
本当である・(副詞形成) / 格好・(擬
音の語根)・(他動詞形成)・私は
じつに私は心地よくなった。

1648 Tane shiyantokesh

タネ シヤントケシ
今はもう / まことに・(挿入音)・夜・
日・の末端
今はもう日暮れどき

P.67**1649 oman kane,**

オマン カネ、
～という状況に達する / ～して
になって、

1649 arekushkonna

アレクシコンナ
全く・だしぬけに
まったくだしぬけに

1650 Tomisambechi

トミサムベチ
トミサムベチ
トミサムベチ

1650 bet etoko

ベツ エトコ
川 / いちばん奥
川の水源地

1650 bushkosanu

ブシコサヌ
はじける・急に～する
破裂したような音が響き

1651 kamui san humi

カムイ サン フミ
神 / 前・へ行く / 音
神の降って来る音が

1651 keurototke

ケウロトツケ
(擬音の語根)・(たて続けにくり返さ
れることを表す接尾辞)・(自動詞形
成)

ゴーゴーと鳴り響き

1652 homatu ruibe

ホマトウ ルイベ
驚く / 激しい・[名詞化辞]
ひどく驚いたもの

1652 a-nep ne kusu,

ア・ネプ^ナ ネ クス、
私は・[繋詞]・[名詞化辞] / [繋詞]
 / [原因 / 理由]
で私はあったから、

1653 awoterke-an

アウオテレケ・アン
家の中・そこに・跳ねる・私は
私は家の内に飛び込み

1653 shiso sam ta

シソ サム タ
主要な・座 / そば / [空間的位置]
右座の側に

1653 otop chinki

オトプ チンキ
髪の毛 / 裾
髪の毛の端

1654 an-eshitchiure

アン・エシツチウレ
私は・その頭・地・に刺さる・させる
を私は下にびたりとつけ

1654 oribak-an kane

オリバク・アン カネ
恐れ慎む・私は / ～して
私は恐れ慎んで

1655 an-an awa,

アン・アン アワ、
[接続助詞の後に置かれる]・私は /
～したところ
私はいたところ、

1655 kanakan kunip

カナカン クニプ^ナ
どんな・ある / ～するべき・もの
何者かが

1656 burai reubok un

ブライ レウボク ウン
窓 / 曲がって斜めになっているもの
のその下側 / [連用句形成]
窓の下に

1656 boro yuk shike

ボロ ユク シケ
大きい / 鹿 / 荷物
大きい鹿の荷物

1657 eyapkir humi

エヤプキリ フミ
で・投げる動作をする / 音
を投げ飛ばす音が

1657 rienkosanu.

リエンコサヌ。

(擬音・擬態の語根)・急に～する
ドンと鳴り響いた。

1658 Yaikokamahupte

ヤイコカマフプテ

自分・に・肉・入る・させる

自分で肉を入れ

1658 tap orowa

タブ オロワ

そのとき / 所・～から

それから

1659 chise sam ka ta

チセ サム カ タ

家 / そば / 上 / [空間的位置]

家のすぐそばに

1659 apkash humi

アプ カシ フミ

歩く / 音

歩く音

1660 tumpa maikan

トゥンパ マイカン

鏝 / 金属性の美しい響き・末

太刀の鏝の音が

1660 tununitara

トゥヌニタラ

(擬音の語根)・(状態が続いているこ
とを表す接尾辞)

美しく響き

1661 mosem tuyor

モセム トウヨロ

小さい・物置 / 内部

玄関の内

1661 eshikiru

エシキル

そこに・自分・を回す

に向きを変え

1662 mosem tuyor un

モセム トウヨロ ウン

小さい・物置 / 内部 / [連用句形成]

玄関の内に

1662 beure kutor

ベウレ クトロ

若い / のど・の中

若い喉

1663 taban chikutkesh

タブン チクツケシ

今ここに・ある / 我々の・喉・の末
端

この訪問の際の礼儀である

1664 chimaknaraiba

チマクナライバ

[使役中相]される・後ろ・の方へ・を
行かせる / 来させる

咳払いをし

1664 chiokani-

チオカニ

[使役中相]される・そこに・金属・風
黄金の風が

1664 kotpa kane,

コツパ カネ、

～に…を結びつける / ～して

ついて起こって、

1665 ratki aba

ラツキ アバ

下方・(自動詞形成) / (?)・口

垂れ下がる簾戸

1665 omausuyere

オマウスイエレ

その尻・風・を揺らす・させる

を風のように揺るがし

1666 mintar ka ta

ミンタラ カ タ

外庭 / 上 / [空間的位置]

外庭の上に

1666 imeru tura

イメル トウラ

もの・きらめき / ～とともに

光とともに

1667 urar tura

ウララ トウラ

霧 / ～とともに

霧とともに

1667 rutkosambap

ルツコサムバプ

(擬態の語根)・急に～する・[名詞化
辞]

押し入ったもの

1667 otop ka utur

オトプ カ ウトゥル

髪の毛 / 上 / 間

の髪の毛の隙間

1668 a-ebekare

ア・エベカレ

私は・で・受け止める・させる

に私はじっと目を向け

1668 inkar-an ko,

インカラ・アン コ、

もの・を見る・私は / ～すると

私は見てみると、

1669 pon urar tapkop

ボン ウララ タプ コプ

小さい / 霧 / 丸い山

小さい霧の小山が

1669 chishiruture.

チシルトゥレ。

[使役中相]される・自分・を押しずら

す・させる

寄せて来ている。

1670 Tu urar ikkeu

トゥ ウララ イッケウ

二つの / 霧 / 節・骨格

二つの霧の中心

1670 re urar ikkeu

レ ウララ イッケウ

三つの / 霧 / 節・骨格

三つの霧の中心

1671 a-shikechari

ア・シケチャリ

私は・目・で・を散らす

を私は目で払いのけ

1671 naani tusui

ナアニ トゥスイ

もう少しで～するとところだった / 二

つの・回

ほとんど二度

1672 naani resui

ナアニ レスイ

もう少しで～するとところだった / 三

つの・回

ほとんど三度

1672 ainu kat ne

アイヌ カツネ

人間 / 恰好八有様 / ～に (なる)

人間の形に

1673 a-kar eaikap

ア・カラ エアイカプ

私は・～をつくる / について・でき
ない

その者を私はつくることができず

1673 hushkotoi wano

フシコトイ ワノ

古い・ずっと / から・(副詞語尾)

しばらくの間

P.68**1674 a-kar aine,**

ア・カラ アイネ、

私は・～をする / ～した (完了)・～
して

私は何度か試みてようやく、

1674 urar tum ta

ウララ トゥム タ
霧 / 中 / [空間的位置]
霧の中心に

1675 a-shiketoko

ア・シケトコ
私の・目先
私の目の先

1675 raikosanu.

ライコサヌ。
(擬態の語根)・急に～する
さっと色が変わった。

1676 Pon ainu pon kuru

ポン アイヌ ポン クル
年若い / 人間 / 年若い / ～の人
年若い少年

1676 sonno hekachi okkaipo

ソンノ ヘカチ オッカイポ
本当に / 少年 / 男・(指小辞)
ほんとうに少年の若者

1677 chitomte reshup

チトムテ レシュプ
[使役中相]される・光る・させる / ～
を育てる・[名詞化辞]
飾り立てられて育ったもの

1678 chiara reshup

チアラ レシュプ
[使役中相]される・を美しくする / ～
を育てる・[名詞化辞]
美しくして育ったもの

1678 sone kusu,

ソネ クス、
本当・である / [原因八理由]
であるから、

1679 kani kosonte

カニ コソント
金属 / 小袖
黄金の小袖

1679 kotbar ka ta

コツバラ カ タ
襟元 / 上 / [空間的位置]
襟元の上

1680 chinki ka ta

チンキ カ タ
裾 / 上 / [空間的位置]
裾の上を

1680 sep birankani

セブ ビランカニ
広い / 平金
幅広い平金が

1681 chiekarbarep

チエカラバレプ
[使役中相]される・その頭・を回す・
させる・[名詞化辞]
取り巻いているものを

1681 nenaimine

ネナイミネ
同じような・衣装・に
下から襲ね

1682 arutomechiu

アルトメチウ
全く・互い・の中・そこに・に刺さる
全身に襲ねて着て

1682 uwokkanikut

ウウオクカニクツ
互い・(挿入音)・に引っかかる・金属・
帯
黄金の鎖

1683 tumamkosaiba

トゥマムコサイバ
胴・と一緒に・を巻く
を胴に巻き

1683 kamui ranke tam

カムイ ランケ タム
神 / 下がる・(他動詞形成) / 刀
神から賜った太刀

1684 kutbokechiu

クツボケチウ
帯・の下・そこに・に刺さる
を帯に差し

1684 kani pon kasa

カニ ポン カサ
金属 / 小さい / 笠
黄金の小さい笠

1684 kasa ran tubep

カサ ラン トゥベプ
笠 / 下の方・(自動詞形成) / かけた結び
笠の垂れた紐の結び目

1685 eyaisannanka-

エヤイサンナンカ
で・自分・前の・顔・の上
でもって自身の顔の上

1685 yupba kane,

ユプバ カネ、
～をきつく締める / ～して
をきつく締めて、

1686 kasa kep sam ta

カサ ケプ サム タ
笠 / 縁 / そば / [空間的位置]
笠の縁のわきに

1686 kamui sannanu

カムイ サンナヌ
神 / 前の・顔
神々しい顔が

1687 komaknatara.

コマクナタラ。
(擬音語・擬態語を導く接頭辞)・(開
いて明るいことを表す語根)・(状態が
続いていることを表す接尾辞)
輝いている。

1687 Ene an kamui

エネ アン カムイ
このように / ある / 神
このような神

1688 ene am bito

エネ アム ビト
このように / ある / 神と同等の人
このようなお方

1688 newa ne yakka

ネワ ネ ヤッカ
[繫詞]・[熟語・慣用句] / [繫詞]
 / ～すると・も
にしてもまた

1689 konep tashumi

コネプ タシュミ
いったい何 / 病気
いったい何病気

1689 konep ikoni

コネプ イコニ
いったい何 / もの・痛む
いったい何患い

1690 kichi rokbe

キチ ロクベ
～をする・[継続] / ～した(完了)・
[名詞化辞]

をしたものが

1690 okai nankora,

オカイ ナンコラ、
ある八いる / 顔・を持つ・～か
いるのだろうか、

1691 ibottum konna

イボットゥム コンナ
顔つき・中 / [韻律調整]
顔色が

1691 korennatara

コレンナタラ
(擬音語・擬態語を導く接頭辞)・(擬
態の語根)・(状態が続いていることを
表す接尾辞)
優れず

1692 koshumnatarā

コシムナタラ

(擬音語・擬態語を導く接頭辞)・(擬態の語根)・(状態が続いていることを表す接尾辞)

萎れ

1692 ponno sattek kane

ボンノ サツテク カネ

少ない・(副詞形成) / 乾く・ちよつと～する / ～して

少し痩せて

1693 okaibe ne koroka,

オカイベ ネ コロカ、

[接続助詞の後に置かれる]・[名詞化辞] / [繋詞] / けれども

いるものであるけれども、

1693 ene wa boka

エネ ワ ボカ

このように / ～して / (指小辞)・も どうにもこうにも

1694 a-rekai ka

ア・レカイ カ

私は・～をほめる・[名詞化辞] / ～も…しない

私は褒め称えようも

1694 isam kane.

イサム カネ。

ない / ～して

なくなるほどであった。

1695 Harkiso ne

ハラキソ ネ

左側の・座 / ～に

左座

1695 urekushte

ウレクシテ

足・を通る・させる

を通り

1695 hoka etok ta

ホカ エトク タ

尻・の上 / 先 / [空間的位置]

炉火の先に

1696 a hum konna

ア フム コンナ

座る / 音 / [韻律調整]

座る音が

1696 naikosamba.

ナイコサムバ。

(擬音の語根)・急に～する

美しく鳴り響いた。

1697 Ai moire

アイ モイレ

座る・[名詞化辞] / 遅い

座るやいなや

1697 kamui huchi

カムイ フチ

神 / 祖母

神の媪

1698 kotekrikikur-

コテクリキクル

に対して・手・上へ・(韻律調整)

の方に手を高く

1698 bumpa kane,

ブンパ カネ、

～を持ち上げる / ～して

持ち上げて、

P.69**1699 beure kutor**

ベウレ クト

若い / のど・の中

若い喉

1699 ehautum konna

エハウトゥム コンナ

で・声・の中 / [韻律調整]

その声の中心が

1700 uwetunuise kane,

ウウエトウスイセ カネ、

互い・(挿入音)・と一緒に・(擬音の

重複)・と言う / ～して

美しく響いて、

1701 "I-yainumare

「イヤイヌマレ

人を・自分・驚き起つ・させる

「驚いたことに

1701 ineap kusu

イネアプ クス

どうである・～した・もの / [熟語]

何とまあ

1702 bawetokkoro wa

パウエトッコロ ワ

口・(つなぎの音)・の先・を持つ / ～して

雄弁であって

1702 wayashnu wa

ワヤシヌ ワ

(?)・がすぐれている / ～して

叡智に富んでいる

1703 hawash nankora.

ハワシ ナンコラ。

声・する / 顔・を持つ・～か

ことなのだろうか。

1703 Tan tewano

タン テワノ

この / ここから・(副詞語尾)

たった今から

1704 tapne tapne

タブネ タブネ

これ・のように / これ・のように

かくかくしかじか

1704 ikkewe okai kusu,

イッケウエ オカイ クス、

理由 / ある入る / [原因入理由]

理由があるから、

1705 kamui utar

カムイ ウタラ

神 / ～たち

神々たち

1705 newa ne yakka

ネワ ネ ヤッカ

[繋詞]・[熟語・慣用句] / [繋詞]

/ ～すると・も

にしてもまた

1706 eraman korachi

エラマン コラチ

について・心・ある / ～のように

そのことを知っているように

1706 tapne kane

タブネ カネ

これ・のように / [意外]

このようにして

1707 shinrit koro kunip

シンリツ コロ クニフ

地・すじ / ～を持つ / ～するべき・もの

先祖を持つもの

1708 a-ne

ア・ネ

私は・[繋詞]

で私はあり

1708 katchak kunip

カッチャク クニフ

惨めな / ～するべき・もの

惨めなもの

1708 hauke kunip

ハウケ クニフ

(擬態の語根)・(自動詞形成) / ～

するべき・もの

弱いもの

1709 a-ne wa,

ア・ネ ワ、

私は・[繋詞] / ～して

で私はあって、

1709 Tomisambechi

トミサムベチ
トミサムベチ
トミサムベチ

1709 Shinutapkashi

シヌタブカシ
シヌタブカ
シヌタブカに

1710 shinrit oka

シンリツ オカ
地・すじ / 後
先祖の後

1710 a-ehorari ruwe nei

ア・エホラリ ルウェ ネイ
私は・そこに・その尻・を押さえる /
こと八さま / [繋詞]・[名詞化辞]
に私は住んだことであること

1711 kamui a-nure

カムイ ア・ヌレ
神 / 私は・を聞く・させる
を神に私は聞かせ

1712 nekombokanewa

ネコムボカネワ
どのように・だけでも・になる・して
どうにかして

1712 kamui utara

カムイ ウタラ
神 / ～たち
神々たちよ

1713 chiomumbekare

チオムムベカレ
[中相動名詞]される・世話を
私に

1713 i-yekarkar wa,

イ・イエカラカラ ワ、
私を・(挿入音)・人に～をする / ～
して
世話を

1714 i-kore yan." ari

イ・コレ ヤン。」 アリ
私に・～に…を与える / [命令] / ～と
してください。」と

1714 sonno usa bishkani

ソンノ ウサ ビシカニ
本当に / いろいろ / 周囲
ほんとうにいろいろな事柄

1715 koinne kane

コインネ カネ
に・多い / ～して
ことの次第を説き解いて

1715 koomommomo kane,

コオモンモモ カネ、
に対して・をつぶさに述べる / ～し
て
つまびらかにして、

1716 kamuikoitak.

カムイコイタク。
神・に・話す
神に祈りを捧げた。

1716 Neino sui

ネイノ スイ
である・(挿入音)・(副詞形成) / また
そのようにまた

1717 chise so ba un hemem

チセ ソ バ ウン ヘMEM
家 / 床 / 上手 / [連用句形成] / ～
も・(重複)
家の床の上手にも

1718 tuwan onkami

トゥワン オンカミ
二つの・十の / 拝礼する
二十の拝礼

1718 rewan onkami

レワン オンカミ
三つの・十の / 拝礼する
三十の拝礼

1719 arukakushte

アルカクシテ
全く・互い・の上・を通る・させる
を重ね

1719 onkami wa

オンカミ ワ
拝礼する / ～して
拝礼して

1720 eramushinne.

エラムシンネ。
で・心・地面・である
それで安心した。

1720 Tap orowa

タブ オロワ
そのとき / 所・～から
それから

1721 i-kobakun wa

イ・コバクン ワ
私に・～の方・[連用句形成] / ～に
私の方に

1721 shinushinu

シヌシヌ
ずる・(重複)
膝でずり寄り

1721 tanepo konna

タネポ コンナ
今・(指小辞) / [韻律調整]
今初めて

1722 i-kohosari

イ・コホサリ
私に・に向かって・振り向く
私の方を振り返り

1722 tu urar ikkeu

トゥ ウララ イッケウ
二つの / 霧 / 節・骨格
二つの霧の中心

1723 re urar ikkeu

レ ウララ イッケウ
三つの / 霧 / 節・骨格
三つの霧の中心

1723 i-kocharikar

イ・コチャリカラ
私に・に向かって・を散らす・(他動
詞形成)
を私に向かって散らし

P.70**1724 naani tusui**

ナアニ トゥスイ
もう少しで～するところだった / 二
つの・回
ほとんど二度

1724 naani resui

ナアニ レスイ
もう少しで～するところだった / 三
つの・回
ほとんど三度

1725 ainu kat ne

アイヌ カツネ
人間 / 恰好八有様 / ～に (なる)
人間の形に

1725 i-kar eaikap

イ・カラ エアイカフ
私を・～をつくる / について・でき
ない
私をつくることができず

1726 hushkotoi wano

フシコトイ ワノ
古い・ずっと / から・(副詞語尾)
しばらくの間

1726 i-kar aine,

イ・カラ アイネ、
私を・～をつくる / ～した (完了)・
～して
私をつかって、

1727 a-annankurka-

ア・アンナンク_{ルカ}
 私は・一方の・顔・の上
 私の片方の顔の上

1727 koshikraipa

コシクライバ
 に対して・目・を行かせる_八来させる
 に目を向け

1728 kanibor ka ta

カニボ_カ カ_タ
 [上部_八表面]・顔つき / 上 / [空間
 的位置]
 その顔のおもて

1728 koraikosamba

コライコサムバ
 一緒に・死ぬ・急に_八する
 さっと青ざめ

1729 ene an kamui

エネ アン カムイ
 このように / ある / 神
 このような神

1730 ene am bito

エネ アム ビト
 このように / ある / 神と同等の人
 このようなお方が

1730 kohemshiehose

コヘムシエホセ
 に対して・同じ・自分・そこに・背を
 向ける
 あべこべに

1731 konep kamuye

コネ_ア カムイエ
 いったい何 / 神・_八か
 いったい何神

1731 koshikraipa

コシクライバ
 に対して・目・を行かせる_八来させる
 に目を向け

1732 reka kunip

レカ クニ_ア
 ~の美貌をほめる / ~するべき・もの
 その美貌を褒める

1732 ikichi nankora,

イキチ ナンコ_ラ、
 する・[継続] / 顔・を持つ・_八か
 のだろうか、

1733 huihuinawano

フイフイナワノ
 どこか・(重複)・の方・から・(副詞形成)
 どこからどこまで

1733 i-kurkashike

イ・クルカシケ
 私の・影_八姿・の上
 私の上

1734 uwambare

ウワムバレ
 互い・(挿入音)・を手に持つ・させる
 をよく見て調べ

1734 i-tukarikepo

イ・トゥカリケポ
 私の・手前の所・[指小辞]
 私の手前のところ

1735 koshikerana-

コシケラナ
 に対して・目・で・下・の方
 に視線を低く

1735 atte kane,

アッテ カネ、
 掛かる・させる / ~して
 目を伏せて、

1736 "Tureshpo." ari

「トゥレシポ。」アリ
 妹・[指小辞] / ~と
 「妹よ。」と

1736 "Sambe." ari

「サムベ。」アリ
 出る・もの / ~と
 「心臓よ。」と

1736 itak kane,

イタク カネ、
 言う / ~して
 言って、

1737 i-raukotabu

イ・ラウコタブ
 私を・_八を捕らえる
 私を抱きかかえ

1737 i-eshikari.

イ・エシカリ。
 私を・_八を掴む
 私をしっかりとおさえた。

1738 Kamui hura

カムイ フラ
 神 / におい
 神のかおり

1738 utarpa hura

ウタ_ラバ フラ
 人々・頭 / におい
 首領のかおりが

1739 rui rera ne

ルイ レラ ネ
 激しい / 風 / ~に (なる)
 烈風のように

1739 i-emaknakur-

イ・エマクナクル
 私を・その頭・奥・の方・(韻律調整)
 私を後ろの方に

1740 raiba kane,

ライバ カネ、
 ~をやる / ~して
 押しやって、

1740 a-kimui kashi

ア・キムイ カシ
 私の・頭 / 上
 私の頭の上

1741 i-koruiruye kane,

イ・コルイルイェ カネ、
 私を・に対して・(なでることを表す
 語根)・(重複)・(他動詞形成) / ~
 して
 を撫でて、

1741 eashka

エアシカ
 それこそ・_八も
 それこそ

1741 hushko orushbe

フシコ オルシベ
 古い / の所・についている・もの
 古い先祖の話

1742 ashiri orushbe

アシリ オルシベ
 新しい / の所・についている・もの
 新しい先祖の話

1743 ukaebita kane,

ウカエビタ カネ、
 互い・の上・その頭・をほどく / ~して
 事柄をすべて明らかにして、

1743 ene ene

エネ エネ
 このように / このように
 かくかくしかじか

1744 i-kemnu yakka

イ・ケムヌ ヤッカ
 私を・_八を気の毒に思う / ~すると・も
 私のことを気の毒に思っただけれど

1744 i-eramboken yakka,

イ・エラムボケン ヤッカ、
 私を・で・心・の下・悪い / ~すると・も
 私をかわいそうに思っただけれど、

1745 naa pon kusu

ナア ポン クス
まだ / 小さい / [原因入理由]
まだ小さいから

1745 ona unu kamui

オナ ウヌ カムイ
父親 / 母親 / 神
父母の神

1746 tomkokanu wa

トムコカヌ ワ
真ん中入正面・をよく傾聴する / ～
して
に忠実に従って

1747 chish-an koro

チシ・アン コロ
泣く・私は / ～しながら
私は泣いて

1747 iki-an ita,

イキ・アン イタ、
ものごと・をする・私は / とき・[時
間的な位置]
私はいたときに、

1748 somo i-nukari

ソモ イ・ヌカリ
[否定辞] / 私を・～を見る・[名詞
化辞]
私を見なかったこと

1748 somo i-keuhumshui hene

ソモ イ・ケウフムシューイ ヘネ
[否定辞] / 私を・骸・を祝福する・
[名詞化辞] / ～でも
私を祝福しなかったことでも

P.71**1749 i-ekoyayababu kane** イ・エ
コヤヤバブ カネ

私に・について・に対して・わびる /
～して
それを私に謝って

1750 i-ekap.

イ・エカプ。
私に・～にあいさつする
私にあいさつした。

1750 Itasa bakno

イタサ バクノ
人・と交代する / まで入ほど・(副詞形成)
同じように

1750 aokai ne yakka

アオカイ ネ ヤッカ
私 / [繋詞] / ～すると・も
私にしても

1751 ene ene

エネ エネ
このように / このように
かくかくしかじか

1751 yainu-ani

ヤイヌ・アニ
自分・を開く入感じる・私は・[名詞化辞]
私が思ったこと

1752 a-ye kane,

ア・イエ カネ、
私は・～を言う / ～して
を私は言って、

1752 "Yuppo ohai."

「ユッポ オハイ。」
兄・(指小辞) / ～よう
「兄さんよ。」

1753 a-raikotenke.

ア・ライコテンケ。
私は・ひどく・に・叫ぶ
私は絶叫した。

1753 Chinki kese

チンキ ケセ
裾 / 端
兄の裾端

1754 a-oukoraipa

ア・オウコライパ
私は・そこに・一緒に・を行かせる入
来させる
を私は握り締め

1754 santek ka ta

サンテク カ タ
出る・手 / 上 / [空間的位置]
手先の上で

1754 sankokkasaba

サンコッカサバ
前・へ行く・ひざ・頭
膝がしら

1755 a-koruiruye kane,

ア・コルイルイエ カネ、
私は・に対して・(なでることを表す語根)・
(重複)・(他動詞形成) / ～して
を私は撫でさずって、

1756 samashiksakno

サマシクサクノ
そば・目・がない・(副詞形成)
そばで見ると目がないところで

1756 oainusakno

オアイヌサクノ
そこに・人間・がない・(副詞形成)
他に人のいないところで

1757 okai-ambe

オカイ・アムベ
ある入る・私たちは・[名詞化辞]
私たちはいたもの

1757 konep ne kusu,

コネプ ネ クス、
いったい何 / [繋詞] / [原因入理由]
であったから、

1757 a-sannan ka ta

ア・サンナン カ タ
私の・出る・顔 / 上 / [空間的位置]
私の顔のおもてに

1758 i-echopnure kane,

イ・エチョフヌレ カネ、
私を・その頭・(擬音の語根)・を持つ・
させる / ～して
接吻して、

1759 i-toikoomap

イ・トイコオマプ
私を・ひどく・をかわいがる
私をひどくかわいがり

1759 utashpa kane

ウタシパ カネ
互い・と交換する (tasa の語幹)・(複
数) / [意外]
代わる代わる

1759 uwekap-an

ウウェカプ・アン
互い・(挿入音)・にあいさつする・私たちは
私たちは互いにあいさつをし

1760 uomap-an

ウオマプ・アン
互い・(挿入音)・をかわいがる・私たちは
私たちは仲良しであり

1760 a-eramushinne.

ア・エラムシンネ。
私は・について・心・地面・である
それで私は安心した。

1761 Tap orowa

タップ オロワ
そのとき / 所・～から
それから

1761 pon a-kor yubi

ボン ア・コロ ユビ
年若い / 私は・～を持つ / 兄
年若い私の兄は

1762 chirikibuni

チリキブニ
[使役中相]される・上へ・を持ち上げる
起ち上がり

1762 huibe oro

フイベ オロ
生で・食べる物 / 所
肝臓のところ

1763 emush kushbare

エムシ クシバレ
太刀 / を通る・(複数)・(させる)
に太刀を通し

1763 hoshki ruino

ホシキ ルイノ
先に / 激しい・(副詞形成)
まず先に

1764 kamui huchi

カムイ フチ
神 / 祖母
神の媪

1764 baro iyushi.

バロ イユシ。
口 / もの・(挿入音)・に～をつける
の口に獲物をつけた。

1765 Tap orowa

タブ オロワ
そのとき / 所・～から
それから

1765 rai sonabi

ライ ソナビ
ものすごい / 高盛のご飯
大きい高盛りのご飯に

1765 yateknare

ヤテクナレ
自分・そこに・手をかける・させる
自分から手をかけ

1766 a-ikkeu noshki

ア・イッケウ ノシキ
私の・節・骨格 / 真ん中
私の腰骨の真ん中

1766 komkosampa

コムコサンパ
(曲がっている状態を表す語根)・急
に～する
を屈め

1767 a-uina wa

ア・ウイナワ
私は・～を取る / ～して
それを私は受け取って

1767 a-rikunruke

ア・リクンルケ
私は・高い所・に位置する・(他動詞
形成)
それを私は高く捧げ

1768 a-raunruke

ア・ラウンルケ
私は・低い所・に位置する・(他動詞
形成)
それを私は低く捧げ

1768 a-koonkami wa

ア・コオンカミワ
私は・に・拝礼する / ～して
それに私は拝礼して

1769 a-e wa

ア・エワ
私は・～を食べる / ～して
それを私は食べて

1769 inu-an ike,

イヌ・アン イケ、
もの・を聞く・私は / ～したが
私はみたが、

1770 tanepo tapne

タネポ タプネ
今・(指小辞) / これ・のように
今初めて

1770 okkayo koikip

オッカヨ コイキプ
男 / に対して・もの・をする・[名詞
化辞]
男が獲ったもの

1771 arshiri huibe

アラシリ フイベ
新しい / 生で・食べる物
新しい肝臓

1771 a-e wa,

ア・エワ、
私は・～を食べる / ～して
を私は食べて、

1771 ineap kusu

イネアプ クス
どうである・～した・もの / [熟語]
何とまあ

1772 kera pirika

ケラ ピリカ
味 / よい
味がよく

1772 keraan wa

ケラアンワ
味・ある / ～して
おいしくて

1773 humash nankora,

フマシ ナンコラ、
音・立つ(=する) / 顔・を持つ・～か
そうなのだろうか、

1773 sonno sonno

ソンノ ソンノ
本当に / 本当に
ほんとにほんとに

P.72**1774 kera pirika**

ケラ ピリカ
味 / よい
味がよく

1774 a-esambeshturi

ア・エサムベシトゥリ
私は・で・心臓・を伸ばす
それで私は気持ちがよく

1775 a-etumashnu kane,

ア・エトゥマシヌ カネ、
私は・で・力・が充分ある / ～して
それで私は元気になって、

1775 pon a-kor yubi

ボン ア・コロ ユビ
年若い / 私は・～を持つ / 兄
年若い私の兄は

1776 nani sui

ナニ スイ
すぐに / また
すぐにまた

1776 boro shu oro

ボロ シュ オロ
大きい / 鍋 / 所
大きい鍋に

1777 wakka o wa,

ワッカ オワ、
水 / ～に…を入れる / ～して
水を汲んで、

1777 hoka tuika

ホカ トゥイカ
尻・の上 / 上
炉火の上

1777 eterkere

エテレケレ
そこに・跳ねる・させる
にその鍋をさっと掛け

1778 kirbu biyei

キリブ ビイエイ
骨髄・(?) / 脂がのった・[名詞化
辞]
脂身の脂がのったところ

1778 kam biyei

カム ビイエイ
肉 / 脂がのった・[名詞化辞]
肉の脂がのったところ

1779 shuworotauki.

シュウオロタウキ。
鍋・(挿入音)・の・ところ・をたたいて
切りつける
を鍋の中に切って入れた。

1779 Aokai anakne

アオカイ アナクネ
私 / ある・すれば
私は

1780 abeare-an

アベアレ・アン
火・たくさんある・させる・私は
私は火を燃やし

1780 shu chorbok

シュ チョロボク
鍋 / 下
鍋の下

1780 a-eusheush kane

ア・エウシエウシ カネ
私は・その頭・につく・(重複) / ~
して
に私は向かって行って

1781 shu chi yanke hine,

シュ チ ヤンケ ヒネ、
鍋 / 煮える / 陸八岸に上がる・(他動
詞形成) / ~して
鍋が煮え鍋を炉から下ろして、

1782 shiboro nima

シボロ ニマ
まことに・大きい / 皿
まことに大きい皿

1782 sanasapte

サナサプテ
前・の方へ・を出す
を中から出し

1782 kirbu yapte

キリブ ヤプテ
骨髓・(?) / 陸に上がる八岸に着
く・させる
脂身を取り出して外に置き

1783 kam yapte wa sui

カム ヤプテ ワ スイ
肉 / 陸に上がる八岸に着く・させる /
~して / また
肉を取り出して外に置いてまた

1783 rai sonabi

ライ ソナビ
ものすごい / 高盛のご飯
大きい高盛りのご飯

1784 i-kobuni

イ・コブニ
私に・に対して・を持ち上げる
を私に捧げ

1784 rai sonabi

ライ ソナビ
ものすごい / 高盛のご飯
大きい高盛りのご飯

1784 yaikobuni kane,

ヤイコブニ カネ、
自分・に・を持ち上げる / ~して
を自身に捧げて、

1785 onkami-an wa

オンカミ・アン ワ
拝礼する・私は / ~して
私は拝礼して

1786 a-e wa

ア・エ ワ
私は・~を食べる / ~して
それを私は食べて

1786 inkar-an chiki,

インカラ・アン チキ、
もの・を見る・私は / ~したら
私は見たら、

1786 tanepo konna

タネポ コンナ
今・(指小辞) / [韻律調整]
今初めて

1787 ashiri chikoikip

アシリ チコイキプ
新しい / [使役中相]される・を襲う八
獲る・[名詞化辞]
新しい獲物

1787 a-e wa

ア・エ ワ
私は・~を食べる / ~して
を私は食べて

1788 sonno sonno

ソンノ ソンノ
本当に / 本当に
ほんとにほんとに

1788 keran

ケラン
味・ある
おいしい

1788 a-ohapsekur-

ア・オハプセクル
私は・その尻・(称賛の間投詞)・と言
う・(韻律調整)
それを私はおいしいと

1789 echiu kane,

エチウ カネ、
その頭・に刺さる / ~して
声を出して、

1789 pon a-kor yubi

ボン ア・コロ ユビ
年若い / 私は・~を持つ / 兄
年若い私の兄は

1790 shino nubetne wa

シノ ヌベツネ ワ
本当である・(副詞形成) / 喜ぶ / ~して
じつに喜び

1791 otu henkuror

オトゥ ヘンクロロ
(韻律)・二つの / 顔・影八姿・の所
二つのうなずき

1791 ore henkuror

オレ ヘンクロロ
(韻律)・三つの / 顔・影八姿・の所
三つのうなずき

1792 i-koanukar kane,

イ・コアヌカラ カネ、
私に・に対して・を置く・(他動詞形
成) / ~して
を私に見せて、

1792 ibe ruoka

イベ ルオカ
食事する / 跡・の後
食事のあと

1793 chiobashbare.

チオバシバレ。
[使役中相]される・そこに・走る・(複
数)・させる
をかたづけ終えた。

1793 Pon a-kor ikit tukari

ボン ア・コロ イキツ トッカー
小さい / 私は・~を持つ / 列 / 手前
小さい私の宝壇の手前

1794 chituye amset

チトゥイエ アムセツ
[中相]される・を切る / (?)・寝台
移動自在の寝台

1795 amset kurka

アムセツ クルカ
(?)・寝台 / 影八姿・の上
寝台の上

1795 erikin

エリキン
そこに・上昇する
にのぼり

1795 pirika sotki

ピリカ ソツキ
美しい / 寝床
美しい寝床

1796 yaikokarkar

ヤイコカラカラ
自分・に・を整理する
を一人で設え

1796 hotke.

ホツケ。
寝る
眠った。

1797 Aokai ne yakka

アオカイ ネ ヤッカ
私 / [繋詞] / ～すると・も
私にしても

1797 shino nubetnenno

シノ スベツネノ
本当である・(副詞形成) / 喜ぶ・[副
詞形成]
じつにうれしそうに

1798 a-ehotke ita

ア・エホツケ イタ
私は・そこに・寝る / する所・[空間
的位置]
私が寝るところに

1798 hotke-an chiki,

ホツケ・アン チキ、
寝る・私は / ～したら
私は寝たら、

P.73**1799 mokor boka**

モコロ ボカ
静けさ・を持つ / (指小辞)・も
眠ることも

1799 a-etoranne bakno

ア・エトランネ バクノ
私は・について・やる気がない / ま
で八ほど・(副詞形成)
私はしたくなくなるほど

1800 keutum otta

ケウトウム オッタ
心 / の所・[空間的位置]
心の中で

1801 nubetne-an.

スベツネ・アン。
喜ぶ・私は
私は喜んだ。

1801 Tane anakne

タネ アナクネ
今 / ある・すれば
今は

1802 pon a-kor yubi

ボン ア・コロ ユビ
年若い / 私は・～を持つ / 兄
年若い私の兄が

1802 kamui ewaki

カムイ エワキ
立派だ / に・(?)・する所
立派な御座所

1803 ebunkine

エブンキネ
で・守護者・である
を守護し

1803 ehorari kusu

エホラリ クス
そこに・尻・を押さえる / [目的]
そこに住むために

1804 arki wa,

アラキ ワ、
来る / ～して
来て、

1804 kamui ewaki

カムイ エワキ
立派だ / に・(?)・する所
立派な御座所

1805 upsoro

ウプソロ
内部におおわれている・ところ
の内部

1805 ehotke ruwe

エホツケ ルウェ
そこに・寝る / こと八さま
に寝ること

1805 a-nukar chiki,

ア・ヌカラ チキ、
私は・～を見る / ～したから
を私は見たから、

1806 sonno a-eramuyupke kane

ソンノ アエラムユプケ カネ
本当に / 私は・について・心・激し
い / ～して
ほんとうにそれを私は心強く思って

1807 tutko kane

トゥツコ カネ
二つの・(前の音節の子音の重複)・日
/ [意外]
二日

1807 rerko kane

レレコ カネ
三つの・(前の音節の子音の重複)・日
/ [意外]
三日

1808 ukookai-an

ウコオカイ・アン
一緒に・暮らしている・私たちは
私たちは一緒に暮らし

1808 uweneusar-an

ウウェネウサラ・アン
互い・(挿入音)・と一緒に・いろいろ
話し合っって楽しむ・私たちは
私たちは一緒に楽しく語り合い

1809 utashpa bakno

ウタシパ バクノ
互い・と交換する (tasa の語幹)・(複
数) / まで八ほど・(副詞形成)
次から次に

1809 ureka-an

ウレカ・アン
互い・の美貌をほめる・私たちは
私たちは美貌を褒め合い

1810 uekiroroan kane

ウエキロロアン カネ
互い・について・おもしろく思う / ～
して
それを一緒におもしろく思っ

1810 uweminaushi-an kane

ウウェミナウシ・アン カネ
互い・(挿入音)・について・笑う・に
～をつける・私たちは / ～して
私たちは一緒に笑いを浮かべて

1811 okai-an.

オカイ・アン。
[接続助詞の後に置かれる]・私たちは
私たちは暮らしていた。

1811 Shinean to ta

シネアン ト タ
一つの・ある / 日 / [時間的位置]
ある日

1812 pon a-kor yubi

ボン ア・コロ ユビ
年若い / 私は・～を持つ / 兄
年若い私の兄が

1812 mina tura

ミナ トウラ
笑う / ～と一緒に
笑いながら

1813 ene itaki.

エネ イタキ。
 このように / 話す・[名詞化辞]
 次のように言った。

1813 "Koninkarkusu

「コニンカラクス
 それに・(挿入音)・見る・[熟語]
 「よく聞いてください

1814 a-tureshipo

ア・トゥレシポ
 私の・妹・[指小辞]
 私の妹よ

1814 haru kesh boka

ハル ケシ ボカ
 食料 / 残り / (指小辞)・も
 穀物の残りでも

1815 okai chiki,

オカイ チキ、
 ある八いる / ～したら
 あったら、

1815 rapte wa

ラプテ ワ
 下がる・(他動詞形成) / ～して
 それを降ろして

1815 sake shuiba kunak

サケ シュイバ クナク
 酒 / ～を揺らす / [名詞化引用]
 酒を醸すよう

1816 ramu yan.

ラム ヤン。
 心・(他動詞形成) / [命令]
 頼みます。

1817 Tanepo konna

タネポ コンナ
 今・(指小辞) / [韻律調整]
 今初めて

1817 kamui ewaki

カムイ エワキ
 立派だ / に・(?)・する所
 立派な御座所

1818 a-benkirechui

ア・ベンキレチウ
 私は・上流の方・を治める
 の私は上流の方を治め

1818 a-bankirechui kusu

ア・バンキレチウ クス
 私は・下流の方・を治める / [目的]
 その私は下流の方を治めるために

1819 shiotarino

シオタリノ
 自分・その尻・を上げる・[副詞形成]
 すぐさま

1819 ek-an ruwe nei

エク・アン ルウエ ネイ
 来る・私は / こと八さま / [繫詞]・
 [名詞化辞]
 私はやって来たことであることを

1820 kanto or bakno

カント オロ バクノ
 上の・湖八沼 / 所 / まで八ほど・(副
 詞形成)
 天上までも

1821 kamui or bakno

カムイ オロ バクノ
 神 / 所 / まで八ほど・(副詞形成)
 神々までも

1821 a-nuyar

ア・ヌヤラ
 私は・～を聞く・[不定使役形接尾辞]
 私は聞かせ

1821 a-utari obitta

ア・ウタリ オビッタ
 私の・同族の人々 / 全部
 私の同族の人たちにみなことごとく

1822 a-nukar rusui.

ア・ヌカラ ルスイ。
 私は・～を見る / ～したい
 私は会いたい。

1822 To noshki un

ト ノシキ ウン
 湖八沼・真ん中 / [連用句形成]
 沼の真ん中の

1823 kamui umurek

カムイ ウムレク
 神 / 夫婦
 神の夫婦

P.74**1824 a-tak wa,**

ア・タク ワ、
 私は・～を招待する / ～して
 を私は招待して、

1824 unukar-an

ウヌカラ・アン
 互い・を見る・私たちは
 私たちは一緒に会い

1824 a-eramushinne

ア・エラムシンネ
 私は・について・心・地面・である
 それで私は安心し

1825 orowa

オロワ
 そこ・から
 それから

1825 nubetneno

ヌベツネノ
 喜ぶ・(副詞形成)
 楽しく

1826 iraukitupa-an

イラウキトゥパ・アン
 稼ぎに行く・私たちは
 私たちは働く

1826 kusune na." ari

クスネ ナ。」 アリ
 [目的・原因八理由]・[繫詞] / [要
 求] / ～と
 つもりです。」と

1827 hawash chiki,

ハワシ チキ、
 声・する / ～するから
 そう聞こえたから、

1827 shino a-enubetne

シノ ア・エヌベツネ
 本当である・(副詞形成) / 私は・に
 ついて・喜ぶ
 じつにそれを私は喜び

1828 a-eramupo-

ア・エラムポ
 私は・について・心・(指小辞)
 それで私の心は

1829 bashkosanu.

バシコサヌ。
 (擬態の語根)・急に～する
 ほっとした。

1829 Pirika itak

ピリカ イタク
 よい / 言葉
 よい言葉

1830 itak etoko

イタク エトコ
 言葉 / 先
 言葉の前

1830 a-ehobuni

ア・エホブニ
 私は・そこに・尻・を持ち上げる
 に私は跳び上がり

1830 soyoterke-an

ソヨテレケ・アン
外・に・跳ねる・私は
私は外に逃げ出し

1831 soyun yakura

ソユン ヤクラ
外・にある / 櫓
外の櫓

1831 yakura kurka

ヤクラ クルカ
櫓 / 影入姿・の上
櫓の上

1832 a-chiوشي

ア・チオウシ
私は・[中相]される・その尻・を～に
つける
に私は立ち

1832 yaikotan ba

ヤイコタン バ
自分・村 / 上手
自分の村の上手

1833 yaikotan kesh

ヤイコタン ケシ
自分・村 / 下手
自分の村の下手

1833 a-hawotuire.

ア・ハウオトゥイレ。
私は・声・そこに・取れて落ちる・させる
に私は声をかけた。

1834 Tambota anakne

タムボタ アナクネ
この・(指小辞)・に / ある・すれば
今度は

1834 a-utari utar

ア・ウタリ ウタラ
私の・同族の人々 / ～たち
私の同族の人たち

1835 shino uwenubetne kane,

シノ ウウェヌベツネ カネ、
本当である・(副詞形成) / 互い・(挿
入音)・と一緒に・喜ぶ / ～して
じつと一緒に喜んで、

1835 okkayo otta

オッカヨ オッタ
男 / の所・[空間的位置]
男の中に

1836 menoko otta

メノコ オッタ
女 / の所・[空間的位置]
女の中に

1836 moyono kane

モヨノ カネ
人数が少ない・とても / ～して
数少なく

1837 uwekarpa wa,

ウウェカラパ ワ、
互い・(挿入音)・の方に向かって / ～して
たくさん集まって、

1837 iwan kutomap

イワン クトマブ
六つの / 大吠
六つ大吠

1838 a-ebuikare

ア・エブイカレ
私の・実入種をつくる入する・させる
を私は倉から降ろし

1838 orowano

オロワノ
それから・(副詞形成)
それから

1838 utar etoko

ウタラ エトコ
仲間 / 先
仲間の先

1839 a-ehobuni

ア・エホブニ
私は・そこに・尻・を持ち上げる
に私は跳び上がり

1839 shino yuptek-an wa,

シノ ユプテク・アン ワ、
本当である・(副詞形成) / (きつくしま
る入しめることを表す擬態の語根)・ちょっ
と～する・私たちは / ～して
じつに私たちはがんばって、

1840 usa okaibe

ウサ オカイベ
いろいろ / ある入いる・[名詞化辞]
いろいろなもの

1840 a-umombok-

ア・ウモムボク
私たちは・互い・の下入そば
私たちはお互いの手元

1841 tushmak kane,

トゥシマク カネ、
～の先を越す / ～して
の先を越して、

1841 irukai ne ko

イルカイ ネ コ
ちよつとの間 / [繫詞] / ～すると
しばらくすると

1842 ukasui-an wa,

ウカスイ・アン ワ、
互い・を助ける入手伝う・私たちは /
～して

1842 iwan shintoko

イワン シントコ
六つの / 行器
六つの行器

1843 ror a-oraiba.

ロロ ア・オライバ。
上座 / 私たちは・そこに・を行かせ
る入来させる
を私たちは上座の方に寄せた。

1843 Boronno

ボロンノ
多い・(挿入音)・(副詞形成)
たくさん

1844 nina kunip

ニナ クニブ
木・を採って来る / ～するべき・も
の
薪を採るものは

1844 nina

ニナ
木・を採って来る
薪を採り

1844 inauni tuibap

イナウニ トゥイバブ
木幣・木 / ～を切る・[名詞化辞]
木幣の木を伐るものは

1845 inauni tuiba kane,

イナウニ トゥイバ カネ、
木幣・木 / ～を切る / ～して
木幣の木を伐って、

1845 tutko rerko

トゥツコ レレコ
二つの・(前の音節の子音の重複)・日
/ 三つの・(前の音節の子音の重複)・日
二日三日

1846 shiran ko

シラン コ
あたり入様子・ある / ～すると
しばらくすると

1846 kamui kurusui

カムイ クルスイベ
神 / ～を飲む・～したい・[名詞化辞]
神が飲みたいもの

1847 erusuibe

エルスイベ

～を食べる・したい・[名詞化辞]

食べたいもの

1847 konep ne kusu,

コネブ ネ クス、

いったい何 / [繋詞] / [原因入理由]

であったから、

1848 pirika tonoto

ピリカ トノト

よい / 殿・乳

おいしい酒

1848 keran hura mawe

ケラン フラ マウエ

味・ある / におい / 風

おいしい匂いの風が

P.75**1849 chise upsoroho**

チセ ウブ ソロホ

家 / 内部におおわれている・ところ

家の内部

1849 eetushnatki

エエトウツナツキ

そこ・それで・満ちあふれる

いっばいに満ちあふれ

1850 orowano sui

オロワノ スイ

それから・(副詞形成) / また

それからまた

1850 moyotek utar

モヨテク ウタラ

少ない・瞬間に～する / 人々

数少ない人々が

1851 uwekarba

ウウェカラバ

互い・(挿入音)・の方に向かって

集まり

1851 Inumba-an.

イヌムバ・アン

もの・をしぼる・私たちは

私たちは酒を搾った。

1852 Pon a-kor yubi

ボン ア・コロ ユビ

年若い / 私は・～を持つ / 兄

年若い私の兄は

1852 yayoteknare

ヤヨテクナレ

自分・そこに・手をかける・させる

自分から手をかけ

1853 utarpa tum ta

ウタラバ トムタ

人々・頭 / 中 / [空間的位置]

首領の中心で

1853 iyeutanne

イイエウタンネ

ものごと・(挿入音)・について・同族・

である人になる

一緒になって

1854 inauke chiki,

イナウケ チキ、

木幣・を削る / ～したところ

木幣を削ったところ、

1854 ke inau

ケ イナウ

木幣を掻く / 木幣

削った木幣は

1855 shinnai ikinne

シンナイ イキンネ

違う・(挿入音) / まとまり・[繋詞]

別々の列に

1855 tu kamui nish ne

トゥ カムイ ニシネ

二つの / 立派だ / 雲 / ～に (なる)

二つの立派な雲となり

1856 re kamui nish ne

レ カムイ ニシネ

三つの / 立派だ / 雲 / ～に (なる)

三つの立派な雲となり

1857 yayebumpa.

ヤイエブンパ。

自分・その頭・を持ち上げる

立ち昇った。

1857 Utarpa utar

ウタラバ ウタラ

人々・頭 / ～たち

首領たち

1858 rametok utar

ラメトク ウタラ

心・の先端 / ～たち

勇者たちは

1858 shietuuina

シエトゥウイナ

自分・鼻・を取る

鼻の前にこぶしを当てて驚き

1859 shibaruina kane,

シバルイナ カネ、

自分・口・を取る / ～して

口の前にこぶしを当てて驚いて、

1859 pon a-kor yubi

ボン ア・コロ ユビ

年若い / 私は・～を持つ / 兄

年若い私の兄が

1860 shino inauke eashkaii

シノ イナウケ エアシカイイ

本当である・(副詞形成) / 木幣・を

削る / について・できる・[名詞化辞]

じつに木幣を削るのが上手であること

1861 ukookunurpa

ウコオクヌルパ

一緒に・ひどく驚く

一緒にひどく驚き

1861 pon a-kor yubi

ボン ア・コロ ユビ

年若い / 私は・～を持つ / 兄

年若い私の兄が

1862 emina haukan

エミナ ハウカン

について・笑う / 声・末

それをあざ笑う声が

1862 tununitara.

トゥヌニタラ。

(擬音の語根)・(状態が続いていること)を表す接尾辞)

美しく響いた。

1863 Inumba kunip

イヌムバ クニブ

もの・をしぼる / ～するべき・もの

酒を搾るもの

1863 ukoichari-

ウコイチャリ

一緒に・ぎる

一緒にぎる

1864 bashte kane,

バシテ カネ、

走る・させる / ～して

を走らせて、

1864 inauke sash hum

イナウケ サシフム

木幣・を削る / 摩擦する音 / 音

木幣を削る音

1865 inumba sash hum

イヌムバ サシフム

もの・をしぼる / 摩擦する音 / 音

酒を搾る音が

1866 uwobuk kane

ウウォブク カネ

互い・(挿入音)・その尻・起こる / へして

入り交じって

1866 kosashnatara

コサシナタラ

(擬音語・擬態語を導く接頭辞)・(擬音の語根)・(状態が続いていることを表す接尾辞)

擦れ合うように鳴り響き

1867 an-ramasu

アン・ラマス

私は・～をおもしろく思う

私は非常に

1867 a-uwesuye ka,

ア・ウウエスイエ カ、

私は・～が楽しい / へして※ka は kane の誤記

私は気持ちがよくて、

1868 usa shito hene

ウサ シト ヘネ

いろいろ / 団子 / へでも

いろいろ団子でも

1868 keran aep

ケラン アエプ

味・ある / 人・を食べる・もの

美味しい食べ物

1869 boronno a-kar

ボロンノ ア・カラ

多い・(挿入音)・(副詞形成) / 私たちは・～をつくる

をたくさん私たちはつくり

1869 a-ukasui.

ア・ウカスイ。

私たちは・互い・を助ける八手伝う

私たちは助け合った。

1869 Tane kamui ewaki ta okai

タネ カムイ エワキ タ オカイ

今 / 立派だ / に・(?)・する所 / [空間的位置] / ある八いる

今非常に立派な御座所にある

1870 hushko inau

フシコ イナウ

古い / 木幣

古い木幣

1871 soi a-o

ソイ ア・オ

外 / 私たちは・～に…を入れる

を私たちは外に出し

1871 chise upsoro

チセ ウプ ソロ

家 / 内部におおわれている・ところ

家の中を

1872 ebittano

エビッタノ

全部・(副詞形成)

何から何まで残らず

1872 ashiri inau

アシリ イナウ

新しい / 木幣

新しい木幣

1872 a-etomtekar

ア・エトムテカラ

私たちは・で・光る・させる・(他動詞形成)

で私たちは飾り

1873 chise upsoro

チセ ウプ ソロ

家 / 内部におおわれている・ところ

家の中は

1873 retar imeru

レタラ イメル

白い / もの・きらめき

白い光

P.76**1874 retar urar**

レタラ ウララ

白い / 霧

白い霧

1874 uwetushnatki

ウウエトウシナツキ

互い・(挿入音)・それで・満ちあふれる

で満ちあふれ

1875 eashka

エアシカ

それこそ・へも

それこそ

1875 a-tomte ruwe

ア・トムテ ルウエ

人が・光る・させる / こと八さま

飾り立てられていること

1876 an-ramasu

アン・ラマス

私は・～をおもしろく思う

私は非常に

1876 a-uwesuib.

ア・ウウエスイバ。

私は・～が楽しい

私は気持ちがよい。

1877 A-utari utar

ア・ウタリ ウタラ

私の・同族の人々 / へたち

私の同族の人たちは

1877 chikup shiyuk

チクフ シユク

[中相]される・を飲む・[名詞化辞] /

自分・(挿入音)・を受け取る

酒宴の正装を

1878 okkayo otta

オッカヨ オッタ

男 / の所・[空間的位置]

男の中に

1878 menoko otta

メノコ オッタ

女 / の所・[空間的位置]

女の中に

1879 uwechiurepa

ウウエチウレパ

互い・(挿入音)・で・に刺さる・させる・(複数)

下から襲ねて着て

1879 tane iku-an kuni ne

タネ イク・アン クニ ネ

今 / もの・を飲む・私たちは / へする (べき) こと / へに (なる)

今私たちは酒宴を催すように

1880 etoko a-oiki okere.

エトコ ア・オイキ オケレ。

その先 / 私たちは・そこに・ものごとをする / へし終わる

私たちは支度を終えた。

1881 Pon a-kor yubi tura

ポン ア・コロ ユビ トウラ

年若い / 私は・～を持つ / 兄 / へと一緒に

年若い私の兄と一緒に

1881 chikup shiyuk

チクフ シユク

[中相]される・を飲む・[名詞化辞] /

自分・(挿入音)・を受け取る

酒宴の正装

1882 a-uwechiure

ア・ウウエチウレ

私は・互い・(挿入音)・で・に刺さる・させる

を私は下から襲ねて着て

1882 boo hene

ボオ ヘネ
 なおいっそう / [強調]
 なおいっそう

1883 tun a-ne wa

トゥン ア・ネ ワ
 二つの・人・(接尾辞) / 私たちは・
 [繋詞] / ～して
 私たちは二人で

1883 kamui shiri ne

カムイ シリ ネ
 神 / ～する入している様子 / ～に
 (なる)
 神のように

1884 okai-an.

オカイ・アン。
 ある入いる・私たちは
 私たちはいた。

1884 Pon a-kor yubi

ボン ア・コロ ユビ
 年若い / 私は・～を持つ / 兄
 年若い私の兄

1884 shino bawetok

シノ バウエトク
 本当である・(副詞形成) / 口・(つ
 なぎの音)・の先
 じつに雄弁な者は

1885 Kimuto un

キムト ウン
 キムント / [連体句形成]
 キムントの

1885 kotan kor kamui

コタン コロ カムイ
 村 / ～を持つ / 神
 村の神

1886 ne wa

ネ ワ
 [繋詞] / ～して
 と

1886 a-keusutu umurek

ア・ケウストゥ ウムレク
 私の・おじ / 夫婦である
 私のおじ夫妻

1887 tak tere

タク テレ
 ～を招待する / ～を待つ
 を招待し夫婦を待ち

1887 moshma

モシマ
 その他に
 その他に

1887 toop ekeshne

トオブ エケシネ
 ほらあすこに・(強調)・(語末子音) /
 その頭・(?)・土地入あたり・である
 入になる
 はるか遠くあちこち

1888 a-utari takarar.

ア・ウタリ タカララ。
 私の・同族の人々 / を招待する・(他動詞
 形成)・人に～させる入してもらう
 私の同族の人たちを招待した。

1888 Ponso shirantek ko

ボンノ シランテク コ
 少ない・(副詞形成) / 間・ある・ち
 よっと～する / ～すると
 少し間があって

1889 toop oyakak wa

トオブ オヤカク ワ
 ほらあすこに・(強調)・(語末子音) /
 他の所・(重複) / ～から
 はるか遠く他のところから

1890 kamui arki hum

カムイ アラキ フム
 神 / 来る / 音
 神のやって来る音が

1890 keurototke

ケウロトツケ
 (擬音の語根)・(たて続けにくり返される
 ことを表す接尾辞)・(自動詞形成)
 ゴーゴーと鳴り響き

1891 hoshki ruino

ホシキ ルイノ
 先に / 激しい・(副詞形成)
 まず先に

1891 Kimunto un

キムント ウン
 キムント / [連体句形成]
 キムントの

1892 kamui umurek

カムイ ウムレク
 神 / 夫婦
 神の夫婦

1892 ne wa

ネ ワ
 [繋詞] / ～して
 と

1893 a-kor unarbe

ア・コロ ウナラベ
 私は・～を持つ / おば
 私のおば

1893 umurek ne wa

ウムレク ネ ワ
 夫婦 / [繋詞] / ～して
 夫婦と

1894 pon a-kor sapo

ボン ア・コロ サポ
 年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小
 辞)
 年若い私の姉が

1894 shiaworaipa

シアウォライパ
 自分・家の中・そこに・を行かせる入
 来させる
 入って来て

1895 orowano

オロワノ
 それから・(副詞形成)
 それから

1895 uoshiuoshi

ウオシウオシ
 互い・その後に・(重複)
 後から続き

1896 a-utari inneo

ア・ウタリ インネノ
 私たちの・同族の人々 / 大勢であ
 る・(副詞形成)
 私たちの同族の人たち大勢

1896 menoko hene

メノコ ヘネ
 女 / ～でも
 女でも

1897 boronno

ボロンノ
 多い・(挿入音)・(副詞形成)
 たくさん

1897 shiaworaipa

シアウォライパ
 自分・家の中・そこに・を行かせる入
 来させる
 入って来て

1897 a-ye mano

ア・イエ マノ
 人が・～を言う / ～という※mano は
 manu の誤記
 いわゆる

1898 kanto orowa

カント オロワ
上の・湖八沼 / 所・～から
天から

1898 a-ranke

ア・ランケ
人が・下がる・(他動詞形成)
降ろされた

P.77**1899 pon kamui moiremat**

ポン カムイ モイレマツ
年若い / 神 / 遅い・妻
年若い神の淑女

1899 kamui ne kusu,

カムイ ネ クス、
神 / [繋詞] / [原因∧理由]
神であるから、

1900 sonno kamui ibor

ソンノ カムイ イボロ
本当に / 神 / 顔つき
ほんとうに神の顔つき

1901 annoyekar.

アンノイエカラ。
全く・をねじる・(他動詞形成)
をしている。

1901 Huihuinawano

フイフイナワノ
どこか・(重複)・の方・から・(副詞
形成)
どこからどこまで

1902 a-reka kashbap

ア・レカ カシバブ
私は・～をほめる / ～しすぎる・[名
詞化辞]
私が賞賛しすぎるもの

1902 ikueshiyuk

イクエシユク
もの・を飲む・で・自分・(挿入音)・
を受け取る
酒宴の盛装をし

1903 boro boshtoko

ボロ ボシトコ
大きい / 小さい行器
大きい小行器

1903 amba kane

アムバ カネ
～を手を持つ / ～して
を手をもって

1904 shiaworaipa

シアウォライパ
自分・家の中・そこに・を行かせる∧
来させる
入って来て

1904 oribak ruibe

オリバク ルイベ
畏れ慎む / 激しい・[名詞化辞]
ひどく畏れ慎むもの

1905 konep ne kusu,

コネブ ネ クス、
いったい何 / [繋詞] / [原因∧理由]
であったから、

1905 okkeu ka wa

オッケウ カワ
えり首・骨格 / 上 / ～から
襟首の上から

1906 chininarpare kane,

チニナラパレ カネ、
[使役中相]される・消える・行く・さ
せる / ～して
消え失せるようにうつむいていて、

1906 to noshki un

ト ノシキ ウン
湖八沼・真ん中 / [連用句形成]
沼の真ん中の

1907 kamui ene hetapne

カムイ エネ ヘタプネ
神 / このように / いったい～か・[繋詞]
神このようにまあ

1908 hoshkino

ホシキノ
先に・(副詞形成)
まず先に

1908 shirikirap ruwe

シリキラプ ルウェ
悲しいことが多い / こと八さま
悲しいことが多いこと

1909 imokir ruwe

イモキリ ルウェ
嘆き悲しむ / こと八さま
嘆き悲しむこと

1909 okai rok awa,

オカイ ロク アワ、
～である / ～した(完了) / ～したところ
であったのに、

1910 tane anakne

タネ アナクネ
今 / ある・すれば
今は

1910 sonno katuchakakke

ソンノ カトウチャカッケ
本当に / 格好・(擬音の語根)・(他動
詞形成)
ほんとうに心地よくなり

1911 ibottum konna

イボットウム コンナ
顔つき・中 / [韻律調整]
顔色が

1912 koyuknatara

コユクナタラ
(擬音語∧擬態語を導く接頭辞)・(擬
態の語根)・(状態が続いていることを
表す接尾辞)
力強く

1912 kosancha otta

コサンチャ オッタ
を持つ・前の・口 / の所・[空間的位
置]
その口元を

1913 mina kane,

ミナ カネ、
笑う / ～して
ほころばせて、

1913 rorunso ka ta

ロルンソ カタ
上座・の・座 / 上 / [空間的位置]
横座の上で

1913 pon a-kor yubi hene

ボン ア・コロ ユビ ヘネ
年若い / 私は・～を持つ / 兄 / ～で
も
年若い私の兄も

1914 a-utari utar

ア・ウタリ ウタラ
私の・同族の人々 / ～たち
私の同族の人たちも

1915 tane anakne

タネ アナクネ
今 / ある・すれば
今は

1915 utashpa bakno

ウタシパ バクノ
互い・と交換する(tasa の語幹)・(複
数) / まで∧ほど・(副詞形成)
次から次に

1916 ratchi unukar

ラッチ ウヌカラ
ゆっくり / 互い・を見る
ゆっくりと会い

1916 pirika unukar

ピリカ ウヌカラ
 よい / 互い・を見る
 仲よく一緒に会い

1917 utashpare

ウタシパレ
 互い・と交換する (tasa の語幹)・(複
 数)・させる
 それらを返し合い

1917 nei korachi

ネイ コラチ
 その / ~のように
 それとともに

1918 mat utar ka ta

マツ ウタラ カ タ
 女 / ~たち / 上 / [空間的位置]
 女たちの上で

1918 ratchi unukar

ラッチ ウヌカラ
 ゆっくり / 互い・を見る
 ゆっくりと会い

1919 pirika uwepak

ピリカ ウウエカフ
 よい / 互い・(挿入音)・にあいさつする
 仲よく一緒にあいさつ

1920 a-okere

ア・オケレ
 私たちは・~を終える
 を私たちは終え

1920 kamui menoko tura

カムイ メノコ トウラ
 神 / 女 / ~と一緒に
 神の女と一緒に

1921 eashka

エアシカ
 それこそ・~も
 それこそ

1921 uwepak-an

ウウエカフ・アン
 互い・(挿入音)・にあいさつする・私たちは
 私たちは互いにあいさつをし

1922 uruiruye-an

ウルイルイェ・アン
 互い・(なでることを表す語根)・(重
 複)・(他動詞形成)・私たちは
 私たちは撫でさすり合い

1922 a-eramushinne.

ア・エラムシンネ。
 私たちは・について・心・地面・である
 それで私たちは安心した。

1923 A-keusutu

ア・ケウストゥ
 私の・おじ
 私のおじを

1923 abe sam ta oshiso

アベ サム タ オシソ
 火 / そば / [空間的位置] / その
 尻・右座
 炉端の右座の方に

P.78**1924 a-are kane,**

ア・アレ カネ、
 私は・座る・させる / ~して
 私は座らせて、

1924 Kimunto un kamui

キムント ウン カムイ
 キムント / [連体句形成] / 神
 キムントの神

1925 pirika ashke

ピリカ アシケ
 美しい / 手
 の美しい手

1925 a-riknabuni

ア・リクナブニ
 私は・高い所・の方・を持ち上げる
 を私は高く捧げ

1926shintoko oshmak

シントコ オシマク
 行器 / の後ろ・の奥
 行器の後ろ

1927 a-earekar

ア・エアレカラ
 私は・そこに・座る・させる・[韻律調整]
 に神を私は座らせ

1927 shino nubetne

シノ ヌベツネ
 本当である・(副詞形成) / 喜ぶ
 神はじつに喜び

1928 tanne chikupso

タンネ チクプソ
 長い / [中相]される・を飲む・もの・座
 長い酒宴の座が

1928 chishituri.

チシトゥリレ。
 [使役中相]される・伸びる・させる
 伸びている。

1929 Ani pontari

アニ ポンタリ
 ~を持つ / 秀樽 (ほだり)
 秀樽 (ほだり) を

1929 a-eshiyarbok-

ア・エシヤラボク
 私は・と一緒に・自分・脇
 私は自分の脇の下に

1930 amba kane,

アマバ カネ、
 ~を手を持つ / ~して
 手をもって、

1930 chikupso utur

チクプソ ウトゥル
 [中相]される・を飲む・もの・座 / 間
 酒宴の座の間

1931 an-erututke

アン・エルトゥツケ
 私は・で・(擬態の語根)・(重複)・(他
 動詞形成)
 を私はあちらに行きこちらに行き

1931 iyomare-an

イヨマレ・アン
 もの・(挿入音)・に位置する・させる・私は
 私はお酌をし

1931 orowano

オロワノ
 それから・(副詞形成)
 それから

1932 kanto or bakno

カント オロ バクノ
 上の・湖入沼 / 所 / まで八ほど・(副
 詞形成)
 天上までも

1932 kamui or bakno

カムイ オロ バクノ
 神 / 所 / まで八ほど・(副詞形成)
 神々までも

1933 inauebumpa

イナウエブンパ
 木幣・その頭・を持ち上げる
 木幣を捧げ

1933 sakeebumpa

サケエブンパ
 酒・で・を持ち上げる
 酒を捧げ

1934 a-okere

ア・オケレ
 私たちは・~を終える
 それらを私たちは終え

1934 usa shinurappa

ウサ シヌラッパ
 いろいろ / 祖先・をまつる
 いろいろ先祖供養

1935 a-okere

ア・オケレ

私たちは・～を終える

を私たちは終え

1935 shino a-eramushinne.

シノ ア・エラムシンネ。

本当である・(副詞形成) / 私たち

は・について・心・地面・である

じつにそれで私たちは安心した。

1936 Shisak tonoto

シサク トノト

自分・を欠く / 殿・乳

珍しい酒

1936 kamui tonoto

カムイ トノト

神 / 殿・乳

神の酒

1937 a-ukoante

ア・ウコアンテ

私たちは・一緒に・いる・させる

を私たちは一緒に立て

1937 pon a-kor yubi

ボン ア・コロ ユビ

年若い / 私は・～を持つ / 兄

年若い私の兄

1938 kamui ewaki

カムイ エワキ

立派だ / に・(?)・する所

立派な御座所

1938 esabane kamui

エサバネ カムイ

で・頭・である / 神

を統率する神は

1939 tutanup ne kusu,

トゥタヌプ ネ クス、

～の次に・[名詞化辞] / [繫詞] / [原因∧理由]

そこをすぐ継ぐものであったから、

1940 tane chikup noshki

タネ チクフ ノシキ

今はもう / [中相]される・を飲む・[名

詞化辞] / 真ん中

今はもう酒宴もたけなわ

1940 oman kane,

オマン カネ、

～という状況に達する / ～して

になって、

1941 pon a-kor sapo

ボン ア・コロ サポ

年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小辞)

年若い私の姉

1941 utar hene

ウタラ ヘネ

～たち / ～でも

たちも

1942 shino inne kunip

シノ インネ クニプ

本当である・(副詞形成) / 集合・で

ある / ～するべき・もの

じつに大勢のもの

1942 ne kusu,

ネ クス、

[繫詞] / [原因∧理由]

であったから、

1943 uoshiuoshi

ウオシウオシ

互い・その後・(重複)

後から続き

1943 kobakeshkor wa

コバケシコロ ワ

に対して・ロ・残り・を持つ / ～して

兄に飲みさしを手渡して

1944 tu pirika kunip

トゥ ピリカ クニプ

二つの / よい / ～するべき・もの

二つのよいこと

1944 re pirika kunip

レ ピリカ クニプ

三つの / よい / ～するべき・もの

三つのよいこと

1945 ebakashnu kane,

エバカシヌ カネ、

について・を教える / ～して

を兄に教えて、

1946 ukor kusune utar

ウコロ クスネ ウタラ

互い・を持つ / [目的・原因∧理由]・

[繫詞] / 親類

結婚するであろう親類は

1946 obittano

オビットノ

皆・(副詞形成)

みなことごとく

1947 a-ukore

ア・ウコレ

人が・互い・に～を与える

結婚させられ

1947 chikupso ka wa

チクフソ カ ワ

[中相]される・を飲む・もの・座 / 上

/ ～に

酒宴の座の上に

1948 sonno keutum oshi wano

ソンノ ケウトウム オシ ワノ

本当に / 心 / 後ろ / から・(副詞語尾)

ほんとうに心の底から

1948 pon a-kor yubi

ボン ア・コロ ユビ

年若い / 私は・～を持つ / 兄

年若い私の兄は

P.79**1949 ramuoshma**

ラムオシマ

その心・そこにサッと入る

承知をし

1949 shino rametok

シノ ラメトク

真の / 心・の先端

まことの勇者

1950 monnumkere wa,

モンヌムケレ ワ、

手・粒・(自動詞形成)・させる / ～して

を選んで、

1951 Kimuntoummat

キムントウムマツ

キムントウムマツ

キムントウムマツ

1951 pon a-kor sapo

ボン ア・コロ サポ

年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小辞)

年若い私の姉

1952 kobakashnu.

コバカシヌ。

に対して・を教える

にそれを教えた。

1952 Pon a-kor sapo

ボン ア・コロ サポ

年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小辞)

年若い私の姉は

1953 inep kusu

イネアプ クス

どうである・～した・もの / [熟語]

何とまあ

1953 enubetne wa

エヌベツネ ワ

によって∧と一緒に・喜ぶ / ～して

それを喜んで

1954 ikichi nankora,

イキチ ナンコラ、
 する・[継続] / 顔・を持つ・～か
 そうなのだろうか、

1954 eyaisembir-

エヤイセムビリ
 で・自分・陰
 陰で

1955 omina kane,

オミナ カネ、
 その尻・笑う / ～して
 微笑して、

1955 shisak rametok

シサク ラメトク
 自分・を欠く / 心・の先端
 類い稀な勇者は

1956 ikkeu noshki

イッケウ ノシキ
 節・骨格 / 真ん中
 腰骨の半ば

1956 komkosampa

コムコサンパ
 (曲がっている状態を表す語根)・急
 に～する
 を屈め

1957 mateonkami.

マテオンカミ。
 妻・のことで・拝礼する
 妻をもらう拝礼をした。

1957 Kimunto kotan

キムント コタン
 キムント / 村
 キムントの村

1958 ehorarpa wa,

エホララパ ワ、
 そこに・尻・を押さえる / ～して
 に住んでいて、

1958 a-keusutu

ア・ケウストゥ
 私の・おじ
 私のおじ

1959 umurek kamui orun

ウムレク カムイ オルン
 夫婦 / 神 / 所・[連用句形成]
 夫婦の神のところに

1959 baye bakno

バイエ バクノ
 行く / まで八ほど・(副詞形成)
 行くそれぐらい

1960 shino mike

シノ ミケ
 本当である・(副詞形成) / 光る
 じつに輝き渡る

1960 kuni ne

クニ ネ
 ～する(べき)こと / ～に(なる)
 ように

1960 pon a-kor yubi

ボン ア・コロ ユビ
 年若い / 私は・～を持つ / 兄
 年若い私の兄は

1961 tu pirika kunip

トゥ ピリカ クニプ
 二つの / よい / ～するべき・もの
 二つのよいこと

1962 re pirika kunip

レ ピリカ クニプ
 三つの / よい / ～するべき・もの
 三つのよいこと

1962 eibakashnu chiki,

エイバカシヌ チキ、
 について・もの・を教える / ～した
 から
 を教えたから、

1963 kamui rametok

カムイ ラメトク
 神 / 心・の先端
 神の勇者は

1963 tuwan onkami

トゥワン オンカミ
 二つの・十の / 拝礼する
 二十の拝礼

1963 rewan onkami

レワン オンカミ
 三つの・十の / 拝礼する
 三十の拝礼

1965 arukakushte

アルカクシテ
 全く・互い・の上・を通る・させる
 を重ね

1965 a-keusutu

ア・ケウストゥ
 私の・おじ
 私のおじ

1966 a-koro unarbe

ア・コロ ウナラベ
 私は・～を持つ / おば
 私のおばは

1966 chish turanno

チシ トウランノ
 泣く / を同伴する・(挿入音)・(副詞形成)
 泣きながら

1967 shino nubetne wa,

シノ スベツネ ワ、
 本当である・(副詞形成) / 喜ぶ / ～して
 じつに喜んで、

1967 "Sonno pirika

「ソノ ピリカ ルウェ ネ
 本当に / よい
 「ほんとうによい

1968 hawe ne." ari

ハウエ ネ。」 アリ
 (～と言った)こと / [繫詞] / ～と
 ことである。」と

1968 i-ramye haukan

イ・ラムイエ ハウカン
 私を・～を感心して褒める / 声・未
 私を感心して褒める声が

1969 kari kane,

カリ カネ、
 回る / ～して
 巡って来て、

1969 aokai ne yakka

アオカイ ネ ヤッカ
 私 / [繫詞] / ～すると・も
 私にしても

1970 sonno ramushinne-an

ソノノ ラムシンネ・アン
 本当に / その心・地面・である・私は
 ほんとうに私は安心し

1970 nubetne-an.

スベツネ・アン。
 喜ぶ・私は
 私は喜んだ。

1971 Iyotta iyoshino

イヨッタ イヨシノ
 もの・(挿入音)・の所・で / 人・(挿
 入音)・の後から・(副詞形成)
 いちばん後に

1972 pon a-kor yubi

ボン ア・コロ ユビ
 年若い / 私は・～を持つ / 兄
 年若い私の兄は

1972 i-kobakeshoro

イ・コバケシコロ
 私に・に対して・飲み残しの酒・を持つ
 私に飲みさしを手渡し

1973 oribak tura

オリバク トウラ
 恐れ慎む / ひと一緒に
 恐れ慎みながら

1973 shinu-an kane

シヌ・アン カネ
 ずる・私は / ひとして
 私はずって

P.80**1974 reye-an kane**

レイエ・アン カネ
 這う・私は / ひとして
 私は這って

1974 oman-an

オマン・アン
 行く・私は
 私は行き

1974 tam boro tuki

タム ボロ トウキ
 この / 大きい / 酒杯
 この大きい酒杯に

1975 kambasuikan

カムバスイカン
 上の・箸・の上
 渡した奉酒箸の上まで

1976 moinatara

モイナタラ
 (擬態の語根)・(状態が続いていること
 を表す接尾辞)
 なみなみと

1976 sake o kane,

サケ オ カネ、
 酒 / ひとを…につぐ / ひとして
 酒を注いで、

1976 i-koturara

イ・コトゥララ
 私に・に対して・を伸ばす・(重複)
 その酒杯を私に捧げ

1977 tuki kurka

トウキ クルカ
 酒杯 / 影ハ姿・の上
 酒杯の上

1977 i-koruiruye kane,

イ・コルイルイェ カネ、
 私を・に対して・(なでることを表す
 語根)・(重複)・(他動詞形成) / ひと
 して
 を撫でて、

1978 "Tan tewano

「タン テワノ
 この / ここから・(副詞語尾)
 「たった今から

1978 chibaroshuke

チバロシユケ
 [中相動名詞]される・口・そこに・炊
 事する
 あなたは私に

1979 e-i-yekarkar

エ・イ・イェカラカラ
 あなたが・私を・(挿入音)・人にひとを
 する
 炊事をし

1979 chiomumbekare wa i-kore.

チオムムベカレ ワ イ・コレ。
 [使役中相]される・世話をする / ひと
 して / 私に・ひとに…を与える
 世話をしてください。

1980 Tane tambe

タネ タムベ
 今 / この・もの
 今これが

1981 umurek buri

ウムレク ブリ
 夫婦 / 行い
 夫婦の行い

1981 ne ruwe taban." ari

ネ ルウエ タバン。」 アリ
 [繫詞] / ことハさま / これこのと
 おり・ある / ひとと
 であるのです。」と

1982 hawash chiki,

ハワシ チキ、
 声・する / ひとするから
 そう聞こえたから、

1982 ineap kusu

イネアプ クス
 どうである・ひとした・もの / [熟語]
 何とまあ

1983 a-enubetne wa

ア・エヌベツネ ワ
 私は・について・喜ぶ / ひとして
 それを私は喜んで

1983 humash nankora.

フマシ ナンコラ。
 音・立つ (=する) / 顔・を持つ・
 ひとか
 そうなのだろうか。

1984 An-eyaisembir-

アン・エヤイセムビリ
 私は・ひとで・自分・陰
 私は陰ながら

1984 omina kane,

オミナ カネ、
 その尻・笑う / ひとして
 微笑して、

1985 a-kor unarbe

ア・コロ ウナラベ
 私は・ひとを持つ / おぼ
 私のおぼは

1985 i-enkotpa kane,

イ・エンコツパ カネ、
 私に・顔・ひとを結びつける / ひとして
 私に笑顔に向けて、

1986 inne utar

インネ ウタラ
 大人数である / 人々
 大勢の人々

1986 eashka

エアシカ
 それこそ・ひとも
 それこそ

1987 i-ramye hawe

イ・ラムイェ ハウエ
 私を・ひとを感心して褒める / 声
 私のことを感心して褒め讃える声

1987 nubetne hawe

ヌベツネ ハウエ
 喜ぶ / 声
 喜ぶ声が

1988 chiyasare.

チウタサレ。
 [使役中相]される・交叉する・させる
 そこで交叉している。

1988 Tane anakne

タネ アナクネ
 今 / ある・すれば
 今は

1988 pon a-kor yubi

ボン ア・コロ ユビ
 年若い / 私は・ひとを持つ / 兄
 年若い私の兄

1989 ki kusune okaibe

キ クスネ オカイベ
 ひとをする / [目的・原因ハ理由]・[繫
 詞] / あるハいる・[名詞化辞]
 の世話をするひとになっていること
 を

1990 pirikano

ピリカノ
よい・(副詞形成)
きちんと

1990 ki okere

キ オケレ
～をする / ～し終わる
し終わり

1990 sonno ramushinne-an

ソンノ ラムシンネ・アン
本当に / その心・地面・である・私は
ほんとうに私は安心し

1991 orowano

オロワノ
それから・(副詞形成)
それから

1991 inne utar

インネ ウタラ
大人数である / 人々
大勢の人々は

1992 nubetne kashpa hine,

ヌベツネ カシパ ヒネ、
喜ぶ / ～しすぎる / ～して
喜びすぎて、

1993 renkaine

レンカイネ
意図・(挿入音)・として
思うままに

1993 chikup hawe

チクプ ハウエ
[中相]される・を飲む・[名詞化辞] /
声
酒宴の音が

1993 tununitara.

トゥヌニタラ。
(擬音の語根)・(状態が続いているこ
とを表す接尾辞)
美しく響いた。

1994 Mat utar ka ta

マツ ウタラ カ タ
女 / ～たち / 上 / [空間的位置]
女たちの上に

1995 inne kunip

インネ クニプ
大人数である / ～するべき・もの
大勢のもの

1995 hechiri hawe

ヘチリ ハウエ
踊る / 声
の舞う声

1996 rimse hawe

リムセ ハウエ
(擬音・擬態の語根)・と言う / 声
踊る声

1996 bebunitara

ベブニタラ
(擬音の語根)・(状態が続いているこ
とを表す接尾辞)
にぎわしく

1997 an-ramasu

アン・ラマス
私は・～をおもしろく思う
私は非常に

1997 a-uwesuye kane,

ア・ウウエスイエ カネ、
私は・～が楽しい / ～して
私は気持ちがよくて、

1998 kamui umurek

カムイ ウムレク
神 / 夫婦
神の夫婦

1998 tanepo konna

タネポ コンナ
今・(指小辞) / [韻律調整]
今初めて

P.81**1999 ainu tonoto**

アイヌ トノト
人間 / 殿・乳
人間の酒

1999 ainu shinot

アイヌ シノツ
人間 / 遊ぶ
人間の遊び

2000 eiyeutanneba kunip

エイエウタンネバ クニプ
について・ものごと・(挿入音)・につ
いて・同族・である人になる・(複数)
 / ～するべき・もの
に味方をするもの

2000 konep ne kusu,

コネプ ネ クス、
いったい何 / [繋詞] / [原因入理
由]
であったから、

2001 katune kane

カトゥネ カネ
様子・[繋詞] / ～して
表面だけでも

2001 enubetne

エヌベツネ
について・喜ぶ
それを喜び

2002 erayap kunip

エラヤプ クニプ
について・感心する / ～するべき・
もの
それで感心するもの

2002 newa ne yakne

ネワ ネ ヤクネ
[繋詞]・[熟語・慣用句] / [繋詞]
 / ～すると・である
であったならば

2003 kotom korokaiki,

コトム コロカイキ、
～かのように / けれども・ものご
と・をする
いいけれども、

2004 ramma umurek ne wa

ランマ ウムレク ネ ワ
いつも / 夫婦 / [繋詞] / ～して
いつも夫婦であって

2005 chikupso kurka

チクプソ クルカ
[中相]される・を飲む・もの・座 / 影
八姿・の上
酒宴の座の上

2005 shikomarpa kane,

シコマラパ カネ、
目・に位置する・させる・(複数) / ～
して
に目を向けて、

2006 usa inau hene

ウサ イナウ ヘネ
いろいろ / 木幣 / ～でも
いろいろ木幣でも

2006 tonoto hene

トノト ヘネ
殿・乳 / ～でも
酒でも

2007 pirika aep

ピリカ アエプ
よい / 人が・を食べる・もの
おいしい食べ物

2007 keran aep

ケラン アエプ
味・ある / 人・を食べる・もの
美味い食べ物

2008 boronno

ボロンノ
 多い・(挿入音)・(副詞形成)
 たくさん

2008 kamui umurek

カムイ ウムレク
 神 / 夫婦
 神の夫婦

2008 a-kobumpa chiki,

ア・コブンバ チキ、
 私は・に対して・を持ち上げる / ～
 したところ
 に食べ物 私は捧げたと、

2009 katune kane

カトゥネ カネ
 様子・[繋詞] / ～して
 表面だけでも

2010 umurek ne wa

ウムレク ネ ワ
 夫婦 / [繋詞] / ～して
 夫婦であって

2010 eyaikobuntek kunip

エヤイコブンテク クニプ
 について・自分に・喜ぶ / ～するべ
 き・もの
 それで喜ぶもの

2011 newa ne yakne

ネワ ネ ヤクネ
 [繋詞]・[熟語・慣用句] / [繋詞]
 / ～すると・である
 であったならば

2011 kotom korokaiki,

コトム コロカイキ、
 ～かのように / けれども・ものご
 と・をする
 いいけれども、

2012 tun ne wa

トゥン ネ ワ
 二つの・人・(接尾辞) / [繋詞] / ～
 して
 二人して

2012 ikkeu noshki

イッケウ ノシキ
 節・骨格 / 真ん中
 腰骨の半ば

2013 komkosamba

コムコサムバ
 (曲がっている状態を表す語根)・急
 に～する
 を屈め

2013 tuwan onkami

トゥワン オンカミ
 二つの・十の / 拝礼する
 二十の拝礼

2014 rewan onkami

レワン オンカミ
 三つの・十の / 拝礼する
 三十の拝礼

2015 ukakushte koro,

ウカクシテ コロ、
 互い・の上・を通す・させる / ～し
 ながら
 を重ねながら、

2015 boronno

ボロンノ
 多い・(挿入音)・(副詞形成)
 たくさん

2016 yayiraike

ヤイライケ
 感謝する
 感謝し

2016 nubetne koro,

ヌベツネ コロ、
 喜ぶ / ～しながら
 喜びながら、

2016 too a-korep

トオ ア・コレプ
 ほらあそこに・(強調) / 私は・～に
 …を与える・[名詞化辞]
 はるか遠く私が差し上げたもの

2017 kor wa

コロ ワ
 ～を持つ / ～して
 を持って

2017 baye wa isam.

バイエ ワ イサム。
 行く / ～して / いない
 行ってしまった。

2018 A-utari obittano

ア・ウタリ オビットノ
 私の・同族の人々 / 皆・(副詞形成)
 私の親族みなことごとく

2018 boronno

ボロンノ
 多い・(挿入音)・(副詞形成)
 たくさん

2019 nubetne

ヌベツネ
 喜ぶ
 喜び

2019 yayiraike koro

ヤイライケ コロ
 感謝する / ～しながら
 感謝しながら

2019 iwak okaketa

イワク オカケタ
 帰る / 後・[時間的位置]
 帰った後に

2020 sonno shine chise ne

ソンノ シネ チセ ネ
 本当に / 一つの / 家 / ～に (なる)
 ほんとうにただ一件の家のように

2021 shine utan ne

シネ ウタン ネ
 一つの / 親類 / ～に (なる)
 一族のように

2021 okai-an.

オカイ・アン。
 暮らしている・私たちは
 私たちは暮らしていた。

2021 Keshto a-kor unarbe

ケシト ア・コロ ウナラベ
 毎～・日 / 私は・～を持つ / おば
 毎日私のおば

2022 umurek

ウムレク
 夫婦
 夫婦を

2023 a-eashki bakno

ア・エアシキ バクノ
 私たちは・について・できる※aeashki
 は aeashkai の誤記 / まで八ほど・
 (副詞形成)
 私たちはできるだけ

2023 a-nunuke

ア・ヌヌケ
 私たちは・～を大事にする
 夫婦を私たちは大事にし

2023 a-ainukoro

ア・アイヌコロ
 私たちは・人間八男・を持つ
 夫婦を私たちは尊敬し

P.82**2024 Kimuntoummat**

キムントウムマツ
 キムントウムマツ
 キムントウムマツ

2025 pon a-kor sapo

ポン ア・コロ サポ
 年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小辞)
 年若い私の姉

2025 umurek

ウムレク
 夫婦
 夫婦

2026 tap eashiri

タップ エアシリ
 これ / それこそ
 これこそ

2026 sonno ukotom nanka

ソンノ ウコトム ナンカ
 本当に / 互い・にふさわしい / 顔・の上
 ほんとうにふさわしい容貌

2027 ukotom shirika

ウコトム シリカ
 互い・にふさわしい / 見えるもの・の上
 ふさわしい美貌

2027 shino taban tewano

シノ タバン テワン
 本当である・(副詞形成) / 今ここに・ある / ここから・(副詞語尾)
 じつに今から

2028 uwekatarotke

ウウェカタロツケ
 互い・(挿入音)・と仲が良い
 仲が良く

2029 obittano

オビッタノ
 皆・(副詞形成)
 みなことごとく

2029 tu pirika kunip

トゥ ピリカ クニプ
 二つの / よい / ～するべき・もの
 二つのよいこと

2030 re pirika kunip

レ ピリカ クニプ
 三つの / よい / ～するべき・もの
 三つのよいこと

2030 yepa kane

イエバ カネ
 ～を言う・(複数) / ～して
 を言って

2031 toop baye wa isam.

トオプ バイエ ワ イサム。
 ほらあすこに・(強調)・(語末子音) /
 行く / ～して / いない
 はるか遠くに行ってしまった。

2032 Okaketa

オカケタ
 後・[時間的位置]
 そのあとで

2032 tanepo konna sui

タネポ コンナ スイ
 今・(指小辞) / [韻律調整] / また
 今初めてまた

2032 annisapno

アンニサプノ
 全く・急である・(副詞形成)
 まったく不意に

2033 ouse tun ane wa

オウセ トウン アネ ワ
 ただ / 二つの・人・(接尾辞) / 私たち
 ちは・[繫詞] / ～して
 ただ私たち二人で

2034 okai-an.

オカイ・アン。
 [接続助詞の後に置かれる]・私たちは
 私たちは暮らしていた。

2034 Ashirikinne sui

アシリキンネ スイ
 新しい・一まとまり・として / また
 さらにまた

2035 pon a-kor yubi

ポン ア・コロ ユビ
 年若い / 私は・～を持つ / 兄
 年若い私の兄は

2035 "Tureshpo." ari

「トゥレシポ。」アリ
 妹・[指小辞] / ～と
 「妹よ。」と

2036 "Sambe." ari

「サムベ。」アリ
 出る・もの / ～と
 「心臓よ。」と

2036 itak kane,

イタク カネ、
 言う / ～して
 言って、

2036 i-eshikari

イ・エシカリ
 私を・～を掴む
 私をしっかりとおさえ

2037 i-shikoruye

イ・シコロイェ
 私を・自分・に対して・を撫でさする
 私を撫でさすり

2037 a-sannan ka ta

ア・サンナン カ タ
 私の・出る・顔 / 上 / [空間的位置]
 私の顔のおもてに

2038 i-echopnure

イ・エチョプヌレ
 私に・その頭・(擬音の語根)・を持つ・させる
 私に接吻し

2038 a-echopnure kane

ア・エチョプヌレ カネ
 私は・そこに・(擬音の語根)・を持つ・させる / ～して
 兄に私は接吻して

2039 uwenubetne-an.

ウウェヌベツネ・アン。
 互い・(挿入音)・と一緒に・喜ぶ・私
 たちは
 私たちは一緒に喜び合った。

2039 Tanepo konna

タネポ コンナ
 今・(指小辞) / [韻律調整]
 今初めて

2040 pon a-kor yubi

ポン ア・コロ ユビ
 年若い / 私は・～を持つ / 兄
 年若い私の兄

2040 chibaroshuke

チバロシユケ
 [中相動名詞]される・口・そこに・炊
 事する
 に私は

2041 a-ekarkar kusu

ア・エカラカラ クス
 私は・人に～する / [原因∧理由]
 炊事をするために

2042 utut ta oman-an

ウトツタ オマン・アン
 下座 / [空間的位置] / 行く・私は
 私は下座に行き

2042 otu betchirbe

オトゥ ベッチリベ
 [韻律]・二つの / 水・滴る・[名詞
 化辞]
 二つの水の滴

P.83

2043 ore betchirbe

オレ ベツチリベ

[韻律]・三つの / 水・滴る・[名詞化辞]

三つの水の滴

2043 a-yaikarbare

ア・ヤイカラバレ

私は・自分・をつくる・(複数)・させる

を私は注ぎ

2044 pirika pon shu

ピリカ ポン シュ

よい / 小さい / 鍋

よい小鍋

2044 komshutna wano

コムシュツナ ワノ

鍋の耳・～の根元の方・(方向) / か

ら・(副詞語尾)

の耳の根元から

2045 a-obekarbare

ア・オベカラバレ

私は・そこに・水・を注ぐ

そこに私は水をぎあつと注ぎ

2046 oro wakka

オロ ワッカ

所 / 水

その中に水

2046 a-o wa,

ア・オ ワ、

私は・～に…を入れる / ～して

を私は入れて、

2046 hoka tuikashi

ホカ トウイカシ

尻・の上 / 上

炉火の上

2047 a-eterkere

ア・エテレケレ

私は・そこに・跳ねる・させる

にその鍋を私は跳ばし

2047 umso birkep

ウムソ ビリケプ

～をしまっておく / 精白した・もの

貯えた精米を

2048 shuwonna wa

シュウオンナ ワ

鍋・(挿入音)・内部 / ～に

鍋の中に

2048 an-echobopo.

アン・エチヨボポ。

私は・～を中に入れる

私は中に入れた。

2049 Pon shu chorbok

ボン シュ チョロボク

小さい / 鍋 / 下

小さい鍋の下

2049 a-eusheush

ア・エウセウシ

私は・その頭・につく・(重複)

に私は向かって行き

2050 abeare-an

アベアレ・アン

火・たくさんある・させる・私は

私は火を燃やし

2050 pirika pom meshi

ピリカ ポム メシ

よい / 小さい / ご飯

おいしいご飯を少々

2051 a-yaikokarkar

ア・ヤイコカラカラ

私は・自分・に・を整える

私は炊きあげ

2051 a-tomte kane

ア・トムテ カネ

私は・光る・させる / ～して

それを私は輝かせ

2052 a-yapte.

ア・ヤプテ。

私は・陸に上がる / 岸に着く・させる

それを私は火から下ろした。

2052 Ponso shirantek ko

ボンノ シラントク コ

少ない・(副詞形成) / 間・ある・ち

よっと～する / ～すると

少し間があつて

2053 kabarbe ochike

カバラベ オチケ

薄い・[名詞化辞] / 折敷

薄造りの折敷

2053 kabarbe itanki

カバラベ イタンキ

薄い・[名詞化辞] / お椀

薄造りの椀

2054 a-sasapte

ア・ササプテ

私は・出る・(他動詞形成)

を私は中から取り出し

2054 a-uworeroshki wa,

ア・ウウオレロシキ ワ、

私は・互い・(挿入音)・その尻・(挿入音)・そこに・を立てる / ～して

それらを私は次々と重ね合わせて、

2055 taban itanki

タバノ イタンキ

今ここに・ある / お椀

この椀の

2055 herashi iyoi

ヘラシ イヨイ

頭・下の方・を立てる / もの・(挿入音)・に～を入れる・(挿入音)・[名詞化辞]

下の方に入った方

2056 pon kane

ボン カネ

小さい / ～して

小さくて

2056 herikashi iyoi

ヘリカシ イヨイ

頭・上の方・を立てる / もの・(挿入音)・に～を入れる・(挿入音)・[名詞化辞]

上の方に入った方

2057 boro kane,

ボロ カネ、

大きい / ～して

大きくて、

2057 boro sonabi

ボロ ソナビ

大きい / 高盛のご飯

大きい高盛のご飯を

2057 uturentekkororo-

ウトゥレンテッコロ

両方の・手・を持つ

両手でもって

2058 a-amba kane,

ア・アマバ カネ、

私は・～を持つ / ～して

私は手に持って、

2059 oribak tura

オリバク トゥラ

恐れ慎む / ～と一緒に

恐れ慎みながら

2059 shikankitai

シカンキタイ

自分・上・頂上

自らの頭の上

2060 a-eimekani.

ア・エイメカニ。

私は・で・食べ物を運ぶ・を持って運ぶ

に私は運んだ。

2060 Pon a-kor yubi

ポン ア・コロ ユビ

年若い / 私は・～を持つ / 兄

年若い私の兄は

2061 ikkeu noshki

イッケウ ノシキ

節・骨格 / 真ん中

腰骨の半ば

2061 komkosampa

コムコサンパ

(曲がっている状態を表す語根)・急

に～する

を屈め

2062 boro sonabi

ボロ ソナビ

大きい / 高盛のご飯

大きい高盛のご飯

2062 uina wa,

ウイナ ワ、

～を取る / ～して

を受け取って、

2062 rikunruke

リクンルケ

高い所・に位置する・(他動詞形成)

それを高く捧げ

2063 raunruke

ラウンルケ

低い所・に位置する・(他動詞形成)

それを低く捧げ

2063 koonkami

コオンカミ

に・拝礼する

それに拝礼し

2064 tap orowa

タップ オロワ

そのとき / 所・～から

それから

2064 shikotcha ne

シコツチャ ネ

自分・の前 / ～に

自分の前

2064 eashikar

エアシカラ

に・を立てる・(韻律調整)

にそれを立て

2065 moire ibe

モイレ イベ

遅い / 食事する

ゆっくりと食事

2065 koyaikurka-

コヤイクルカ

に対して・自分・の上

を自分自身で

2066 oma kane,

オマ カネ、

～に位置する / ～して

とって、

2066 imek arke

イメリ アラケ

食べ物を分け与える / 一つの・の所

ご馳走の半分

2066 i-koturiri

イ・コトゥリリ

私に・に対して・を伸ばす・(重複)

を私に捧げ

2067 oribak tura

オリバク トウラ

恐れ慎む / ～と一緒に

恐れ慎みながら

2067 a-uina wa

ア・ウイナ ワ

私は・～を取る / ～して

それを私は受け取って

2068 a-rikunruke

ア・リクンルケ

私は・高い所・に位置する・(他動詞形成)

それを私は高く捧げ

2068 a-raunruke

ア・ラウンルケ

私は・低い所・に位置する・(他動詞形成)

それを私は低く捧げ

2068 a-koonkami wa

ア・コオンカミ ワ

私は・に・拝礼する / ～して

それに私は拝礼して

2069 a-e moire ibe

ア・エ モイレ イベ

私は・～を食べる / 遅い / 食事する

私はゆっくりと食事

2070 a-koyaikurka-

ア・コヤイクルカ

私は・に対して・自分・の上

を私は自分自身で

2070 oma kane,

オマ カネ、

～に位置する / ～して

とって、

2070 ineap kusu

イネアプ クス

どうである・～した・もの / [熟語]

何とまあ

2071 pon a-kor yubi

ポン ア・コロ ユビ

年若い / 私は・～を持つ / 兄

年若い私の兄は

2072 pirika mekarip

ピリカ メカリフ

よい / ～に食べ物を分け与える・[名

詞化辞]

分け与えたおいしい食べ物が

2072 keraan wa

ケラアン ワ

味・ある / ～して

おいしくて

2073 humash nankora,

フマシ ナンコラ、

音・立つ (=する) / 顔・を持つ・

～か

そうなのだろうか、

2073 sonno a-esambeshturi kane,

ソンノ ア・エサムベシトゥリ カネ、

本当に / 私は・で・心臓・を伸ばす /

～して

ほんとうにそれで私は気持ちがよく

て、

P.84**2074 tane ibe ruoka**

タネ イベルオカ

今 / 食事する / 跡・の後

今食事をした後

2075 a-obashbare.

ア・オバシバレ。

私は・そこに・走る・(複数)・させる

を私は手早く片づけた。

2075 Tanepo konna

タネポ コンナ

今・(指小辞) / [韻律調整]

今初めて

2076 shinrit sotki

シンリッ ソツキ

地・すじ / 寝床

先祖の寝床

2077 totta sotki

トッタ ソツキ

乳房・(次の子音が重ねられたもの)・

(重複) / 寝床

母の寝床

2077 mokonno sotki

モコンノ ソツキ

静けさ・を持つ・よく～する / 寝床

熟睡の寝床

2078 sotki upsot ta

ソツキ ウプ ソツ タ

寝床 / 内部におおわれている・ところ / [空間的位置]

寝床の中に

2078 pon a-kor yubi

ボン ア・コロ ユビ

年若い / 私は・～を持つ / 兄

年若い私の兄は

2079 shiupsorsamne-

シウブ ソロサムネ

自分・ふところ・の側・に / ～に

自分のふところの中

2079 i-yekarbare.

イ・イエカラバレ。

私を・(挿入音)・人に～をする・(複数)・させる

私を押し込み込んだ。

2080 Tanepo konna

タネポ コンナ

今・(指小辞) / [韻律調整]

今初めて

2080 a-ye manu

ア・イエ マヌ

人が・～を言う / ～という

いわゆる

2081 ainu buri

アイヌ ブリ

人間 / 慣習

人間の風習

2081 kamui buri

カムイ ブリ

神 / 慣習

神の風習

2082 konep ne kusu,

コネプ ネ クス、

いったい何 / [繋詞] / [原因八理由]

であったから、

2082 utashpa bakno

ウタシパ バクノ

互い・と交換する (tasa の語幹)・(複数) / まで八ほど・(副詞形成)

次から次に

2083 umurek buri

ウムレク ブリ

夫婦 / 行い

夫婦の行い

2084 a-usambeka-

ア・ウサムベカ

私たちは・互い・出る・もの・の上

を私たちの心臓の上

2084 omare kane,

オマレ カネ、

に位置する・させる / ～して

に入れて、

2085 a-ye manu

ア・イエ マヌ

人が・～を言う / ～という

いわゆる

2085 hokukor ne manup

ホクコロ ネ マヌプ

夫・を持つ / [繋詞] / ～という・[名詞化辞]

夫を持つというもの

2086 a-ki.

ア・キ。

私は・～をする

を私はした。

2086 Tane anakne

タネ アナクネ

今 / ある・すれば

今は

2086 sonno menoko a-ne

ソンノ メノコ ア・ネ

本当に / 女 / 私は・[繋詞]

ほんとうに女で私はあり

2087 boo hene

ボオ ヘネ

なおいっそう / [強調]

なおいっそう

2087 pon a-kor yubi

ボン ア・コロ ユビ

年若い / 私は・～を持つ / 兄

年若い私の兄

2088 a-toikoomap

ア・トイコオマプ

私は・ひどく・をかわいがる

を私はひどくかわいがり

2088 i-toikoomap

イ・トイコオマプ

私を・ひどく・をかわいがる

兄は私をひどくかわいがり

2089 pirika sotki

ピリカ ソツキ

美しい / 寝床

美しい寝床

2089 sotki kurka

ソツキ クルカ

寝床 / 影八姿・の上

寝床の上

2090 oainusakno

オアインサクノ

そこに・人間・がない・(副詞形成)

他に人のいないところで

2090 samashiksakno

サマシクサクノ

そば・目・がない・(副詞形成)

そばで見る目のないところで

2091 keshto a-emokonno aine,

ケシト ア・エモコンノ アイネ、

毎～・日 / 私は・で・眠る・よく～

する / ～した (完了)・～して

毎日そこで私はよく眠って、

2092 tane anakne

タネ アナクネ

今 / ある・すれば

今は

2092 pon a-kor yubi

ボン ア・コロ ユビ

年若い / 私は・～を持つ / 兄

年若い私の兄

2093 turanno

トゥランノ

を同伴する・(挿入音)・(副詞形成)

と一緒に

2093 sonno ramuoshitchiu-an

ソンノ ラムオシッチウ・アン

本当に / 心・その尻・地・に刺さる・

私は

ほんとうに私は心を落ち着かせ

2094 a-eyaimakna-

ア・エヤイマクナ

私は・で・自分・奥・の方へ

兄の後ろに私は

2095 horarire

ホラリレ

尻・を押しさえる・させる

座り

- 2095 kamui ewaki**
カムイ エワキ
立派だ / に・(?)・する所
立派な御座所
- 2096 a-ainukoro**
ア・アイヌコロ
私たちは・人間八男・を持つ
を私たちは大切に扱い
- 2096 ramma kane**
ランマ カネ
いつも / [意外]
いつもいつも
- 2097 katkoro kane**
カクコロ カネ
あり方・を持つ / ~して
何不自由なく
- 2097 keshto okai-an.**
ケスト オカイ・アン。
毎〜・日 / [接続助詞の後に置かれる]・私は
毎日私たちは暮らしていた。
- 2098 Pon a-kor yubi**
ボン ア・コロ ユビ
年若い / 私は・〜を持つ / 兄
年若い私の兄
- 2098 ekimne ko,**
エキムネ コ、
その頭・山・である / ~すると
山に入ると、
- P.85**
- 2099 tup shumaukoro**
トゥプ シュマウコロ
二つ / 死んだ獲物・を持つ
二つの獲物を獲り
- 2099 rep shumaukoro**
レプ シュマウコロ
三つ / 死んだ獲物・を持つ
三つの獲物を獲り
- 2100 ineap kusu**
イネアプ クス
どうである・〜した・もの / [熟語]
何とまあ
- 2101 ison wa**
イソン ワ
獲物・(自動詞形成) / ~して
狩猟の獲物に恵まれて
- 2101 ikichi nankora,**
イキチ ナンコラ、
する・[継続] / 顔・を持つ・〜か
いるのだろうか、
- 2102 repta koikip**
レプタ コイキフ
沖・[空間的位置] / に対して・もの・
をする・[名詞化辞]
沖で獲ったもの
- 2102 eyanarutu**
エヤナルトゥ
で・陸地・の方へ・を押してずらす
陸にいっぱい寄り
- 2103 kimta koikip**
キムタ コイキフ
山・[空間的位置] / に対して・もの・
をする・[名詞化辞]
山で獲ったもの
- 2103 esanarutu kane,**
エサナルトゥ カネ、
で・前・の方へ・を押してずらす / ~して
浜にいっぱい寄って、
- 2104 aokai ne yakka**
アオカイ ネ ヤッカ
私 / [繫詞] / ~すると・も
私にしても
- 2105 sonno yuptek**
ソンノ ユプテク
本当に / (きつくしまる八しめることを表す擬態の語根)・ちょっと~する
ほんとうにがんばる
- 2105 -ambe ne kusu,**
・アムベ ネ クス、
・私は・[名詞化辞] / [繫詞] / [原因八理由]
もので私はあったから、
- 2106 toita-an ko,**
トイタ・アン コ、
地八畑・を掘る・私は / ~すると
私は畑を耕すと、
- 2106 tu bu a-ebuni**
トゥ ブ ア・エブニ
二つの / 倉庫 / 私は・で・を持ち上げる
それで二つの倉庫を私は持ち上げ
- 2107 re bu a-ebuni**
レ ブ ア・エブニ
三つの / 倉庫 / 私は・で・を持ち上げる
それで三つの倉庫を私は持ち上げ
- 2107 nei uturu ta**
ネイ ウトゥル タ
その / 間 / [時間的位置]
その際に
- 2108 pon a-kor yubi**
ボン ア・コロ ユビ
年若い / 私は・〜を持つ / 兄
年若い私の兄
- 2108 a-obenkarkar**
ア・オベンカラカラ
私は・その尻・上へ・をつくる・(重複)
を私は上から世話をし
- 2109 a-obankarkar**
ア・オバンカラカラ
私は・その尻・下へ・をつくる・(重複)
兄を私は下まで世話をし
- 2109 boo hene**
ボオ ヘネ
なおいっそう / [強調]
なおいっそう
- 2110 i-eomapkar kane,**
イ・エオマフカラ カネ、
私を・で・をかわいがる・(他動詞形成) / ~して
それで私をかわいがって、
- 2110 toop oyakak ta**
トオプ オヤカク タ
ほらあすこに・(強調)・(語末子音) /
他の所・(重複) / [空間的位置]
はるか遠い他のところに
- 2111 okai**
オカイ
暮らしている
暮らしている
- 2111 a-utari**
ア・ウタリ
私の・同族の人々
私の親族
- 2111 uben umurek utar hene**
ウベン ウムレク ウタラ ヘネ
若い / 夫婦 / ~たち / ~でも
若い夫婦たちも
- 2112 inkinebe**
インキネベ
どの・[繫詞]・もの
だれひとり
- 2113 urabokkari**
ウラボッカリ
互い・低い所・の下・を通る
優り劣りは
- 2113 somokino**
ソモキノ
[否定辞]・〜をする・[副詞形成]
しないで

2114 pirika hawe

ピリカ ハウエ
美しい / (～と言った) こと
美しいこと

2114 ibeno hawe

イベノ ハウエ
食事する・よく～する / (～と言っ
た) こと
よく食事をしていること

2115 tu kotan kama

トゥ コタン カマ
二つの / 村 / ～を越えて
二つの村を越え

2115 re kotan kama

レ コタン カマ
三つの / 村 / ～を越えて
三つの村を越え

2116 kamui asun ne

カムイ アスン ネ
立派だ / うわさ / ～として
立派な評判として

2116 chihobunire.

チホブニレ。
[使役中相]される・尻・を持ち上げ
る・させる
あらわれて来た。

2117 Tu okkashi ta

トゥ オッカシ タ
二つの / ～のまだその上 / [空間的
位置]
二つのそれ以上

2117 re okkashi ta

レ オッカシ タ
三つの / ～のまだその上 / [空間的
位置]
三つのそれ以上

2118 a-asuru

ア・アスル
私たちの・うわさ
私たちの噂が

2118 kamui asun ne

カムイ アスン ネ
立派だ / うわさ / ～として
立派な評判として

2119 chihobunire.

チホブニレ。
[使役中相]される・尻・を持ち上げ
る・させる
あらわれて来た。

2119 A-koro unarbe

ア・コロ ウナラベ
私は・～を持つ / おば
私のおば

2120 umurek utar

ウムレク ウタラ
夫婦である / ～たち
夫妻たちを

2120 otusui resui

オトゥスイ レスイ
(韻律)・二つの・回 / 三つの・回
二度も三度も

2121 a-hotunukarpa

ア・ホトゥヌカラパ
私たちは・(?)・を見る・(複数)
私たちは訪れ

2122 shino nubetne koro

シノ ヌベツネ コロ
本当である・(副詞形成) / 喜ぶ / ～
しながら
じつに喜びながら

2122 kamui orun

カムイ オルン
神 / 所 / [連用句形成]
神々の中に

2123 baye wa isam.

バイエ ワ イサム。
行く / ～して / いない
行ってしまった。

2123 Ohekota

オヘクタ
互い・その方へ
双方に

P.86**2124 Kimuntoummat**

キムントウムマツ
キムントウムマツ
キムントウムマツ

2124 pon a-kor sapo

ボン ア・コロ サポ
年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小辞)
年若い私の姉

2125 umurek

ウムレク
夫婦
夫婦が

2125 ehorarpa wa,

エホララパ ワ、
そこに・尻・を押さえる / ～して
いて、

2126 uwepirika hawe

ウウエピリカ ハウエ
互い・(挿入音)・と一緒に・よくなる
/ (～と言った) こと
一緒に幸せに暮らしていること

2127 kamui asun ne

カムイ アスン ネ
立派だ / うわさ / ～として
立派な評判として

2127 chihobunire.

チホブニレ。
[使役中相]される・尻・を持ち上げ
る・させる
あらわれて来た。

2128 To noshke un

ト ノシケ ウン
湖 / 沼 / 真ん中 / [連用句形成]
沼の真ん中で

2128 kamui okkayopo shinen

カムイ オッカヨポ シネン
神 / 男・子 / 一つの・人
神の男の子一人

2129 matnepo shinen

マツネポ シネン
女・である・子 / 一つの・人
女の子一人

2130 ukosapte kor

ウコサプテ コロ
一緒に・出る・させる / ～しながら
を産みながら

2130 orowano

オロワノ
それから・(副詞形成)
それから

2131 naa somo

ナア ソモ
まだ / [否定辞]
まだ

2131 shukup noshki ka

シュクフ ノシキ カ
成長する / 真ん中 / ～も…しない
成長の頂点

2132 eba somoki aine,

エバ ソモキ アイネ、
そこに・行く / [否定辞]・～をする
/ ～した (完了)・～して
に達せずに、

2132 kamui machihi

カムイ マチヒ
神 / 妻
神の妻は

2133 poho utari

ポホ ウタリ
息子 / ～たち
息子たちに

2133 pirikano

ピリカノ
よい・(副詞形成)
しっかりと

2134 ekoitaknuye koro

エコイタクヌイエ コロ
で・に・言葉・に彫刻をする / ～し
ながら
言い残しながら

2134 too kamui orun

トオ カムイ オルン
ほらあそこに・(強調) / 神 / 所・[連
用句形成]
はるか遠い神々の中に

2135 oman wa

オマン ワ
行く / ～して
行って

2135 isam yakun,

イサム ヤクン、
いない / すれば・(強め入肯定)
しまったならば、

2136 a-uweraman

ア・ウウエラマン
私たちは・互い・(挿入音)・について・
心・ある
そのことを私たちはわかり合って

2137 shirambe korachi

シラムベ コラチ
あたり八様子・ある・[名詞化辞] / ～
のように
いるもののように

2137 pon a-kor sapo tura

ポン ア・コロ サポ トウラ
年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小
辞) / ～と一緒に
年若い私の姉と一緒に

2138 uhekotpa kusunei

ウヘコツパ クスネイ
互い・頭・を～につなぐ / [目的・
原因入理由]・[繋詞]・[名詞化辞]
結婚するであろうこと

2139 a-eraman chiki,

ア・エラマン チキ、
私たちは・で・心・ある / ～したか
ら
が私たちにはわかったから、

2140 shino a-eramushinne kane

シノ ア・エラムシンネ カネ
本当である・(副詞形成) / 私たち
は・について・心・地面・である / ～
して
じつにそれで私たちは安心して

2141 okai-an.

オカイ・アン。
[接続助詞の後に置かれる]・私たちは
私たちは暮らしていた。

2141 Shine ani wano

シネ アニ ワノ
一つの / ～になる・[名詞化辞] / か
ら・(副詞語尾)
あるときから

2142 shinnai katpo

シンナイ カツポ
違う・(挿入音) / かつこう・(指小
辞)
別の姿が

2142 a-i-yeunu chiki,

ア・イ・イエウヌ チキ、
人が・私を・(挿入音)・で・を～につ
ける八はめる / ～したところ
私の身体に現れたところ、

2143 boo hene

ボオ ヘネ
なおいっそう / [強調]
なおいっそう

2144 pon a-kor yubi

ボン ア・コロ ユビ
年若い / 私は・～を持つ / 兄
年若い私の兄は

2144 sambe etok

サムベ エトク
出る・もの / 先
心臓の先

2145 i-omare

イ・オマレ
私を・に位置する・させる
に私を入れて

2145 i-omap

イ・オマプ
私を・～をかわいがる
私をかわいがり

2145 i-eyam hine,

イ・エヤム ヒネ、
私を・～を大切に作る / ～して
私を大切に、

2146 mat ainu shinne

マツ アイヌ シンネ
女 / 人間 / あたり八様子・である八
になる
人間の女のように

2147 a-ki kusunep

ア・キ クスネプ
私は・～をする / [目的・原因入理
由]・[繋詞]・[名詞化辞]
私がするもの

2147 a-kar kusunep

ア・カラ クスネプ
私は・～をつくる / [目的・原因入
理由]・[繋詞]・[名詞化辞]
私がつくるもの

2148 i-kotcha

イ・コッチャ
私の・(?)・の前
私の前

2148 ehobuni kane,

エホブニ カネ、
に八で・尻・を持ち上げる / ～して
に跳び上がって、

P.87**2149 inep kusu**

イネアプ クス
どうである・～した・もの / [熟語]
何とまあ

2149 a-eyairaike wa

ア・エヤイライケ ワ
私は・について・感謝する / ～して
それに私は感謝して

2150 humash nankora,

フマシ ナンコラ、
音・立つ (=する) / 顔・を持つ・
～か
そうなのだろうか、

2150 aine aine

アイネ アイネ
～した (完了)・～して / した (完
了)・して
しばらくそうして

2151 shinean to ta

シネアン ト タ
一つの・ある / 日 / [時間的位置]
ある日

2151 shino a-tuye chinoiba

シノ ア・トゥイエ チノイバ
 本当である・(副詞形成) / 人が・切れる・(他動詞形成) / [使役中相]される・をねじる
 じつに斬られねじられ

2152 hauke nuwap

ハウケ ヌワプ
 (擬態の語根)・(自動詞形成) / お産する
 弱いうめき声

2153 tarui nuwap

タルイ ヌワプ
 激しい / お産する
 激しいうめき声

2153 a-uturare

ア・ウトウラレ
 私は・互い・を同伴する・させる
 を私は一緒に起こし

2154 heshi wa

ヘシ ワ
 頭・前・を立てる※heshi は hesashi
 の誤記 / ～に
 前の方に

2154 hemakashi wa

ヘマカシ ワ
 頭・奥・を立てる / ～に
 奥の方に

2155 karkarse-an chiki,

カラカラセ・アン チキ、
 (擬態の語根)・(重複)・と言う・私は / ～したところ
 私は転がったところ、

2156 pon a-kor yubi

ポン ア・コロ ユビ
 年若い / 私は・～を持つ / 兄
 年若い私の兄は

2156 shino homatu wa,

シノ ホマトウ ワ、
 本当である・(副詞形成) / 驚く / ～して
 じつに驚いて、

2157 i-kotchake wa

イ・コッチャケ ワ
 私の・の前・の所 / ～から
 私の前から

2158 kari kane,

カリ カネ、
 回る / ～して
 巡って来て、

2158 i-oshmake wa

イ・オシマケ ワ
 私の・後ろ / ～から
 私の後ろから

2158 kari kane,

カリ カネ、
 回る / ～して
 巡って来て、

2159 ikichi-an aine

イキチ・アン アイネ
 する・[継続]・私は / ～した(完了)・～して
 私はそうやって

2159 shine pon kamui ochina

シネ ポン カムイ オチナ
 一人の / 小さい / 神 / 赤ん坊
 一人の小さい神の赤ん坊

2160 a-yaikosanke.

ア・ヤイコサンケ。
 私は・自分・に・を出す
 を私は絞り出した。

2161 Pon a-kor yubi

ポン ア・コロ ユビ
 年若い / 私は・～を持つ / 兄
 年若い私の兄は

2161 tane eashiri

タネ エアシリ
 今 / で・新しい
 今初めて

2162 yainuturainu bakno

ヤイヌトゥライヌ バクノ
 自分・を聞く / 感じる・を見失う / ま
 で / ほど・(副詞形成)
 気が遠くなるほど

2163 shino nubetne

シノ ヌベツネ
 本当である・(副詞形成) / 喜ぶ
 じつに喜び

2164 kani kosonte

カニ コソソテ
 金属 / 小袖
 黄金の小袖

2164 kokarpa kane,

コカラバ カネ、
 と一緒に・を回る / ～して
 に赤ん坊を包んで、

2165 upsor omare

ウプソロ オマレ
 内部におおわれている・ところ / に
 位置する・させる
 ふところに赤ん坊を入れ

2165 katune kane

カトゥネ カネ
 様子・[繫詞] / ～して
 表面だけでも

2166 esambehaukeomap kunip

エサムベハウケオマップ クニプ
 で・出る・もの・静か / 穏やかである・
 に入る・[名詞化辞] / ～するべき・
 もの
 それをかわいそうに思うもの

2167 newa ne yakne

ネワ ネ ヤクネ
 [繫詞]・[熟語]・慣用句 / [繫詞]
 / ～すると・である
 であったならば

2168 kotom korokaiki,

コトム コロカイキ、
 ～かのように / けれども・ものごと
 と・をする
 いいけれども、

2168 makanneko

マカンネコ
 どのように・[繫詞]・～すると
 時としては

2169 bakkai atpo

バツカイ アツポ
 子を負ぶう / 紐・(指小辞)
 負ぶい紐

2169 yaikoyubu kane,

ヤイコユブ カネ、
 自分・に・をきつく締める / ～して
 を自分にきつく締めて、

2170 tane anakne

タネ アナクネ
 今 / ある・すれば
 今は

2171 shino tumashnu-an wa,

シノ トウマシヌ・アン ワ、
 本当である・(副詞形成) / 力・が充
 分ある・私は / ～して
 じつに私は元気になって、

2171 hobuni-an

ホブニ・アン
 尻・を持ち上げる・私は
 私は起ち上がり

- 2172 inkar-an ko,**
インカラ・アン コ、
もの・を見る・私は / ～すると
私は見てみると、
- 2172 a-kor pon ochina**
ア・コロ ポン オチナ
私は・～を持つ / 小さい / 赤ん坊
私の小さい赤ん坊
- 2173 kamui ochina**
カムイ オチナ
神 / 赤ん坊
神の赤ん坊
- P.88**
- 2174 irukai ne ko**
イルカイ ネ コ
ちよっとの間 / [繋詞] / ～すると
しばらくすると
- 2174 boro kane,**
ボロ カネ、
大きくなる / ～して
大きくなって、
- 2175 sonno**
ソンノ
本当に
ほんとうに
- 2175 pon a-kor yubi**
ボン ア・コロ ユビ
年若い / 私は・～を持つ / 兄
年若い私の兄
- 2176 arke chiyasa**
アラケ チャヤサ
一つの・の所 / [中相]される・を裂く
を半分裂き
- 2176 arke chiponte**
アラケ チポンテ
一つの・の所 / [使役中相]される・小
さい・させる
半分小さくした
- 2177 semkorachi**
セムコラチ
～のように
ように
- 2177 okai.**
オカイ。
あるハいる
いる。
- 2178 Ineap kusu**
イネアプ クス
どうである・～した・もの / [熟語]
何とまあ
- 2178 ebenuburbe**
エベヌブルベ
について・霊力がある・[名詞化辞]
霊力のあるもの
- 2179 ne rokbe kusu,**
ネ ロクベ クス、
[繋詞] / ～した (完了)・[名詞化
辞] / [原因ハ理由]
であるから、
- 2179 sonno shiretokoro**
ソンノ シレトッコロ
本当に / 様子・の先端・を持つ
ほんとうに美貌であり
- 2180 ainu shiretok**
アイヌ シレトク
人間 / 様子・の先端
人間の美貌
- 2181 somo ne**
ソモ ネ
[否定辞] / [繋詞]
ではなく
- 2181 sonno kamui shiri ne**
ソンノ カムイ シリ ネ
本当に / 立派だ / ～するハしている
様子 / [繋詞]
ほんとうに立派な様子であり
- 2182 oimerutakutatke kane,**
オイメルタクタツケ カネ、
その尻・稲光・塊・(重複)・(他動詞
形成)・(自動詞形成) / ～して
輝くほど美しく、
- 2183 sonno**
ソンノ
本当に
ほんとうに
- 2183 aokai ne yakka**
アオカイ ネ ヤッカ
私 / [繋詞] / ～すると・も
私にしても
- 2184 sambe etok**
サムベ エトク
出る・もの / 先
心臓の先
- 2184 a-omare kane,**
ア・オマレ カネ、
私は・に位置する・させる / ～して
に赤ん坊を私は入れて、
- 2185 aokai**
アオカイ
私
私は
- 2185 a-kishmai**
ア・キシマイ
私は・～を捕らえる・[名詞化辞]
赤ん坊を私が見つかったこと
- 2185 pon kane,**
ボン カネ、
小さい / ～して
小さくて、
- 2186 ouse a-tononte**
オウセ ア・トノンテ
ただ / 私は・乳・を吸う・させる
ただ赤ん坊に私は乳を吸わせる
- 2186 kusu batek**
クス バテク
[熟語] / ～ばかり
そのためにだけ
- 2187 a-uk ranke**
ア・ウク ランケ
私は・～を取る / ～する
赤ん坊を私は繰り返し受け取り
- 2187 moshma anakne**
モシマ アナクネ
その他に / ある・すれば
その他は
- 2188 pon a-kor yubi batek**
ボン ア・コロ ユビ バテク
年若い / 私は・～を持つ / 兄 / ～ば
かり
年若い私の兄ばかり
- 2189 ikohekachikoro**
イコヘカチコロ
人・と一緒に・少年・を持つ
男の子を持ち
- 2189 kunne hene**
クンネ ヘネ
影・である / ～でも
夜も
- 2190 tokap hene**
トカプ ヘネ
日・(?) / ～でも
昼も
- 2190 a-kor pombe**
ア・コロ ポムベ
私は・～を持つ / 小さい・もの
私の赤ん坊

2191 omap hawe

オマプ ハウエ
 ～をかわいがる / 声
 をかわいがる声が

2191 chise uporo

チセ ウプソロ
 家 / 内部におおわれている・ところ
 家の中

2192 bebunitara.

ベブニタラ。
 (擬音の語根)・(状態が続いているこ
 とを表す接尾辞)
 にぎわしかった。

2192 Chituye amset

チトゥイエ アムセツ
 [中相]される・を切る / (?)・寝台
 移動自在の寝台

2193 amset ka ta

アムセツ カ タ
 (?)・寝台 / 上 / [空間的位置]
 寝台の上に

2194 kuttokonno

クットコンノ
 のど・を突き出す・(挿入音)・(副詞
 形成)
 仰向け

2194 chishiturire kane,

チシトゥリレ カネ、
 [使役中相]される・伸びる・させる /
 ～して
 に身を伸ばして、

2195 a-kor pombe

ア・コロ ポムベ
 私は・～を持つ / 小さい・もの
 私の赤ん坊

2195 rinaochiwe

リナオチウェ
 上の方・の方へ・に・に刺さる・(他
 動詞形成)
 を高くあやし

2196 ranaochiwe

ラナオチウェ
 下の方・の方へ・に・に刺さる・(他
 動詞形成)
 赤ん坊を低くあやし

2196 otu henkuror

オトゥ ヘンクロロ
 (韻律)・二つの / 顔・影八姿・の所
 二つのうなずき

2197 ore henkuror

オレ ヘンクロロ
 (韻律)・三つの / 顔・影八姿・の所
 三つのうなずき

2197 anu kane

アヌ カネ
 ある・(他動詞形成) / ～して
 を示して

2198 okkeukurkan-

オッケウクルカン
 えり首・骨格・影八姿・末
 あごを上下して首が

2198 isam kane.

イサム カネ。
 ない / ～して
 なくなるほどであった。

P.89**2199 Henkotba**

ヘンコツバ
 顔・を結びつける
 赤ん坊に笑顔に向け

2199 a-kor pombe

ア・コロ ポムベ
 私は・～を持つ / 小さい・もの
 私の赤ん坊

2200 mina hawe

ミナ ハウエ
 笑う / 声
 の笑う声が

2200 chairototke chiki,

チャイロトツケ チキ、
 (擬態の語根)・(立て続けに繰り返さ
 れることを表す接尾辞)・(自動詞形
 成) / ～したから
 激しく鳴り響いたから、

2201 pon a-kor yubi

ボン ア・コロ ユビ
 年若い / 私は・～を持つ / 兄
 年若い私の兄は

2202 tu mina itak

トゥ ミナ イタク
 二つの / 笑う / 言葉
 二つの笑い言葉

2202 re mina itak

レ ミナ イタク
 三つの / 笑う / 言葉
 三つの笑い言葉

2203 i-tasare.

イ・タサレ。
 私と・と交換する・させる
 を私と交わした。

2203 Keshto an ko

ケシト アン コ
 毎～・日 / ～になる / ～すると
 毎日毎日

2204 nei ikichi batek

ネイ イキチ バテク
 その / する・[継続] / ～ばかり
 そうやってばかり

2205 a-uweneusar aine,

ア・ウウェネウサラ アイネ、
 私たちは・互い・(挿入音)・と一緒に・
 いろいろ話し合って楽しむ / ～した
 (完了)・～して
 私たちはいろいろ話し合っていて、

2205 tanepo konna

タネポ コンナ
 今・(指小辞) / [韻律調整]
 今初めて

2206 a-kor pombe

ア・コロ ポムベ
 私は・～を持つ / 小さい・もの
 私の赤ん坊

2206 semiboro anu itak

セミボロ アヌ イタク
 (?)・顔色 / ある・(他動詞形成) /
 言葉
 微かに意味の分かる言葉

2207 anu itak

アヌ イタク
 ある・(他動詞形成) / 言葉
 意味の分かる言葉

2207 enonkancharke

エノンカンチャラク
 で・つば・上へ・散らばる
 で唾を飛ばしてしゃべり

2208 boo hene

ボオ ヘネ
 なおいっそう / [強調]
 なおいっそう

2208 a-ukoomap.

ア・ウコオマプ。
 私たちは・一緒に・をかわいがる
 赤ん坊を私たちは一緒にかわいがっ
 た。

2209 Rabokita sui

ラボキタ スイ

～している間・[時間的位置] / また
そのときにまた**2209 shinnai katpo**

シンナイ カツポ

違う・(挿入音) / かつこう・(指小辞)

別の姿が

2210 a-i-yeunu kane sui

ア・イ・イエウヌ カネ スイ

人が・私を・(挿入音)・で・を～につ
けるははめる / ～して / また
私の身体に現れてまた**2211 boo hene**

ボオ ヘネ

なおいっそう / [強調]

なおいっそう

2211 pon a-kor yubi

ポン ア・コロ ユビ

年若い / 私は・～を持つ / 兄

年若い私の兄は

2212 enubetne kane,

エヌベツネ カネ、

によって八と一緒に・喜ぶ / ～して
それを喜んで、**2212 hoshkino kasuno**

ホシキノ カスノ

先に・(副詞形成) / を凌ぐ・(副詞形成)
以前にも増して**2213 eashka eashka**

エアシカ エアシカ

それこそ・～も / それこそ・～も
それこそそれこそ**2214 i-eyam**

イ・エヤム

私を・～を大切に

私を大切に

2214 i-omap koro

イ・オマプ コロ

私を・～をかわいがる / ～しながら

私をかわいがりながら

2215 okai-an aine,

オカイ・アン アイネ、

[接続助詞の後に置かれる]・私たちは /

～した(完了)・～して

私たちは暮らしていて、

2215 shine ani ta

シネ アニ タ

一つの / ある八いる・とき / [時間的位置]

あるときに

2216 tambota

タムボタ

この・(指小辞)・に
今度は**2216 pom matkachi**

ポム マツカチ

年若い / 女・少年

年若い少女

2217 a-yaikosanke

ア・ヤイコサンケ

私は・自分・に・を出す
を私は絞り出し**2217 eashka**

エアシカ

それこそ・～も

それこそ

2217 a-eyaikobuntek

ア・エヤイコブンテク

私たちは・について・自分・の
喜んでねぎらう
それを私たちはうれしく思い**2218 a-ukoomap.**

ア・ウコオマプ。

私たちは・一緒に・をかわいがる
少女を私たちは一緒にかわいがった。**2219 Keshto kane**

ケシト カネ

毎～・日 / [意外]

毎日毎日

2219 ramma kane

ランマ カネ

いつも / [意外]

いつもいつも

2220 a-ukoreshpa

ア・ウコレシパ

私たちは・一緒に・を育てる

少女を私たちは一緒に育て

2220 ineap kusu

イネアプ クス

どうである・～した・もの / [熟語]

何とまあ

2221 a-poutari

ア・ポウタリ

私の・子・～たち

私の子どもたち

2221 nisashnu wa

ニサシヌ ワ

(丈夫であることを表す語根)・優れ
ている / ～して
元気であって**2222 shukup ashnu wa**

シュクフ アシヌ ワ

成長する / ～が優れている / ～して
すくすくと成長して**2222 ikichi nankora,**

イキチ ナンコラ、

する・[継続] / 顔・を持つ・～か

そうなのだろうか、

2223 sonno obittano

ソンノ オビッタノ

本当に / 皆・(副詞形成)
ほんとうにみなことごとく**P.90****2224 tumashnu wa**

トゥマシヌ ワ

力・が充分ある / ～して

体が丈夫であって

2224 ittotukbe

イットトゥクベ

一日・育つ・[名詞化辞]

一日で大きくなるもの

2225 shikobayar.

シコバヤラ。

自分・を～と間違える・させる
さながらであった。**2225 Rabokita**

ラボキタ

～している間・[時間的位置]

そのときに

2226 inu-an ko,

イヌ・アン コ、

もの・を聞く・私は / ～すると

私は聞いてみると、

2226 toop tuimano okai

トオプ トゥイマノ オカイ

ほらあすこに・(強調)・(語末子音) /

遠い・(副詞形成) / ある八いる

はるか遠くにいる

2227 a-utari hene

ア・ウタリ ヘネ

私の・同族の人々 / ～でも

私の親戚でも

2228 hankeno okai

ハンケノ オカイ

近い・伸ばす / ある八いる

近くにいる

2228 a-utari utar

ア・ウタリ ウタラ

私の・同族の人々 / ～たち

私の同族の人たち

2229 obittano

オビッタノ
皆・(副詞形成)
みなことごとく

2229 tu po re po

トゥ ポ レ ポ
二人の / 子 / 三人の / 子
二人の子ども三人の子ども

2230 ukosapte wa

ウコサプテワ
一緒に・出る・させる / ～して
を産んで

2230 shino ukoomap hawe

シノ ウコオマフ ハウエ
本当である・(副詞形成) / 一緒に・
をかわいがる / (～と言った) こと
じつに子どもたちと一緒にかわいが
っていることを

2231 otu teshkari

オトゥ テシカリ
(韻律)・二つの / 便りをする・[名
詞化辞]
二つの便り

2232 ore teshkari

オレ テシカリ
(韻律)・三つの / 便りをする・[名
詞化辞]
三つの便り

2232 i-kokarari

イ・コカラリ
私たちを・に対して・を整える
に私たちを包み込み

2233 shino nubetne-an.

シノ ヌベツネ・アン。
本当である・(副詞形成) / 喜ぶ・私
たちは
じつに私たちは喜んだ。

2233 Itasa sui

イタサ スイ
人・と交代する / また
同じようにまた

2234 tapne kane

タブネ カネ
これ・のように / [意外]
このようにして

2234 pokor-an wa

ポコロ・アン ワ
子・を持つ・私は / ～して
私は子どもを持って

2235 a-ukoomap koro

ア・ウコオマフ コロ
私たちは・一緒に・をかわいがる / ～
しながら
子どもたちを私たちは一緒にかわい
がりながら

2235 okai-ani

オカイ・アニ
[接続助詞の後に置かれる]・私たち
は・[名詞化辞]
私たちはいること

2236 a-eteshkar koro

ア・エテシカラ コロ
私は・～にことづてをやる / ～しな
がら
皆に私は言づてをやりながら

2237 a-poutari

ア・ポウタリ
私の・子・～たち
私の子どもたち

2237 a-eyam kashi

ア・エヤム カシ
私たちは・～を心にかける / ～しすぎ
る※kashi は kashui の誤記
が私たちはあまりにも気がかりに

2238 a-ramu

ア・ラム
私たちが・心・(他動詞形成)
私たちは思い

2238 pirikano

ピリカノ
よい・(副詞形成)
しっかりと

2238 a-ukoreshpa.

ア・ウコレシパ。
私たちが・一緒に・を育てる
子どもたちを私たちは一緒に育てた。

2239 Tane anakne

タネ アナクネ
今 / ある・すれば
今は

2239 sonno ekeshne

ソンノ エケシネ
本当に / その頭・(?)・土地へあた
り・である人になる
ほんとうにあちこち

2240 uhoyupbare

ウホユフバレ
互い・尻・を締める・させる
一緒に走り

2241 shinot hawe

シノツ ハウエ
遊ぶ / 声
遊ぶ声

2241 mina hawe

ミナ ハウエ
笑う / 声
笑う声

2242 eashka

エアシカ
それこそ・～も
それこそ

2242 a-ekirorookai

ア・エキロロオカイ
私たちが・について・おもしろく思う
その声を私たちはおもしろく思い

2243 a-unubetnere kane,

ア・ウヌベツネレ カネ、
私たちが・互い・喜ぶ・させる / ～
して
子どもたちを私たちは一緒に喜ばせ
て、

2244 ramma shino

ランマ シノ
いつも / 本当である・(副詞形成)
いつもじつに

2244 uwepirika-an.

ウウェピリカ・アン。
互い・(挿入音)・と一緒に・よくなる・
私たちが
私たちが一緒に幸せに暮らしていた。

2245 Nep a-e rusui

ネプ ア・エ ルスイ
何の・もの / 私は・～を食べる / ～
したい
何を私は食べたいとも

2246 nep a-kon rusui boka

ネプ ア・コン ルスイ ボカ
何の・もの / 私は・～を持つ / ～し
たい / (指小辞)・も
何を私は欲しいとも

2247 somokino

ソモキノ
[否定辞]・～をする・[副詞形成]
思わないで

2247 ukoiraukituba-an kane,

ウコイラウキトゥバ・アン カネ、
一緒に・稼ぎに行く・私たちが / ～
して
私たちが一緒に働いて、

2248 tane anakne

タネ アナクネ
今 / ある・すれば
今は

P.91**2249 a-poho**

ア・ポホ
私の・息子
私の息子は

2249 okkai bakno

オッカイ バクノ
男 / まで八ほど・(副詞形成)
一人前の男に

2250 shikup

シクブ
成長する
成長し

2250 mashkin teta

マシキン テタ
なおさら / ここ・[空間的位置]
なおいっそう

2251 kamui hetab an

カムイ ヘタブ アン
神 / いったい〜か / 〜ですか
いったい神だろうか

2252 ainu hetab an

アイヌ ヘタブ アン
人間 / いったい〜か / 〜ですか
いったい人間だろうか

2252 sonno

ソンノ
本当に
ほんとうに

2253 pon a-kor yubi

ポン ア・コロ ユビ
年若い / 私は・〜を持つ / 兄
年若い私の兄

2253 arukorachi

アルコラチ
全く・互い・のように
とまったく同じように

2254 netoba shiri

ネトバ シリ
体 / 様子
身体の気配

2254 somo a-nukara.

ソモ ア・ヌカラ。
[否定辞] / 私は・〜を見る
が私には見えない。

2255 Okutchi urar

オクツチ ウララ
薄くかける / 霧
薄くかける霧

2256 urar tumu

ウララ トウム
霧 / 中
霧の中心

2256 yayomare

ヤヨマレ
自分・に位置する・させる
に自身を入れ

2257 bishkanike

ビシカニケ
周囲
その周囲

2257 kamui imeru

カムイ イメル
美しい / もの・きらめき
美しい光が

2258 uweshimaka.

ウウエシマカ。
互い・(挿入音)・で・自分・を開ける
一緒に輝いている。

2258 Nei korachi sui

ネイ コラチ スイ
その / 〜のように / また
そのようにまた

2259 a-matnepoho

ア・マツネポホ
私の・女・である・子
私の娘

2260 tane anakne

タネ アナクネ
今 / ある・すれば
今は

2260 menoko shirpo

メノコ シリポ
女 / 様子・(指小辞)
女の姿

2261 uwoshmare

ウウオシマレ
互い・(挿入音)・に入ってしまう・さ
せる
に成長し

2261 iyainumare

イヤイヌマレ
人を・自分・驚き起つ・させる
驚いたことに

2262 yaikota

ヤイコタ
ひとりでに
ひとりで

2262 a-yaikosankep

ア・ヤイコサンケブ
私は・自分・に・を出す・[名詞化辞]
私が絞り出したものが

2263 hetapne

ヘタブネ
いったい〜か・[繋詞]
まあ

2263 okai nankora,

オカイ ナンコラ、
ある八いる / 顔・を持つ・〜か
いるのだろうか、

2264 sonno uben-an ita

ソンノ ウベン・アン イタ
本当に / 若い・私は / とき・[時間的位置]
ほんとうに私が若いときに

2265 beure-an ita

ベウレ・アン イタ
若い・私は / とき・[時間的位置]
私が年若いときに

2265 ene pirika-an a ruwe

エネ ピリカ・アン ア ルウェ
このように / 美しい・私は / 〜した
(完了) / こと八さま
このように私は美しかったこと

2266 neikehuike

ネイケフイク
どこに・どこに
どこからどこまで

2267 hoppa ruwe

ホッパ ルウェ
(置いて去ることを表す語根)・(複
数) / こと八さま

残るところが

2267 isam kane.

イサム カネ。
ない / 〜して
なくなるほどであった。

2268 Okutchi urar

オクツチ ウララ
薄くかける / 霧
薄くかける霧

2268 urar tumu

ウララ トウム
霧 / 中
霧の中心

2269 yayomare

ヤヨマレ
自分・に位置する・させる
に自身を入れ

2269 kamui otobi

カムイ オトビ
立派だ / 髪の毛
立派な髪の毛が

2270 sarambe kunne

サラムベ クンネ
絹 / 影八形八様・として
絹のように

2270 ekimui kashi

エキムイ カシ
そこに・頭 / 上
その頭の上

2271 chiusurure

チウスルレ
[使役中相]される・互い・を蔽う・さ
せる
に覆い被さり

2271 otop etoko

オトプ エトコ
髪の毛 / 先
髪の毛の先が

2272 chioimerukotpa kane,

チオイメルコツバ カネ、
[使役中相]される・そこに・稲光・に
～を結びつける / ～して
光り輝いて、

2273 reuboki ta

レウボキ タ
曲がって斜めになっているもののそ
の下側 / [空間的位置]
その下に

2273 kamui sannanu

カムイ サンナヌ
神 / 前の・顔
神々しい顔が

P.92**2274 shikush toi kunne**

シクシトイ クンネ
日差し / 集合 / 影八形八様・として
日光のように

2275 komaknatara

コマクナタラ
(擬音語・擬態語を導く接頭辞)・(開
いて明るいことを表す語根)・(状態が
続いていることを表す接尾辞)
輝き

2275 shiyoro keutum

シヨロ ケウトウム
驚く / 心
驚嘆の心

2276 a-yaikore.

ア・ヤイコレ。
私は・自分・に～を与える
を私は覚えた。

2276 A-poho

ア・ポホ
私の・息子
私の息子は

2276 pon a-kor yubi

ボン ア・コロ ユビ
年若い / 私は・～を持つ / 兄
年若い私の兄

2277 ramkobashte

ラムコバシテ
心・に向かって・走る・させる
を頼りにし

2277 a-matnepo

ア・マツネポ
私の・女・である・子
私の娘は

2277 i-ramkobashte

イ・ラムコバシテ
私を・心・に向かって・走る・させる
私を頼りにし

2278 sonno tun ne wa

ソンノ トウン ネ ワ
本当に / 二つの・人・(接尾辞) / [繫
詞] / ～して
ほんとうに二人して

2278 i-ukonunukepa

イ・ウコヌヌケパ
私たちを・一緒に・を大事にする・(複
数)
私たちに孝行し

2279 too oyakak ta okai

トオ オヤカク タ オカイ
ほらあそこに・(強調) / 他所・(重
複) / [空間的位置] / ある八いる
ずっと遠くあちこちにいる

2280 a-utari utar otta

ア・ウタリ ウタラ オッタ
私の・同族の人々 / ～たち / の所・
[空間的位置]
私の同族の人たちのところに

2280 sake an ko,

サケ アン コ、
酒 / ある八いる / ～すると
酒があると、

2281 a-poho

ア・ポホ
私の・息子
私の息子

2281 a-matnepo

ア・マツネポ
私の・女・である・子
私の娘

2281 a-tura wa

ア・トゥラ ワ、
私たちは・～を連れて行く / ～して
を私たちは連れて

2282 ikutasa-an.

イクタサ・アン。
酒を飲む・と交換する・私たちは
私たちは酒宴に招待されて行った。

2282 Ineap kusu

イネアプ クス
どうである・～した・もの / [熟語]
何とまあ

2282 oyakak ta okai

オヤカク タ オカイ
他所・(重複) / [空間的位置] / あ
る八いる
あちこちにいる

2283 a-karku utari hene

ア・カラク ウタリ ヘネ
私の・甥 / ～たち / ～でも
私の甥たちでも

2284 a-matkarku utari hene

ア・マツカラク ウタリ ヘネ
私の・女・甥 / ～たち / ～でも
私の姪たちでも

2285 obittano

オビッタノ
皆・(副詞形成)
みなことごとく

2285 shiretokkoro

シレトッコロ
様子・の先端・を持つ
美貌

2285 kashpa wa

カシパワ
～しすぎる / ～して
すぎる

2286 shiran nankora.

シラン ナンコラ。
あたり八様子・ある / 顔・を持つ・～かの
のだろうか。

2286 Sonno kamui shiri ne

ソンノ カムイ シリ ネ
本当に / 立派だ / ～する八している
様子 / [繋詞]
ほんとうに立派な様子であり

2287 pirika ruwe

ピリカ ルウェ
美しい / こと八さま
美しいこと

2288 okaibe

オカイベ
～である・[名詞化辞]
であるもの

2288 kashikeun sui

カシケウン スイ
上・[連用句形成] / また
その上にまた

2289 obittano

オビッタノ
皆・(副詞形成)
みなことごとく

2289 sonno keutum pirika

ソンノ ケウトウム ピリカ
本当に / 心 / よい
ほんとうにその心が美しく

2290 buri pirika.

ブリ ピリカ。
行い / よい
行いがよい。

2290 Shino umurek a-ne wa,

シノ ウムレク ア・ネ ワ、
本当である・(副詞形成) / 夫婦 / 私たちは・[繋詞] / ～して
まことの夫婦で私たちはあって、

2291 i-kateomarepa

イ・カテオマレパ
私たちが・を好きになる・(複数)
私たちが慕わしく思い

2292 "Acha." ari

「アチャ。」 アリ
おじ / ～と
「おじさん。」と

2292 "A-koro unarbe." ari

「ア・コロ ウナラベ。」 アリ
私は・～を持つ / おば / ～と
「私のおばさん。」と

2293 haweokai koro

ハウエオカイ コロ
言う / ～しながら
言いながら

2293 orota baye-ani

オロタ バイエ・アニ
所・[空間的位置] / 行く・私たちは・
[名詞化辞]
そこに私たちは行くこと

2294 bishno bishno

ビシノ ビシノ
一つ一つ・(副詞形成) / 一つ一つ・
(副詞形成)
そのたびたびに

2294 i-ukonunuke-an.

イ・ウコヌヌケ・アン。
私たちが・一緒に・を大事にする・人
が
私たちは孝行されている。

2295 Neino sui

ネイノ スイ
である・(挿入音)・(副詞形成) / ま
た
そのようにまた

2295 a-poutari hene

ア・ポウタリ ヘネ
私の・子・～たち / ～でも
私の子どもたちとも

2296 a-ukoekatarotke

ア・ウコエカタロツケ
私たちが・一緒に・と仲が良い
私たちが仲が良く

2296 sonno sonno

ソンノ ソンノ
本当に / 本当に
ほんとうにほんとうに

2297 keutum oshi wano

ケウトウム オシ ワノ
心 / 後ろ / から・(副詞語尾)
心の底から

2297 ram oshi wano

ラム オシ ワノ
心 / 後ろ / から・(副詞語尾)
心の中から

2298 umurek a-ne wa,

ウムレク ア・ネ ワ、
夫婦 / 私たちは・[繋詞] / ～して
夫婦で私たちはあって、

P.93**2299 nubetne keshpa**

ヌベツネ ケシパ
喜ぶ / ～しすぎる
喜びすぎ

2299 utashpa neino

ウタシパ ネイノ
互い・と交換する (tasa の語幹)・(複
数) / である・(挿入音)・(副詞形成)
互いに交代し合うように

2300 ukoshineipa-an wa,

ウコシネイパ・アン ワ、
一緒に・訪問する・私たちは / ～して
私たちは一緒に訪問し合って、

2301 keshto pirika iku

ケシト ピリカ イク
毎～・日 / よい / もの・を飲む
毎日楽しい酒宴

2301 keran ibe

ケラン イベ
味・ある / 食事する
美味しい食事をし

2302 ibe tuikata

イベ トゥイカタ
食事する / ～している最中・[時間的位置]
食事をしている間に

2302 wembe hene

ウェムベ ヘネ
悪い・もの八こと / ～でも
悪いことでも

2303 pirikap hene

ピリカフ ヘネ
よい・[名詞化辞] / ～でも
よいことでも

2303 a-uweneusar

ア・ウウェネウサラ
私たちが・互い・(挿入音)・と一緒に・
いろいろ話し合って楽しむ
私たちはいろいろ話し合って楽しみ

2304 sonno utashap bakno

ソンノ ウタシヤフ バクノ
本当に / 互い・と交換する (tasa の
語幹)・(複数) / まで八ほど・(副詞
形成)
ほんとうに交代し合うほど

2304 uwenubetne-an koro

ウウェヌベツネ・アン コロ
互い・(挿入音)・と一緒に・喜ぶ・私
たちは / ～しながら
私たちは一緒に喜びながら

2305 okai-an aine,

オカイ・アン アイネ、
 [接続助詞の後に置かれる]・私たちは / ～した (完了)・～して
 私たちは暮らして、

2306 shine ani ta

シネ アニ タ
 一つの / ある八いる・とき / [時間
 的位置]
 あるときに

2306 a-utari utar

ア・ウタリ ウタラ
 私の・同族の人々 / ～たち
 私の同族の人たち

2307 orowano

オロワノ
 所・～から
 から

2307 iyotta shiretokkoro

イヨッタ シレトクコロ
 もの・(挿入音)・の所・で / 様子・
 の先端・を持つ
 いちばん美貌で

2308 iyotta keutumum pirika

イヨッタ ケウトウム ピリカ
 もの・(挿入音)・の所・で / 心 / よ
 い
 いちばんその心が美しい

2309 a-matkarku

ア・マツカラク
 私の・女・甥
 私の姪

2309 a-etun wa

ア・エトゥン ワ
 私は・～を借りる / ～して
 を私は借りて

2309 a-poho a-kore

ア・ポホ ア・コレ
 私の・息子 / 人が・～に…を与える
 私の息子を私は持たせ

2310 umurek ne a-kar.

ウムレク ネ ア・カラ。
 夫婦 / ～として / 私は・～をする
 二人を夫婦に私はした。

2310 Sonno ukotom nanka

ソンノ ウコトム ナンカ
 本当に / 互い・にふさわしい / 顔・
 の上
 ほんとうにふさわしい容貌

2311 ukotom shirika ne

ウコトム シリカ ネ
 互い・にふさわしい / 見えるもの・
 の上 / [繋詞]
 ふさわしい美貌であり

2312 shino shino

シノ シノ
 本当である・(副詞形成) / 本当であ
 る・(副詞形成)
 じつにじつに

2313 uwekatarotke

ウウエカタロツケ
 互い・(挿入音)・と仲が良い
 仲が良く

2313 a-matnepo ne yakka

ア・マツネポ ネ ヤッカ
 私の・女・である・子 / [繋詞] / ～
 すると・も
 私の娘でも

2314 a-utari wa

ア・ウタリ ワ
 私の・同族の人々 / [日本語] ～は
 私の親族は

2314 iyotta keutumum pirika

イヨッタ ケウトウム ピリカ
 もの・(挿入音)・の所・で / 心 / よ
 い
 いちばんその心が美しく

2315 iyotta sonno sonno

イヨッタ ソンノ ソンノ
 もの・(挿入音)・の所・で / 本当に /
 本当に
 いちばんほんとうにほんとうに

2316 shiretokkoro

シレトクコロ
 様子・の先端・を持つ
 美貌で

2316 sonno a-matnepo

ソンノ ア・マツネポ
 本当に / 私の・女・である・子
 ほんとうに私の娘に

2317 tap eashiri

タプ エアシリ
 これ / それこそ
 これこそ

2318 kotom nanka

コトム ナンカ
 ～に似合う / 顔・の上
 似合いの容貌

2318 kotom shirika

コトム シリカ
 ～に似合う / 見えるもの・の上
 娘に似合いの美貌

2319 shino iyotta a-omap

シノ イヨッタ ア・オマフ
 本当である・(副詞形成) / もの・(挿
 入音)・の所・で / 私は・～をかわい
 がる
 をじつにいちばん私はかわいがり

2319 a-karkuhu

ア・カラクフ
 私の・甥
 私の甥

2320 orowa

オロワ
 所・から
 から

2320 koshmatne

コシマツネ
 (?)・女・になる
 嫁になって

2321 a-kon rusui.

ア・コン ルスイ。
 私は・～を持つ / ～したい
 私はほしい。

2321 Umurek a-ne wa,

ウムレク ア・ネ ワ、
 夫婦 / 私たちは・[繋詞] / ～して
 夫婦で私たちはあって、

2322 shino nubetne tura

シノ ヌベツネ トウラ
 本当である・(副詞形成) / 喜ぶ / ～
 と一緒に
 じつに喜びながら

2322 ouse shinep ne

オウセ シネプ ネ
 ただ / 一つの・もの / ～として
 ただ一人だけ

2323 a-kor amatnepo

ア・コロ アマツネポ
 私は・～を持つ / 私の・女・である・
 子
 私が持つ私の娘

2323 ne kusu,

ネ クス、
 [繋詞] / [原因 / 理由]
 であるから、

P.94

2324 eashka

エアシカ
それこそ・～も
それこそ

2324 a-tomte kuni

ア・トムテ クニ
私は・光る・させる / ～する (べき)
こと
娘を私は飾り立てること

2325 kasuno

カスノ
を凌ぐ・(副詞形成)
にも増して

2325 a-toikotomte kane,

ア・トイコトムテ カネ、
私は・ひどく・光る・させる / ～し
て
娘を私はひどく飾り立てて、

2326 kamui korobe hene

カムイ コロベ ヘネ
神 / ～を持つ・[名詞化辞] / ～でも
神の宝物でも

2326 machikoro hene

マチ コロ ヘネ
女・宝物 / ～でも
女の宝物でも

2327 iyotta iyotta

イヨッタ イヨッタ
もの・(挿入音)・の所・で / もの・(挿
入音)・の所・で
とびつきりいちばん

2327 pirika ike batek

ピリカ イケ バテク
よい / もの / ～ばかり
最高のものばかりを

2328 boronno

ボロンノ
多い・(挿入音)・(副詞形成)
たくさん

2328 a-monnumkere wa,

ア・モンヌムケレ ワ
私は・手・粒・(他動詞形成)・させる
 / ～して
私は選び出して、

2329 okkeu kashi

オッケウ カシ
えり首・骨格 / 上
襟首の上

2329 an-epirikare kane,

アン・エピリカレ カネ、
私は・それで・よくなる・させる / ～
して
を宝物で私は飾り付けて、

2330 a-obittano

ア・オビッタノ
私たちは・皆・(副詞形成)
私たちはみんな

2331 a-rura wa,

ア・ルラ ワ、
私たちは・～を送って行く / ～して
二人を私たちは送って行って、

2331 boro marapto

ボロ マラプト
大きい / 酒宴のごちそう
たくさんの酒宴のごちそう

2331 boro sake

ボロ サケ
大きい / 酒
たくさんの酒

2332 a-kar wa,

ア・カラ ワ
私たちは・～をつくる / ～して
を私たちは造って、

2332 keshto sonno

ケシト ソンノ
毎～・日 / 本当に
毎日ほんとうに

2333 nubetneno

ヌベツネノ
喜ぶ・(副詞形成)
楽しく

2333 umurek buri

ウムレク ブリ
夫婦 / 行い
夫婦の行い

2334 a-okere wa,

ア・オケレ ワ、
私たちは・～を終える / ～して
を私たちは終えて、

2334 eashka

エアシカ
それこそ・～も
それこそ

2334 a-eramushinne

ア・エラムシンネ
私たちは・について・心・地面・である
それで私たちは安心し

2335 orowano

オロワノ
それから・(副詞形成)
それから

2335 a-omap humi an.

ア・オマップ フミ アン。
私たちは・～をかわいがる
二人を私たちはかわいがったことで
あった。

2336 A-koshmachi

ア・コシマチ
私の・(?)・女
私の嫁

2337 kashikeun sui

カシケウン スイ
上・[連用句形成] / また
その上にまた

2338 sonno a-matnepo

ソンノ ア・マツネポ
本当に / 私の・女・である・子
ほんとうに私の娘

2338 ukorachi

ウコラチ
互い・のように
のように

2339 umurek a-ne wa,

ウムレク ア・ネ ワ、
夫婦 / 私たちは・[繫詞] / ～して
夫婦で私たちはあって、

2339 i-ainukor

イ・アイヌコロ
私たちを・人間八男・を持つ
私たちに敬意を払い

2340 i-nunuke

イ・ヌヌケ
私たちを・～を大切によく処遇する
私たちに孝行し

2340 nep ne yakka

ネプ ネ ヤッカ
何の・もの / [繫詞] / ～すると・も
何でも

2341 i-kotcha

イ・コッチャ
私たちの・(?)・の前
私たちの前

2341 ehobuni kane,

エホブニ カネ、
に八で・尻・を持ち上げる / ～して
に跳び上がって、

2341 Itasa sui

イタサ スイ
人・と交代する / また
同じようにまた

2342 a-ukoomap aine,

ア・ウコオマプ アイネ、
私たちは・一緒に・をかわいがる / ～
した (完了)・～して
彼女たちを私たちはかわいがって、

2342 tane anakne

タネ アナクネ
今 / ある・すれば
今は

2343 a-nitpo utara

ア・ニツポ ウタラ
私の・(?)・子 / ～たち
私の孫たち

2344 okkayo hene

オッカヨ ヘネ
男 / ～でも
男でも

2344 matkachi hene

マッカチ ヘネ
女・少年 / ～でも
少女でも

2345 tun ren

トゥン レン
二つの・人・(接尾辞) / 三つの・人・
(接尾辞)
二人三人

2345 a-i-kosapte.

ア・イ・コサプテ。
人が・私たちを・に・出る・させる
が私たちに産まれた。

2345 Tanepo tapne

タネポ タプネ
今・(指小辞) / これ・のように
今初めて

2346 nitpo ne manup

ニツポ ネ マヌプ
(?)・子 / [繫詞] / ～という・[名
詞化辞]
孫というもの

2346 a-kor wa,

ア・コロワ、
私たちは・～を持つ / ～して
を私たちは持って、

2347 ineap kusu

イネアプ クス
どうである・～した・もの / [熟語]
何とまあ

2347 a-omappa

ア・オマツパ
私たちは・をかわいがる・(複数)
孫を私たちはかわいがり

2348 a-esambehauke

ア・エサムベハウケ
私たちは・そこに・心臓・穏やかである
孫を私たちはかわいそうに思い

2348 kashpa wa

カシパ ワ
～しすぎる / ～して
すぎて

P.95**2349 humash nankora.**

フマシ ナンコラ。
音・立つ (=する) / 顔・を持つ・
～か
そうなのだろうか。

2349 Sonno

ソンノ
本当に
ほんとうに

2350 umurek a-ne wa,

ウムレク ア・ネ ワ、
夫婦 / 私たちは・[繫詞] / ～して
夫婦で私たちはあって、

2350 a-nitpo utari

ア・ニツポ ウタリ
私たちの・(?)・子 / ～たち
私たちの孫たちを

2351 sambe etok

サムベ エトク
出る・もの / 先
心臓の先

2351 a-omare

ア・オマレ
私たちは・に位置する・させる
に私たちは入れ

2352 emkosama

エムコサマ
半分・そのそば
それゆえに

2352 naa uben umurek

ナア ウベン ウムレク
まだ / 若い / 夫婦
まだ若い夫婦

2353 a-ne awa,

ア・ネ アワ、
私たちは・[繫詞] / ～したところ
で私たちはあったのに、

2353 a-poho umurek

ア・ポホ ウムレク
私の・息子 / 夫婦
私の息子夫婦

2354 ki yuptek

キ ユプテク
～をする / (きつくしまるハしめる
ことを表す擬態の語根)・ちょっと～
する
そのがんばり

2354 ki uwepirika ari

キ ウウェピリカ アリ
～をする / 互い・(挿入音)・と一緒に
に・よくなる / ～でもって
その幸せな暮らしでもって

2355 nepki-an kuni

ネプキ・アン クニ
仕事をする・私たちは / ～する (ベ
き) こと
私たちが仕事をする

2355 ikokopankar.

イココパンカラ。
もの・に・を拒否する・(韻律調整)
を拒んだ。

2356 Tambe kusu

タムベ クス
この・もの / [原因ハ理由]
それゆえに

2356 umurek a-ne wa,

ウムレク ア・ネ ワ、
夫婦 / 私たちは・[繫詞] / ～して
夫婦で私たちはあって、

2357 naa shino

ナア シノ
まだ / 本当である・(副詞形成)
まだじつに

2357 uben utar

ウベン ウタラ
若い / 人々
若い人

2358 a-ne a koroka,

ア・ネ ア コロカ、
私たちは・[繫詞] / ～した (完了)
/ けれども
で私たちはあったけれども、

2358 ramma chise otta batek

ランマ チセ オッタ バテク
いつも / 家 / の所・[空間的位置] /
～ばかり
いつも家の中にばかり

2359 okai-an wa

オカイ・アン ワ
ある八いる・私たちは / ～して
私たちはいて

2360 hekachikoro-an.

ヘカチコロ・アン。
少年・を持つ・私たちは
私たちは子守をした。

2360 Kunne hene

クンネ ヘネ
影・である / ～でも
夜も

2361 tokap hene

トカプ ヘネ
日・(?) / ～でも
昼も

2361 umurek a-ne wa,

ウムレク ア・ネ ワ、
夫婦 / 私たちは・[繫詞] / ～して
夫婦で私たちはあって、

2362 eukobieukobi

エウコビエウコビ
で・互い・に・を残して去る・(重複)
何度も一人一人離ればなれになり

2362 iyomap-an hawe

イヨマプ・アン ハウエ
もの・(挿入音)・をかわいがる・私た
ちは / 声
私たちのかわいがる声が

2363 chise upsooro

チセ ウプソロ
家 / 内部におおわれている・ところ
家の中

2363 bebunitara

ベブニタラ
(擬音の語根)・(状態が続いているこ
とを表す接尾辞)
にぎわしく

2364 a-uwomina-

ア・ウウォミナ
私は・互い・(挿入音)・その尻・笑う
私たちは一緒に笑い

2364 ushi kane,

ウシ カネ、
～に…がつく・(他動詞形成) / ～して
を浮かべて、

2365 a-matnepo hene

ア・マツネポ ヘネ
私の・女・である・子 / ～でも
私の娘も

2365 tane ne kusu

タネ ネ クス
今はもう / [繫詞] / [原因八理由]
今はもう

2366 tu po re po

トゥ ポ レ ポ
二人の / 子 / 三人の / 子
二人の子ども三人の子ども

2366 ukosapte

ウコサプテ
一緒に・出る・させる
を産み

2366 nubetne tura

ヌベツネ トウラ
喜ぶ / ～と一緒に
喜びながら

2367 umurek a-ne wa,

ウムレク ア・ネ ワ、
夫婦 / 私たちは・[繫詞] / ～して
夫婦で私たちはあって、

2368 kanna kanna

カンナ カンナ
上の・方へ / 上の・方へ
何度も何度も

2368 a-matnepo otta

ア・マツネポ オッタ
私の・女・である・子 / の所・[空間
的位置]
私の娘のところに

2369 shineupa-an.

シネウパ・アン。
遊びに行く・私たちは
私たちは遊びに行った。

2369 Somo baye-an ko,

ソモ バイエ・アン コ、
[否定辞] / 行く・私たちは / ～すると
私たちが行かずにいると、

2370 ramma i-tak-an

ランマ イ・タク・アン
いつも / 私たちを・～を招待する・
人が
いつも私たちは招待され

2370 neita baye-an yakka,

ネイタ バイエ・アン ヤッカ、
何の・所・[空間的位置] / 行く・私
たちは / ～すると・も
どこに私たちは行っても、

2371 eashka

エアシカ
それこそ・～も
それこそ

2371 i-ukonunuke-an

イ・ウコヌヌケ・アン
私たちを・一緒に・を大事にする・人が
私たちは孝行され

2372 i-ukoainukor-an

イ・ウコアイヌコロ・アン
私たちを・一緒に・人間八男・を持つ・
人が
私たちは一緒に敬意を払われ

2373 sonno a-eyaikamuinere.

ソンノ ア・エヤイクマイネレ。
本当に / 私たちは・で・自分・神・
になる・させる
それをほんとうに私たちは自身の誇
りとしている。

P.96**2374 Tane anakne**

タネ アナクネ
今 / ある・すれば
今は

2374 oyakak ta okai

オヤカク タ オカイ
他の所・(重複) / [空間的位置] / あ
る八いる
あちこちにいる

2375 a-utari utar tura

ア・ウタリ ウタラ トウラ
私の・同族の人々 / ～たち / ～と一緒に
私の同族の人たちと一緒に

2376 ukorupne utar

ウコルプネ ウタラ
一緒に・大きい / 親類
一緒に大きくなる親類

2376 turanno

トゥランノ
を同伴する・(挿入音)・(副詞形成)
と一緒に

2377 shine ikinne korachi

シネ イキンネ コラチ
一つの / まとまり・[繫詞] / ～のように
同じように

2377 kemabase-an

ケマバセ・アン
足・重い・私たちは
私たちは年が寄り

2378 onne ne manup

オンネ ネ マヌプ
年をとる / [繋詞] / ～という・[名
詞化辞]
年が寄るといもの

2378 a-ki.

ア・キ。
私たちは・～をする
を私たちはした。

2379 Shine ani ta

シネ アニ タ
一つの / ある入る・とき / [時間
的位置]
あるときに

2379 a-poho umurek

ア・ポホ ウムレク
私の・息子 / 夫婦
私の息子夫婦

2380 a-koorsutke wa,

ア・コオロスツケ ワ、
私たちは・～を勧める / ～して
に私たちは命令して、

2380 a-ewak ushike ta

ア・エワク ウシケ タ
私たちは・そこに・(?) / する習慣
のある・ところ / [空間的位置]
私たちの住処で

2381 eashka eashka

エアシカ エアシカ
それこそ・～も / それこそ・～も
それこそそれこそ

2381 boro sake

ボロ サケ
大きい / 酒
たくさんの酒

2382 boro marapto

ボロ マラプト
大きい / 酒宴のごちそう
たくさんの酒宴のごちそう

2382 a-kar wa,

ア・カラ ワ
私たちは・～をつくる / ～して
を私たちはつくって、

2382 tuimano okai

トゥイマノ オカイ
遠い・(副詞形成) / ある入る
遠くにいる

2383 a-utari hene

ア・ウタリ ヘネ
私の・同族の人々 / ～でも
私の親戚でも

2383 hankeno okai

ハンケノ オカイ
近い・伸ばす / ある入る
近くにいる

2384 a-utari utar

ア・ウタリ ウタラ
私の・同族の人々 / ～たち
私の同族の人たち

2384 a-nitpo utar

ア・ニッポ ウタラ
私の・(?)・子 / ～たち
私の孫たちを

2385 arobittano

アロビットノ
全く・全部・(副詞形成)
みなことごとく

2385 a-tak

ア・タク
私たちは・～を招待する
私たちは招待し

2385 a-uwekarire chiki,

ア・ウウエカリレ チキ、
私たちは・互い・(挿入音)・を先回り
する・させる / ～したところ
皆を私たちは集めたところ、

2386 sonno a-utari batek

ソンノ ア・ウタリ バテク
本当に / 私の・同族の人々 / ～ばかり
ほんとうに私の同族の人たちばかり

2387 tam boro chise

タム ボロ チセ
この / 大きい / 家
この大きい家

2387 upsoroho

ウプソロホ
内部におおわれている・ところ
の内部

2388 euranrari kane,

エウランラリ カネ、
その頭・互い・(押しつけることを表す語
根)・(重複)・(他動詞形成) / ～して
にいっぱい集まって、

2388 pirika iku

ピリカ イク
よい / もの・を飲む
楽しい酒宴

2389 keran ibe

ケラン イベ
味・ある / 食事する
美味しい食事をし

2389 ibe tuikata

イベ トウイカタ
食事する / ～している最中・[時間的
位置]
食事をしている間に

2390 a-nitpo utari hene

ア・ニッポ ウタリ ヘネ
私の・(?)・子 / ～たち / ～でも
私の孫たちでも

2390 a-poho

ア・ポホ
私の・息子
私の息子

2391 a-matnepo

ア・マツネポ
私の・女・である・子
私の娘

2391 a-bashkuma.

ア・バシクマ。
私は・～に言い伝えを語り伝える
に私は言い伝えを語り伝えた。

2391 "Tapne tapne kane

「タプネ タプネ カネ
これ・のように / これ・のように /
[意外]
「このようにして

2392 shinrit korbe

シンリツ コロベ
地・すじ / ～を持つ・[名詞化辞]
先祖を持つもの

2393 a-ne wa,

ア・ネ ワ、
私たちは・[繋詞] / ～して
で私たちはあって、

2393 a-kor unarbe

ア・コロ ウナラベ
私は・～を持つ / おば
私のおばが

2393 ubashkuma moire

ウバシクマ モイレ
互い・にものごとを教え伝える / 遅い
先祖の話語るやいなや

2394 tambe kusu

タムベ クス
この・もの / [原因∧理由]
それゆえに

2395 wen kamui

ウエン カムイ
悪い / 神
悪い神

2395 nitne kamui

ニツネ カムイ
悪い / 神
魔神が

2396 ohosari kusu,

オホサリ クス、
そこに・振り返る / [原因∧理由]
その方に振り返ったから、

2396 shine utat ta

シネ ウタツタ
一つの / 仲間 / [空間的位置]
ひとつの同族で

2397 tapne kane

タップネ カネ
これ・のように / [意外]
このようにして

2397 pon a-kor sapo

ポン ア・コロ サポ
年若い / 私は・～を持つ / 姉・(指小辞)
年若い私の姉を

2398 chianunkoba

チアヌンコバ
[使役中相]される・他人・を～とまち
がえる
お互いに他人と間違え

2398 nitne kamui ne

ニツネ カムイ ネ
悪い / 神 / ～に (なる)
魔神のように

P.97**2399 a-ramu wa,**

ア・ラム ワ、
私は・心・(他動詞形成) / ～して
私は思っ、

2399 a-keshke wa

ア・ケシケ ワ
人が・～を呪う / ～して
呪われて

2399 tapne tapne

タップネ タップネ
これ・のように / これ・のように
かくかくしかじか

2400 ne ruwe ne.

ネ ルウェ ネ。
[繫詞] / こと∧さま / [繫詞]
なのです。

2400 Tambe kusu

タムベ クス
この・もの / [原因∧理由]
それゆえに

2401 a-utari

ア・ウタリ
私の・同族の人々
私の親族

2401 a-nitpo utara

ア・ニツポ ウタラ
私の・(?)・子 / ～たち
私の孫たちよ

2402 neita bakno

ネイタ バクノ
何の・所・[空間的位置] / まで∧ほ
ど・(副詞形成)
どこまで

2402 ne yakka

ネ ヤッカ
[繫詞] / ～すると・も
でも

2402 pirikano

ピリカノ
よい・(副詞形成)
しっかりと

2403 uwekatarotke

ウウェカタロツケ
互い・(挿入音)・と仲が良い
仲良く

2403 iteki ukoikino

イテキ ウコイキノ
～するな / 互い・をいじめる・[副詞
形成]
喧嘩をしないように

2404 shinrit itak

シンリツ イタク
地・すじ / 言葉
先祖の言葉

2404 chihoppa itak

チホップ イタク
[使役中相]される・を置いて去る / 言葉
言い遣された言葉を

2405 keutum otta

ケウトウム オッタ
心 / の所・[空間的位置]
心の中で

2405 pirikano

ピリカノ
よい・(副詞形成)
しっかりと

2406 shikkashima wa

シッカシマ ワ
～を保存∧保管する / ～して
守って

2406 ramma kamuinomi yan

ランマ カムイノミ ヤン
いつも / 神・をまつる / [命令]
いつも神に祈祷の儀式をしなさい

2407 shinurappa yan.

シヌラップ ヤン。
祖先・をまつる / [命令]
先祖供養をしなさい。

2408 Yak anakne

ヤク アナクネ
～すると / ある・すれば
もしそうなら

2408 neita bakno

ネイタ バクノ
何の・所・[空間的位置] / まで∧ほ
ど・(副詞形成)
どこまでも

2409 maukopirika

マウコピリカ
空気・に・よい
運がよく

2410 usantek ka ta

ウサンテカ カタ
互い・出る・手 / 上 / [空間的位置]
お互いの腕の先の上に

2410 usantek ka ta

ウサンテカ カタ
互い・出る・手 / 上 / [空間的位置]
お互いの腕の先の上に

2411 nisashnuno

ニサシヌノ
(丈夫であることを表す語根)・優れ
ている・(副詞形成)
健康に

2411 echi-shikup kushki

エチ・シクップ クシキ
あなたたちは・成長する / まさに～
しようとしている
まさにあなたたちは成長しようとし
ている

2412 ruwe taban." ari

ルウェ タバン。」 アリ
 こと八さま / これこのとおり・ある /
 ～と
 ことなのです。」と

2412 wembe hene

ウヰムベ ヘネ
 悪い・もの八こと / ～でも
 悪いことでも

2413 pirikap hene

ピリカフ ヘネ
 よい・[名詞化辞] / ～でも
 よいことでも

2413 arobittano

アロピッタノ
 全く・全部・(副詞形成)
 みなことごとく

2414 a-ubashkuma koro,

ア・ウバシクマ コロ、
 私は・互い・にものごとを教え伝える
 / ～しながら
 私は先祖の話を語りながら、

2414 "Ainu buri

「アイヌ ブリ
 人間 / 慣習
 「人間の風習

2415 kamui buri

カムイ ブリ
 神 / 慣習
 神の風習

2415 ene okaii

エネ オカイイ
 このように / ある・[名詞化辞]
 このよう

2416 ne kusu,

ネ クス、
 [繫詞] / [原因八理由]
 であるから、

2416 tane uwesamanno

タネ ウウエサマンノ
 今はもう / 互い・(挿入音)・につい
 て・そば・ある・(副詞形成)
 今はもうみんな一緒に

2417 kamui orun

カムイ オルン
 神 / 所・[連用句形成]
 神々の中に

2417 baye-an

バイエ・アン
 行く・私たちは
 私たちは行く

2417 kushtap a-ye

クシタフ ア・イエ
 ～だから / 私は・～を言う
 のだから私は言い

2418 hawean." ari

ハウエアン。」 アリ
 声・ある / ～と
 言った。」と

2418 Tomisambechi un

トミサムベチ ウン
 トミサムベチ / [連体句形成]
 トミサムベチの

2419 shino katkemat

シノ カツケマツ
 真の / あり方・のある・女性
 まことの淑女が

2419 yayeyukar

ヤイエユカラ
 自分・のことを・歌う八ものまねする
 自らのことを

2420 hawean.

ハウエアン。
 声・ある
 物語った。